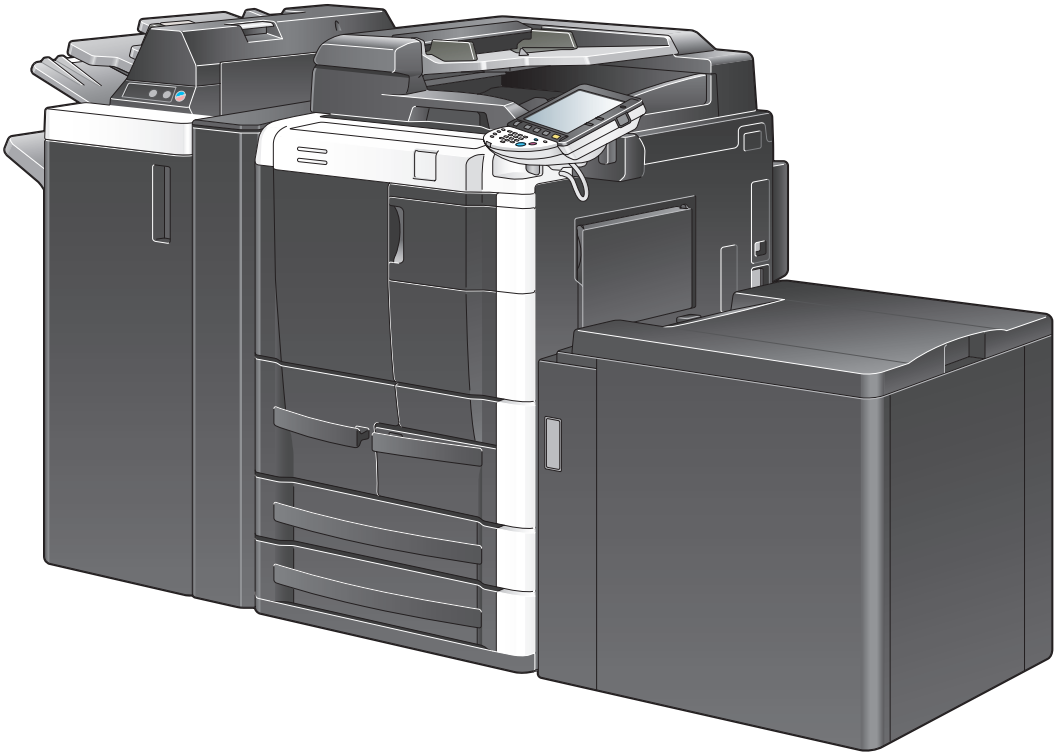
KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub 751/601

ユーザーズガイド　コピー機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 751/601 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

もくじ

はじめに 1
もくじ 2
こんな機能があります 10
ページの見かた 16
原稿と用紙の表示について 17
マニュアル体系について 18
印刷物のユーザーズガイド 18
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド 18

第 1 章　ご使用いただく前に

1.1 各部の名称とはたらき 1-2
1.1.1 オプション構成 1-2
1.1.2 本体外部 1-4
1.1.3 本体内部 1-8
1.1.4 大容量給紙ユニット LU-405 1-10
1.1.5 大容量給紙ユニット LU-406 1-11
1.1.6 フィニッシャー FS-524 ／パンチキット PK-502/PK-503 1-12
1.1.7 フィニッシャー FS-525 ／パンチキット PK-502/PK-503 1-14
1.1.8 フィニッシャー FS-610 ／パンチキット PK-502/PK-503 1-16
1.1.9 Z 折りユニット ZU-605 1-19
1.1.10 ポストインサータ PI-504 1-21
1.1.11 シフトトレイ SF-602 1-23
1.1.12 排紙トレイ OT-505 1-23
1.1.13 認証装置（指静脈生体認証タイプ）AU-101 1-24
1.1.14 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 1-24
1.1.15 操作パネル 1-25
1.1.16 基本的な設定をする画面（基本設定画面）..... 1-27
1.1.17 タッチパネル内で表示されるアイコンについて 1-29
1.2 操作パネルの角度をかえる 1-30
1.2.1 操作パネルの角度のかえかた 1-30
1.3 主電源と副電源を入れる 1-32
1.3.1 電源の入れかた 1-32
1.3.2 ウォームアップ中に読込みする 1-33
1.3.3 電源の切りかた 1-34
1.3.4 自動的に設定を取消す（オートリセット）..... 1-34
1.3.5 自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）..... 1-34
1.3.6 自動的に節電状態にする（低電力）..... 1-35
1.3.7 自動的に節電状態にする（スリープ）..... 1-35
1.3.8 手動で節電状態にする 1-36
1.3.9 自動的に電源を OFF ／ ON する（ウィークリータイマー）..... 1-37
1.3.10 ユーザーごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証）..... 1-39
1.3.11 部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証）..... 1-41
1.3.12 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する 1-44
1.3.13 認証装置（IC カード認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する 1-46
1.4 トレイ 1/2 へ用紙をセットする 1-48
1.5 トレイ 3/4 へ用紙をセットする 1-49
1.6 LCT（LU-405/LU-406）へ用紙をセットする 1-50
1.7 手差しトレイへ用紙をセットする 1-52

1.8 トレイの用紙サイズを変更する 1-56
1.8.1 用紙サイズの変更のしかた 1-56
1.8.2 はがきのセットのしかた 1-57
1.8.3 各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは 1-59

第 2 章　基本機能

2.1 コピー操作の流れ 2-2
2.2 組合わせできない操作について 2-4
2.2.1 あとから設定した機能が優先される場合 2-4
2.2.2 先に設定した機能を優先する場合 2-5
2.3 原稿をセットする 2-6
2.3.1 ADF に原稿をセットする 2-6
2.3.2 原稿ガラス上に原稿をセットする 2-7
2.3.3 原稿を分割して読込む（連続読込み設定）..... 2-8
2.3.4 複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする 2-12
2.4 原稿の設定をする 2-16
2.4.1 原稿のサイズを設定する（原稿サイズ）..... 2-16
2.4.2 サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）..... 2-17
2.4.3 折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）..... 2-19
2.4.4 インデックス紙をセットする（インデックス原稿）..... 2-20
2.4.5 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）..... 2-21
2.4.6 原稿セット方向の設定のしかた 2-22
2.4.7 とじしろを設定する（原稿のとじしろ）..... 2-23
2.4.8 原稿のとじしろの設定のしかた 2-24
2.4.9 原稿ごとに読込み設定を変更する 2-25
2.5 用紙を選ぶ 2-28
2.5.1 自動的に用紙を選択する（自動用紙）..... 2-28
2.5.2 手動で目的の用紙を指定する 2-29
2.6 倍率を選ぶ 2-30
2.6.1 自動的に倍率を設定させる（自動倍率）..... 2-30
2.6.2 原稿と同じ倍率にする（等倍）..... 2-31
2.6.3 テンキーで倍率を指定する（ズーム）..... 2-31
2.6.4 原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）..... 2-32
2.6.5 「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）..... 2-33
2.6.6 テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）..... 2-34
2.6.7 登録倍率から選択する 2-36
2.6.8 目的の倍率を登録する 2-36
2.7 原稿＞コピー機能を選ぶ 2-38
2.7.1 片面コピーを選択する 2-39
2.7.2 両面コピーを選択する 2-40
2.8 ページ集約を選ぶ 2-42
2.8.1 複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）..... 2-43
2.9 原稿の画質を選ぶ 2-45
2.9.1 小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）..... 2-45
2.9.2 原稿画質の設定のしかた 2-46
2.10 濃度を選ぶ 2-47
2.10.1 印刷濃度を調整する（濃度）..... 2-47
2.10.2 下地濃度を調整する（下地調整）..... 2-48
2.11 仕上り機能を選ぶ 2-49
2.11.1 部数ごとに分けて排紙する（ソート）..... 2-51

2.11.2 ページごとに分けて排紙する（グループ）..... 2-51
2.11.3 排紙先を指定して排紙する 2-52
2.11.4 オモテ面を上にして排紙する（フェイスアップ）..... 2-53
2.11.5 ステープルでとじて排紙する（ステープル）..... 2-54
2.11.6 パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）..... 2-57
2.12 紙折り機能を選ぶ 2-59
2.12.1 2 つ折りにして排紙する（中折り）..... 2-60
2.12.2 用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）..... 2-61
2.12.3 三つ折りにして排紙する（三つ折り）..... 2-62
2.12.4 Z 折りにして排紙する（Z 折り）..... 2-64
2.13 手動でフィニッシャーを使う 2-66
2.13.1 操作パネルの各部の名称 2-68
2.13.2 仕上げのしかた 2-68
2.14 回転しないを選ぶ 2-70
2.15 印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）..... 2-71
2.16 読込み・印刷を一時停止する 2-72
2.17 一時停止したジョブを削除する 2-73

第 3 章　コピー補助機能

3.1 コピー条件を確認する（設定内容）..... 3-2
3.1.1 設定の確認のしかた 3-2
3.1.2 設定の変更のしかた 3-3
3.2 1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）..... 3-4
3.3 割込んでコピーする（割込み）..... 3-6
3.4 コピー条件を登録する（プログラム登録）..... 3-7
3.4.1 コピープログラムの削除のしかた 3-9
3.5 登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）..... 3-10
3.6 機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）..... 3-12
3.6.1 ヘルプ基本画面の概要 3-12
3.6.2 ヘルプ基本画面を表示させる 3-14
3.7 操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）..... 3-16
3.7.1 ユニバーサル設定画面を表示させる 3-16
3.7.2 タッチパネルの調整をする 3-16
3.7.3 キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする 3-17
3.7.4 拡大表示が自動的に解除されるときに確認画面を表示する 3-19
3.7.5 拡大表示中に設定がオートリセットされるときに確認画面を表示する 3-21
3.7.6 拡大表示に切換える時に、設定解除の確認画面を表示する 3-22
3.7.7 メッセージ表示時間の設定をする 3-24
3.7.8 装置の状態を知らせる音の設定をする 3-25

第 4 章　トラブルの処理

4.1 「トラブル」が表示されたら（サービスコール）..... 4-2
4.2 「紙づまり」ですと表示されたら 4-4
4.2.1 ジャム位置表示とイラスト説明 4-4
4.2.2 紙づまり位置表示 4-5
4.2.3 トレイ 1 での紙づまり処理のしかた「1」..... 4-7
4.2.4 トレイ 2 での紙づまり処理のしかた「2」..... 4-10
4.2.5 トレイ 3/4 での紙づまり処理のしかた「3」「4」..... 4-12

4.2.6 大容量給紙トレイでの紙づまり処理のしかた「5」 4-14
4.2.7 手差しトレイでの紙づまり処理「6」 4-15
4.2.8 縦搬送部での紙づまり処理のしかた「7」 4-16
4.2.9 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「8」 4-17
4.2.10 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「9」 4-19
4.2.11 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「10」 4-21
4.2.12 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「11」 4-22
4.2.13 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「12」 4-24
4.2.14 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「13」 4-26
4.2.15 ADF での紙づまり処理のしかた「14」 4-28
4.2.16 ADF での紙づまり処理のしかた「15」 4-30
4.2.17 フィニッシャー FS-524/FS-525 での紙づまり処理のしかた「16」「18」 4-32
4.2.18 フィニッシャー FS-610 での紙づまり処理のしかた「16」「18」 4-36
4.2.19 シフトトレイでの紙づまり処理のしかた「16」 4-41
4.2.20 ポストインサータでの紙づまり処理のしかた「17」 4-42
4.2.21 Z 折りユニットでの紙づまり処理のしかた「20」 4-43

4.3 簡単なトラブルの処理 4-48

4.4 おもなメッセージと処理のしかた 4-52

第 5 章 仕様・保守サービス

5.1 本体仕様 5-2
5.1.1 本体 5-2
5.1.2 自動両面原稿送り装置 DF-614 5-3

5.2 オプション仕様 5-4
5.2.1 大容量給紙ユニット LU-405 5-4
5.2.2 大容量給紙ユニット LU-406 5-4
5.2.3 フィニッシャー FS-524 5-4
5.2.4 フィニッシャー FS-525 5-6
5.2.5 フィニッシャー FS-610 5-7
5.2.6 パンチキット PK-502/PK-503 5-8
5.2.7 Z 折りユニット ZU-605 5-8
5.2.8 ポストインサータ PI-504 5-9
5.2.9 シフトトレイ SF-602 5-9
5.2.10 排紙トレイ OT-505 5-10
5.2.11 認証装置（指静脈認証タイプ）AU-101 5-10
5.2.12 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 5-11
5.2.13 その他 5-12

5.3 保守サービス 5-13
5.3.1 補修用性能部品の保有期間 5-13
5.3.2 同梱品 5-13

第 6 章 用紙・原稿について

6.1 用紙について 6-2
6.1.1 用紙をセット／処理／出力する装置 6-2
6.1.2 使用できる用紙の坪量 6-2
6.1.3 セット／出力可能な用紙枚数 6-3
6.1.4 セット／処理／出力可能な用紙サイズ 6-4
6.1.5 専用紙について 6-7
6.1.6 用紙使用上の注意 6-8
6.1.7 用紙の保管 6-8

6.1.8 自動トレイ切換え機能 6-8
6.2 手差しトレイの用紙設定 6-9
6.2.1 用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）..... 6-9
6.2.2 用紙サイズを指定する（サイズ指定）..... 6-10
6.2.3 不定形紙をセットする（不定形）..... 6-11
6.2.4 目的の用紙サイズを登録する（不定形）..... 6-13
6.2.5 ワイド紙を設定する 6-15
6.2.6 手差しトレイの用紙種類を選択する 6-18
6.3 給紙トレイの用紙種類設定 6-19
6.3.1 給紙トレイ設定画面を表示させる 6-19
6.3.2 定形サイズの用紙を設定する（定形サイズ）..... 6-20
6.3.3 定形の特殊サイズ用紙を設定する（定形特殊サイズ）..... 6-21
6.3.4 定形外サイズの用紙を設定する（不定形サイズ）..... 6-22
6.3.5 ワイド紙を設定する 6-23
6.3.6 はがきを設定する（はがき）..... 6-24
6.3.7 用紙種類を選択する 6-25
6.4 原稿について 6-27
6.4.1 ADF にセットする原稿 6-27
6.4.2 ADF にセットする原稿についての注意 6-28
6.4.3 原稿ガラスにセットする原稿 6-28

第 7 章　応用機能

7.1 OHP フィルムの間に用紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）..... 7-2
7.2 表紙をつける（カバーシート）..... 7-4
7.3 別の用紙を挿入してコピーする（インターシート）..... 7-7
7.4 追加原稿を指定したページに差込む（差込みページ）..... 7-10
7.5 指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）..... 7-12
7.6 原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）..... 7-15
7.7 原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）..... 7-19
7.8 見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）..... 7-20
7.9 指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート）..... 7-24
7.10 ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる（ページ連写）..... 7-28
7.11 とじしろをつくってコピーする（とじしろ）..... 7-30
7.12 原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）..... 7-33
7.13 雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする（小冊子）..... 7-35
7.14 不要部分を消してコピーする（消去）..... 7-37
7.14.1 周囲 4 辺の不要部分を消してコピーする（枠消し）..... 7-38
7.14.2 中央の不要部分を消してコピーする（折り目消し）..... 7-39
7.14.3 原稿外側の影を消してコピーする（原稿外消去）..... 7-40
7.15 日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする（スタンプ / ページ印字）..... 7-41
7.15.1 日付 / 時刻を印字するには（日付 / 時刻）..... 7-42
7.15.2 ページ数を印字するには（ページ番号）..... 7-44
7.15.3 あらかじめ登録されたスタンプを印字するには（スタンプ）..... 7-47
7.15.4 繰り返しスタンプを印字するには（繰り返しスタンプ）..... 7-49
7.15.5 最初に読み込んだ画像を、他の全ての画像と重ね合わせてコピーする（オーバーレイ）..... 7-53
7.15.6 読み込んだ画像を、登録オーバーレイとして保存する（登録オーバーレイ）..... 7-54
7.15.7 登録オーバーレイを使用する（登録オーバーレイ）..... 7-56

7.15.8 ヘッダー / フッターを印字するには（ヘッダー / フッター）..... 7-57
7.15.9 部数管理番号を印字するには（部数管理番号）..... 7-59
7.15.10 ウォーターマークを印字するには（ウォーターマーク）..... 7-61
7.16 読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存）..... 7-62

第 8 章 トナーカートリッジ交換／ステープルカートリッジ交換／パンチくず処理

8.1 トナーカートリッジを交換する 8-2
8.1.1 トナーカートリッジの交換のしかた 8-3
8.2 ステープルカートリッジを交換する 8-7
8.2.1 フィニッシャー FS-524 のステープルカートリッジ交換のしかた 8-8
8.2.2 フィニッシャー FS-525 のステープルカートリッジ交換のしかた 8-12
8.2.3 フィニッシャー FS-610 のステープルカートリッジ交換のしかた 8-16
8.3 パンチくずを処理する 8-20
8.3.1 フィニッシャーのパンチくず処理のしかた 8-21
8.3.2 Z 折りユニットのパンチくず処理のしかた 8-22

第 9 章 日頃の管理

9.1 清掃のしかた 9-2
9.1.1 原稿読取りガラスの清掃 9-2
9.1.2 原稿ガラスの清掃 9-2
9.1.3 原稿押さえパッドの清掃 9-3
9.1.4 給紙ローラの清掃 9-3
9.1.5 機械外装の清掃 9-3
9.1.6 操作パネルの清掃 9-4
9.1.7 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 のお手入れ 9-4
9.1.8 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 のお手入れ 9-5
9.2 カウントを確認する 9-6
9.2.1 セールスカウンターを確認する 9-6
9.3 「装置の定期点検時期です」と表示されたら 9-7

第 10 章 ジョブ確認

10.1 ジョブ表示画面の概要 10-2
10.1.1 ジョブについて 10-2
10.1.2 マルチジョブ機能について 10-2
10.1.3 ジョブ表示画面について 10-3
10.1.4 左エリアジョブリスト 10-5
10.2 ジョブ操作をする 10-6
10.2.1 ジョブを削除する 10-6
10.2.2 ジョブの設定内容を確認する 10-7
10.2.3 ジョブの詳細確認をする 10-7
10.2.4 実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する 10-9
10.2.5 履歴リストを表示する 10-9
10.2.6 蓄積ジョブを 1 部印刷して確認する 10-10
10.2.7 蓄積ジョブを印刷する 10-11
10.2.8 優先出力の設定をする 10-12

第 11 章 設定メニュー

11.1 設定メニューの概要 11-2
11.1.1 登録・設定項目一覧表 11-2
11.2 宛先登録を選択する 11-6
11.2.1 ファクス / スキャン宛先登録 11-6
11.2.2 ボックス登録 11-6
11.2.3 参照許可設定 11-6
11.2.4 宛先登録画面を表示させる 11-12
11.3 ユーザー設定を選択する 11-13
11.3.1 環境設定 11-13
11.3.2 画面カスタマイズ設定 11-15
11.3.3 コピー設定 11-17
11.3.4 ファクス / スキャン設定 11-19
11.3.5 プリンター設定 11-19
11.3.6 パスワード変更 11-20
11.3.7 E-mail アドレス変更 11-20
11.3.8 トナー補給 11-20
11.3.9 ユーザー設定画面を表示させる 11-20
11.4 管理者設定を選択する 11-22
11.4.1 環境設定 11-22
11.4.2 管理者 / 本体登録 11-28
11.4.3 宛先 / ボックス登録 11-28
11.4.4 ユーザー認証 / 部門管理 11-29
11.4.5 ネットワーク設定 11-31
11.4.6 コピー設定 11-32
11.4.7 プリンター設定 11-33
11.4.8 ファクス設定 11-33
11.4.9 システム連携 11-33
11.4.10 セキュリティー設定 11-33
11.4.11 管理者設定画面を表示させる 11-36
11.5 ウィークリータイマーの設定の概要 11-38
11.6 フィニッシャー調整 11-39
11.6.1 センターステープル位置調整 11-39
11.6.2 中折り位置調整 11-41
11.6.3 パンチ縦位置調整 11-43
11.6.4 パンチユニット縦位置調整 11-45
11.6.5 パンチ横位置調整 11-47
11.6.6 パンチユニット横位置調整 11-49
11.6.7 パンチレジストループ量調整 11-51
11.6.8 第 1 Z 折り位置調整／第 2 Z 折り位置調整 11-52
11.6.9 三つ折り位置調整 11-55
11.6.10 平とじ 2 点ステープル間隔調整 11-57
11.6.11 ポストインサーターフィーダーサイズ調整 11-58
11.7 ヘッダー / フッターを設定する 11-59
11.7.1 ヘッダー / フッターの設定のしかた 11-59
11.7.2 ヘッダー / フッターの編集のしかた 11-61
11.8 認証方式 11-62
11.8.1 ユーザー認証と部門管理について 11-62
11.8.2 ユーザー認証と部門管理を連動する場合 11-62
11.8.3 ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合 11-63

11.8.4 認証方式の設定のしかた 11-63
11.9 ユーザー認証設定 11-67
11.9.1 管理設定－ユーザー名一覧表示 11-67
11.9.2 初期機能制限 11-68
11.9.3 パブリックユーザーの認証 11-69
11.9.4 ユーザー登録 11-69
11.9.5 ユーザーカウンター 11-72
11.9.6 ユーザーカウンターの表示のしかた 11-73
11.10 部門管理設定 11-74
11.10.1 部門登録 11-74
11.10.2 部門カウンター 11-76
11.10.3 部門カウンターの表示のしかた 11-76
11.11 パスワード規約 11-78
11.11.1 パスワード規約による制約 11-78
11.12 セキュリティー強化設定 11-79

第 12 章 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）

12.1 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方 12-2
12.1.1 本機の設定 12-2
12.1.2 ユーザー登録のしかた 12-5
12.1.3 本機へのログイン 12-15
12.1.4 タッチ＆プリント機能 12-16

第 13 章 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）

13.1 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方 13-2
13.1.1 本機の設定 13-2
13.1.2 ユーザー登録のしかた 13-4
13.1.3 本機へのログイン 13-14
13.1.4 タッチ＆プリント機能 13-15

第 14 章 付録

14.1 文字を入力するには 14-2
14.1.1 キーボードの拡大表示 14-2
14.1.2 英数字を入力する 14-3
14.1.3 ひらがなを入力する 14-3
14.1.4 カタカナを入力する 14-4
14.1.5 漢字を入力する 14-4
14.1.6 文字コードで入力する 14-6
14.2 入力文字一覧 14-7
14.3 用語集 14-14

第 15 章 索引

15.1 使用別索引 15-2
15.2 項目別索引 15-6

こんな機能があります

用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。

参照
詳しくは、p. 2-28 をごらんください。

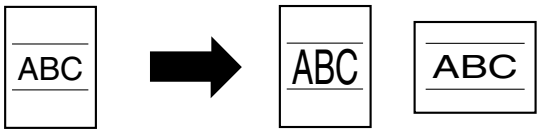
用紙サイズに合わせてコピーする

原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。

参照
詳しくは、p. 2-30 をごらんください。

縦と横の倍率を別々に設定する

縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 2-34 をごらんください。

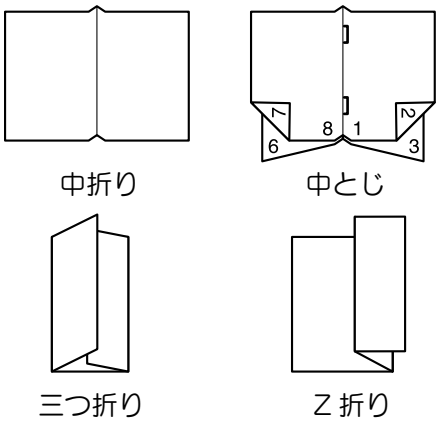
原稿を分割して読込む

大量の原稿を分割して読込ませることができます。原稿ガラスを使用して両面コピーをとったり、ADF と原稿ガラスを切換えて読込み、1 つのジョブとして 1 度にコピーできます。

参照
詳しくは、p. 2-8、p. 2-12 をごらんください。

中折り／中とじ／三つ折り／Z 折りする

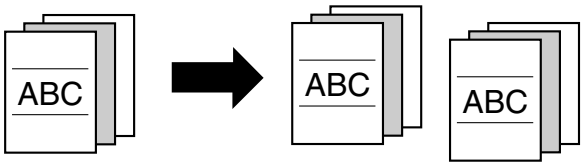
コピーした用紙を中央で折り曲げたり（中折り）、中折りした用紙をステープルでとじる（中とじ）ことができます。また、用紙を三つ折り、Z 折りにすることもできます。



参照
詳しくは、p. 2-59 をごらんください。

仕分けしてコピーする

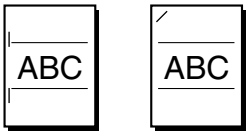
コピーの仕上り方法を選択できます。



参照
詳しくは、p. 2-51 をごらんください。

ステープルでとじる

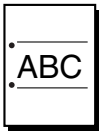
複数枚の原稿をステープルでとじてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 2-54 をごらんください。

パンチ穴をあける

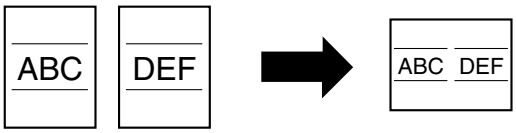
ファイリング用にパンチ穴をあけてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 2-57 をごらんください。

複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

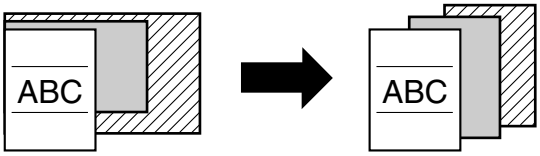
複数枚の原稿を、1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 2-43 をごらんください。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

サイズが異なる原稿を、1 度に読込んでコピーできます。



参照
詳しくは、p. 2-17 をごらんください。

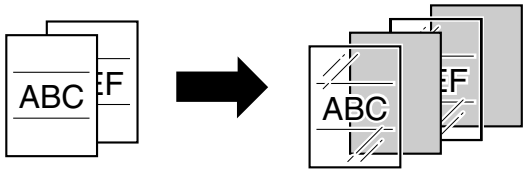
原稿の画質に合わせてコピーする

原稿の画質に合った画像でコピーできます。

参照
詳しくは、p. 2-45 をごらんください。

OHP フィルムの間に合紙を差込んでコピーする

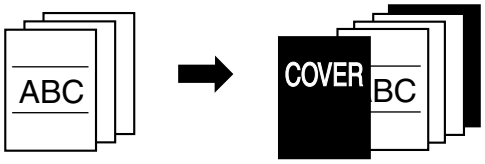
OHP フィルム同士が貼り付くことを防ぐため、OHP フィルム間に用紙（合紙）を挿入してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-2 をごらんください。

表紙をつける

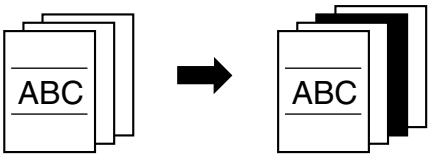
コピーに表紙を挿入したり、表紙のみ別の用紙（色紙等）を使用してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-4 をごらんください。

別の用紙を挿入してコピーする

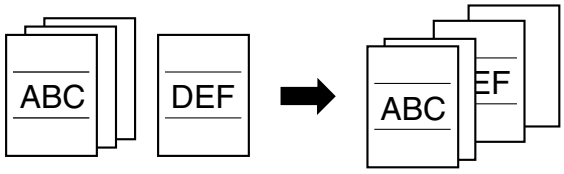
指定のページに別の用紙（色紙等）を挿入してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-7 をごらんください。

追加原稿を指定ページに差し込んでコピーする

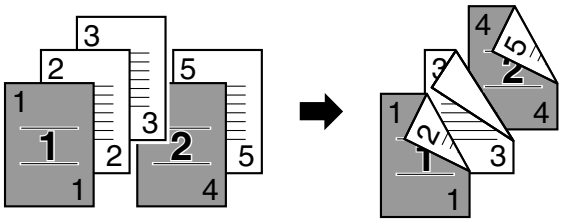
最初に読込んだ原稿の指定ページに、あとから読込んだ原稿を差し込んでコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-10 をごらんください。

指定のページをオモテ面にして両面コピーする

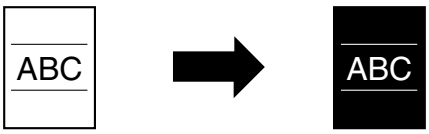
両面コピーする場合、指定のページが必ずオモテ面になるようにコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-12 をごらんください。

ネガポジ反転してコピーする

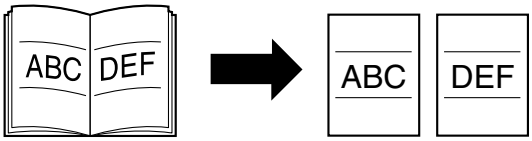
原稿の画像の白黒を反転させてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-19 をごらんください。

見開きを左右別々にコピーする

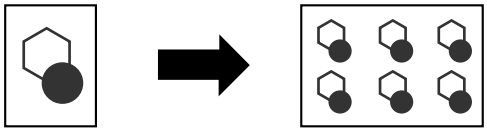
本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページごとに分割してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-20 をごらんください。

画像を繰り返してコピーする

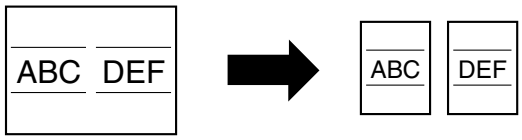
1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-24 をごらんください。

1 枚の原稿を分割してコピーする

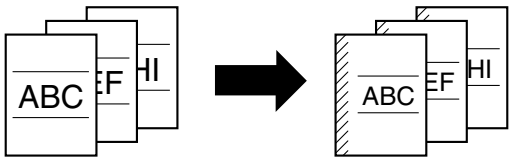
1 枚の原稿画像を 2 分割し、それぞれ別のページとしてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-28 をごらんください。

とじしろをつけてコピーする

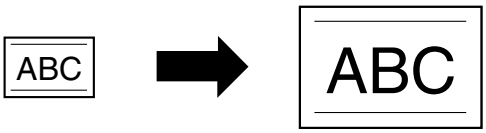
ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-30 をごらんください。

画像を用紙サイズに合わせてコピーする

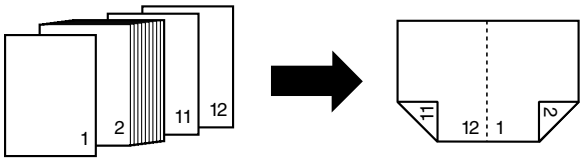
原稿に対して用紙が大きい場合に、原稿の画像を用紙いっぱいにコピーすることができます。



参照
詳しくは、p. 7-33 をごらんください。

雑誌のようなページレイアウトでコピーする

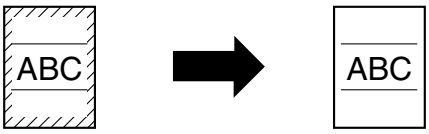
雑誌や週刊誌のような中とじ用のレイアウトになるように、ページを入れ換えてコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-35 をごらんください。

原稿の一部を消してコピーする

パンチ穴の影や受信したファクスの通信記録、本などの原稿をコピーしたときのとじ部分や周囲部に写る影などを消してコピーできます。



参照
詳しくは、p. 7-37 をごらんください。

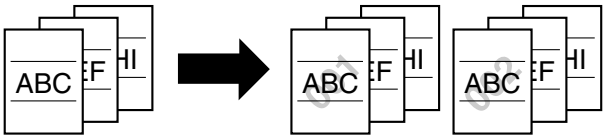
1 部コピーして条件を確認する

大量部数のコピーをする前に 1 部だけテスト印刷し、コピーの仕上りを確認できます。

参照
詳しくは、p. 3-4 をごらんください。

日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする

コピーに日付 / 時刻やページ数、コピー 1 部ごとの部数管理番号などを印字できます。



参照
詳しくは、p. 7-41 をごらんください。

コピーを管理する

印刷待ち状況の確認をし、管理できます。

参照
詳しくは、p. 10-2 をごらんください。

コピー条件を登録する

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼出してコピーできます。

参照
詳しくは、p. 3-7 をごらんください。

設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。

参照
詳しくは、p. 3-2 をごらんください。

タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、基本的な操作をしやすくします。

参照

詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。

機能解説の画面を表示させる

各部の名称、はたらき、機能の詳細をヘルプ画面として表示させます。

参照

詳しくは、p. 3-12 をごらんください。

割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。

参照

詳しくは、p. 3-6 をごらんください。

ページの見かた

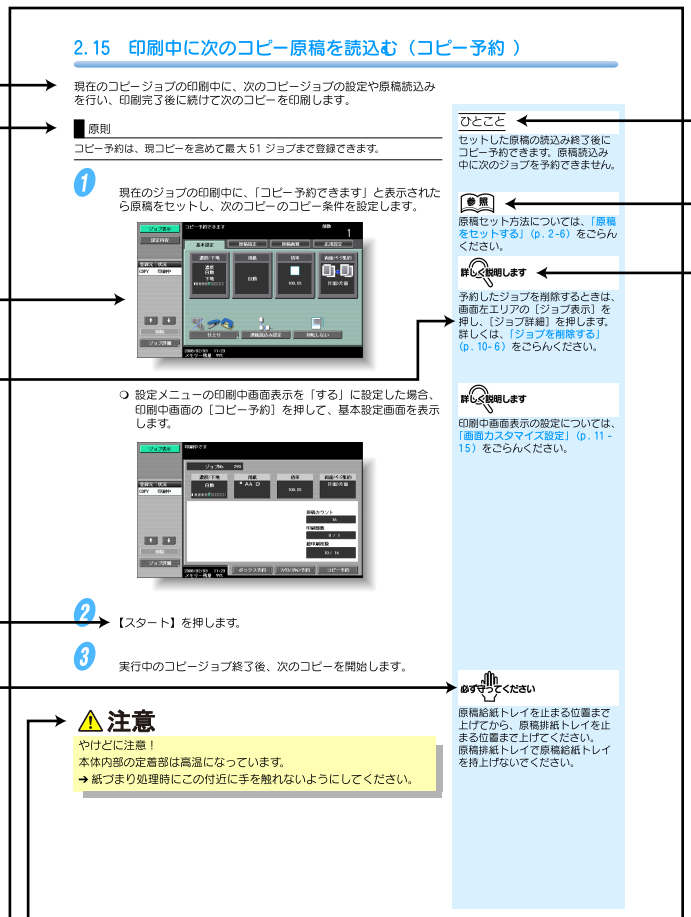
原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

項目タイトルの概要を説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。お読みになることをおすすめします。



（このページは実際には存在しません。）

操作の結果をタッチパネルで確認します。

［　　］
タッチパネル上のキー名称を示します。

【　　】
操作パネル（タッチパネルを除く）のキー名称、電源スイッチなどを示します。

必ずお守ってください

操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず指示に従ってください。

⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

詳しく説明します

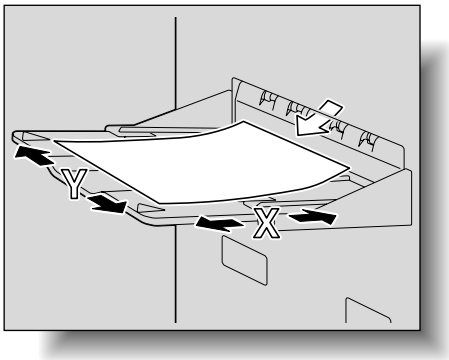
操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

参照

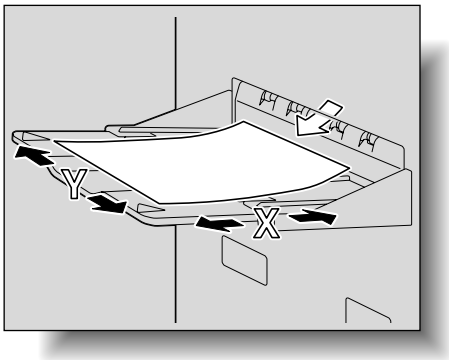
参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

原稿と用紙の表示について

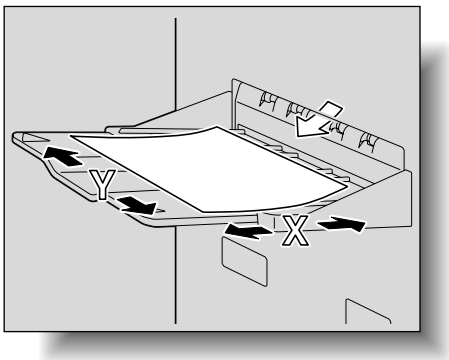
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。



マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、スキャナー機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編（IC-208））

オプションのイメージコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

オプションのハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。

ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールや FTP などによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。
ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

ネットワークを利用した各機能について、おもに PageScope Web Connection を使用した設定方法を記載しています。

ネットワーク機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて
商標およびライセンスについて記載しています。
本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

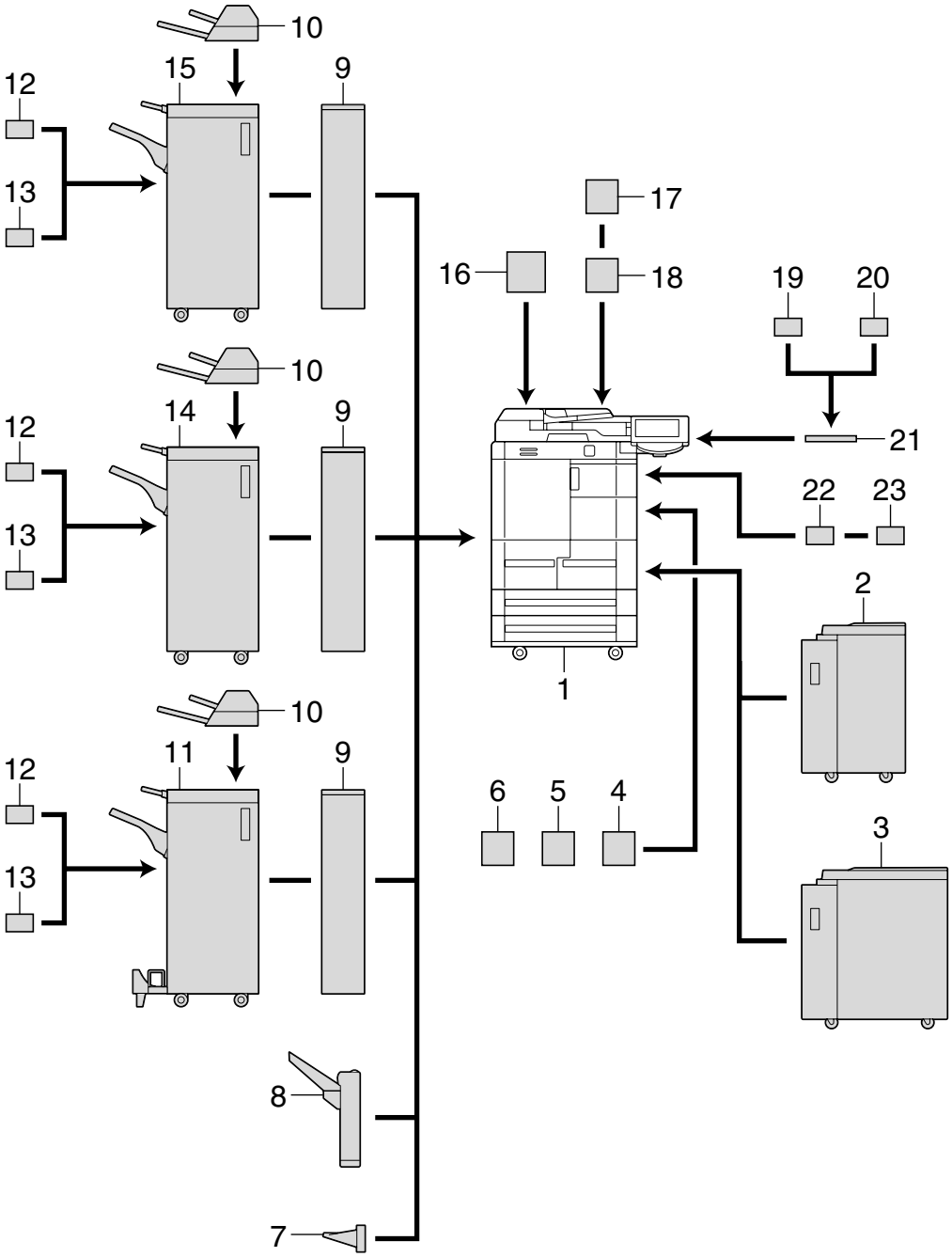
第 1 章
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

1.1　各部の名称とはたらき 1-2
1.2　操作パネルの角度をかえる 1-30
1.3　主電源と副電源を入れる 1-32
1.4　トレイ 1/2 へ用紙をセットする 1-48
1.5　トレイ 3/4 へ用紙をセットする 1-49
1.6　LCT（LU-405/LU-406）へ用紙をセットする 1-50
1.7　手差しトレイへ用紙をセットする 1-52
1.8　トレイの用紙サイズを変更する 1-56

1.1 各部の名称とはたらき

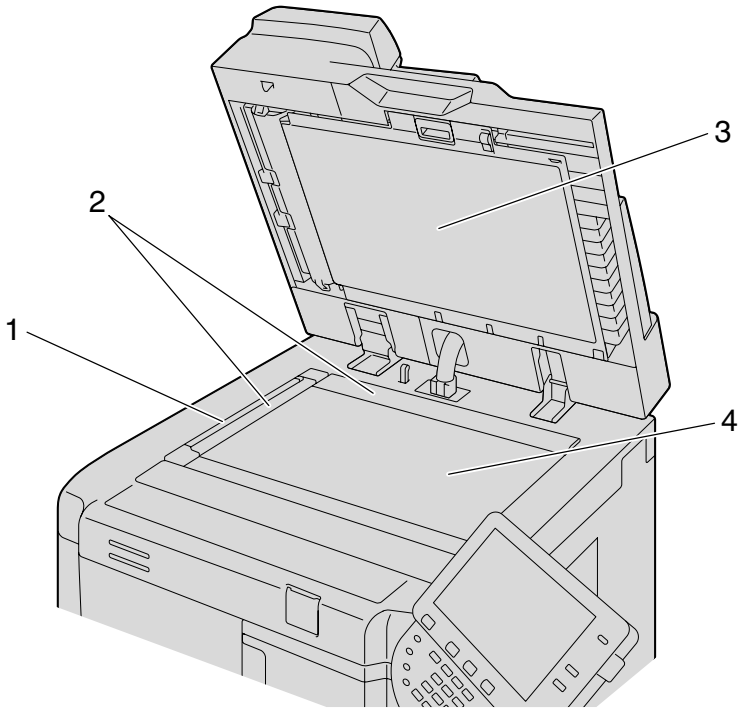
1.1.1 オプション構成

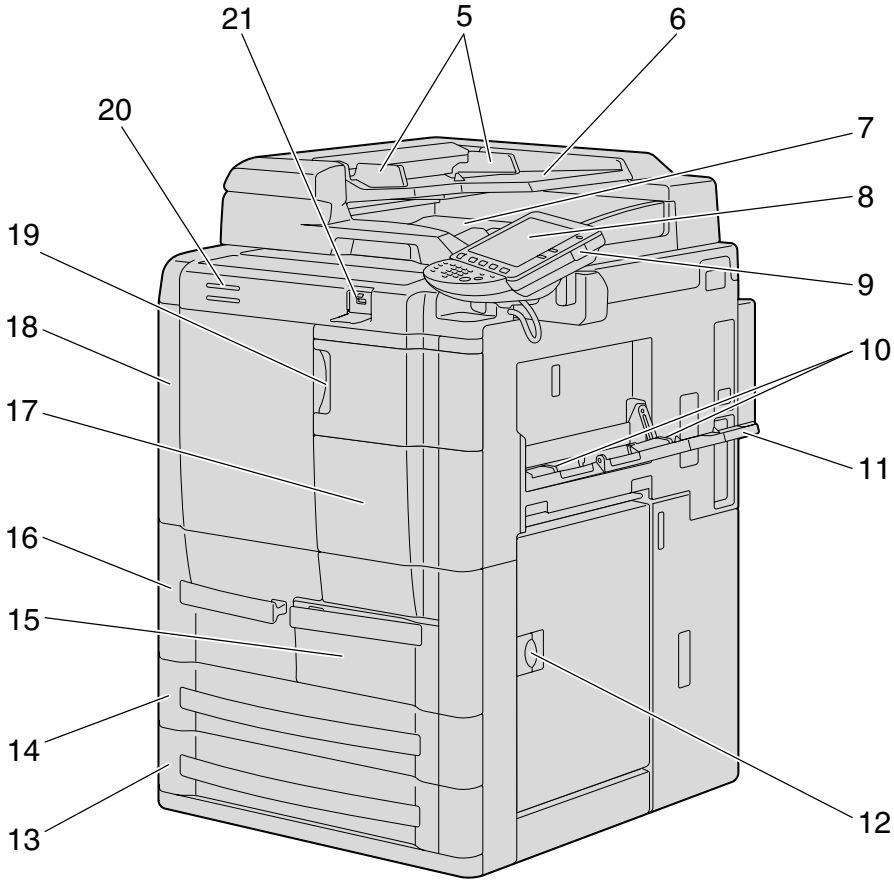


No	名称	説明
1	本体	スキャナ部、プリント部、ADF 部、給紙部（トレイ 4 段 + 手差しトレイ）で構成されています。
2	大容量給紙ユニット LU-405	5,000 枚（64 g/m^2）までの用紙をセットできます。
3	大容量給紙ユニット LU-406	4,500 枚（64 g/m^2）までの用紙をセットできます。
4	ローカル接続キット EK-703	ローカルプリンターとして使用する場合に装着します。
5	セキュリティキット SC-506	ハードディスクに保存されているデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。
6	ハードディスク HD-510	原稿読込み枚数を増やしたり、複数ジョブの読込みをするためにセットします。

No	名称	説明
7	排紙トレイ OT-505	プリントされた用紙が排紙されます。
8	シフトトレイ SF-602	プリントした用紙をオフセット排紙して分類整理します。
9	Z 折りユニット ZU-605	フィニッシャーに装着することにより、Z 折りやパンチ穴をあけることができます。
10	ポストインサータ PI-504	フィニッシャーに装着することにより、コピーした用紙にカバー紙を挿入することができます。また、手動でフィニッシャーを操作することもできます。
11	フィニッシャー FS-610	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能として、ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、ステープル、フェイスアップ、中とじ、中折り、三つ折りを選択できます。
12	パンチキット PK-502	フィニッシャーに装着することにより、パンチ穴をあけることができます。
13	パンチキット PK-503	フィニッシャーに装着することにより、パンチ穴をあけることができます。
14	フィニッシャー FS-525	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能として、ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、フェイスアップ、ステープルを選択できます。
15	フィニッシャー FS-524	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能として、ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、フェイスアップ、ステープルを選択できます。
16	イメージコントローラ IC-208	本機をネットワークプリンターやネットワークスキャナーとして使用するときに装着します。
17	FAX キット FK-502	本機をファクス機として使用できます。
18	取り付けキット MK-716	FAX キットを取付けるときに使用します。
19	認証装置（指静脈生体認証タイプ） AU-101	身体内部の指静脈パターンを読取ってユーザ認証を行うことができます。
20	認証装置（IC カード認証タイプ） AU-201	IC カードに記録された情報を読取ってユーザ認証を行うことができます。
21	ワーキングテーブル WT-504	原稿などを一時的に置くことができます。また、認証装置を設置する場合にも使用します。
22	キーカウンターソケット	キーカウンターを取付けるのに必要なソケットです。
23	キーカウンター	出力枚数の管理をするときに本機にセットします。

1.1.2　本体外部

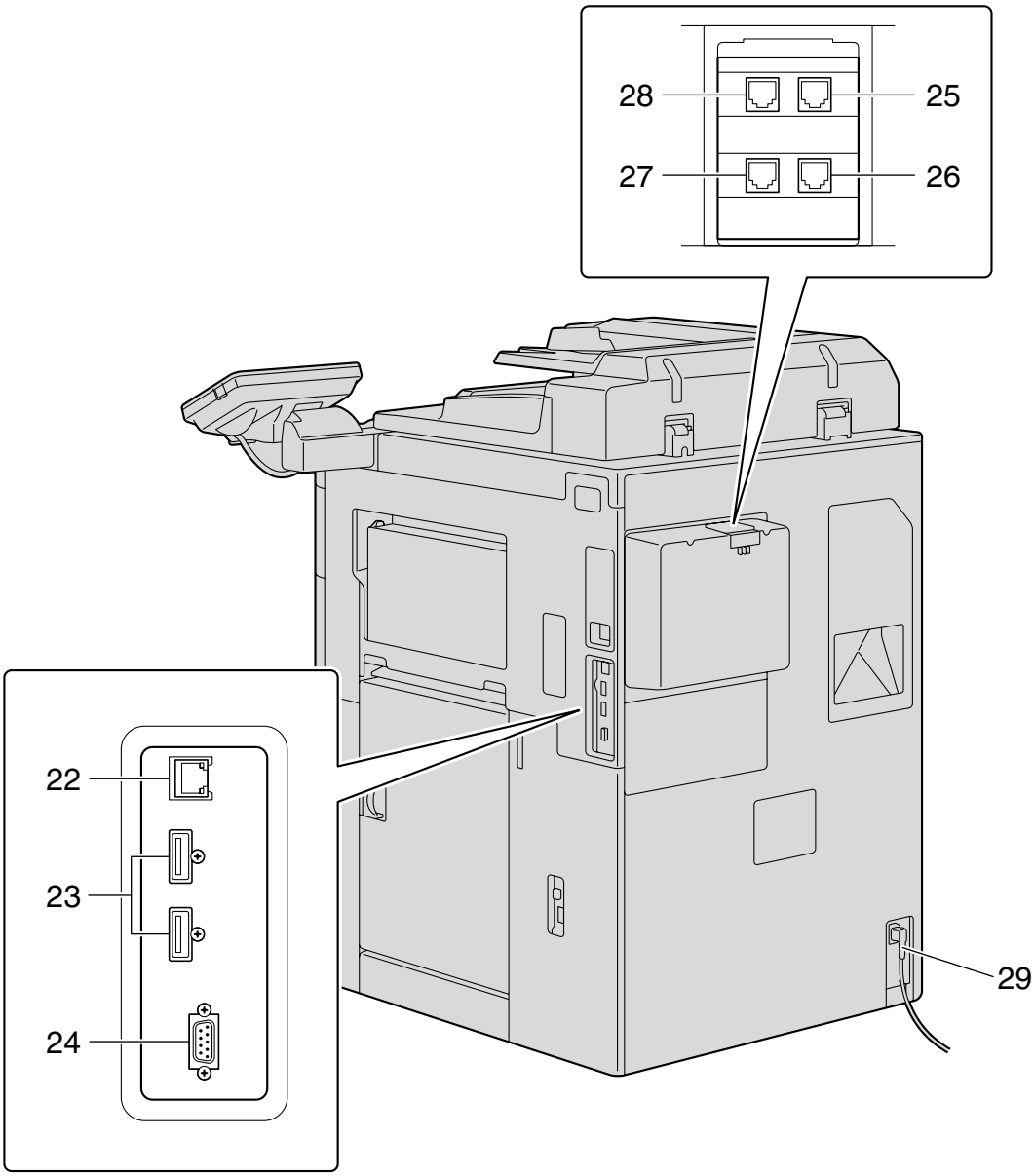




必ず守ってください

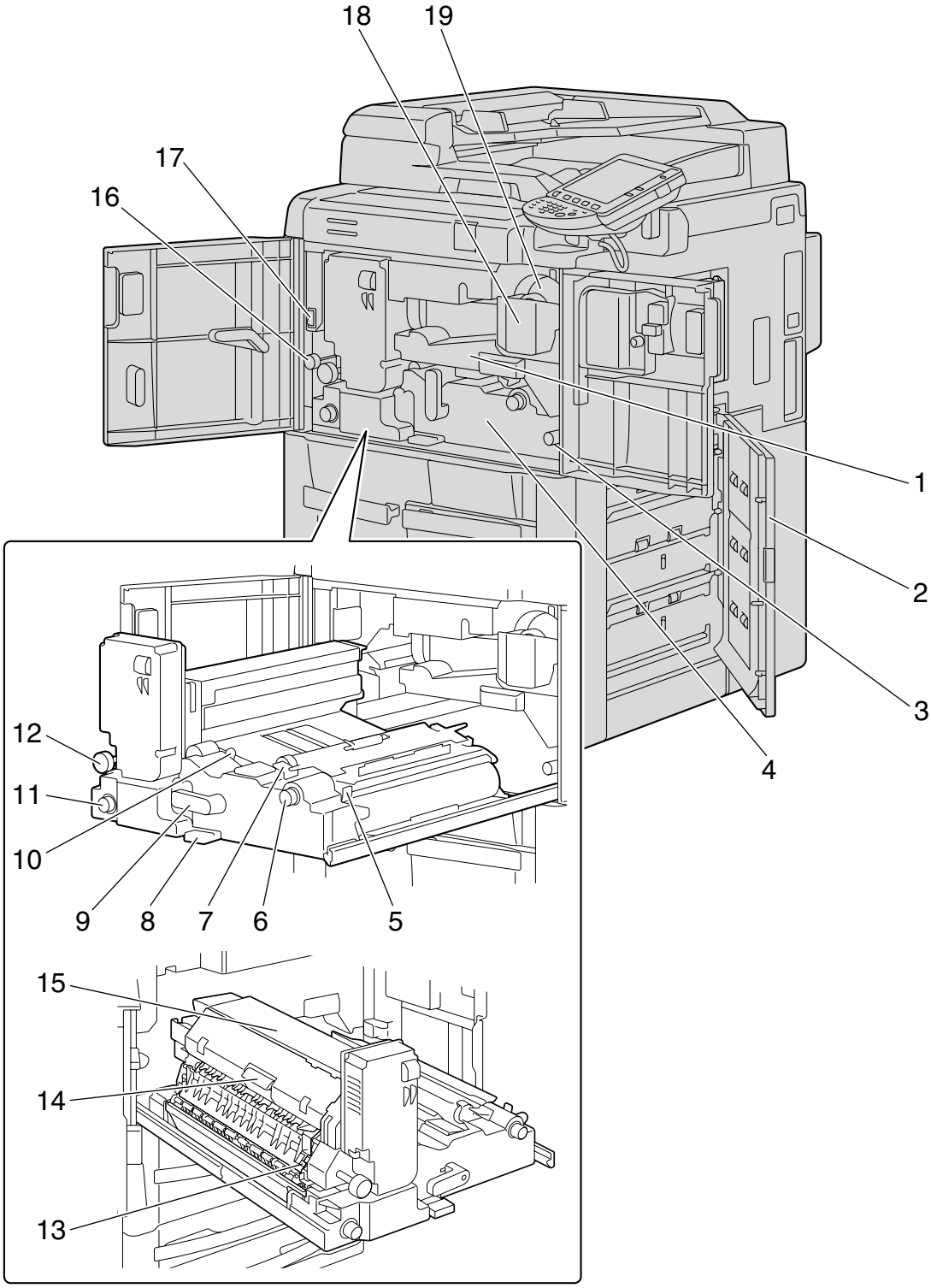
操作パネルを持って本機の移動は行わないでください。

No	名称	説明
1	原稿読取りガラス	ADF にセットした原稿を読込みます。
2	原稿スケール	原稿ガラスに原稿をセットするとき、指標として使用します。
3	原稿押さえパッド	原稿ガラス上にセットした原稿を押さえます。
4	原稿ガラス	コピーする面を下にしてセットした原稿を読込みます。
5	原稿ガイド	セットした原稿に沿わせます。
6	原稿給紙トレイ	読込む原稿を上向きにセットします。
7	原稿排紙トレイ	読込まれた原稿が排紙されます。
8	操作パネル	本機の各種設定、動作スタートなどの操作をします。
9	副電源スイッチ	コピー、スキャニングの機能をオン／オフします。オフにすると、プリント、ファクスのデータ受信、出力機能以外はオフになり、節電状態になります。
10	ガイド板	セットした用紙に沿わせます。
11	手差しトレイ	他のトレイにセットされていない用紙や、ほかのトレイにはセットできない用紙（厚紙、OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル用紙など）にプリントするときに開いて使用します。
12	縦搬送ドア解除レバー	紙づまりのとき、縦搬送ドアを開きます。
13	トレイ 4	A3 ～ A5 の用紙を 550 枚（普通紙 64 g/m^2）セットできます。
14	トレイ 3	A3 ～ A5 の用紙を 550 枚（普通紙 64 g/m^2）セットできます。
15	トレイ 2	A4 ～ A5 の用紙を 1100 枚（普通紙 64 g/m^2）セットできます。
16	トレイ 1	A4 ～ A5 の用紙を 1650 枚（普通紙 64 g/m^2）セットできます。
17	右前ドア	紙づまり処理をするときに開きます。
18	左前ドア	紙づまり処理をするときに開きます。
19	トナー補給ドア	トナーカートリッジの交換を行うときに開きます。
20	機械状態表示ランプ	本機の状態を青と赤のランプの点灯、点滅で表示します。
21	USB ポート（タイプ A） USB2.0/1.1	外部メモリー（USB メモリー）を接続するときに使用します。


28
25
27
26
22
23
24
29

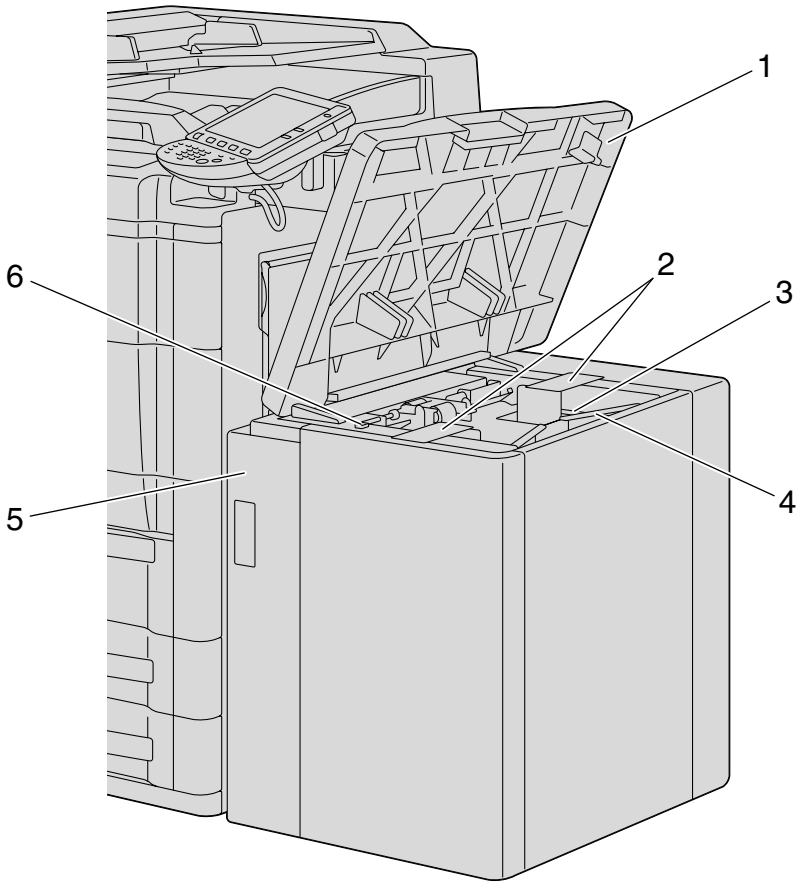
No	名称	説明
22	ネットワーク用ポート（10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）	本機をネットワークプリンター、ネットワークスキャナーとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
23	USB ポート（タイプ A）USB2.0/1.1	USB ケーブルで認証装置（指静脈 生体認証タイプ）、認証装置（IC カード認証タイプ）などを接続するときに使用します。
24	RS232C ポート	CS Remote Care 用のモデムを接続するときに使用します。
25	ポート 1 回線コネクター（LINE PORT1）	一般加入電話回線を接続するときに使用します。
26	ポート 2 回線コネクター（LINE PORT2）	一般加入電話回線を接続するときに使用します。 オプションの回線拡張キットを装着した場合に使用します。
27	外付け電話機接続用コネクター（TEL PORT1）	外付け電話機のコードを接続します。
28	外付け電話機接続用コネクター（TEL PORT2）	外付け電話機のコードを接続します。
29	電源コード	本機に電源を供給します。

1.1.3　本体内部



No	名称	説明
1	ドラム部	コピー画像を形成する部分です。
2	縦搬送ドア	縦搬送部で紙づまりが起こったときに開けます。
3	つまみ【M1】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
4	定着搬送ユニット	紙づまりのときに引出して処理します。
5	カバー【M12】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
6	つまみ【M2】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
7	カバー【M3】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
8	カバー【M11】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
9	レバー【M4】	紙づまり処理のとき、レバーを左に倒して定着搬送ユニットを引出します。
10	搬送レバー	はがきや A5 厚紙を印刷するときに切換えます。
11	つまみ【M9】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
12	つまみ【M7】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
13	カバー【M8】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
14	カバー【M6】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
15	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
16	つまみ【M10】	定着搬送ユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
17	主電源スイッチ	本体の電源の ON または OFF を行います。
18	トナーユニットレバー	トナーカートリッジを交換するときに、手前に引いてトナーユニットを引出します。
19	トナーカートリッジ	トナーがなくなったときに交換します。

1.1.4　大容量給紙ユニット LU-405



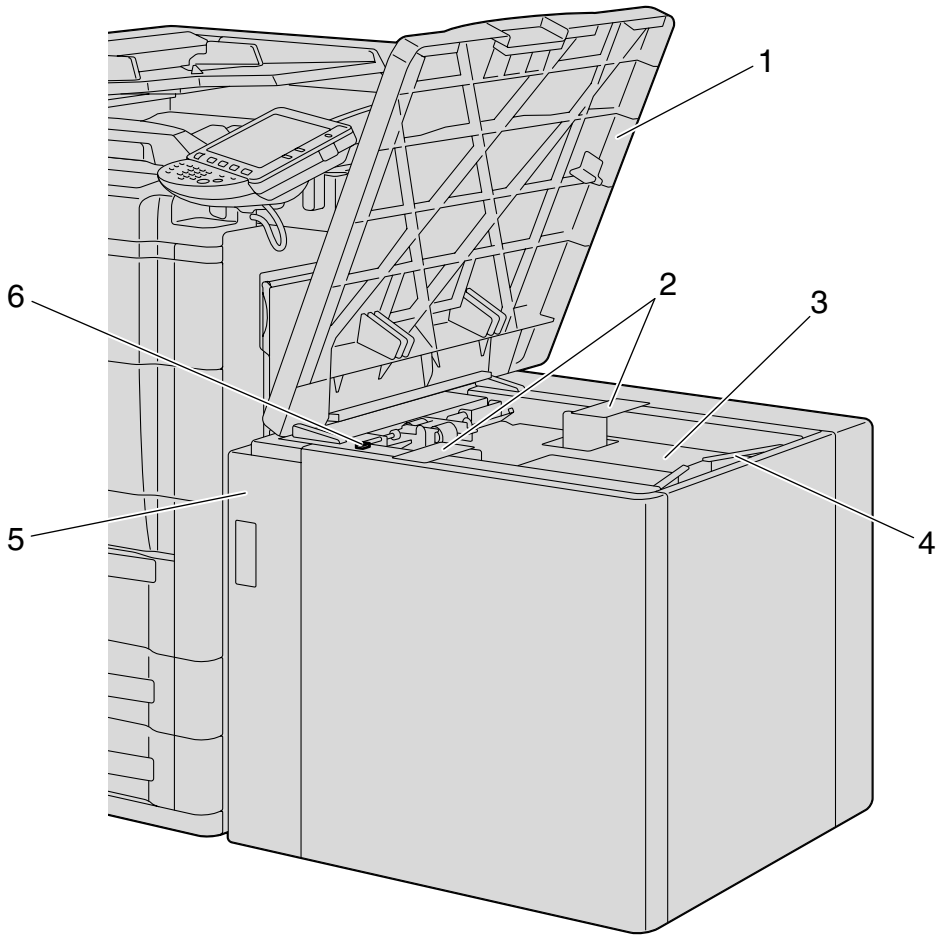
必ず守ってください

大容量給紙ユニットに足をかけてのったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

大容量給紙ユニット LU-405

No	名称	説明
1	大容量トレイ上カバー	用紙の補給または紙づまりの処理をするときに開きます。
2	ガイド板	セットする用紙の側面部を固定します。
3	トレイ底板	トレイ底板用紙が使われるごとに上にあがります。トレイ底板下降ボタンを押すと下降します。
4	後端ストッパー	セットする用紙の後端を固定します。
5	大容量トレイ前ドア	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	トレイ底板下降ボタン	用紙補給のときに押してトレイ底板を下降させます。

1.1.5　大容量給紙ユニット LU-406



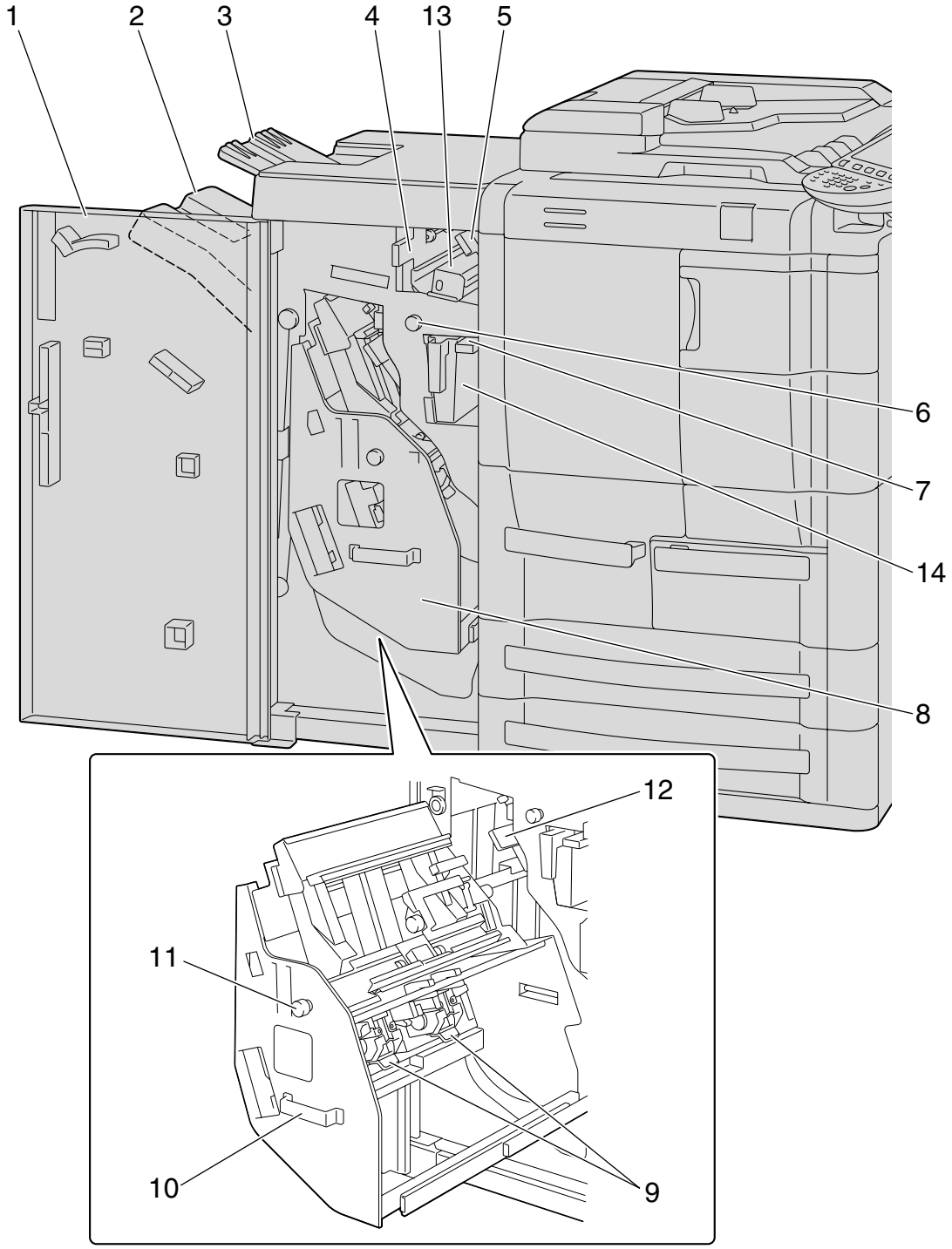
必ずお守ってください

大容量給紙ユニットに足をかけてのったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

大容量給紙ユニット LU-406

No	名称	説明
1	大容量トレイ上カバー	用紙の補給または紙づまりの処理をするときに開きます。
2	ガイド板	セットする用紙の側面部を固定します。
3	トレイ底板	トレイ底板用紙が使われるごとに上にあがります。トレイ底板下降ボタンを押すと下降します。
4	後端ストッパー	セットする用紙の後端を固定します。
5	大容量トレイ前ドア	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	トレイ底板下降ボタン	用紙補給のときに押してトレイ底板を下降させます。

1.1.6　フィニッシャー FS-524 ／パンチキット PK-502/PK-503



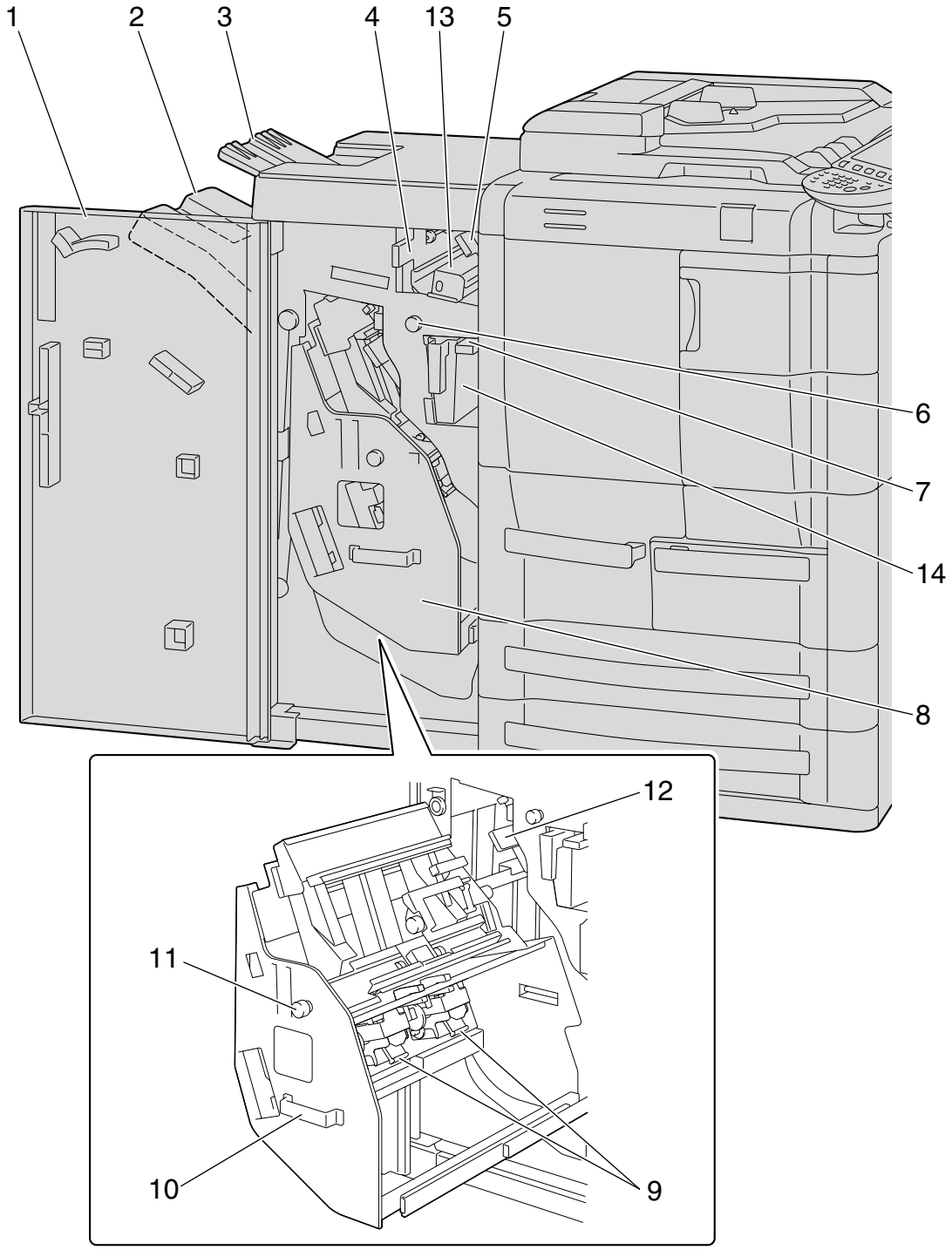
フィニッシャー FS-524

No	名称	説明
1	前ドア	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に開きます。
2	メイン排紙トレイ（トレイ 2）	印刷された用紙が排紙されます。
3	サブ排紙トレイ（トレイ 1）	印刷された用紙が排紙されます。
4	ガイドレバー【FN4】	紙づまりの処理をするときに開きます。
5	ガイドレバー【FN1】	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	紙づまり処理ダイアル【FN3】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
7	ガイドレバー【FN2】	紙づまりの処理をするときに開きます。
8	スタッカーユニット	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に引出します。
9	ステープルホルダー	針づまりやステープルカートリッジ交換時にスタッカーから取出します。
10	取っ手【FN7】	スタッカーを出し入れするときにここを持って行います。
11	紙づまり処理ダイアル【FN6】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
12	ガイドレバー【FN5】	紙づまりの処理をするときに開きます。

パンチキット PK-502/PK-503

No	名称	説明
13	パンチキット	フィニッシャー FS-524 にパンチキットを装着することで、印刷された用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけることができます。
14	パンチくずボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取出します。

1.1.7　フィニッシャー FS-525 ／パンチキット PK-502/PK-503



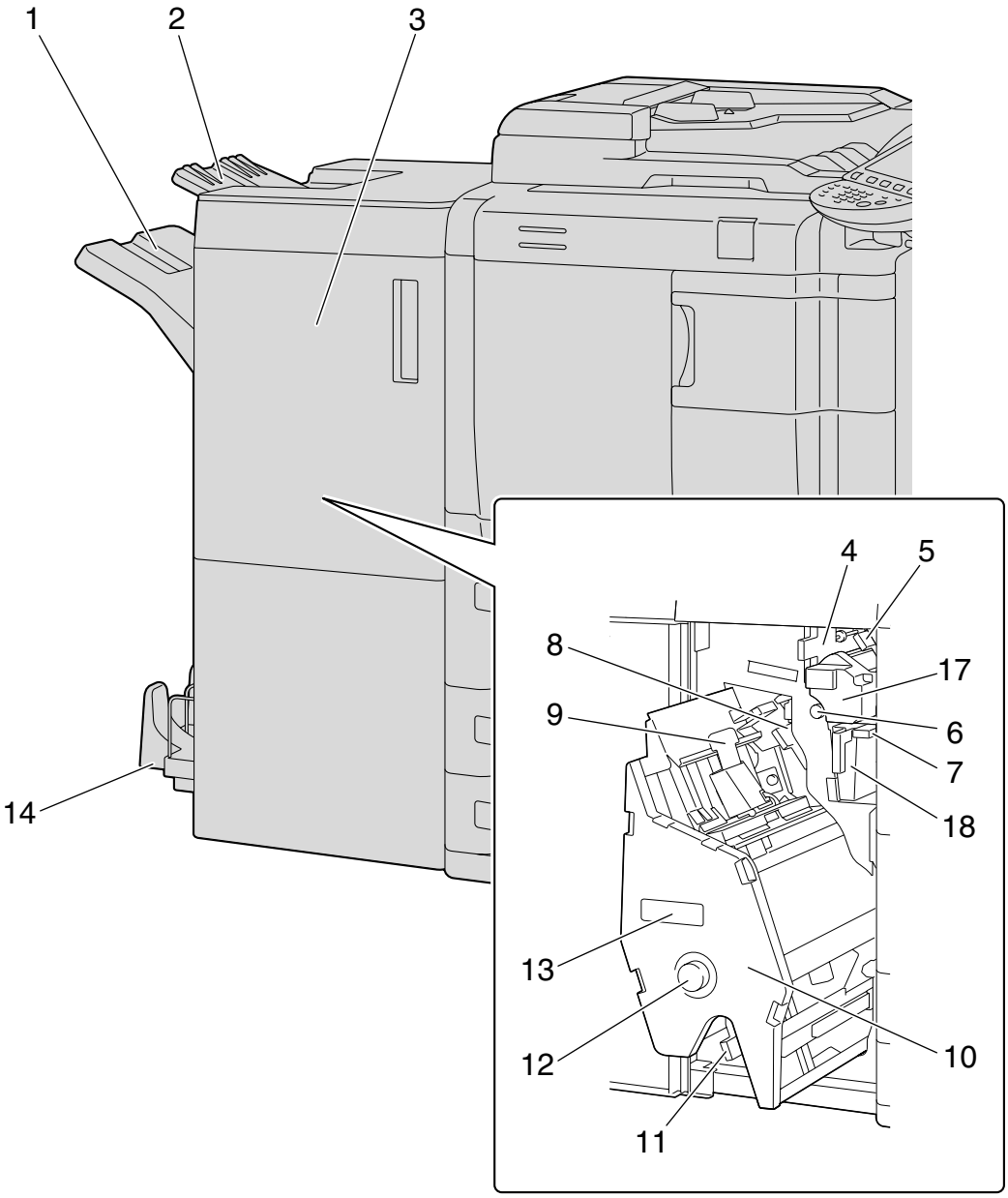
フィニッシャー FS-525

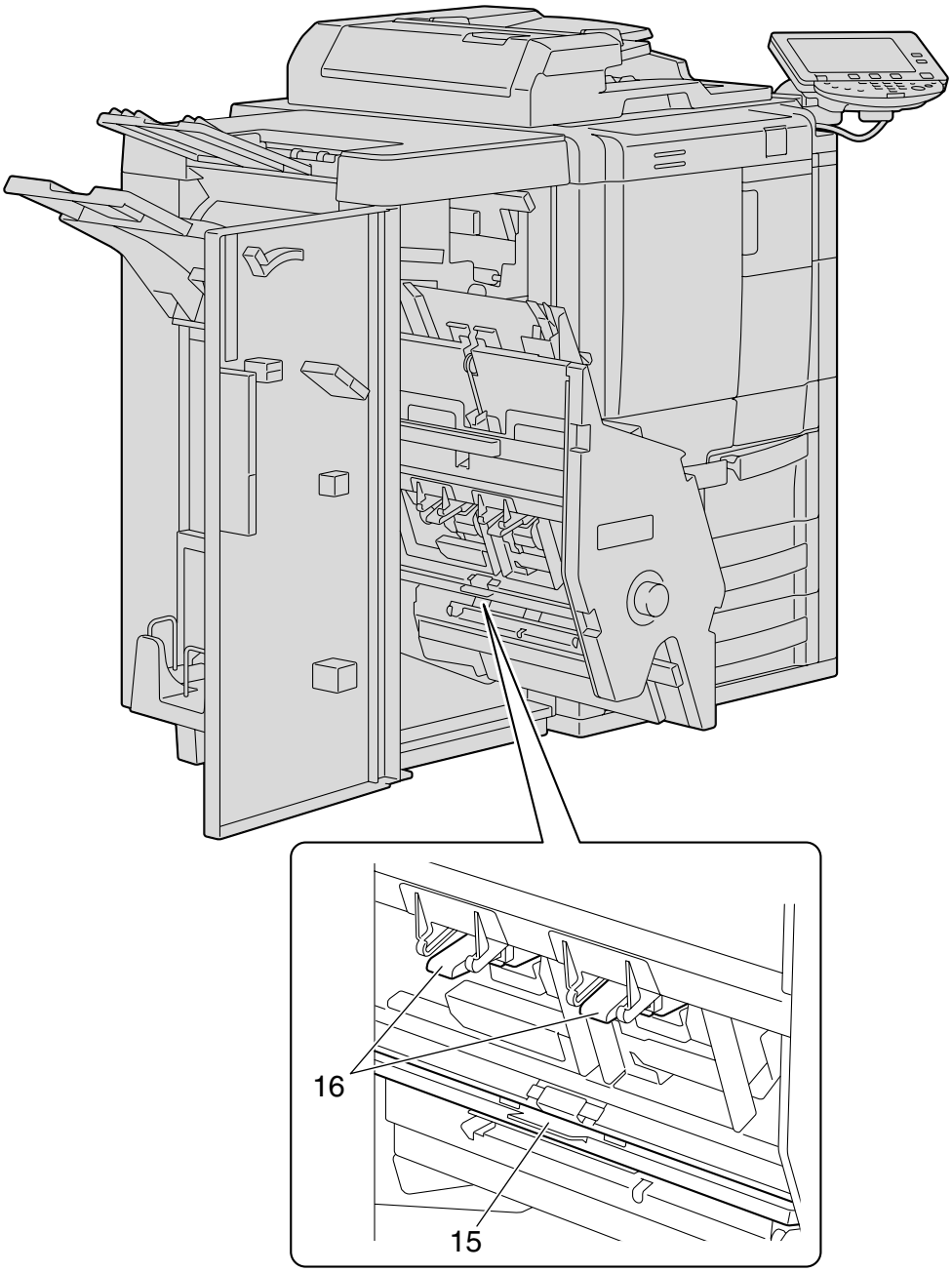
No	名称	説明
1	前ドア	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に開きます。
2	メイン排紙トレイ（トレイ 2）	印刷された用紙が排紙されます。
3	サブ排紙トレイ（トレイ 1）	印刷された用紙が排紙されます。
4	ガイドレバー【FN4】	紙づまりの処理をするときに開きます。
5	ガイドレバー【FN1】	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	紙づまり処理ダイアル【FN3】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
7	ガイドレバー【FN2】	紙づまりの処理をするときに開きます。
8	スタッカーユニット	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に引出します。
9	ステープルホルダー	針づまりやステープルカートリッジ交換時にスタッカーから取出します。
10	取っ手【FN7】	スタッカーを出し入れするときにここを持って行います。
11	紙づまり処理ダイアル【FN6】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
12	ガイドレバー【FN5】	紙づまりの処理をするときに開きます。

パンチキット PK-502/PK-503

No	名称	説明
13	パンチキット	フィニッシャー FS-525 にパンチキットを装着することで、印刷された用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけることができます。
14	パンチくずボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取出します。

1.1.8　フィニッシャー FS-610 ／パンチキット PK-502/PK-503




16
15

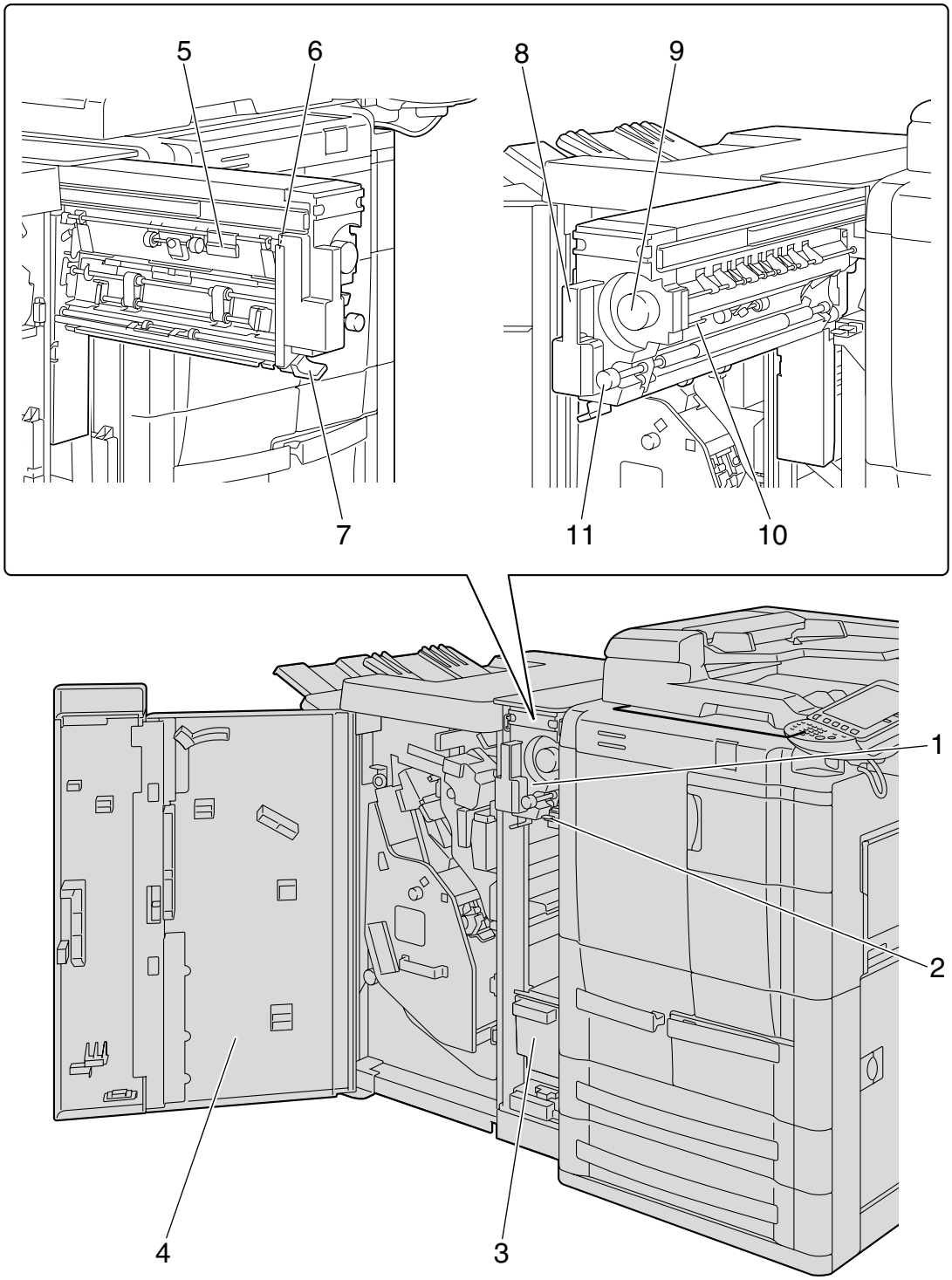
フィニッシャー FS-610

No	名称	説明
1	メイン排紙トレイ（トレイ 2）	印刷された用紙が排紙されます。
2	サブ排紙トレイ（トレイ 1）	印刷された用紙が排紙されます。
3	前ドア	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に開きます。
4	ガイドレバー【FN4】	紙づまりの処理をするときに開きます。
5	ガイドレバー【FN1】	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	紙づまり処理ダイアル【FN3】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
7	ガイドレバー【FN2】	紙づまりの処理をするときに開きます。
8	ガイドレバー【FN5】	紙づまりの処理をするときに開きます。
9	ガイドレバー【FN9】	紙づまりの処理をするときに開きます。
10	スタッカーユニット	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に引出します。
11	ガイドレバー【FN8】	紙づまりの処理をするときに開きます。
12	紙づまり処理ダイアル【FN7】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
13	取っ手【FN6】	スタッカーを出し入れするときにここを持って行います。
14	ブックレットトレイ	紙折り / 中とじ機能で印刷された用紙が排紙されます。
15	ガイドレバー【FN10】	紙づまりの処理をするときに開きます。
16	ステープルホルダー	針づまりやステープルカートリッジ交換時にスタッカーから取出します。

パンチキット PK-502/PK-503

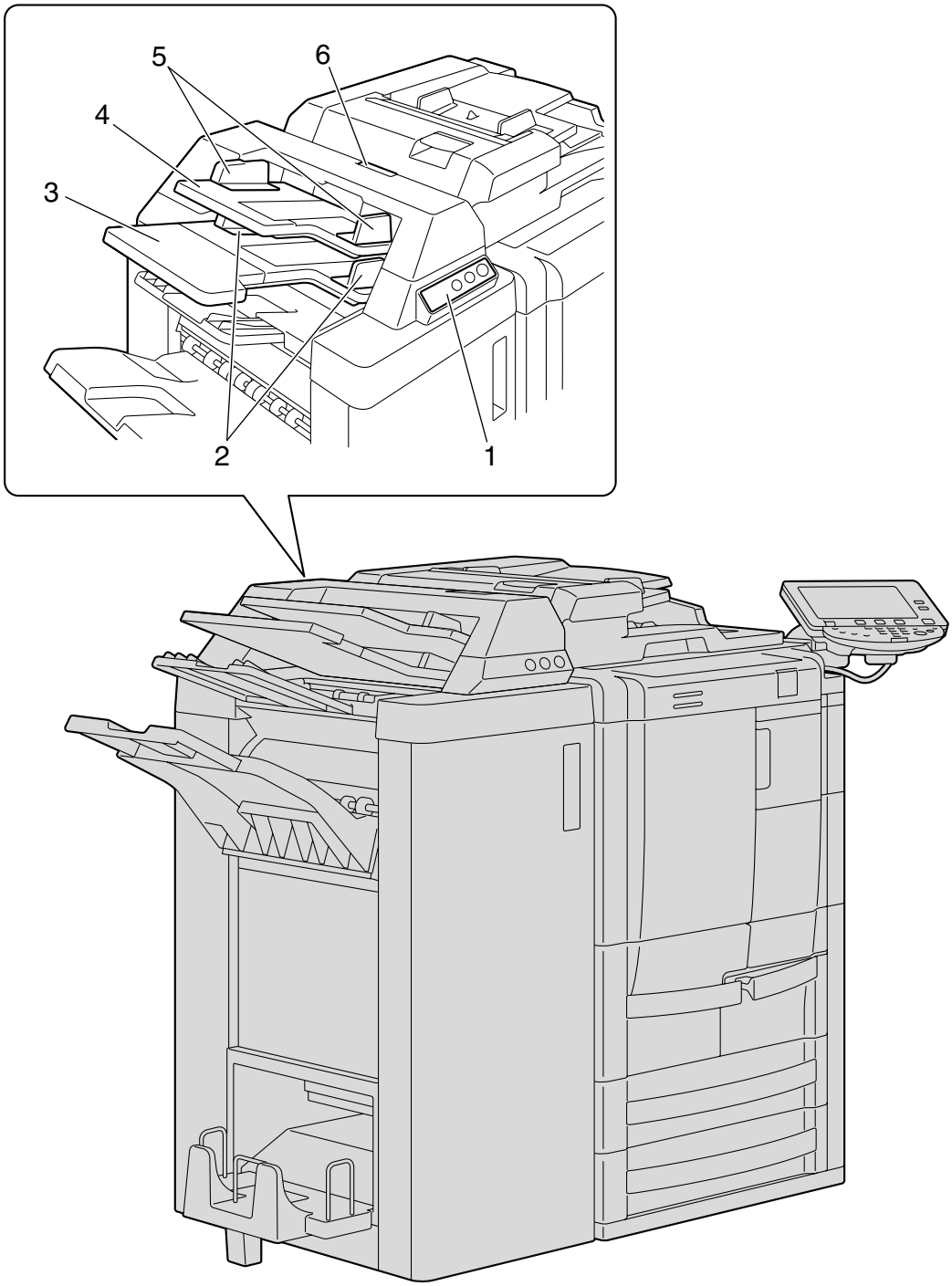
No	名称	説明
17	パンチキット	フィニッシャー FS-610 にパンチキットを装着することで、印刷された用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけます。
18	パンチくずボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取出します。

1.1.9　Z 折りユニット ZU-605



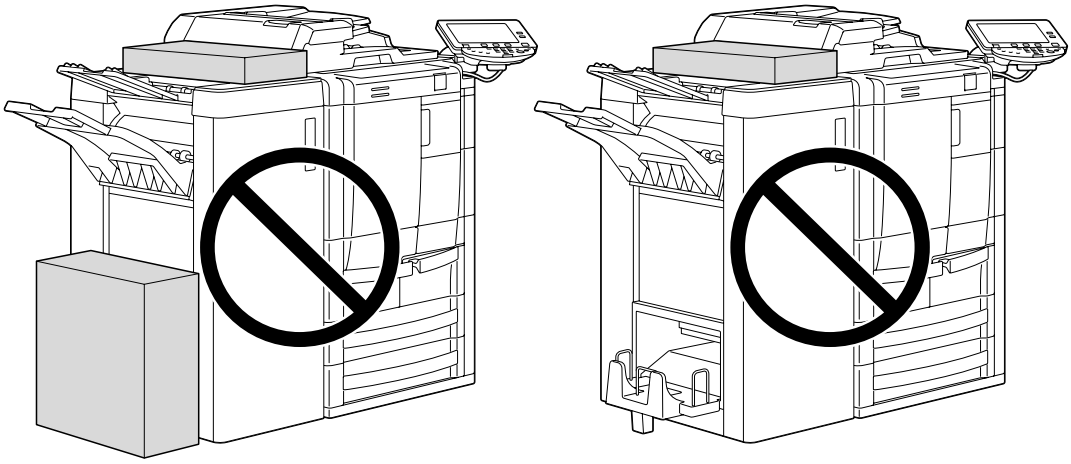
No	名称	説明
1	Z 折り / 搬送ユニット	紙づまりをおこした用紙を取出すときに引出します。
2	ガイドレバー【FN1】	紙づまりの処理をするときに開きます。
3	パンチくずボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取出します。
4	前ドア	紙づまりやパンチくずを処理するときに開きます。
5	ガイドレバー【FN6】	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	ガイドレバー【FN7】	紙づまりの処理をするときに開きます。
7	ガイドレバー【FN8】	紙づまりの処理をするときに開きます。
8	取っ手【FN2】	ユニットを出し入れするときにここを持って行います。
9	紙づまり処理ダイアル【FN5】	Z 折りユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
10	ガイドレバー【FN3】	紙づまりの処理をするときに開きます。
11	紙づまり処理ダイアル【FN4】	Z 折りユニット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。

1.1.10　ポストインサータ PI-504

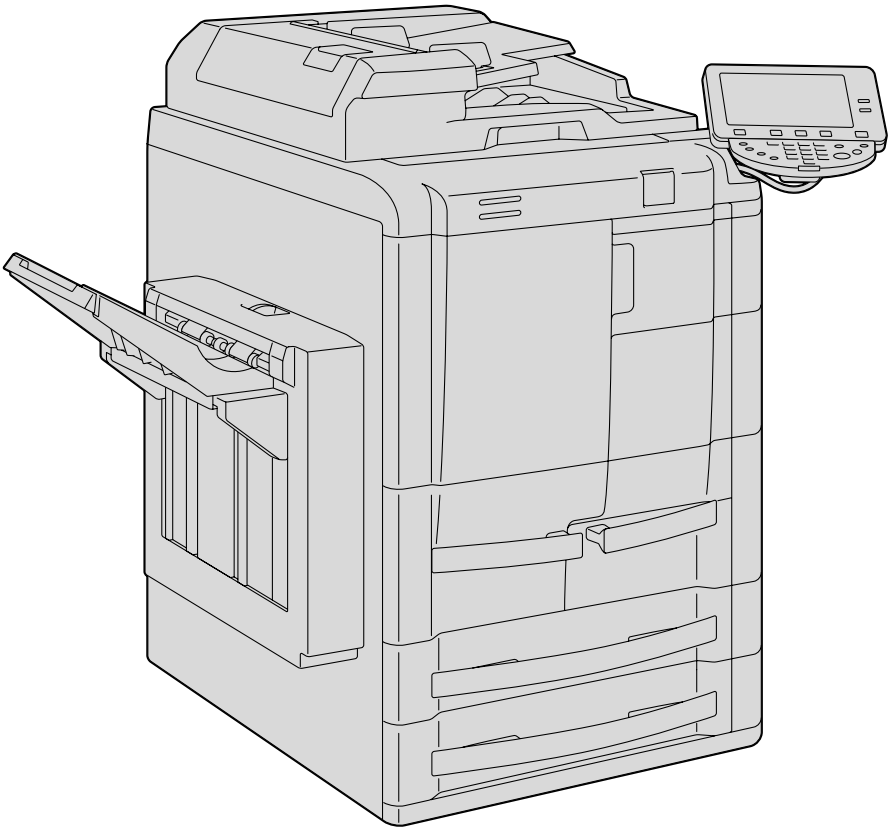


No	名称	説明
1	ポストインサータ操作パネル	手動でフィニッシャーを使用するときに操作します。（p. 2-66）
2	下段トレイガイド板	カバー紙をセットしたとき、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。
3	下段トレイ	カバー紙をセットします。
4	上段トレイ	カバー紙をセットします。
5	上段トレイガイド板	カバー紙をセットしたとき、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。
6	上ユニット解除レバー	紙づまりの処理をするときにこのレバーを上げて、上ユニットを左にスライドさせます。

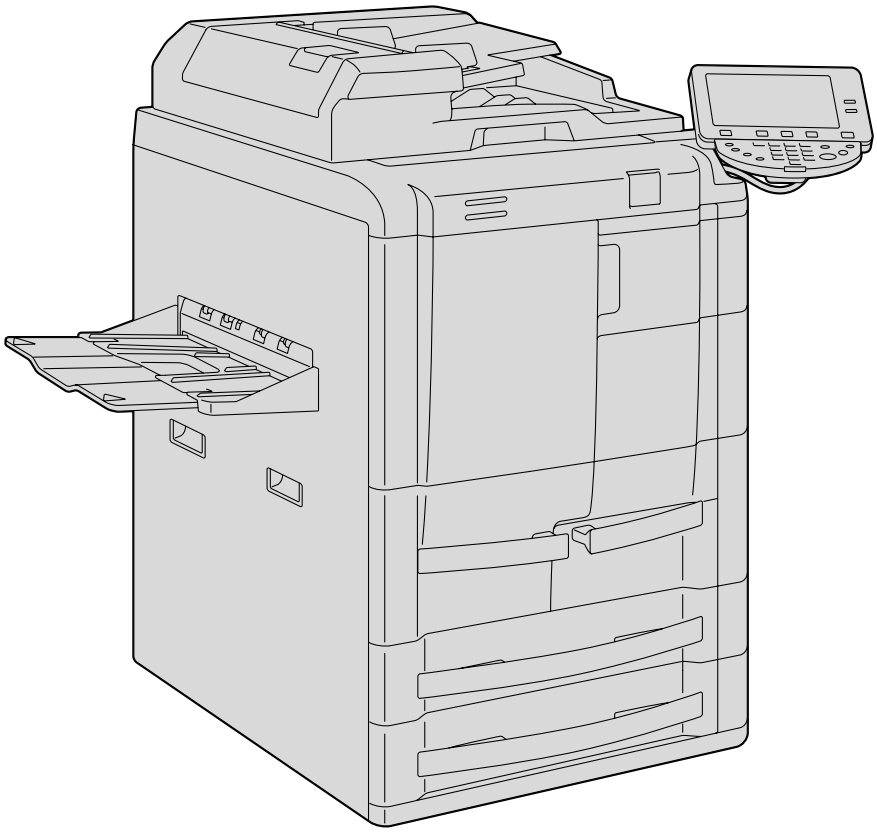
＜フィニッシャー使用時のご注意＞
フィニッシャーの上や排紙トレイの下に物を置かないでください。
故障の原因となるおそれがあります。



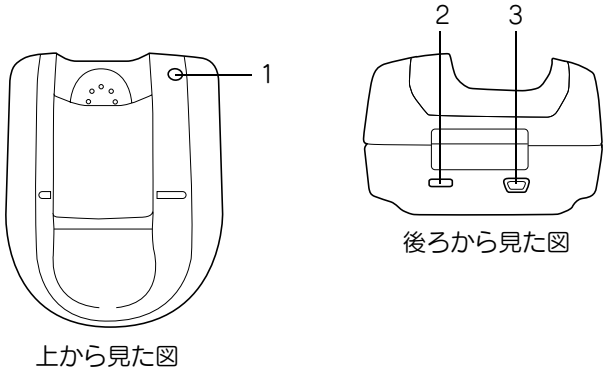
1.1.11　シフトトレイ SF-602



1.1.12　排紙トレイ OT-505

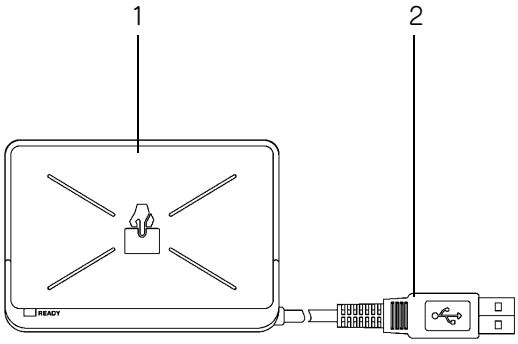


1.1.13　認証装置（指静脈生体認証タイプ）AU-101



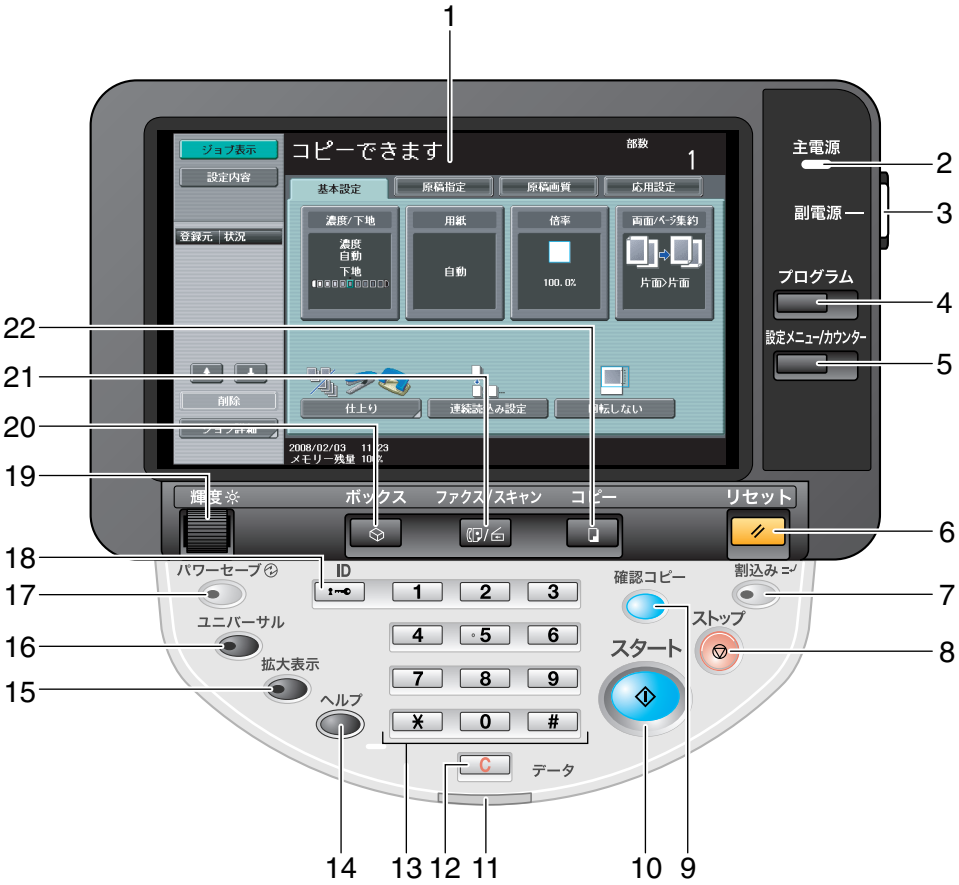
No	名称	説明
1	状態表示 LED	認証装置の状態を表します。
2	盗難防止用ロック穴	盗難防止用セキュリティーケーブルを接続します。 （ケンジントン社製セキュリティーケーブル規格に準拠）
3	USB ポート （Mini-B タイプ）	USB ケーブル （Mini-B プラグ）を接続します。

1.1.14　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201



No	名称	説明
1	カード読取部	IC カードを置きます。
2	USB ケーブル	本機と接続します。

1.1.15　操作パネル



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行うことができます。
2	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のコピー / ファクス / スキャナー機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。（p. 3-10）
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切換えることができます。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
7	【割込み】キー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能を解除できます。
8	【ストップ】キー	コピー、スキャン、印刷中に【ストップ】を押すと、動作を一時停止できます。
9	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけ印刷して仕上りを確認できます。（p. 3-4）

No	名称	説明
10	【スタート】キー	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。 一時停止中のジョブが再開します。ジョブについて詳しくは、「ジョブ表示画面の概要」（p. 10-2）をごらんください。
11	データランプ	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。 印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。未出力のファクスデータ、蓄積されたファクスデータがある場合は青色に点灯します。
12	【C】クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）をクリアすることができます。
13	テンキー	部数の設定ができます。 倍率の入力ができます。 各種の設定値の入力ができます。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切換えることができます。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。 （p. 3-12）
15	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換えることができます。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証または部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
19	【輝度】調整ダイアル	タッチパネルの輝度の調整ができます。
20	【ボックス】キー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
21	【ファクス / スキャン】キー	ファクス機能、スキャナー機能に切換わります。 ファクス機能、スキャナー機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
22	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。

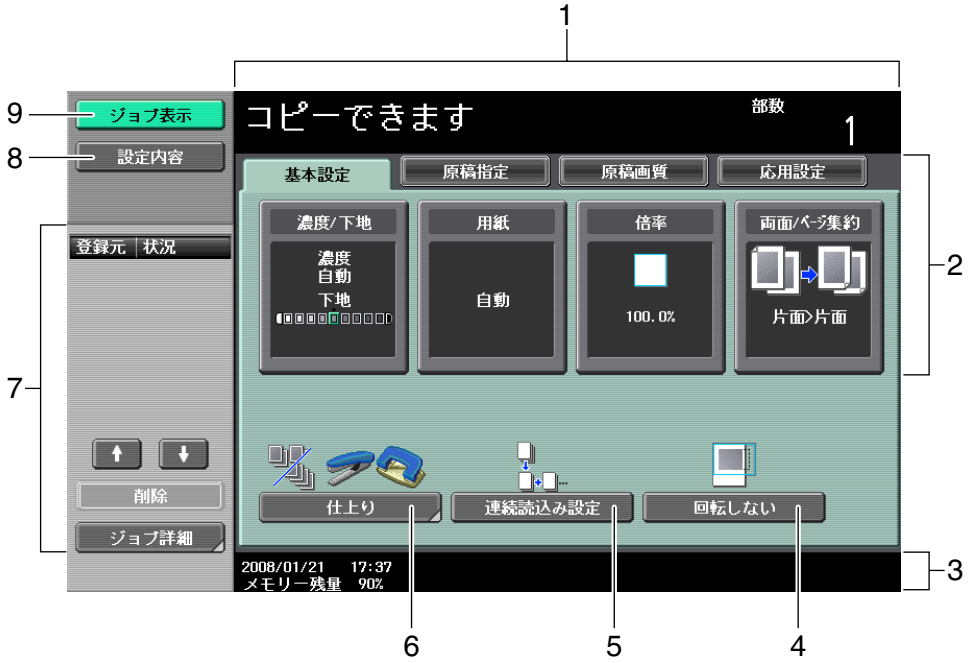
必ず守ってください

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

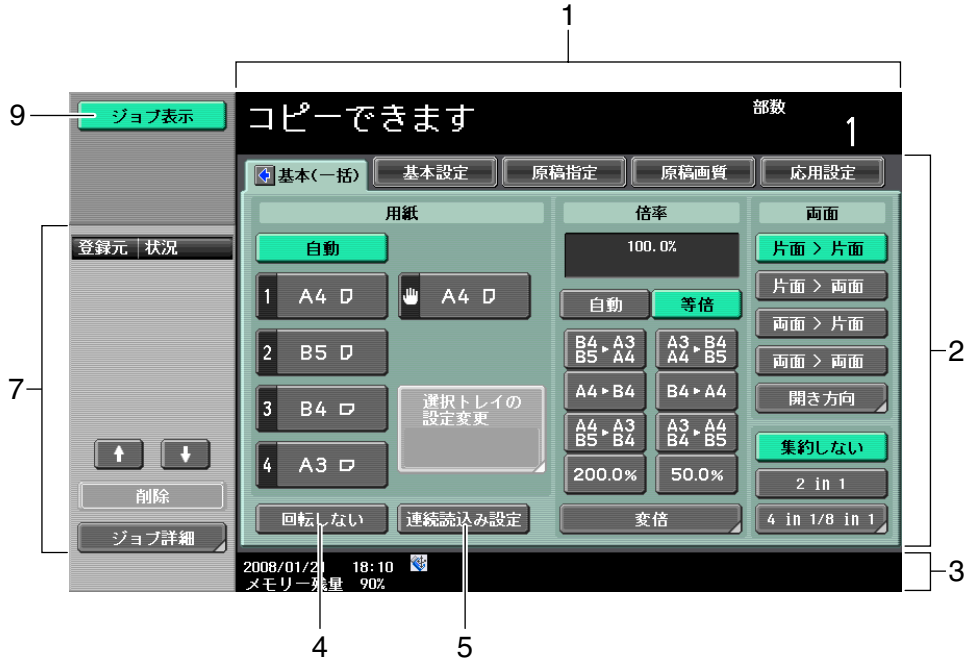
1.1.16　基本的な設定をする画面（基本設定画面）

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。
画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。

基本設定画面



基本（一括）画面



キーを押すと左エリアに「濃度」、「下地調整」、［仕上り］キーが表示されます。

No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。 キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	［回転しない］キー	セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーできます。
5	［連続読込み設定］キー	原稿をいくつかに分けて読込ませるときに押します。 いくつかに分けて読込んだ原稿をひとつのコピージョブとして扱うことができます。
6	［仕上り］キー	ソート、グループ、仕分け、ステープルとじ、パンチ穴などの設定をします。
7	左エリア	［ジョブ表示］キーを押すと現在実行中、および待機中のジョブを表示する画面に切換わります。 ［設定内容］キーを押すことにより、設定中の仕上り状態などを表示します。
8	［設定内容］キー	設定中の仕上り状態などを表示します。
9	［ジョブ表示］キー	現在実行中、および待機中のジョブを表示します。 ジョブの確認、ジョブ操作ができます。

詳しく説明します

・基本設定画面には基本設定画面と基本（一括）画面があり、【設定メニュー / カウンター】－［ユーザー設定］－［画面カスタマイズ設定］－［コピー設定］で設定することができます。基本設定画面と基本（一括）画面では、各機能設定画面の階層やキーの配置などが異なりますが、設定できる機能は同じです。出荷時設定では、［基本設定画面］が設定されています。本書では基本設定画面からの設定方法を説明しています。
・基本（一括）画面は、基本設定画面の設定項目が一画面に表示されているため、複数の設定をする場合に便利です。

参照

基本設定画面の切換えの設定については、「<コピー設定>」（p. 11-15）をごらんください。

ひとこと

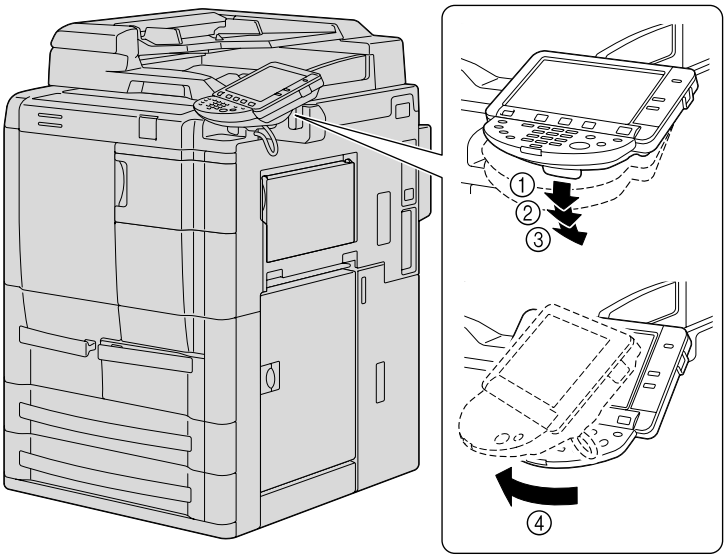
工場出荷時から設定値が変更された場合、変更された設定画面のタブが緑色枠で表示されます。
緑色枠は【設定メニュー / カウンター】－「ユーザー設定」－「画面カスタマイズ設定」－「選択色設定」で他の色に変更できます。

1.1.17　タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
警告表示	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切換わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
POP	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。
Sec	セキュリティ強化設定が適用されていることを示します。
	USB メモリーが接続されている場合に表示されます。

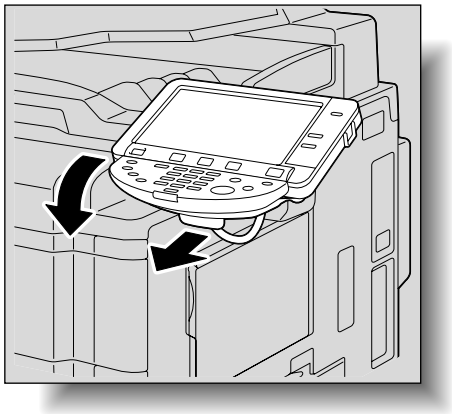
1.2　操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を 3 段階に設定できます。また、操作パネルを左に傾けることができます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。

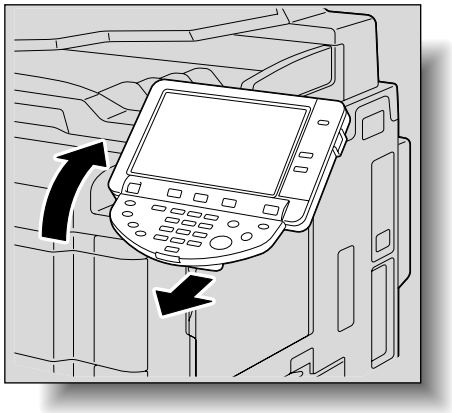


1.2.1　操作パネルの角度のかえかた

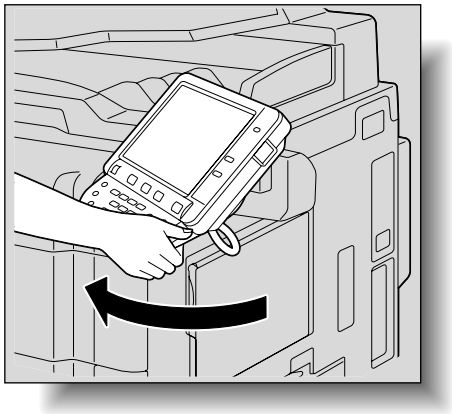
1 操作パネル解除レバーを手前に引き、位置ロックを解除します。



2 任意位置に操作パネルを動かし、操作パネル解除レバーを放します。



3 操作パネルを左に傾ける場合は、操作パネル下部を持って左に傾けます。



必ず守ってください

操作パネルを傾ける場合はタッチパネルを持って行わないでください。

1.3 主電源と副電源を入れる

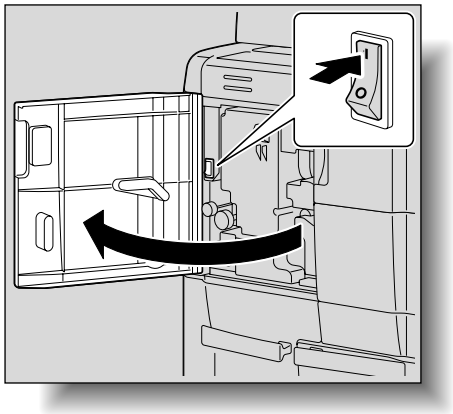
本機には、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】の 2 つの電源スイッチがあります。

1.3.1 電源の入れかた

【主電源スイッチ】は、本機の全ての機能に対して ON/OFF します。通常、【主電源スイッチ】は ON の状態にしておきます。

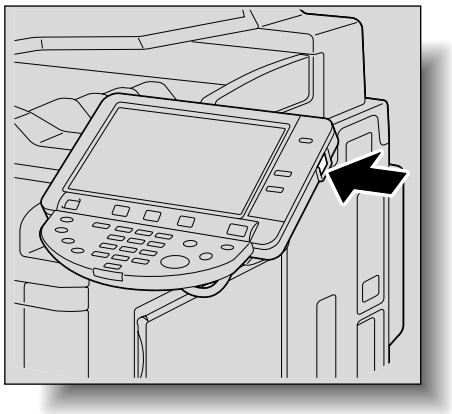
【副電源スイッチ】では、コピー、印刷、スキャナー機能など本機の動作に対して ON/OFF をします。【副電源スイッチ】を OFF にすると節電状態となります。

1. 前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【 | 】を押します。



2. 前ドアを閉じます。

3. 【副電源スイッチ】を押します。



タッチパネルの表示を確認します。

詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にすると、【スタート】がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。
数秒後、メッセージが「ウォームアップ中です。読込みできます」に切換わり、【スタート】が青色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。詳しくは、「ウォームアップ中に読込みする」（p. 1-33）をごらんください。
ウォームアップ完了後に、読込んだ画像が印刷されます。

参照

ウォームアップ時間については、「本体」（p. 5-2）をごらんください。

詳しく説明します

電源を ON にしてから操作パネル、タッチパネルで設定をする前の状態、または【リセット】を押して操作パネル、タッチパネルで入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは、「コピー設定」（p. 11-17）をごらんください。
工場出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

1.3.2　ウォームアップ中に読込みする

1

【副電源スイッチ】を ON にします。

【スタート】がオレンジ色に点灯します。

ウォームアップ画面が表示された後、基本設定画面が表示され、【スタート】が青色に点灯します。

2

タッチパネルの「ウォームアップ中です。読込みできます」というメッセージを確認します。

3

原稿をセットします。

4

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5

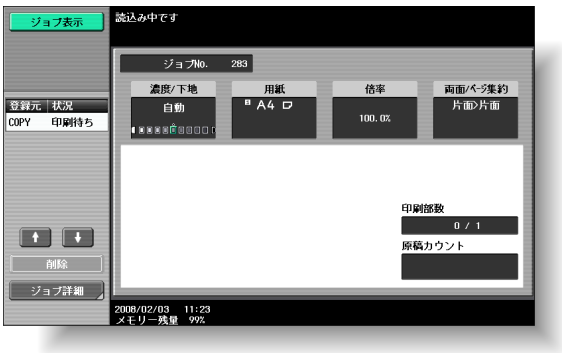
テンキーでコピー部数を設定します。

6

【スタート】を押します。

原稿の読込みをし、待機中のジョブに追加されます。

- 設定メニューの「印刷中画面表示」を「する」に設定した場合は［コピー予約］を押して、基本設定画面を表示させます。



- ウォームアップが完了したとき、自動的に印刷を開始します。

詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿を読込むコピー予約ができます。ウォームアップが完了すると自動的に出力できます。

参照

電源の入れ方については、「電源の入れかた」（p. 1-32）をごらんください。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

参照

コピー部数設定については、「コピー操作の流れ」（p. 2-2）をごらんください。

詳しく説明します

［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］の実行中リストで、印刷の順番を変更したり、ジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブ操作をする」（p. 10-6）をごらんください。

参照

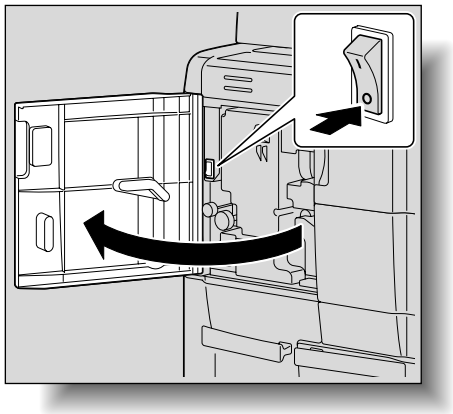
印刷中に印刷ジョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「読込み・印刷を一時停止する」（p. 2-72）をごらんください。

1.3.3　電源の切りかた

1 【副電源スイッチ】を押します。

タッチパネルの表示が消えたことを確認します。

2 前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【○】を押します。



3 前ドアを閉じます。

1.3.4　自動的に設定を取消す（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間経過したときコピー枚数など登録されていない設定が取消され、初期設定に戻ります。

これをオートリセットといいます。

出荷時設定では 1 分を経過するとオートリセット機能がはたらきます。

1.3.5　自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）

本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に優先機能画面に切換わります。

これをシステムオートリセットといいます。

出荷時設定では、1 分を経過するとコピー機能画面になります。

必ず守ってください

- 【主電源スイッチ】を OFF したあとに、すぐに ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- 印刷中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- 画像の読込み中や、送受信中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。読込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。
- 登録されたジョブや、蓄積されたジョブの印刷待機中に【主電源スイッチ】を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されてしまいます。

詳しく説明します

【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にすると、以下の項目が取消されます。

- 登録されていない設定
- 印刷待機中のジョブ

参照

- オートリセット機能がはたらくまでの時間や、オートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「<リセット設定>」（p. 11-26）をごらんください。
- 使用者が交代したときのオートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「<リセット設定>」（p. 11-26）をごらんください。

参照

システムオートリセットの切換えは設定メニューで設定できます。詳しくは、「<リセット設定>」（p. 11-26）をごらんください。

1.3.6　自動的に節電状態にする（低電力）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消すなど、自動的に節電状態になります。

これを低電力モードといいます。

低電力モードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では 1 分（オプションなし）／ 15 分（オプションあり）を経過すると低電力モードになります。

＜低電力モードからの復帰のしかた＞

1 【パワーセーブ】を押します。

2 ウォームアップ中にジョブを受け付けます。

❍ タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、印刷を開始できるようになります。

1.3.7　自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップにかかる時間は低電力モードよりもかかります。

出荷時設定では 1 分（オプションなし）／ 60 分（オプションあり）を経過するとスリープモードになります。

＜スリープモードからの復帰のしかた＞

1 【パワーセーブ】を押します。

参照

低電力モードに切換わる時間を変更できます。詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-14）、（p. 11-22）をごらんください。

ひとこと

出荷時設定では【パワーセーブ】を押したときは、低電力モードになります。管理者設定でスリープモードに設定を変更できます。詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-22）をごらんください。

ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押しても低電力モードから復帰します。

参照

スリープモードが動作するまでの時間を変更できます。詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-14）、（p. 11-22）をごらんください。

ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押してもスリープモードから復帰します。

詳しく説明します

出荷時設定では本機を操作しなくなってから、1 分を経過するとスリープモードに切換わります。オプション装着時は 60 分を経過するとスリープモードに切換わります。

2 ウォームアップ中にジョブを受け付けます。

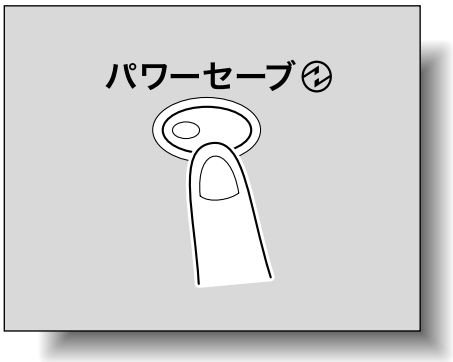
❍ タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、印刷を開始できるようになります。

1.3.8　手動で節電状態にする

パワーセーブ（低電力／スリープ）の機能を手動で設定します。

➔ 【パワーセーブ】を押します。または、【副電源スイッチ】をOFF にします。

❍ 出荷時設定では低電力モードになります。



参照

【パワーセーブ】の低電力モードとスリープモードの切換えは管理者設定で設定を変更できます。詳しくは、「<パワーセーブ設定>」（p. 11-22）をごらんください。

1.3.9　自動的に電源を OFF ／ ON する（ウィークリータイマー）

本機は、管理者が設定した使用時間スケジュールにしたがって自動的にスリープモードに切換え、使用を制限できます。

これをウィークリータイマーといいます。

ウィークリータイマー機能中に、本機を使用するときは、以下の手順を行ってください。

1 【パワーセーブ】を押します。

2 最大 8 桁の時間外パスワードを入力します。

3 ［OK］を押します。

「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。使用後、スリープモードに移行する時間をテンキーで指定できます」と表示されます。

4 再度、スリープモードに移行するまでの時間をテンキーで入力します。

参照

出荷時設定はウィークリータイマーは設定されてません。ウィークリータイマーの設定については、「<ウィークリータイマー設定>」（p. 11-23）をごらんください。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたとき、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。使用後、スリープモードに移行する時間をテンキーで指定できます」、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。時間外使用パスワードをキーボードまたはテンキーで入力し［OK］を押してください」と表示されることがあります。いずれもウィークリータイマーが機能しています。

詳しく説明します

- 管理者設定の［時間外パスワード設定］により、時間外パスワード入力画面を表示させないようにできます。
- 時間外パスワードの出荷時設定は［しない］（表示させない）です。

参照

時間外パスワードの設定については、「<ウィークリータイマー設定>」（p. 11-23）をごらんください。

ひとこと

1 桁を入力する場合は、最初に「0」を入力します。ただし、5 分未満の値が入力された場合は、［OK］を押しても移行しません。また、分の値に 60 分以上の設定はできません。

❍ 5 分～ 9 時間 59 分までの設定ができます。

5

［OK］を押します。

基本設定画面に「コピーできます」と表示されます。

詳しく説明します

設定した時間内は通常どおりのコピーができます。

1.3.10　ユーザーごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証）

管理者によってユーザー認証設定が行われると、ユーザー登録された特定の方だけが本機を使用できます。また、ユーザーごとに印刷枚数などの管理もできます。

原則

ユーザー認証機能を使用すると、ユーザーに設定されたパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。
ユーザー名、パスワード、サーバー名が不明な場合は、管理者の方に確認してください。

1　［ユーザー名］を押します。

参照

ユーザー認証の設定手順については、「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 11-29）をごらんください。

ひとこと

- ユーザー認証設定は部門管理設定と併用できます。ユーザー認証 / 部門認証の設定を［連動しない］に設定している場合はユーザー認証を行ってから、部門管理画面からログインします。
- 本体装置認証または外部サーバー認証を設定した場合は、ユーザーと部門を合わせて 1,000 件まで登録できます。

詳しく説明します

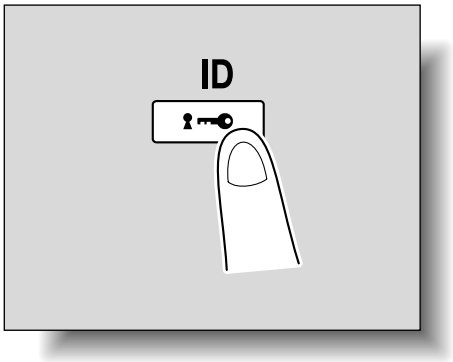
- ユーザー認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- ユーザー名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザー名を選択できます。［ユーザー名一覧］を押して目的のユーザー名を選択し、［OK］を押します。
- ユーザー名、パスワードを知らない方でも［パブリックユーザー］を押すと本機を使用できます。パブリックユーザーの設定方法については、「認証方式の設定のしかた」（p. 11-63）、「パブリックユーザーの認証」（p. 11-69）をごらんください。
- ユーザー認証で外部サーバー認証を設定している場合は、［サーバー名称］が表示され、初期値設定のサーバーが表示されます。［サーバー名称］を押すと登録されたサーバーが表示され、目的のサーバーを選択できます。外部サーバー認証の設定方法については、「認証方式の設定のしかた」（p. 11-63）をごらんください。
- セキュリティ強化設定が ON の場合、［パブリックユーザー］と［ユーザー名一覧］は表示されません。

2 ユーザー名を入力し、［OK］を押します。

3 ［パスワード］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。

5 ［ログイン］または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

ひとこと

部門管理設定をしている場合は、部門管理画面が表示されます。ただし、［ユーザー認証 / 部門認証の連動］を［連動する］に設定し、ユーザーと部門の関連付けがされている場合は、部門認証画面は表示されません。

6 目的の機能でコピーします。

7 印刷が終了したら、【ID】を押します。

ログアウト確認画面が表示されます。

8 ［はい］を選択して、［OK］を押します。

ユーザー認証画面が表示されます。

1.3.11　部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証）

管理者によって部門管理設定が行われると、部門登録された特定の方だけが本機を使用できます。また部門ごとに印刷枚数などの管理もできます。

これを部門管理といいます。

原則

部門管理機能を使用すると、各部門に設定されたパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。
部門名、パスワードが不明な場合は、管理者の方にご確認ください。

1 ［部門名］を押します。

参照

部門管理の設定手順については、「認証方式の設定のしかた」（p. 11-63）をごらんください。

詳しく説明します

- 部門管理は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- 管理者設定の［部門管理認証方式］が［パスワードのみ］に設定されているとパスワードを入力するだけでログインすることができます。詳しくは、「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 11-29）をごらんください。
- ユーザーと部門を合わせて1,000 件まで登録できます。

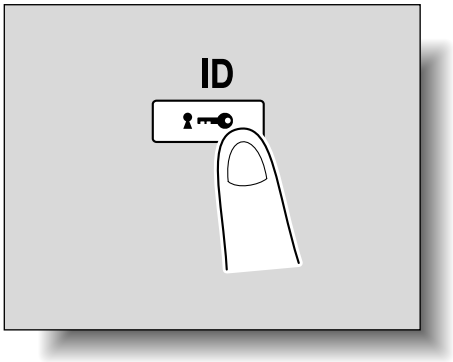
❍ 管理者設定によって、「パスワードのみ」が設定されている場合は、［パスワード］を押して手順 4 へ進んでください。

2 部門名を入力し、［OK］を押します。

3 ［パスワード］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。

5 ［ログイン］または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

6 目的の機能でコピーします。

7 印刷が終了したら、【ID】を押します。
ログアウト確認画面が表示されます。

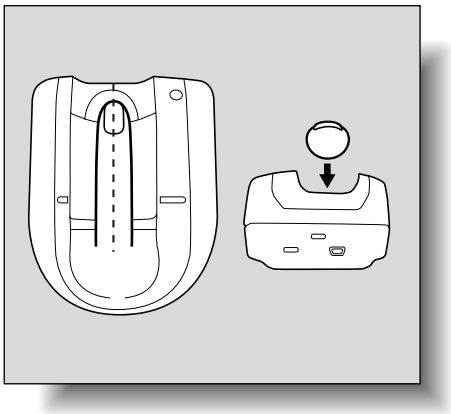
8 ［はい］を選択して、［OK］を押します。
部門認証画面が表示されます。

1.3.12　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する

本機は、認証装置を使っての認証ができます。認証装置で指静脈パターンを読取り認証を行います。

1 対多認証が設定されている場合

➔　認証装置に指を置きます。



基本設定画面が表示されます。

ひとこと

1 対多認証：指を置くだけで認証されます。
1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことで認証されます。

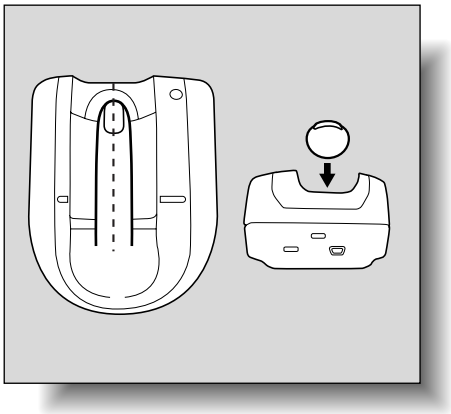
参照

生体認証を行う場合は、あらかじめ指静脈パターンを登録しておいてください。
認証装置の認証設定、指静脈パターンの登録は、「第 12 章 認証装置 （指静脈 生体認証タイプ AU-101）」をごらんください。

1 対 1 認証が設定されている場合

1 ユーザー名を入力します。

2 認証装置に指を置きます。



基本設定画面が表示されます。

ひとこと

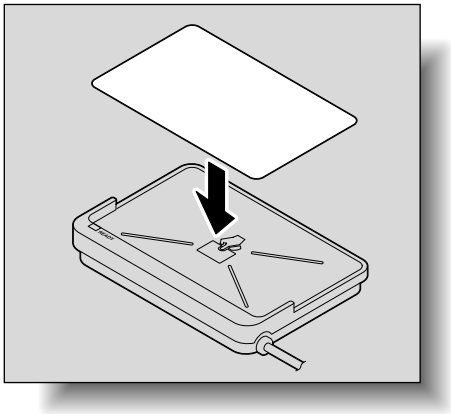
認証装置を使用しなくても、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して本機を使用することができます。

1.3.13　認証装置（IC カード認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する

本機は、認証装置を使っての認証ができます。認証装置で IC カードに記録された情報を読取り認証を行います。

IC カード認証が設定されている場合

➔　認証装置に IC カードを置きます。



基本設定画面が表示されます。

ひとこと

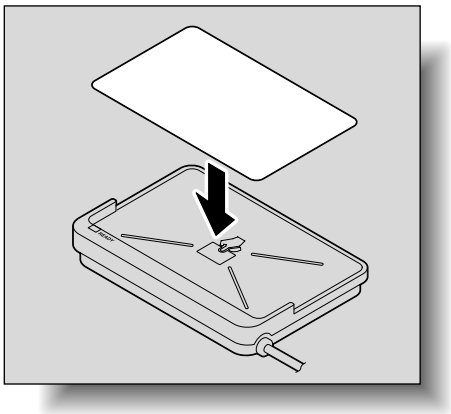
IC カード認証：IC カードを置くだけで認証されます。
IC カード＋パスワード認証：IC カードを置きパスワードを入力することで認証されます。

参照

IC カード認証を行う場合は、あらかじめ IC カードの情報を登録しておいてください。
認証装置の認証設定、IC カード情報の登録は、「第 13 章 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）」をごらんください。

IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合

1 認証装置に IC カードを置きます。



2 パスワードを入力して、［ログイン］または【ID】を押します。

基本設定画面が表示されます。

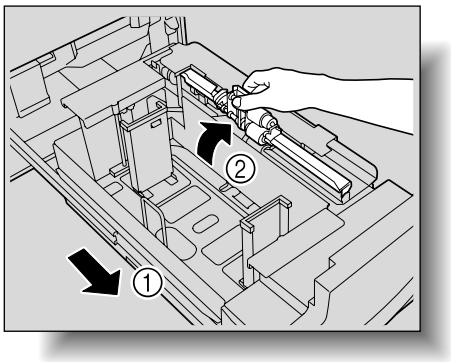
ひとこと

認証装置を使用しなくても、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して本機を使用することができます。

1.4　トレイ 1/2 へ用紙をセットする

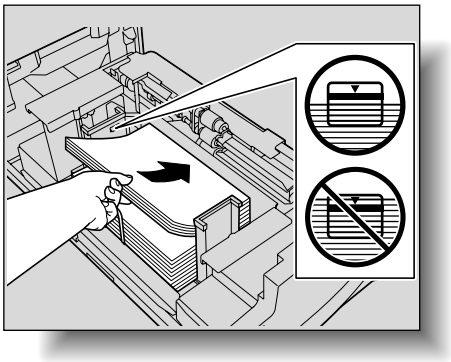
1 トレイ 1 またはトレイ 2 を引き出します。

2 給紙ローラを開きます。

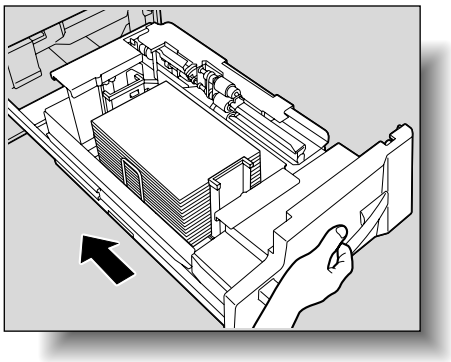


3 用紙をセットします。

❍ トレイの右側に用紙を揃えるようにしてセットします。



4 トレイを奥まで確実に押し込みます。



必ずお守ってください

・用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
・後端ガイド板がセットした用紙サイズと合っていることを確認してください。後端ガイド板と用紙の間に隙間があると、正しく給紙できません。

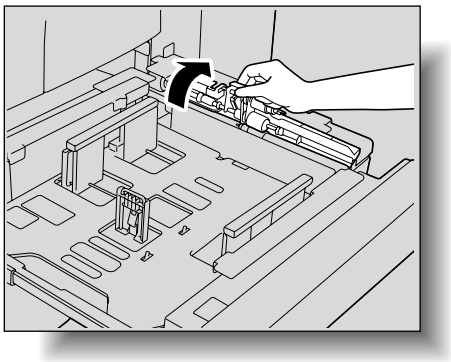
必ずお守ってください

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

1.5 トレイ 3/4 へ用紙をセットする

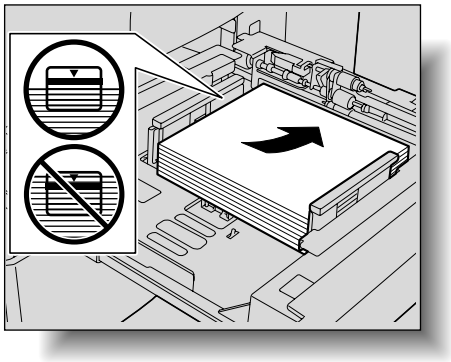
1 トレイ 3 またはトレイ 4 を引き出します。

2 給紙ローラーを開きます。



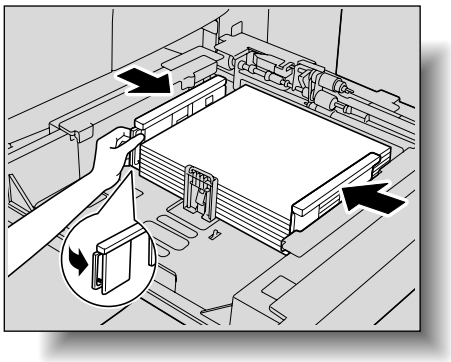
3 用紙をセットします。

❍ トレイの右側に用紙を揃えるようにしてセットします。



4 奥側の側面ガイド板をスライドさせ用紙のサイズに合わせます。

❍ 側面ガイド板は、解除ツマミを押しながら動かします。離すとロックされます。



5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

必ず守ってください

- 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
- 後端ガイド板がセットした用紙サイズと合っていることを確認してください。後端ガイド板と用紙の間に隙間があったり、後端ガイド板がセットされていなかったりすると、正しく給紙できません。
- 不定形サイズの用紙をセットする場合、後端ガイド板との隙間が広がることがあります。後端ガイド板ではなく、必ずトレイの右側に突き当ててセットしてください。

必ず守ってください

側面ガイド板は確実に用紙の端面に合わせてください。セットした用紙と側面ガイドが合っていないと、正確なサイズを検知できないだけでなく、パンチ穴の位置ズレの原因になります。

必ず守ってください

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

1.6 LCT（LU-405/LU-406）へ用紙をセットする

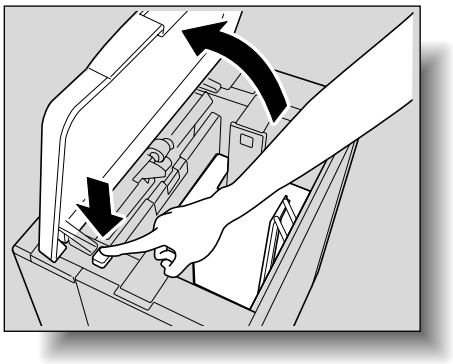
LCT はオプションの大容量給紙ユニット LU-405/LU-406 です。

1 大容量トレイ上カバーを開きます。

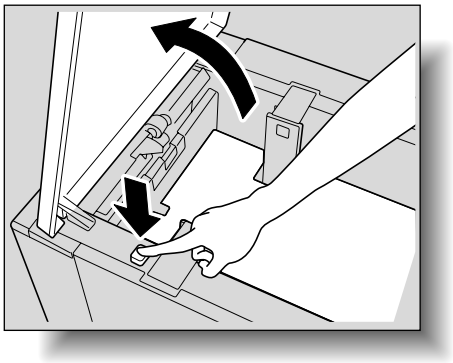
2 トレイ底板下降ボタンを押します。

❍ トレイ底板が下降します。

（LU-405）

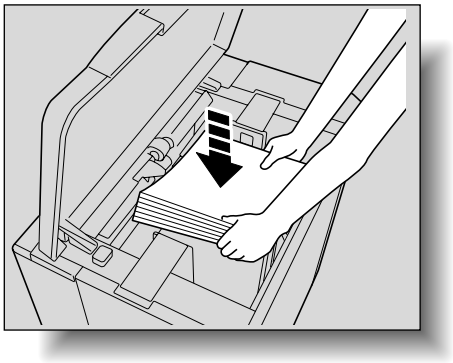


（LU-406）



3 用紙をセットします。

（LU-405）



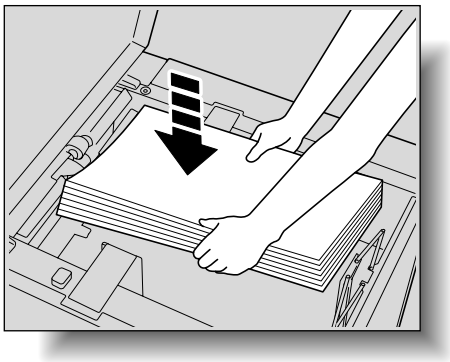
必ず守ってください

本体の電源が入っていないとトレイ底板が上がりません。また、トレイ底板下降ボタンを押してもトレイ底板が下がりません。LCT に用紙を補給するときは、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】を ON にしてください。

必ず守ってください

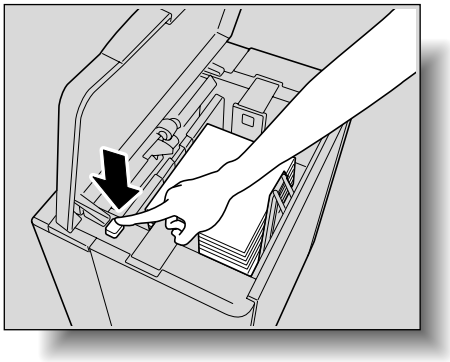
LCT にはあらかじめ決められたサイズ以外の用紙をセットしないでください。

（LU-406）

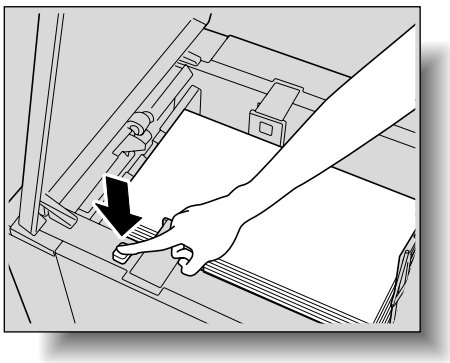


4 手順 2、3 の作業をトレイ底板が下降しなくなるまで繰り返します。

（LU-405）



（LU-406）



5 大容量トレイ上カバーを閉じます。

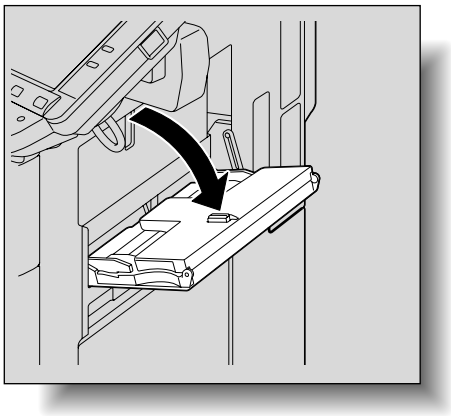
必ず守ってください

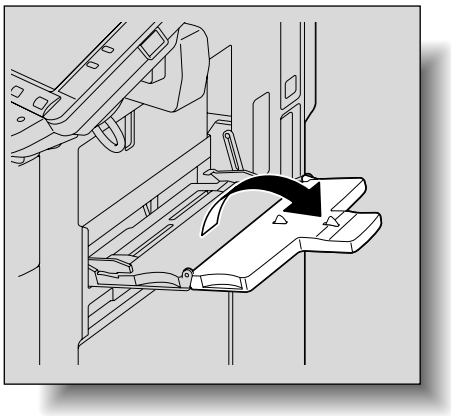
- 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
- 後端ストッパーが、セットした用紙サイズに合っていることを確認してください。後端ストッパーと用紙の間に隙間があると、正しく給紙できません。

1.7　手差しトレイへ用紙をセットする

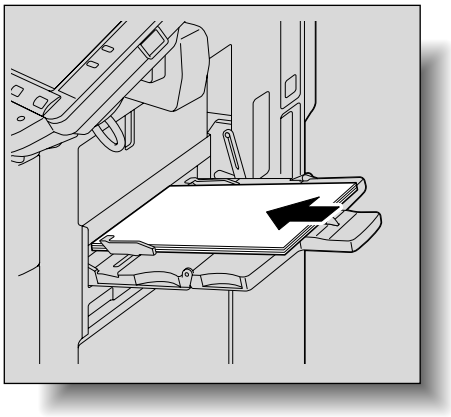
給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や、厚紙、薄紙、第 2 原紙、はがき、インデックス紙、OHP フィルム、ラベル紙などに印刷したい場合に手差しトレイを使用します。

1 手差しトレイを開きます。





2 印刷面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。



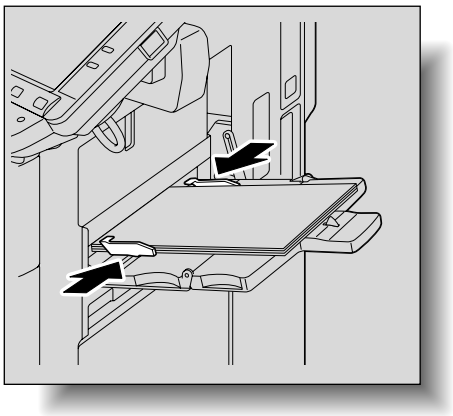
参照

手差しトレイの用紙サイズの設定については、「手差しトレイの用紙設定」（p. 6-9）をごらんください。

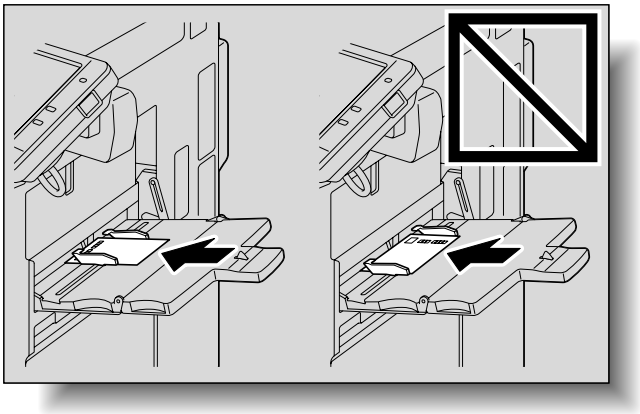
必ずお守ってください

- ガイド板を確実に用紙の端面に合わせてください。
- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。

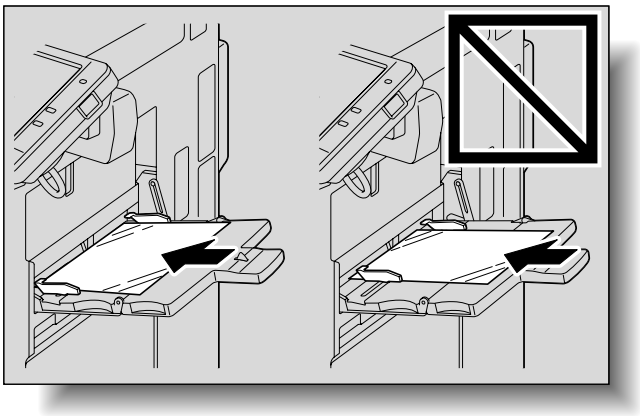
3 ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



＜はがきの場合＞



＜ OHP フィルムの場合＞



詳しく説明します

・セットする用紙の下面に画像が印刷されます。
・手差しトレイの用紙設定をレターヘッド紙に設定すると用紙の上面に画像が印刷されます。

詳しく説明します

手差しトレイにはがきをセットしたときは、手差しトレイの用紙種類を［厚紙］にしてください。

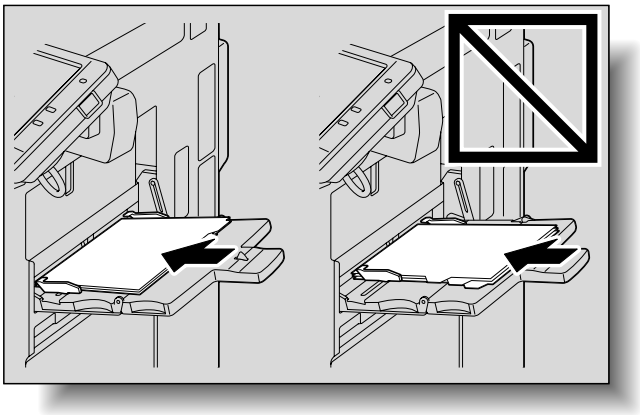
必ず守ってください

・はがきをセットする場合は、図のように ▭ 方向にセットしてください。▯ 方向にはセットしないでください。
・手差しトレイには最大 40 枚のはがきをセットできます。

必ず守ってください

・OHP フィルムをセットする場合は、図のように ▯ 方向にセットしてください。▭ 方向にはセットしないでください。
・手差しトレイには OHP フィルムを 1 枚ずつセットしてください。

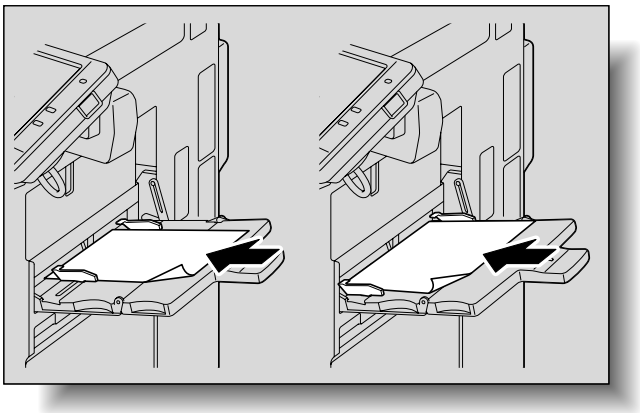
<インデックス紙の場合>



必ず守ってください

インデックス紙をセットする場合は、図のように▯方向にセットしてください。▭方向にはセットしないでください。

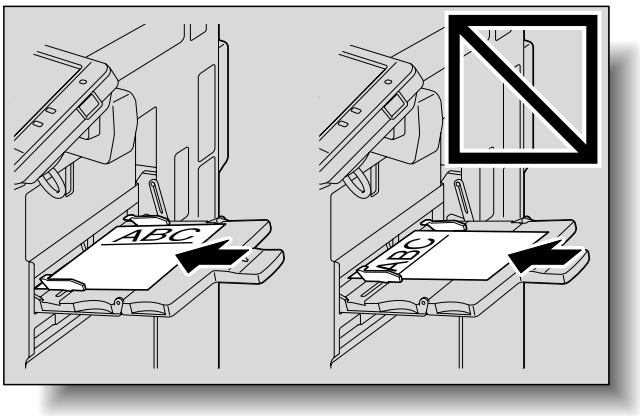
<ラベル紙の場合>



必ず守ってください

手差しトレイにはラベル紙を 1 枚ずつセットしてください。

<レターヘッド紙の場合>

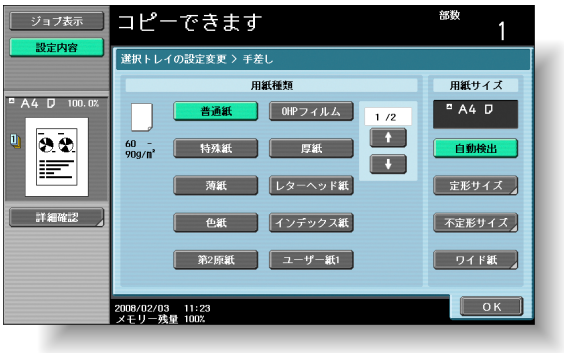


必ず守ってください

・レターヘッド紙をセットする場合は、印刷面を上側に向けてセットしてください。
・手差しトレイの用紙設定を必ず［レターヘッド紙］に設定してください。

4

用紙種類を選択します。



❍［↓］で用紙種類の表示を切換えます。

5

［OK］を 2 回押します。

基本画面に戻ります。

必ず守ってください

- 普通紙以外をセットした場合は、適した用紙種類に変更してください。
- はがきをセットした場合は、用紙種類を［厚紙］に設定してください。

参照

- 用紙サイズの詳細については、「用紙について」（p. 6-2）をごらんください。
- 定型サイズの設定のしかたについては、「用紙サイズを指定する（サイズ指定）」（p. 6-10）をごらんください。
- 不定形サイズの設定のしかたについては、「不定形紙をセットする（不定形）」（p. 6-11）をごらんください。
- ワイド紙の設定のしかたについては、「ワイド紙を設定する」（p. 6-15）をごらんください。

1.8 トレイの用紙サイズを変更する

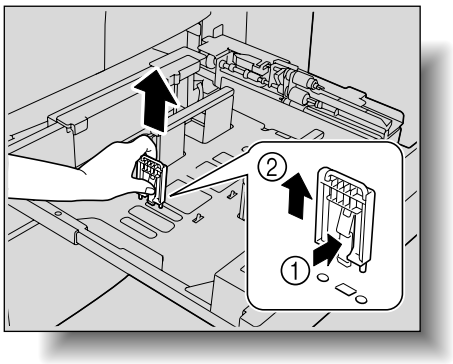
トレイ 3/4 は目的に合わせて用紙サイズを変更できます。

1.8.1 用紙サイズの変更のしかた

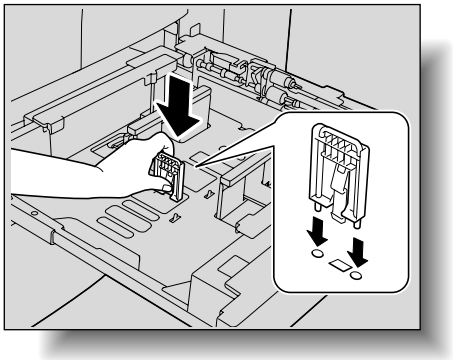
1. トレイ 3 またはトレイ 4 を引き出します。

2. 給紙ローラーを開きます。

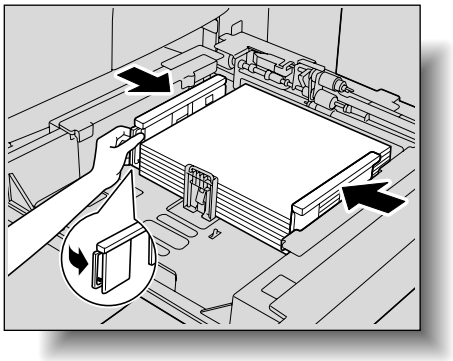
3. 後端ガイド板を取り外し、新しく設定するサイズ位置に差し込みます。
   - ツマミを押しながら後端ガイド板を取り外します。



   - トレイの底面に刻印されているサイズの穴に、後端ガイド板をセットします。



4. 新しく設定するサイズの用紙をセットして、奥側の側面ガイド板をスライドさせ用紙のサイズに合わせます。
   - 側面ガイド板は、解除ツマミを押しながら動かします。離すとロックされます。



ひとこと

トレイ 1/2、LCT の用紙サイズを変更したいときはサービス実施店にご連絡ください。

必ずお守りください

後端ガイド板は、必ず設定するサイズの位置に差し込んでください。セットした用紙との間に隙間があると、正しく給紙できません。

必ずお守りください

側面ガイド板は確実に用紙に合わせてください。セットした用紙と側面ガイド板が合っていないと、正確なサイズを検知できません。

5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

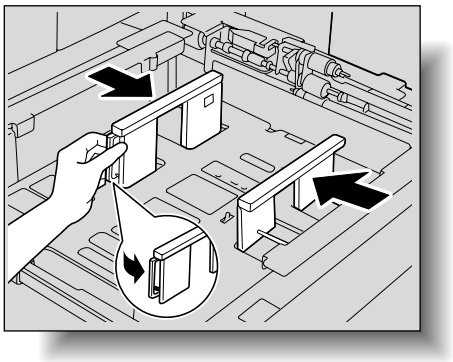
❍ 定形サイズ以外の用紙や厚紙などの種類の用紙に変更した場合は、用紙種類 / サイズ設定画面で、変更した用紙を設定します。「給紙トレイの用紙種類設定」（p. 6-19）をごらんください。

1.8.2　はがきのセットのしかた

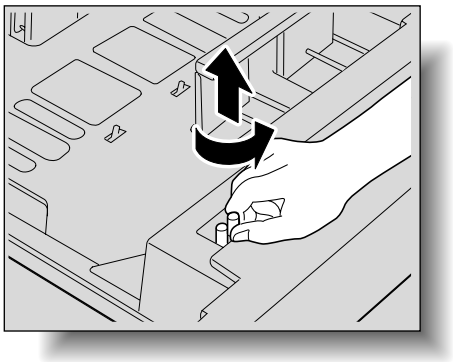
1 トレイ 3 またはトレイ 4 を引き出します。

2 側面ガイド板をスライドさせ、ガイド板同士の幅を一番せまくします。

❍ 解除ツマミを押しながら、側面ガイド板を動かします。離すとロックされます。



3 はがき用ガイド棒（2 本）を取り外します。



必ずお守ってください

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

ひとこと

トレイ 1/2 にはがきをセットしたいときはサービス実施店にご連絡ください。

詳しく説明します

はがきにコピーする方法は、「用紙を選ぶ」（p. 2-28）をごらんください。

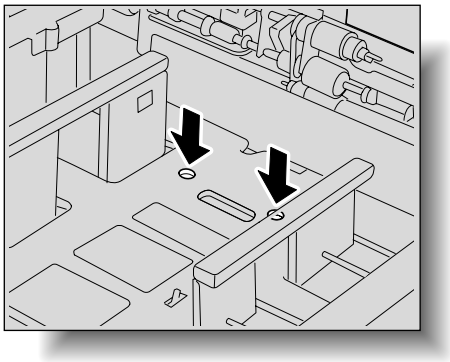
詳しく説明します

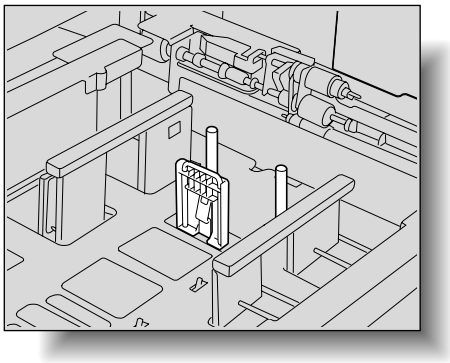
はがき用ガイド棒はトレイ 3 にのみついています。

4

はがき用ガイド棒を下図のトレイ底板に取り付け、後端ガイドを一番右側に取り付けます。

❍ はがき用ガイド棒は、ねじ込んで取り付けます。





5

搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換えます。

6

用紙種類 / サイズ設定画面で、［はがき］を設定します。

詳しく説明します

搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換える方法は「各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは」（p. 1-59）をごらんください。

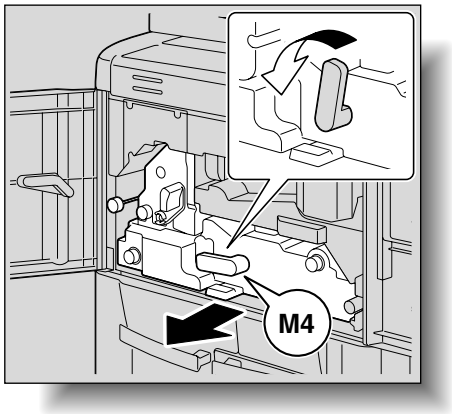
参照

用紙種類 / サイズ設定画面ではがきを設定する方法については、「給紙トレイの用紙種類設定」（p. 6-19）をごらんください。

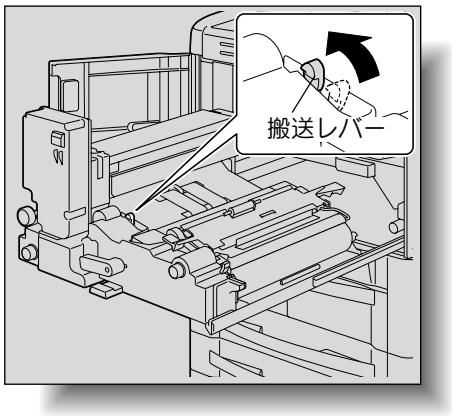
1.8.3　各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは

各給紙トレイ、手差しトレイ、LCT ではがきや A5 サイズの厚紙を使用する場合は、紙づまりをなくすために、搬送レバーを切換えます。

1. 左右の前ドアを開けます。
2. レバー【M4】を左に倒して定着搬送ユニットを引き出します。



3. 搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換えます。



4. 定着搬送ユニットをもどします。
5. 左右の前ドアを閉じます。

ひとこと

はがきや A5 サイズの厚紙の使用が終ったら、搬送レバーを「通常時」にもどしておきます。

第 2 章
基本機能

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

2.1　コピー操作の流れ 2-2
2.2　組合わせできない操作について 2-4
2.3　原稿をセットする 2-6
2.4　原稿の設定をする 2-16
2.5　用紙を選ぶ 2-28
2.6　倍率を選ぶ 2-30
2.7　原稿＞コピー機能を選ぶ 2-38
2.8　ページ集約を選ぶ 2-42
2.9　原稿の画質を選ぶ 2-45
2.10　濃度を選ぶ 2-47
2.11　仕上り機能を選ぶ 2-49
2.12　紙折り機能を選ぶ 2-59
2.14　回転しないを選ぶ 2-70
2.15　印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） 2-71
2.16　読込み・印刷を一時停止する 2-72
2.17　一時停止したジョブを削除する 2-73

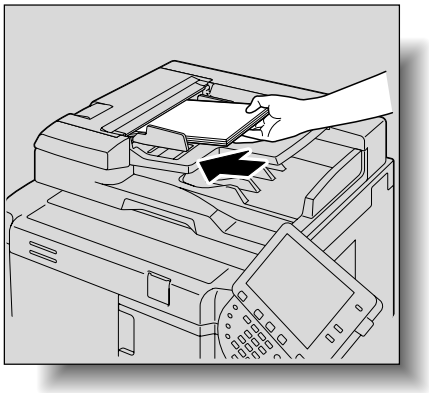
2.1　コピー操作の流れ

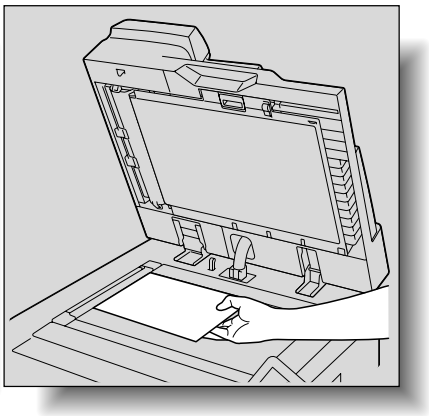
コピーをとるときの操作の流れを説明します。
ここでは、片面原稿を基本的な操作でコピーする方法を説明します。

1 【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

2 原稿をセットします。

❍ 原稿のセットのしかたについて詳しくは、（p. 2-6）をごらんください。





3 必要に応じて、各機能の設定をします。

❍ 出荷時設定では、初期設定として以下の設定がされています。
［濃度］：自動（自動濃度）
［下地調整］：ふつう
［用紙］：自動（自動用紙）
［倍率］：等倍（100.0%）
［両面 / ページ集約］：片面>片面
［原稿画質］：文字 / 写真

❍ 原稿設定については、（p. 2-16）をごらんください。

❍ 用紙サイズの設定については、（p. 2-28）をごらんください。

❍ 倍率の設定については、（p. 2-30）をごらんください。

❍ 原稿とコピー機能の設定については、（p. 2-38）をごらんください。

❍ 原稿の画質については、（p. 2-45）をごらんください。

❍ コピー濃度の設定については、（p. 2-47）をごらんください。

❍ 集約コピーの設定については、（p. 2-42）をごらんください。

ひとこと

・オプションのフィニッシャーには、用紙サイズ、仕上りの設定によって排紙トレイの積載数量制限があります。
連続して印刷ジョブを行っている場合（マルチジョブ）は排紙トレイ上の用紙を取除いても「トレイの容量オーバーです→のトレイの用紙を取除いてください」の警告が発生する可能性があります。
マルチジョブについて詳しくは、「マルチジョブ機能について」（p. 10-2）をごらんください。

・印刷ジョブが途切れたときに、排紙トレイの積載数量はリセットされます。
排紙トレイの積載枚数制限について詳しくは、「本体仕様」（p. 5-2）をごらんください。

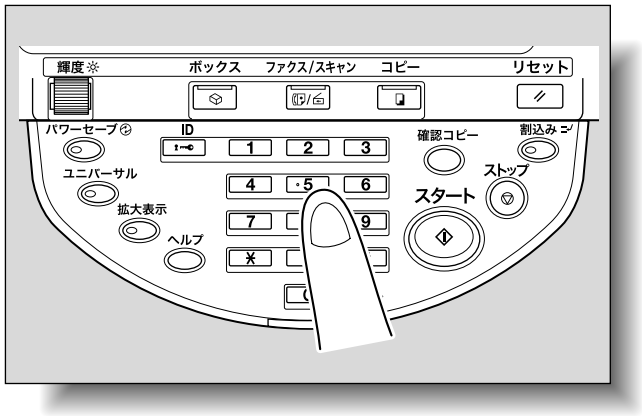
参照

各機能には組合わせて設定できないものがあります。
組合わせて設定できない機能については、「組合わせできない操作について」（p. 2-4）をごらんください。

- コピーの仕上りについては、（p. 2-49）をごらんください。
- 中とじ、折りの設定については、（p. 2-59）をごらんください。
- 画像を回転しない設定については、（p. 2-70）をごらんください。
- 応用機能の設定については、（p. 7-1）をごらんください。

4

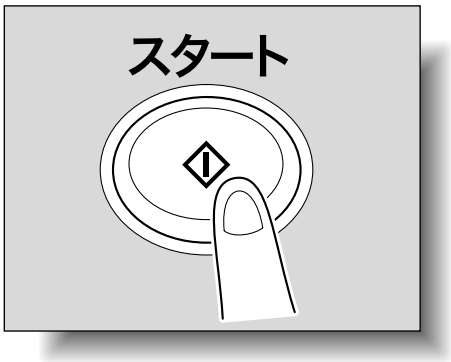
テンキーでコピー部数を入力します。



- コピー部数を間違えて入力した場合は、【C】を押してもう1度入力しなおしてください。

5

【スタート】を押します。



- コピーを中断したい場合は、【ストップ】を押してください。詳しくは、（p. 2-72）をごらんください。
- コピーの途中で次のコピーを予約できます。詳しくは、コピー予約をごらんください。（p. 2-71）

2.2　組合わせできない操作について

各機能には組合わせて設定できないものがあります。

組合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。

- あとから設定したものが優先される。（先に設定したものは解除される。）
- 先に設定したものが優先される。（警告メッセージが表示される。）

2.2.1　あとから設定した機能が優先される場合

ここでは、2 点ステープルを設定してから小冊子を設定する場合について説明します。

1 2 点ステープルを設定します。

2 小冊子を設定します。

2 点ステープルは自動で解除され、小冊子が有効になります。

2 点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度 2 点ステープルの設定を行います。

2.2.2　先に設定した機能を優先する場合

組合わせ禁止の警告メッセージが表示された場合、それらの機能は組合わせできません。

ここでは、小冊子を設定してから 2 点ステープルを設定する場合について説明します。

1 小冊子を設定します。

2 2 点ステープルを設定します。

「小冊子とは同時設定できません」と表示され、2 点ステープルは設定できません。

小冊子が有効となり、2 点ステープルは無効となります。

2 点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度 2 点ステープルの設定を行います。

2.3 原稿をセットする

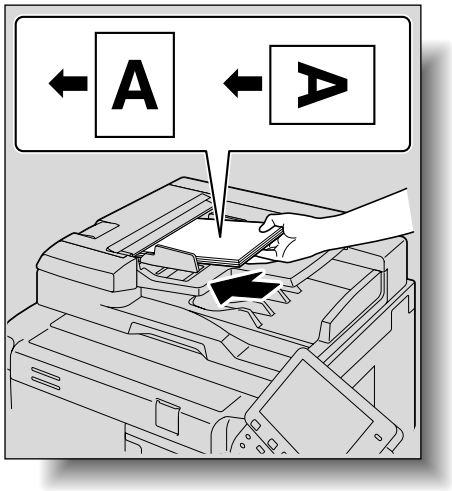
原稿のセット方法には以下の 2 種類の方法があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

原稿セット方法	特長
ADF の場合	複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。両面原稿も自動的に読込むことができます。
原稿ガラスの場合	原稿を原稿ガラス上に直接セットして原稿を読込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読込むのに適しています。

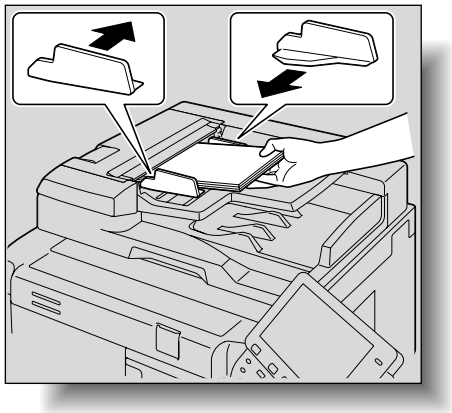
2.3.1 ADF に原稿をセットする

1 原稿のオモテ面を上にして、原稿を読込み順に原稿給紙トレイにセットします。

❍ 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。



2 ガイド板を原稿に沿わせます。



必ず守ってください

クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

参照

ADF にセットできる原稿については、「ADF にセットする原稿」（p. 6-27）をごらんください。

必ず守ってください

- 原稿は 100 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。詳しくは、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。
- 原稿の天部（上側）が奥側以外になる向きでセットした場合は、必ず原稿のセット方向を設定してください。詳しくは、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

参照

- サイズの異なる原稿（混載原稿）のセットのしかたについては、「サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）」（p. 2-17）をごらんください。
- 原稿の向きの指定のしかたについては、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。
- 原稿のとじしろ位置の指定のしかたについては、「とじしろを設定する（原稿のとじしろ）」（p. 2-23）をごらんください。

2.3.2　原稿ガラス上に原稿をセットする

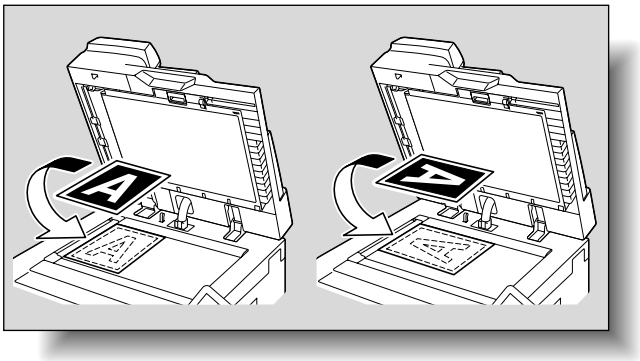
1 ADF を開きます。

原則

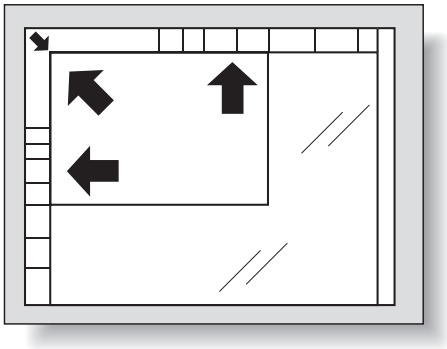
原稿をセットするときは、必ず ADF を 20 ° 以上開いてください。
20 ° 以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。

2 原稿のオモテ面を下にして、原稿を原稿ガラス上にセットします。

❍ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



3 原稿スケール左奥側の ↘ マークに合わせて原稿をセットします。



参照

原稿ガラス上にセットできる原稿については、「原稿ガラスにセットする原稿」（p. 6-28）をごらんください。

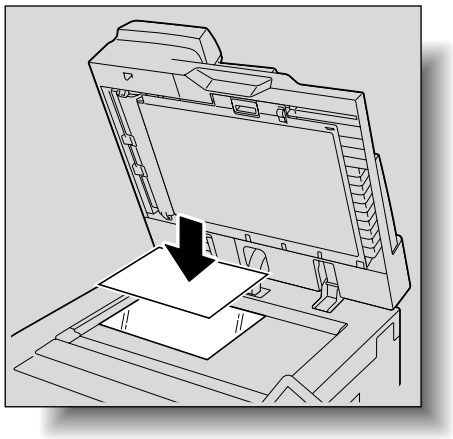
必ずお守ってください

- 原稿ガラス上には 6.8 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
- 原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF を閉じずに読込みを行ってください。ADF を閉じずに読込みを行った場合、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。

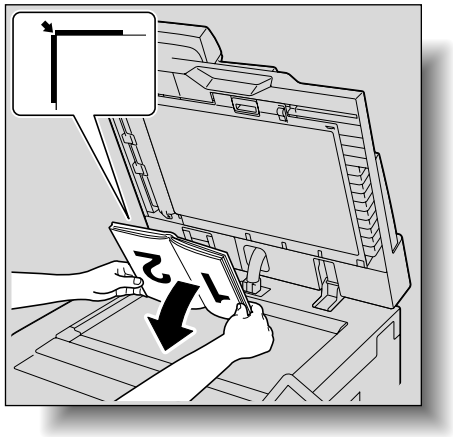
参照

- 原稿の向きを指定したい場合は、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。
- 原稿のとじしろ位置の指定のしかたについては、「とじしろを設定する（原稿のとじしろ）」（p. 2-23）をごらんください。

❍ 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



❍ 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケール左奥側の ⬊ マークに合わせます。



4 ADF を閉じます。

2.3.3　原稿を分割して読込む（連続読込み設定）

大量にある原稿を数回に分けて読込ませることができます。

必ずお守ってください

原稿積載量は普通紙（80 g/m^2）100 枚までです。また、それ以下でも▼マークを超えて原稿をセットしないでください。

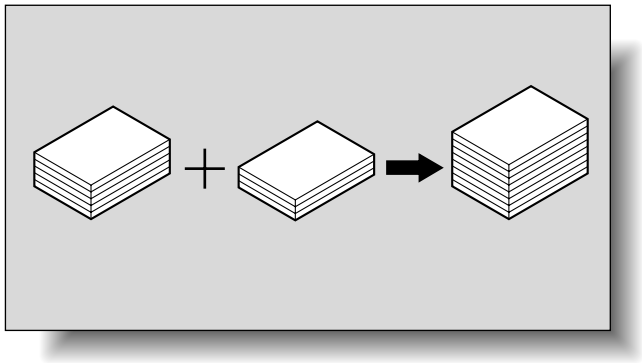
ひとこと

連続読込み設定には［自動出力］と［一括出力］があり、出荷時設定では［自動出力］が設定されています。

参照

連続読込み設定については、「コピー設定」（p. 11-17）の「連続読込み方法」をごらんください。

ADF に 1 度にセットできる原稿枚数は最大 100 枚までですが、連続読込み設定を設定することで、100 枚を超える原稿を数回に分けて読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また、原稿ガラス上にセットして読込ませたり、途中で ADF に切換えることもできます。

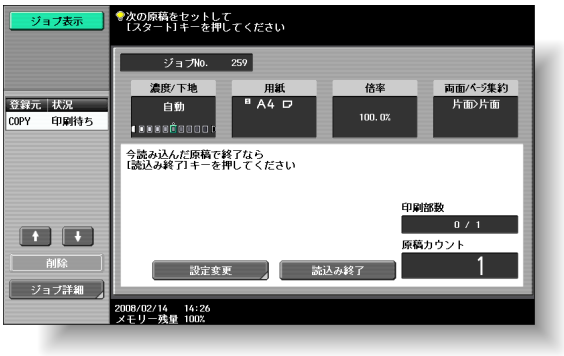


1 原稿をセットします。

2 基本設定画面の［連続読込み設定］を押します。

3 【スタート】を押します。

原稿が読込まれたあと、以下の画面が表示されます。



❍ 次の原稿をセットし、【スタート】を押します。

参照

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

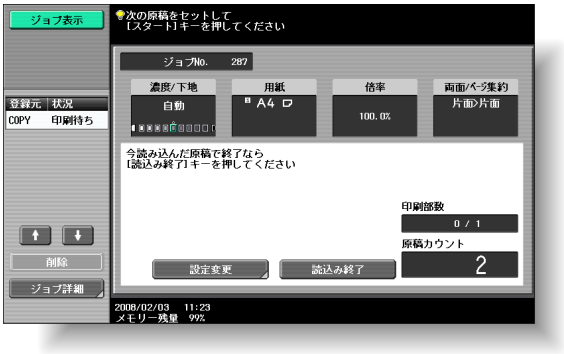
ひとこと

連続読込み設定機能を解除するときは、再度［連続読込み設定］を押します。

詳しく説明します

- 画面左下の「メモリー残量」表示で、メモリーの残量が確認できます。
- 画像データを削除したいときは、【ストップ】を押して、ジョブの削除を行ってください。詳しくは、「読込み・印刷を一時停止する」（p. 2-72）をごらんください。

- 連続読込み設定で一括出力が設定されている場合は、ADF で原稿読込み中、以下の画面で［読込み終了］を押すと手順 5 に進みます。



- ADF にセットできないような原稿は原稿ガラス上にセットしてください。セットできる原稿については、「原稿ガラスにセットする原稿」（p. 6-28）をごらんください。
- 読込み設定を変更する場合は、［設定変更］を押します。読込み設定の変更については、「原稿ごとに読込み設定を変更する」（p. 2-25）をごらんください。

4 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

ひとこと

読込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。
片面 / 両面、濃度 / 下地、原稿画質、原稿のとじしろ、倍率、原稿サイズ、枠消し、折り目消し

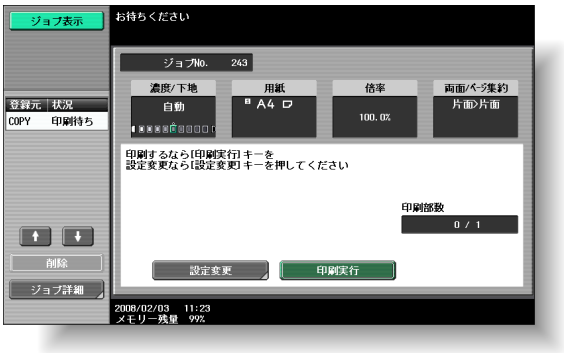
ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

5

【スタート】を押します。

❍ 連続読込み設定で一括出力が設定されている場合は、［印刷実行］または【スタート】を押します。



❍ 連続読込み設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。［設定変更］を押し、コピー設定を変更して［OK］を押します。

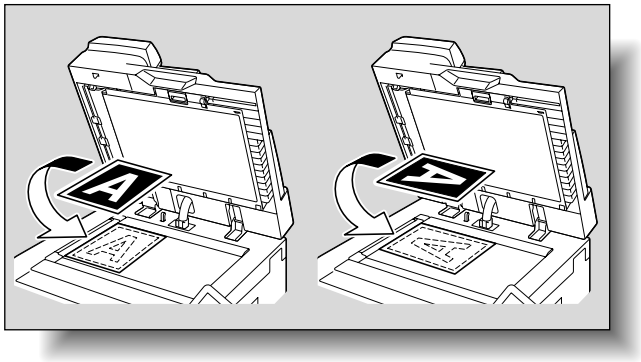
2.3.4　複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする

両面コピーや集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットし、読込ませます。ここでは、原稿ガラスを使用して片面>両面コピーをとる場合の手順を説明します。

1 ADF を開きます。

2 1 枚目または 1 面目の原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上にセットします。

❍ 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。



3 ADF を閉じます。

4 基本設定画面の［両面 / ページ集約］を押します。

両面 / ページ集約画面が表示されます。

5 ［片面>両面］を押します。

ひとこと

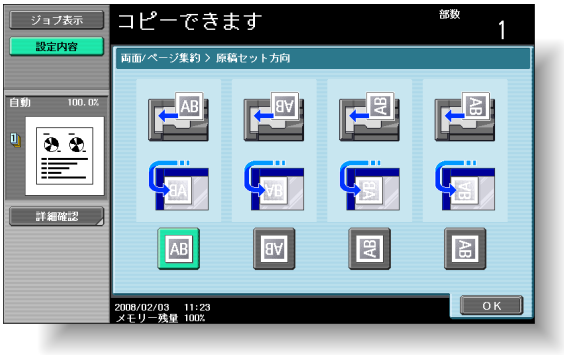
連続読込み設定には［自動出力］と［一括出力］があり、出荷時設定では［自動出力］が設定されています。

参照

連続読込み設定については、「コピー設定」（p. 11-17）をごらんください。

6 ［開き方向］を押し、コピー開き方向を設定して、［OK］を押します。

7 ［原稿セット方向］を押し、セットした原稿の方向を設定して、［OK］を押します。



8 ［OK］を押します。

9 【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

10 2 枚目または 2 面目の原稿をセットし、【スタート】を押します。

❍ 残りの原稿がある場合、手順 10 を繰り返し行います。

ひとこと

開き方向の設定については、「両面コピーを選択する」（p. 2-40）をごらんください。

ひとこと

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

❍ 読込み設定を変更する場合は、［設定変更］を押します。読込み設定の変更については、「原稿ごとに読込み設定を変更する」（p. 2-25）をごらんください。

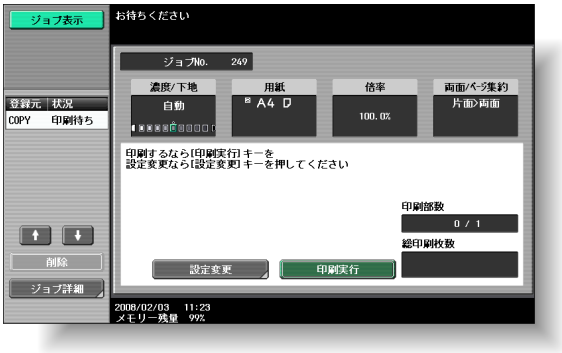
11

全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

12

【スタート】を押します。

❍ 連続読込み設定で一括出力が設定されている場合は、［印刷実行］または【スタート】を押します。



ひとこと

読込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。
片面 / 両面、濃度 / 下地、原稿画質、原稿のとじしろ、倍率、原稿サイズ、枠消し、折り目消し

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

❍ 連続読込み設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。［設定変更］を押し、コピー設定を変更して［OK］を押します。

2.4　原稿の設定をする

目的のコピーをとるために、原稿の状態やセットに応じて必要な設定について説明します。

2.4.1　原稿のサイズを設定する（原稿サイズ）

原稿サイズが自動検出されない場合や、原稿サイズを任意に指定したい場合は、原稿として読取るサイズを設定してコピーできます。

1. 原稿をセットします。

2. 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

3. ［原稿サイズ］を押します。

原稿サイズ画面が表示されます。

4. 原稿サイズを設定し、［OK］を押します。

<定形サイズ画面>

❍ 定形サイズの場合、設定する原稿サイズを押します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

［↑］または［↓］で、定形サイズの表示を切換えます。

＜不定形サイズ画面＞

❍ 不定形サイズの場合、［不定形サイズ］を押すと不定形サイズ画面が表示されます。
［X］または［Y］を選択しテンキーで数値を入力し、［OK］を押します。

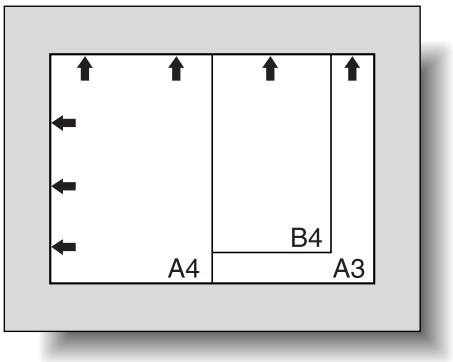
定形サイズ画面に戻ります。

2.4.2　サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

サイズの異なる原稿を ADF に 1 度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。

1 ADF のガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。

2 コピーしたい面を上向きにし、図のように揃えます。



3 原稿のオモテ面を上にして、原稿を読込み順に原稿給紙トレイにセットします。
ガイド板を原稿に沿わせます。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

不定形サイズ画面で範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

混載できる原稿サイズの組合わせは、セットする原稿の最大幅（ガイド板の開き幅）により異なります。

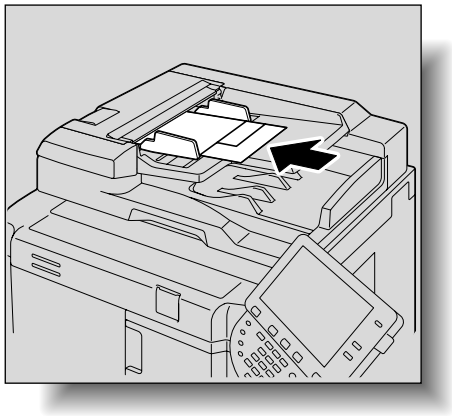
参照

ADF に混載できる原稿サイズの組合わせについては、「ADF にセットする原稿」（p. 6-27）をごらんください。

詳しく説明します

・原稿は 100 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。詳しくは、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。
・原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

❍ 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



4 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

5 ［混載原稿］を押します。

詳しく説明します

混載原稿機能を解除するときは、再度［混載原稿］を押します。

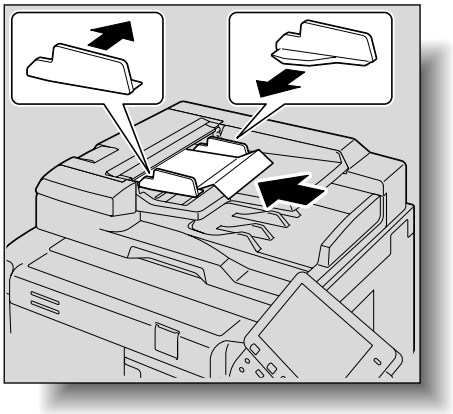
2.4.3　折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）

折りぐせのある原稿を ADF にセットしてコピーするときに、原稿サイズを正確に検知できます。

原則

原稿は ADF にセットします。
1 枚目の原稿のサイズ長を検知し、それより後は同じサイズとして読込みます。

1 原稿をセットします。



2 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

3 ［Z 折れ原稿］を押します。

必ずお守ってください

折りぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずにコピーをすると、紙づまりの原因になります。

参照

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

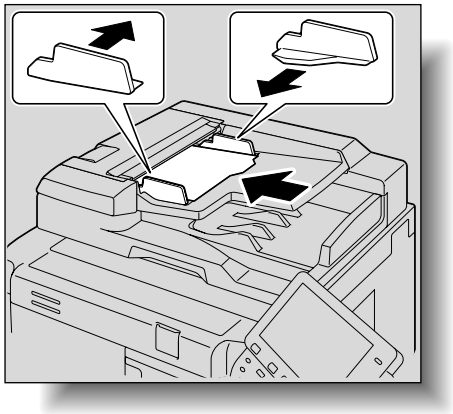
詳しく説明します

設定を中止する場合は、再度［Z 折れ原稿］を押し、反転表示を解除してください。

2.4.4　インデックス紙をセットする（インデックス原稿）

用紙にインデックス紙を使って、原稿のインデックス部分を含めたコピーができます。

1 原稿をセットします。



2 手差しトレイにインデックス紙をセットします。

3 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

4 ［インデックス原稿］を押します。

インデックス原稿サイズ画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

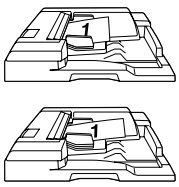
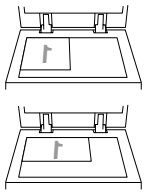
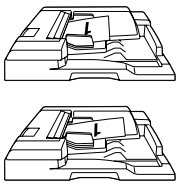
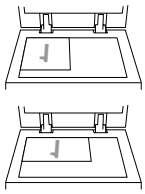
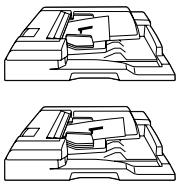
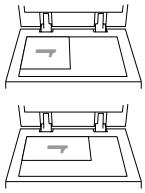
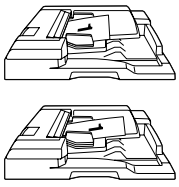
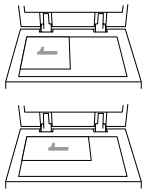
インデックス紙は手差しトレイに設定することができます。
詳しくは、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

5 原稿サイズを選択し、[OK] を押します。

2.4.5　原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどをする場合、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

原稿のセット方向について

ADF を使用	原稿ガラスを使用	アイコン	説明
			原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
			原稿の天部（上側）を手前側にしてセットした場合に選択します。
			・ADF に原稿の天部（上側）を左側にしてセットした場合に選択します。 ・原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。
			・ADF に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。 ・原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を左側にセットした場合に選択します。

ひとこと

出荷時設定では、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットが選択されています。

2.4.6　原稿セット方向の設定のしかた

1 原稿をセットします。

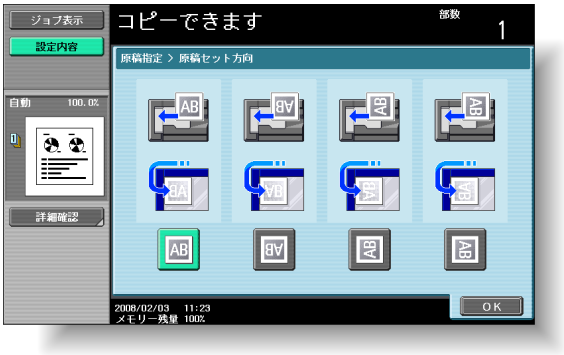
2 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

3 ［原稿セット方向］を押します。

原稿セット方向画面が表示されます。

4 セットした原稿の方向に合わせて、目的のキーを押し、［OK］を押します。



参照

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

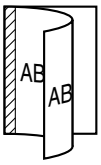
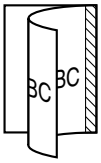
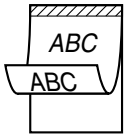
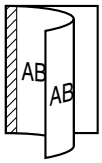
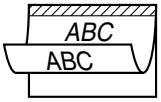
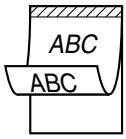
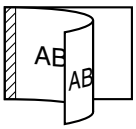
ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.4.7　とじしろを設定する（原稿のとじしろ）

ADF に両面原稿をセットする場合、原稿のとじしろ位置を設定することで、原稿ウラ面の天部（上側）を指定します。

原稿のとじしろ位置について

原稿のとじしろ	アイコン	説明
	左開き / とじ	原稿の左側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
	右開き / とじ	原稿の右側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
	上開き / とじ	原稿の上側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
＜原稿の長辺が 297 mm 以下の場合＞   ＜原稿の長辺が 297 mm を超える場合＞  	自動	原稿のとじしろが自動で選択されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。

ひとこと

出荷時設定では、とじ方向は［自動］が選択されています。

ひとこと

［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。

2.4.8　原稿のとじしろの設定のしかた

1. 原稿をセットします。

2. 基本設定画面の［原稿指定］を押します。

原稿指定画面が表示されます。

3. ［原稿のとじしろ］を押します。

原稿のとじしろ画面が表示されます。

4. とじ方向を設定し、［OK］を押します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

とじしろのある原稿をセットする場合は、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしてください。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.4.9　原稿ごとに読込み設定を変更する

連続読込み設定で原稿を読込む場合や、複数枚の原稿を原稿ガラスで読込む場合に、原稿ごとに読込み設定を変更できます。
ここでは連続読込み設定の場合の手順を説明します。

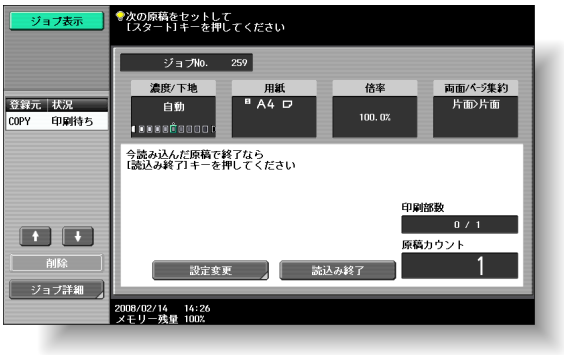
1. 原稿をセットします。

2. 基本設定画面の［連続読込み設定］を押します。

3. 【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

4. ［設定変更］を押します。



設定変更画面が表示されます。

5. 目的のキーを押し、各設定画面で設定を変更して［OK］を押します。

ひとこと

- 読込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。
  片面 / 両面、濃度 / 下地、原稿画質、原稿のとじしろ、倍率、原稿サイズ、枠消し、折り目消し
- ［中止］を押すと設定は変更されません。

参照

［倍率］については「倍率を選ぶ」(p. 2-30)、［枠消し］［折り目消し］については「不要部分を消してコピーする（消去）」(p. 7-37)をごらんください。

<濃度 / 下地画面>

<原稿のとじしろ画面>

<倍率画面>

<枠消し画面>

<原稿画質画面>

<折り目消し画面>

<原稿サイズ画面>

ひとこと

原稿サイズ画面が表示されるのは、混載原稿がオンになっている場合のみです。

6 ［OK］を押します。

2.5　用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。出荷時設定では、［自動］が選択されています。

原則

自動用紙と自動倍率は同時に設定できません。

2.5.1　自動的に用紙を選択する（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

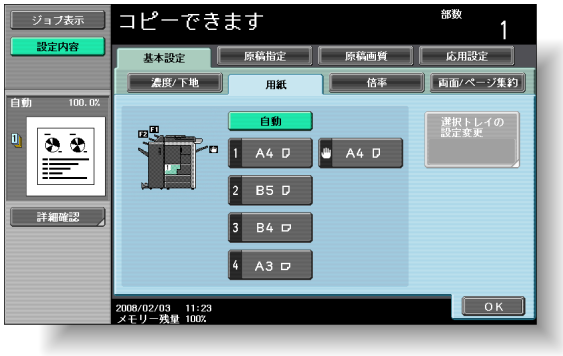
1

基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2

［自動］を押します。



3

［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙機能で選択されません。（ただし、両面不可紙として設定された給紙トレイは、片面印刷の場合には、優先して選択されます。）特別な用紙を給紙トレイにセットした場合には必ず用紙種類を設定してください。詳しくは、「専用紙について」（p. 6-7）をごらんください。

詳しく説明します

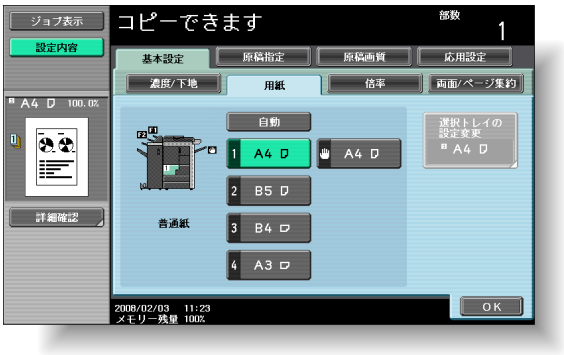
- 自動倍率設定時に自動用紙を選択した場合は、倍率設定画面が表示されますので、目的の倍率を設定してください。
- 給紙トレイの優先順序の設定については、「< 給紙トレイ設定 >」（p. 11-13）をごらんください。

2.5.2　手動で目的の用紙を指定する

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 目的の用紙がセットされた給紙トレイを選択します。



3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

あらかじめ、目的の用紙を給紙トレイにセットしておきます。

詳しく説明します

自動倍率と組合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。自動倍率については、「自動的に倍率を設定させる（自動倍率）」（p. 2-30）をごらんください。

2.6　倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの用紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときに倍率を設定できます。出荷時設定では、［等倍］が選択されています。
ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

原則

自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。

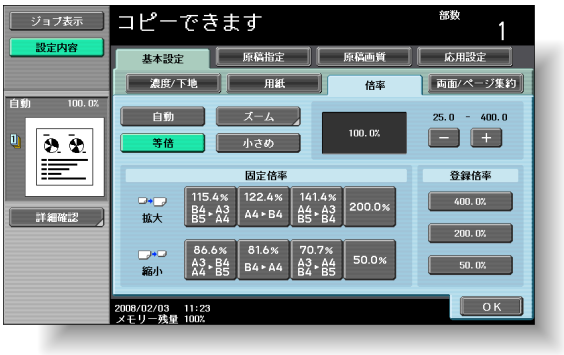
2.6.1　自動的に倍率を設定させる（自動倍率）

原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［自動］を押します。



3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

自動倍率を指定し、原稿よりも大きな用紙に拡大コピーしたい場合は、用紙の向きに合わせて原稿をセットします。

詳しく説明します

自動用紙設定時に自動倍率を選択した場合は、用紙選択画面が表示されますので、目的の用紙を選択してください。

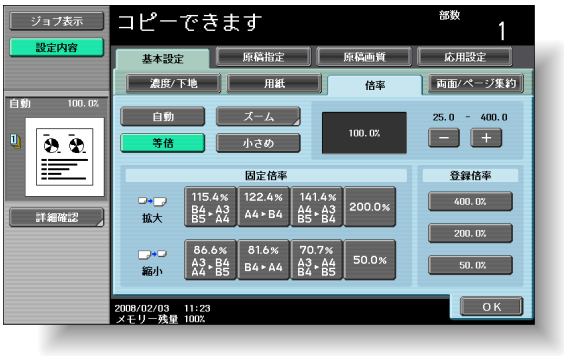
2.6.2　原稿と同じ倍率にする（等倍）

原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［等倍］を押します。



3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.6.3　テンキーで倍率を指定する（ズーム）

テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに 25.0% ～ 400.0% の間でコピー倍率を直接入力できます。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

詳しく説明します

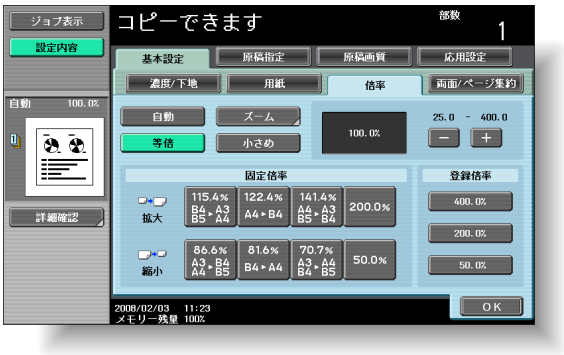
［+］を押すと拡大側へ、［-］を押すと縮小側へ 0.1% 単位で倍率が設定できます。

参照

入力した倍率を登録できます。登録のしかたについては、「目的の倍率を登録する」（p. 2-36）をごらんください。

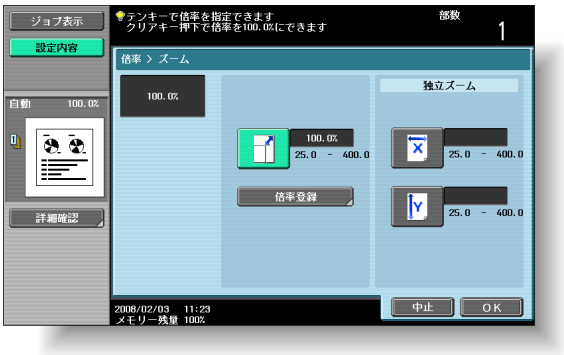
2

［ズーム］を押します。



3

テンキーで目的の倍率を入力します。（25.0% ～ 400.0%）



4

［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

2.6.4　原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）

画像を、原稿サイズよりわずかに縮小（93.0%）し、センタリングしてコピーします。

1

基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

詳しく説明します

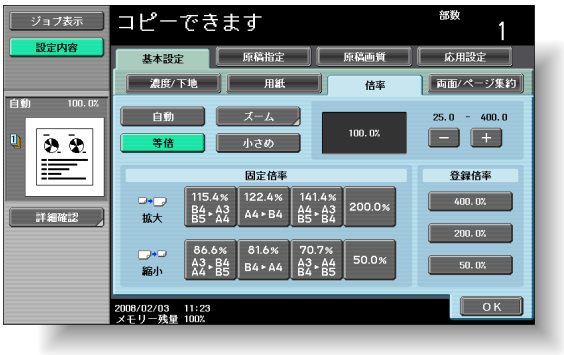
- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

詳しく説明します

小さめコピーの倍率は、目的の倍率（90.0% ～ 99.9%）に変更し、登録できます。小さめコピーの倍率変更／登録については、「目的の倍率を登録する」（p. 2-36）をごらんください。

2

［小さめ］を押します。



3

［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.6.5　「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）

よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合の最適な倍率が、あらかじめ設定されています。

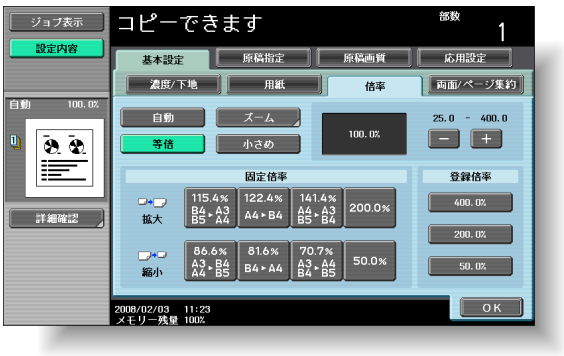
1

基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2

原稿と用紙サイズから最適な倍率を「拡大」、「縮小」から選択します。



3

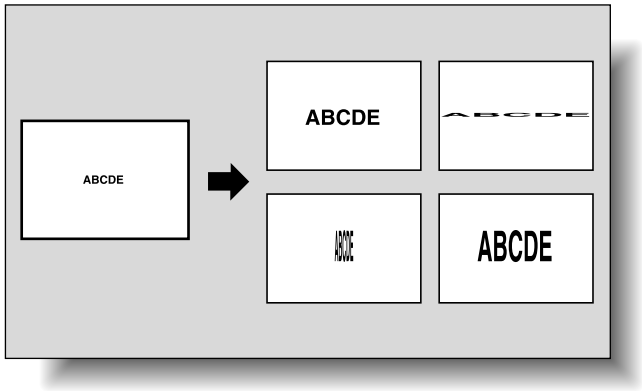
［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.6.6　テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）

テンキーを使用して、縦（25.0% ～ 400.0%）と横（25.0% ～ 400.0%）の比率を変えてコピー倍率を直接入力できます。

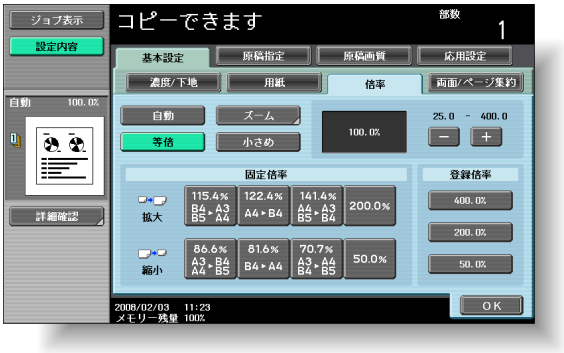
タテ・ヨコ倍率を組合わせると、下図のような画像が得られます。



1 基本設定画面の［倍率］を押します。

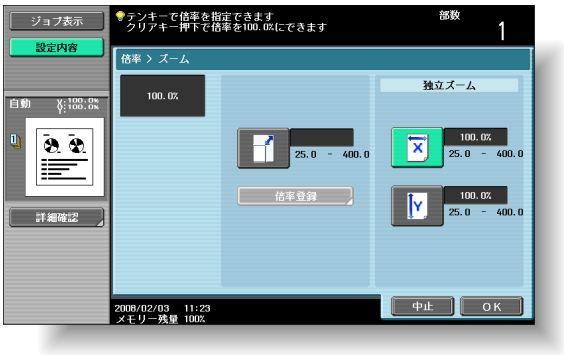
倍率画面が表示されます。

2 ［ズーム］を押します。



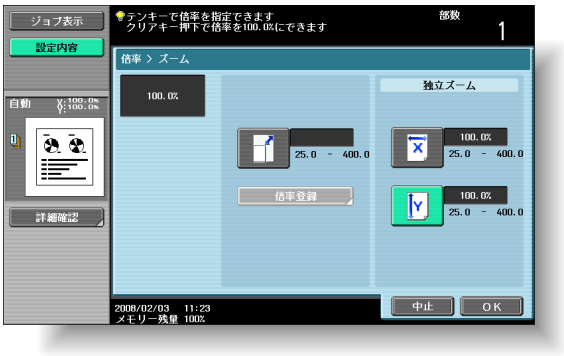
3

「独立ズーム」の［X］を押し、テンキーでＸ辺の倍率を設定します。（25.0% ～ 400.0%）



4

「独立ズーム」の［Y］を押し、テンキーでＹ辺の倍率を設定します。（25.0% ～ 400.0%）



5

［OK］を２回押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

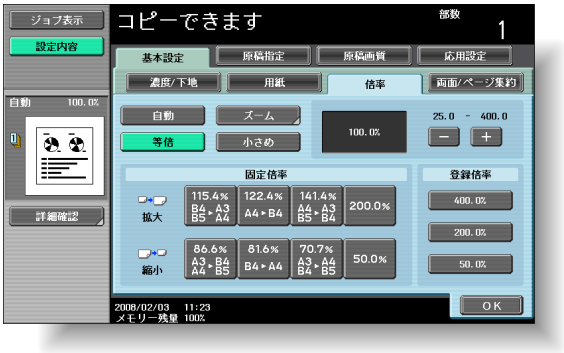
2.6.7　登録倍率から選択する

登録されているコピー倍率を、必要に応じて呼出し設定します。
また、登録されているコピー倍率を変更することもできます。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 目的の倍率を「登録倍率」から選択します。



3 ［OK］を押します。
基本設定画面に戻ります。

2.6.8　目的の倍率を登録する

よく使用する倍率を 3 件と小さめ倍率を登録できます。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

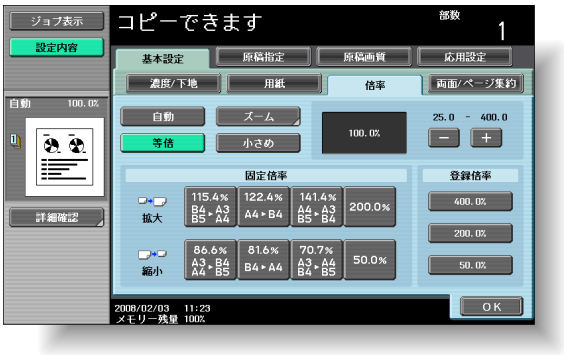
参照

登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。倍率の登録のしかたについては、「目的の倍率を登録する」（p. 2-36）をごらんください。

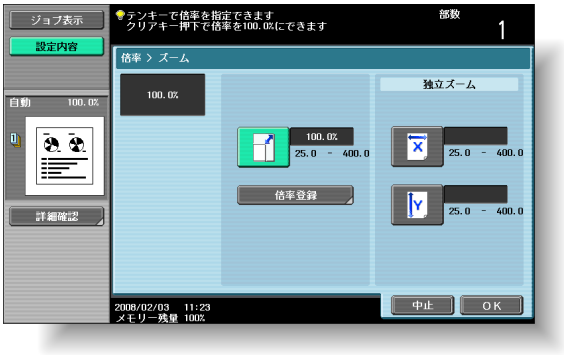
詳しく説明します

- 出荷時設定では、［等倍］が選択されています。
- ［+］を押すと拡大側へ、［-］を押すと縮小側へ 0.1% 単位で倍率が設定できます。

2 ［ズーム］を押します。

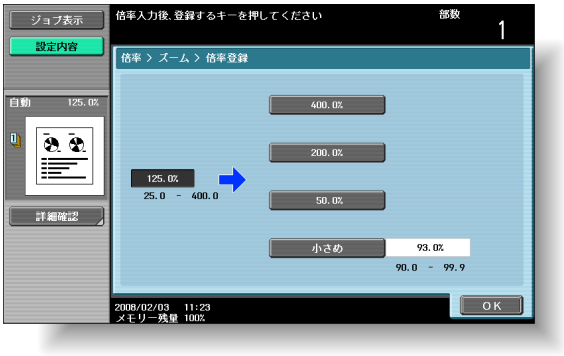


3 テンキーで目的の倍率を入力します。（25.0% ～ 400.0%）



4 ［倍率登録］を押します。

5 登録するいずれかのキー、または［小さめ］を押します。



入力した倍率が登録されます。

6 ［OK］を 3 回押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

・設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
・入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

［小さめ］の倍率を登録する場合は、90.0% ～ 99.9% の範囲の中から目的の倍率を入力してください。

ひとこと

・登録倍率にはあらかじめ、400.0%、200.0%、50.0% が登録されています。選択されたキーに登録されていた倍率は、新たに入力した倍率に上書きされます。
・いずれの登録倍率のキーも押さずに［OK］を押すと設定は変更されません。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.7　原稿＞コピー機能を選ぶ

原稿＞コピー機能には以下の 4 つの設定があります。

原稿＞コピー機能	説明
片面＞片面	片面原稿を用紙の片面にコピーします。
片面＞両面	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。
両面＞片面	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。
両面＞両面	両面原稿を用紙の両面にコピーします。

ここでは、原稿＞コピー機能の設定のしかたについて説明します。

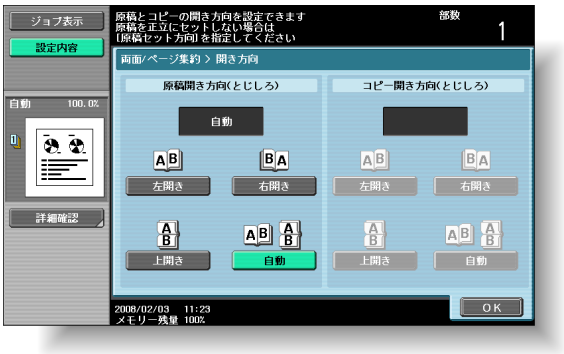
2.7.1　片面コピーを選択する

1 基本設定画面の［両面 / ページ集約］を押します。

両面 / ページ集約画面が表示されます。

2 ［片面＞片面］、または［両面＞片面］を押します。

❍ 両面原稿の場合、［開き方向］を押し、原稿開き方向を設定して、［OK］を押します。



3 ［原稿セット方向］を押し、セットした原稿の方向を設定して、［OK］を押します。

4 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

出荷時設定では、［片面＞片面］が設定されています。

参照

原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 2-12）をごらんください。

ひとこと

- ［両面＞片面］を選択した場合、開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- 原稿開き方向で［自動］を押すと、原稿のとじしろが自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
- 原稿開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。

ひとこと

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

2.7.2　両面コピーを選択する

1 基本設定画面の［両面 / ページ集約］を押します。

両面 / ページ集約画面が表示されます。

2 ［片面＞両面］、または［両面＞両面］を押します。

3 ［開き方向］を押します。

❍ 片面原稿の場合、コピー開き方向を設定して、［OK］を押します。

ひとこと

出荷時設定では、［片面＞片面］が設定されています。

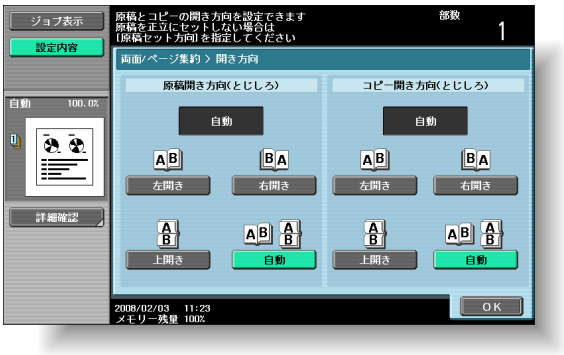
参照

原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 2-12）をごらんください。

ひとこと

- 開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- 原稿開き方向で［自動］を押すと、原稿のとじしろが自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
- 原稿開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。
- コピー開き方向で［自動］を押すと、原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。
- コピー開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。

❍ 両面原稿の場合、原稿開き方向とコピー開き方向を設定して、［OK］を押します。



4 ［原稿セット方向］を押し、セットした原稿の方向を設定して、［OK］を押します。

5 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

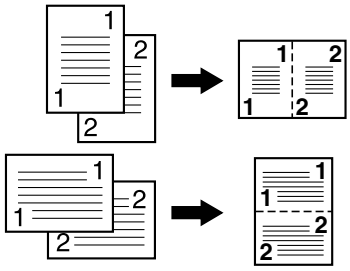
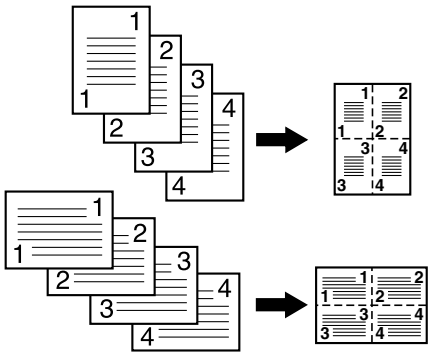
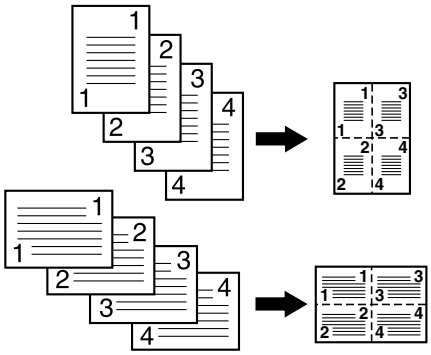
ひとこと

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

2.8 ページ集約を選ぶ

複数枚（2 枚、4 枚、8 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

ページ集約コピーには以下の 3 つの設定があります。

項目	説明
2 in 1	2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。 
4 in 1	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。 ＜横順＞  ＜縦順＞ 

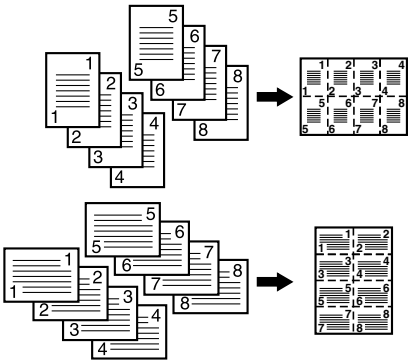
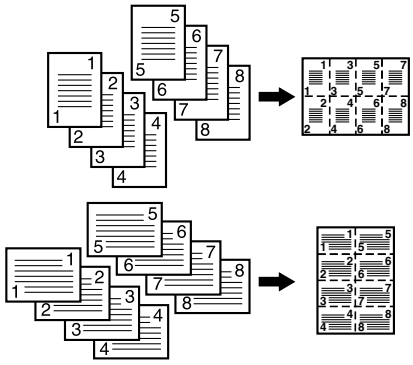
詳しく説明します

集約機能を選択すると原稿と用紙のサイズに基づいた適切な倍率を設定してコピーします。（お勧め倍率）

設定された倍率は、手動で変更することができます。

ひとこと

- 出荷時設定では、「お勧め倍率」が設定されています。
- ユーザー設定の［集約 / 小冊子倍率］でお勧め倍率を使用しないように設定できます。その場合、倍率は手動で設定してください。詳しくは、「コピー設定」（p. 11-17）をごらんください。

項目	説明
8 in 1	8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。 ＜横順＞  ＜縦順＞ 

ここでは、集約コピーの設定のしかたについて説明します。

2.8.1　複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）

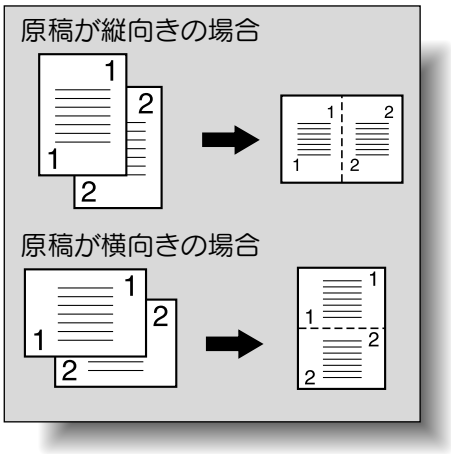
1 基本設定画面の［両面 / ページ集約］を押します。

両面 / ページ集約画面が表示されます。

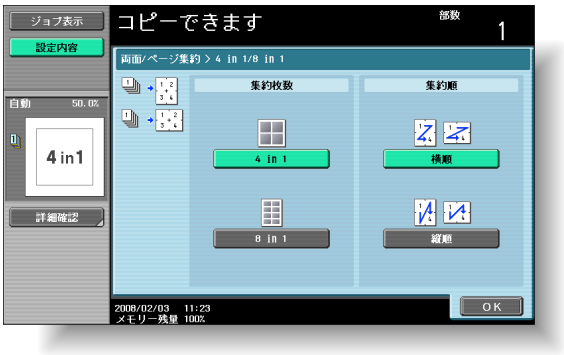
2

目的の集約枚数を選択します。

❍［2in1］を選択した場合、集約順は次のようになります。



❍［4 in1/8 in1］を選択した場合、4 in 1/8 in 1 画面が表示されます。［縦順］または［横順］を押し、原稿の集約順を指定します。



3

［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- 集約する原稿の向きおよび枚数に合わせて、機能と集約順を選択します。
  ［4in1］、［8in1］を選択した場合、［縦順］または［横順］の集約順を画面上で確認できます。
  ただし設定メニューの左エリア初期表示設定が［設定内容］の場合に限ります。
- 集約を設定した場合、原稿のとじしろ位置および原稿セット方向を設定してください。原稿のとじしろ位置および原稿セット方向を設定していない場合、目的の集約順にならないことがあります。
  原稿のとじしろについては、「とじしろを設定する（原稿のとじしろ）」（p. 2-23）をごらんください。
  原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。
- 集約の設定を解除するときは、［しない］を押します。

2.9 原稿の画質を選ぶ

2.9.1 小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）

原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

原稿画質には以下の設定があります。

アイコン	説明
文字	文字だけで構成された原稿からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。
文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿をコピーするのに適した機能です。
写真	通常のモードでは再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を再現するときに適した機能です。
薄文字原稿	文字だけで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。

ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

出荷時設定では、［文字 / 写真］が設定されています。

2.9.2　原稿画質の設定のしかた

1. 原稿をセットします。

2. 基本設定画面の［原稿画質］を押します。

原稿画質画面が表示されます。

3. セットした原稿に合った原稿画質機能を選択します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

2.10　濃度を選ぶ

コピー濃度や下地濃度の設定をします。原稿の状態に合わせて、よりよい濃度に調整します。
濃度調整には以下の 2 つの設定があります。

機能名	説明
濃度	印刷画像濃度を 9 段階で調整できます。 ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。 ［ふつう］を押すと、9 段階の中央に設定されます。 ［自動］を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度で印刷します。
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。 ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ下地濃度が増減します。 ［ふつう］を押すと、9 段階の中央に設定されます。

ここでは、濃度調整の設定のしかたについて説明します。

2.10.1　印刷濃度を調整する（濃度）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。

濃度 / 下地画面が表示されます。

2 目的の濃度に調整します。

3 ［OK］を押します。

詳しく説明します

- ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- ［ふつう］を押すと、中央（標準値）に戻ります。
- ［自動］を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度で印刷します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.10.2　下地濃度を調整する（下地調整）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。

濃度 / 下地画面が表示されます。

2 目的の下地濃度に調整します。

3 ［OK］を押します。

詳しく説明します

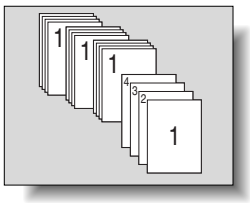
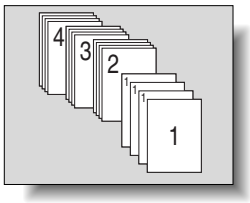
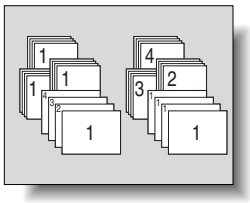
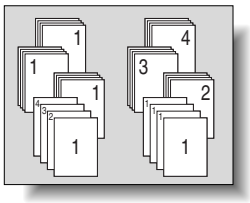
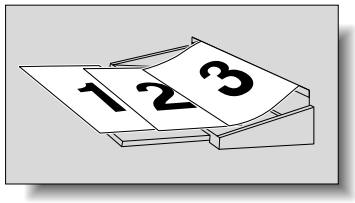
・［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
・［ふつう］を押すと、中央（標準値）に戻ります。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.11　仕上り機能を選ぶ

コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上りの状態を設定できます。

項目	説明
ソート	複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。 
グループ	複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。 
仕分け	<フィニッシャー装着していない場合> 仕分け機能の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。 
	<フィニッシャー装着時> コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。 
フェイスアップ	コピーの完了した用紙のオモテ面を上にして排紙します。 

ひとこと

出荷時設定では、グループが設定されています。

詳しく説明します

仕分け機能は、フィニッシャーが装着されていない場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。

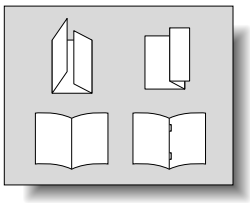
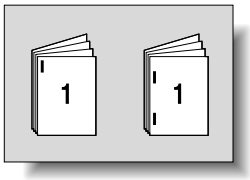
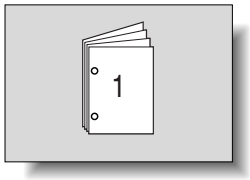
- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を ▭ 方向と ▯ 方向で、それぞれ別のトレイにセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

ひとこと

管理者設定で、フィニッシャー装着時にコピーの完了した用紙をシフトせずに（ずらさずに）排出することもできます。出荷時設定では、シフト排出するが設定されています。

参照

フィニッシャー装着時のシフト排出設定については、「<出力設定>」（p. 11-22）をごらんください。

項目	説明
紙折り / 中とじ	コピーの完了した用紙を折って排紙します。同時にステープルでとじることもできます。  ［紙折り / 中とじ］機能はオプションのフィニッシャー FS-610 を装着している場合に使用できます。
排紙トレイ	コピーの完了した用紙を指定した排紙トレイに排紙します。
ステープル	コピーの完了した用紙のコーナーまたは 2 点をステープル（針）でとじます。 
パンチ	コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴（2 穴）をあけます。 

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

原則

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーを装着した場合に使用できる機能です。
パンチ機能はオプションのフィニッシャーにパンチキットまたは、Z 折りユニットを装着した場合に使用できる機能です。

参照

紙折り / 中とじについては、「紙折り機能を選ぶ」（p. 2-59）をごらんください。

ひとこと

フィニッシャーにポストインサータが装着されているとき、手動でフィニッシャーを操作することができます。詳しくは、「手動でフィニッシャーを使う」（p. 2-66）をごらんください。

2.11.1　部数ごとに分けて排紙する（ソート）

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［ソート（1 部ごと）］を押します。

❍ 部数ごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の［する］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.11.2　ページごとに分けて排紙する（グループ）

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

ひとこと

出荷時設定では、［グループ（ページごと）］が設定されています。

詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で［仕分け］を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を ▭ 方向と ▯ 方向の交互に仕分けして排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を ▭ 方向と ▯ 方向で、それぞれ別のトレイにセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で「仕分け」の［する］を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフト（ずらして）して排紙します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［グループ（ページごと）］を押します。

❍ ページごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の［する］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.11.3　排紙先を指定して排紙する

原則

排紙トレイの指定はフィニッシャーを装着した場合に使用できる機能です。

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［排紙トレイ］を押します。

ひとこと

・出荷時設定では、［グループ（ページごと）］が設定されています。
・「仕分け」を設定すると、仕上がりで設定した以下の機能が無効になります。
　・フェイスアップ
　・ステープル

詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で［仕分け］を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を ▭ 方向と ▯ 方向の交互に仕分けして排紙します。
・A4 または B5 の用紙を使用する
・サイズと種類の同じ用紙を ▭ 方向と ▯ 方向で、それぞれ別のトレイにセットする
・用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
・混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で「仕分け」の［する］を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

ひとこと

「仕分け」を設定すると、仕上がりで設定した以下の機能設定が無効になります。
・フェイスアップ
・ステープル

3 排紙先のトレイを選択して［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

2.11.4　オモテ面を上にして排紙する（フェイスアップ）

コピーのオモテ面を上にして排紙します。

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［フェイスアップ］を押します。

❍ 設定を解除する場合は、再度［フェイスアップ］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

ソート出力、グループ出力の両方に対して設定できます。

ひとこと

- 出荷時設定では、OFF が設定されています。仕上がったコピーはウラ面を上にして排紙されます。
- 「フェイスアップ」と以下の機能設定は組合せて使用できません。
  - 小冊子
  - 両面コピー
  - 中とじ
  - 中折り
- フェイスアップを設定すると、仕上がりで設定した以下の機能設定が無効になります。
  - 仕分け
  - ステープル
  - パンチ
  - 三つ折り
  - Z 折り

2.11.5　ステープルでとじて排紙する（ステープル）

コーナーステープルまたは 2 点ステープルでとじて出力します。

フィニッシャー　FS-524/FS-525

トレイの種類	用紙坪量	用紙サイズ	積載量
メイン排紙トレイ（トレイ 2）	FS-524 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 FS-525 60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A3 ▭ ～ A5 ▯、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*1、8K ▭、16K ▭/ ▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯）	2 ～ 9 枚とじ：100 部 *2 10 ～ 20 枚とじ：50 部 21 ～ 30 枚とじ：30 部 31 ～ 40 枚とじ：25 部 41 ～ 50 枚とじ：20 部 51 ～ 60 枚とじ：15 部 *3 61 ～ 100 枚とじ：10 部 *3

*1　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

*2　用紙長さ 150 mm ～ 417 mm の場合です。この範囲外の場合は 50 部になります。

*3　フィニッシャー FS-525 装着時の積載量になります。

とじ枚数

フィニッシャー FS-524：50 枚（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）

フィニッシャー FS-525：100 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）

フィニッシャー　FS-610

トレイの種類	用紙坪量	用紙サイズ	積載量
メイン排紙トレイ（トレイ 2）	60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A3 ▭ ～ A5 ▯、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*1、8K ▭、16K ▭/ ▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯）	2 ～ 9 枚とじ：100 部 *2 10 ～ 20 枚とじ：50 部 21 ～ 30 枚とじ：30 部 31 ～ 40 枚とじ：25 部 41 ～ 50 枚とじ：20 部

*1　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

*2　用紙長さ 417 mm 以下の場合です。418 mm 以上の場合は 50 部になります。

とじ枚数：50 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）

ひとこと

フィニッシャー装着時のみ、コーナーステープルまたは 2 点ステープルでとじて出力ができます。

詳しく説明します

ステープルとじする場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- 用紙の幅は 182 mm 以上、314 mm 以下
- 用紙の長さは 139 mm 以上、458 mm 以下
- 混載原稿の場合、プリントされる用紙の幅が同じ

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ステープルの［コーナー］または［2 点］を押します。

3 ［位置指定］を押します。

❍ 目的の位置を選択し、［OK］を押します。

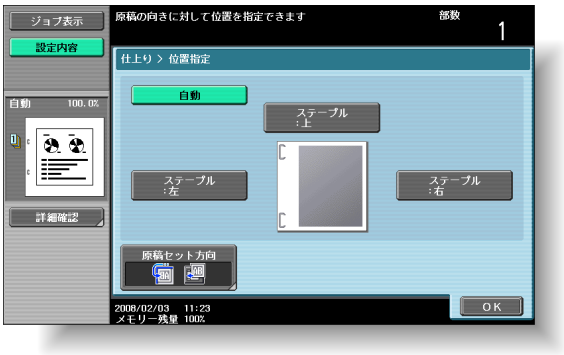
ひとこと

ステープルとじする場合、原稿をセットする方向およびステープルする用紙の方向を設定してください。原稿セット方向およびステープルする用紙の方向が設定されていない場合、目的の位置にステープルとじされないことがあります。原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

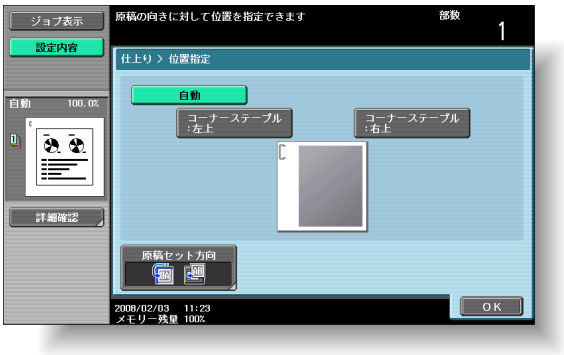
ひとこと

- 「ステープル」を選択した場合、自動的に［ソート（1 部ごと）］が選択されます。
- 「ステープル」と以下の機能設定は組合せで使用できません。
  - ・仕分け
  - ・フェイスアップ
- ステープル機能を解除するときは、［なし］を押します。

＜２点ステープルの場合＞



＜コーナーステープルの場合＞



4 必要に応じて、［原稿セット方向］を押し、原稿のセットされている向きを指定します。

5 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

・［自動］を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのステープル位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 314 mm 以下の場合、用紙の長辺にステープル位置を設定し、原稿の長辺が 314 mm を超える場合、用紙の短辺にステープル位置を設定します。
・［自動］を設定した場合は、上側または左側のステープル位置が設定されます。
・［自動］によりステープルの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

ひとこと

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

2.11.6　パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）

トレイの種類	用紙坪量	用紙サイズ
メイン排紙トレイ（トレイ 2）	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 128 g/m^2）	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、Foolscap*、8K ▭、16K ▭/▯

*　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

原則

パンチ機能はオプションのフィニッシャーにパンチキットまたは、Z 折りユニットを装着した場合に使用できる機能です。

1

基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2

パンチの［2 穴］を押します。

詳しく説明します

パンチ穴をあける場合、以下の条件を全て満たす必要があります。
- 用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- 用紙の長さは 182 mm 以上、432 mm 以下

ひとこと

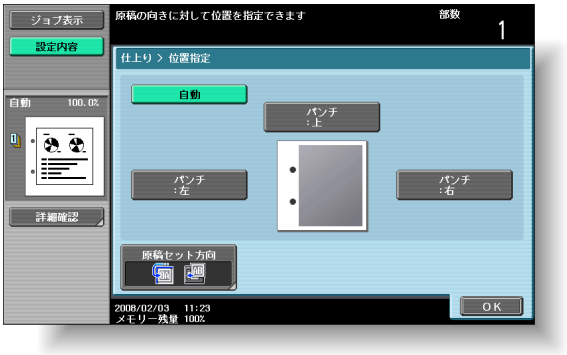
パンチ穴をあける場合、原稿をセットする方向を設定してください。原稿セット方向が設定されていない場合、目的のとおりにパンチされないことがあります。
原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

ひとこと

- パンチ機能を解除するときは、［なし］を押します。
- 「パンチ」と「フェイスアップ」は組合わせて使用できません。

3 ［位置指定］を押します。

❍ 目的の位置を選択し、［OK］を押します。



4 必要に応じて、［原稿セット方向］を押し、原稿のセットされている向きを指定します。

5 ［OK］を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

- ［自動］を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのパンチ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にパンチ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にパンチ位置を設定します。
- ［自動］を設定した場合は、上側または左側のパンチ位置が設定されます。
- ［自動］によりパンチの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

ひとこと

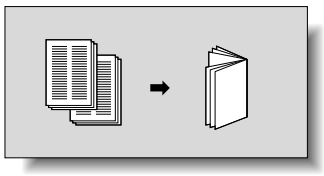
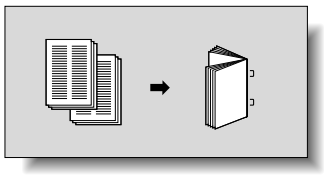
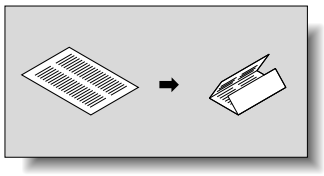
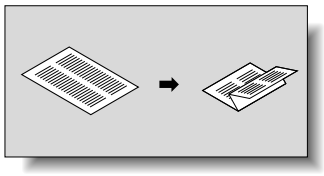
【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

ひとこと

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

2.12　紙折り機能を選ぶ

オプションを装着することで、コピーした用紙を折って排紙したり、折りとステープルを同時に行い排紙することができます。設定できる機能は装着しているオプションによって異なります。

項目	説明	対応機種
中折り	用紙を 2 つ折りにして、排紙します。 (p. 2-60) 	FS-610
中とじ	用紙のセンター 2ヶ所にステープルし、2 つ折りにして排紙します。(p. 2-61) 	FS-610
三つ折り	用紙を三つ折りにして、排紙します。 (p. 2-62) 	FS-610
Z 折り	用紙のセンターで 2 つ折りにし、さらに用紙の半分を山折りにして排紙します。 	FS-524 FS-525 FS-610

原則

フィニッシャー FS-610 装着時のみ、中折り、中とじ、三つ折りができます。
フィニッシャーに、Z 折りユニットを装着している場合に Z 折りができます。
(p. 2-64)

2.12.1　2 つ折りにして排紙する（中折り）

フィニッシャー FS-610

用紙坪量	用紙サイズ
60 g/m^2 ～ 90 g/m^2	定形紙： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭、12 × 18 ▭、 11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭、8K ▭、 ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4W ▭、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▭） 不定形紙： 210 mm × 279 mm ～ 314 mm × 458 mm

最大中折り枚数	積載量
3 枚	3 枚折りの場合（80g/m^2）： 25 冊以下（用紙長 299 mm 以下） 33 冊以下（その他）

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［紙折り / 中とじ］を押します。

紙折り / 中とじ画面が表示されます。

3 ［中折り］を押します。

4 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

2.12.2　用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）

フィニッシャー FS-610

用紙坪量	用紙サイズ	最大中とじ枚数
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	定形紙： A3 ◪、B4 ◪、A4 ◪、12 × 18 ◪、11 × 17 ◪、8-1/2 × 14 ◪、8-1/2 × 11 ◪、8K ◪、ワイド紙（A3W ◪、B4W ◪、A4W ◪、11 × 17W ◪、8-1/2 × 11W ◪） 不定形紙： 210 mm × 279 mm ～ 314 mm × 458 mm	20 枚
81 g/m^2 ～ 90 g/m^2		16 枚

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

詳しく説明します

出荷時設定では、［中折り］を設定すると、小冊子機能が自動的に選択されるように設定されています。

ひとこと

中折り機能を解除するときは、［しない］を押すか、他の機能のキーを押します。

2

［紙折り / 中とじ］を押します。

紙折り / 中とじ画面が表示されます。

3

［中とじ］を押します。

4

［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

2.12.3　三つ折りにして排紙する（三つ折り）

フィニッシャー FS-610

用紙坪量	用紙サイズ	最大三つ折り枚数
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭、16K ▭	3 枚
81 g/m^2 ～ 90 g/m^2		1 枚

折り枚数	積載量
1 枚折り	50 冊以下

詳しく説明します

- カバーシート機能のカバー紙を選択した場合は、カバー紙（200 g/m^2）にステープルすることができます。
- 出荷時設定では、中とじを設定すると、以下の機能が自動的に設定されます。
  - 片面＞両面
  - 小冊子
  - 小冊子時のお勧め倍率（× 70.7%）
- 中とじを設定すると、仕上りで設定した以下の機能設定が無効になります。
  - グループ
  - 仕分け
  - ステープル
  - パンチ
  - フェイスアップ

ひとこと

中とじ機能を解除するときは、［しない］を押すか、他の機能のキーを押します。

詳しく説明します

三つ折りにして排紙する場合に、印刷面を内側にして折るか、外側にして折るかを設定できます。
設定について詳しくは、「コピー設定」（p. 11-17）をごらんください。

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［紙折り / 中とじ］を押します。

紙折り / 中とじ画面が表示されます。

3 ［三つ折り］を押します。

4 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

三つ折り機能を解除するときは、［しない］を押すか、他の機能のキーを押します。

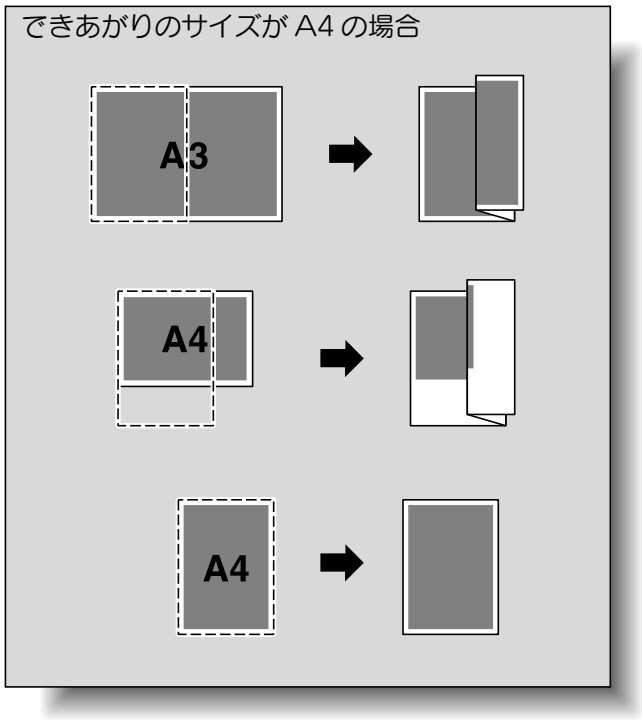
詳しく説明します

三つ折りを設定すると、仕上りで設定した以下の項目が無効になります。

・グループ
・仕分け
・ステープル
・パンチ
・フェイスアップ

2.12.4　Z 折りにして排紙する（Z 折り）

コピーした用紙を Z 折りして排紙します。また、サイズの異なる原稿を指定した用紙サイズに揃えて、Z 折りして排紙することができます。



フィニッシャー FS-524/FS-525/FS-610 + Z 折りユニット装着時

用紙坪量	50 g/m^2 ～ 90 g/m^2
用紙サイズ	A3 ▭、B4 ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8K ▭
Z 折り + ステープル *	5 枚
積載量	30 枚以下

* 用紙サイズが A3、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8K ▭ の場合に設定できます。

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

ひとこと

Z 折りと同時にパンチ穴をあけたり、ステープルとじして排紙することができます。

参照

混載原稿のセット方法については、「サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）」（p. 2-17）をごらんください。

詳しく説明します

以下の場合、Z 折りは行われません。

- 原稿サイズとできあがりのサイズが同じ場合
- 原稿の画像を欠損する用紙サイズを選択した場合

ひとこと

複数枚の用紙を重ねて一度に Z 折りすることはできません。

詳しく説明します

原稿を ADF にセットする場合は折られる側を右側に、原稿ガラス上にセットする場合は折られる側を左側にセットしてください。

2 ［紙折り / 中とじ］を押します。

紙折り / 中とじ画面が表示されます。

3 ［Z 折り］を押します。

4 ［OK］を 2 回押します。

ひとこと

Z 折り機能を解除するときは、［しない］を押すか、他の機能のキーを押します。

2.13　手動でフィニッシャーを使う

フィニッシャーにポストインサータが装着されているとき、ポストインサータ操作パネルを使って手動でフィニッシャーを操作することができます。

オプション構成ごとに、以下の出力を行います。

<フィニッシャー FS-524/FS-525 + ポストインサータ>

- コーナーステープル、2 点ステープル

<フィニッシャー FS-610 + ポストインサータ>

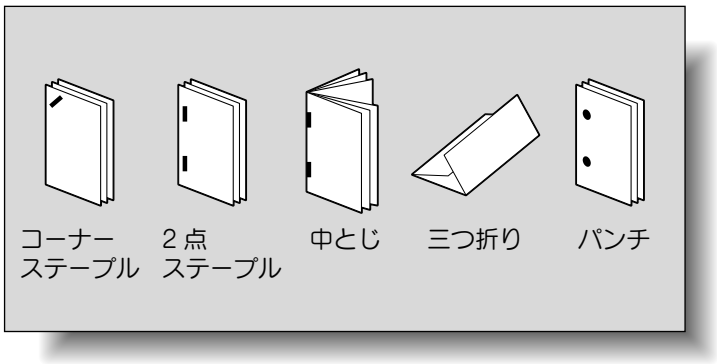
- コーナーステープル、2 点ステープル
- 中とじ
- 三つ折り

<フィニッシャー FS-524/FS-525 + ポストインサータ + パンチキット>

- コーナーステープル、2 点ステープル
- パンチ

<フィニッシャー FS-610 + ポストインサータ + パンチキット>

- コーナーステープル、2 点ステープル
- 中とじ
- 三つ折り
- パンチ



原則

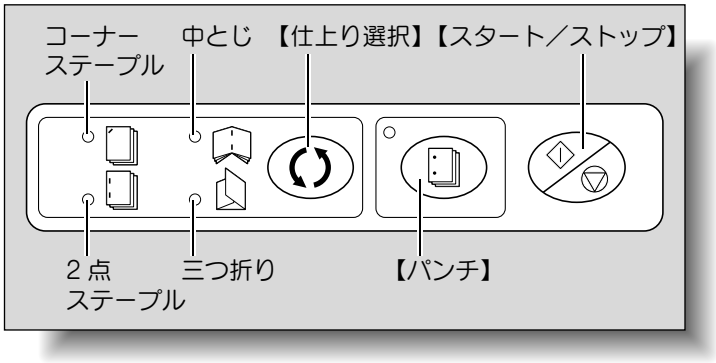
給紙トレイとして使用できるのは下段トレイのみです。上段トレイは使用できません。

	用紙坪量	用紙サイズ	セット枚数	排紙トレイ
コーナー／2点ステープル	普通紙 (60 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、 12 × 18 ▭*2、 11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、 16K ▭/▯、8K ▭、 Foolscap*1、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm	<フィニッシャー FS-524 > 50 枚 (60 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	メイン排紙トレイ（トレイ2）
			<フィニッシャー FS-525 > 100 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2)	
			<フィニッシャー FS-610 > 50 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2) 16 枚（81 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	
パンチ穴	普通紙 (60 g/m^2 ～ 90 g/m^2) 厚紙 (91 g/m^2 ～ 128 g/m^2)	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭、 8 × 13 ▭、 16K ▭/▯、 8K ▭	200 枚	
中とじ*2	普通紙 (60 g/m^2 ～ 80 g/m^2)	定形サイズ： A3 ▭、B4 ▭、 A4 ▭、 12 × 18 ▭、 11 × 17 ▭、 8-1/2 × 14 ▭、 8-1/2 × 11 ▭、 8K ▭、ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4 ▭、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▭） 不定形サイズ： 210 mm × 279 mm ～ 314 mm × 458 mm	20 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2) 16 枚（81 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	ブックレットトレイ
三つ折り*2	普通紙 (60 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	A4 ▭、 8-1/2 × 11 ▭、 16K ▭	3 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2) 1 枚（81 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	

*1　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

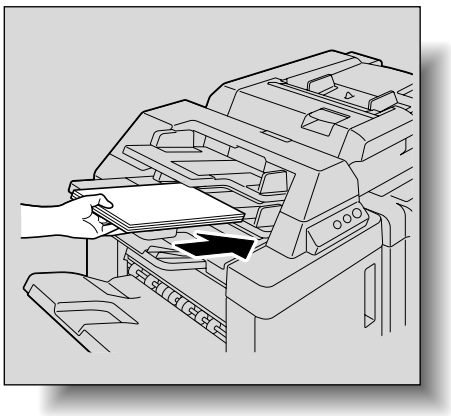
*2　フィニッシャー FS-610 の場合に使用できます。

2.13.1　操作パネルの各部の名称



2.13.2　仕上げのしかた

1 ポストインサータの下段トレイに用紙をセットします。

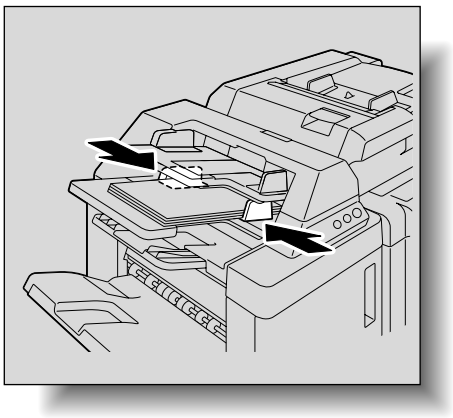


- コーナーステープル、2 点ステープルの場合、オモテ面を上にしてセットします。
- パンチ穴をあける場合は、オモテ面を上にしてセットします。
- 中とじの場合、とじられてオモテ側に出てくる面を上にしてセットします。
- 三つ折りの場合、三つ折りになって外側になる面を上にしてセットします。

ひとこと

セットした用紙は 1 束になり仕上ります。

2 ガイド板を用紙のサイズに合わせます。



3 【仕上り選択】と【パンチ】を押して、目的の仕上りを選択します。

❍ コーナーステープル、2 点ステープル、中とじ、三つ折りを設定する場合は、【仕上り選択】を押して、ランプを点灯させます。パンチを設定する場合は、【パンチ】を押してランプを点灯させます。

4 【スタート／ストップ】を押します。

詳しく説明します

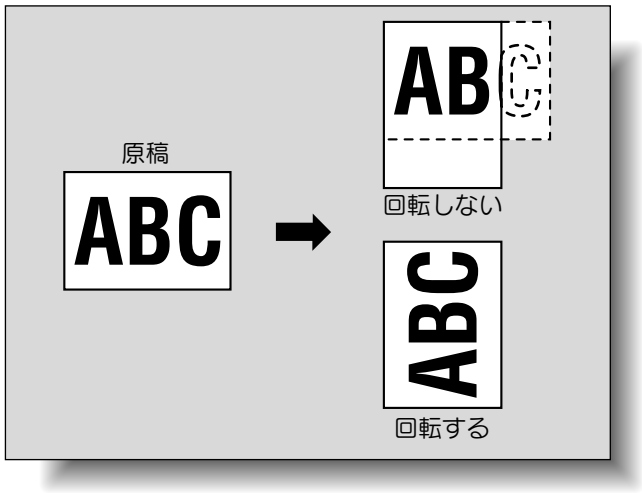
パンチは、コーナーステープル、2 点ステープルと同時に設定できます。同時に設定するときは、【仕上り選択】を押して、ランプを点灯させます。パンチのみを設定する場合は、パンチのランプ以外を全て消灯させます。

詳しく説明します

動作中に【スタート／ストップ】を押すと動作を停止することができます。

2.14　回転しないを選ぶ

セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーします。



➔　基本設定画面の［回転しない］を押します。

ひとこと

用紙サイズ、倍率によっては、画像が欠ける場合があります。

2.15　印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）

現在のコピージョブの印刷中に、次のコピージョブの設定や原稿読込みを行い、印刷完了後に続けて次のコピーを印刷します。

原則

コピー予約は、現コピーを含めて最大 51 ジョブまで登録できます。

1 現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら原稿をセットし、次のコピーのコピー条件を設定します。

❍ 設定メニューの印刷中画面表示を「する」に設定した場合、印刷中画面の［コピー予約］を押して、基本設定画面を表示します。

2 【スタート】を押します。

3 実行中のコピージョブ終了後、次のコピーを開始します。

ひとこと

セットした原稿の読込み終了後にコピー予約できます。原稿読込み中に次のジョブを予約できません。

参照

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

予約したジョブを削除するときは、画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。詳しくは、「ジョブを削除する」（p. 10-6）をごらんください。

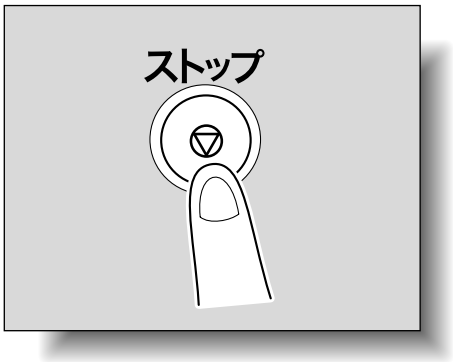
詳しく説明します

印刷中画面表示の設定については、「画面カスタマイズ設定」（p. 11-15）をごらんください。

2.16　読込み・印刷を一時停止する

原稿の読込みや印刷の動作を一時停止したいときは、以下の手順にしたがってください。

1 ジョブの読込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読込み・印刷が停止します。

タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2 【スタート】を押すと、停止していた全てのジョブが再開されます。

ひとこと

読込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、読込みも同時に停止します。

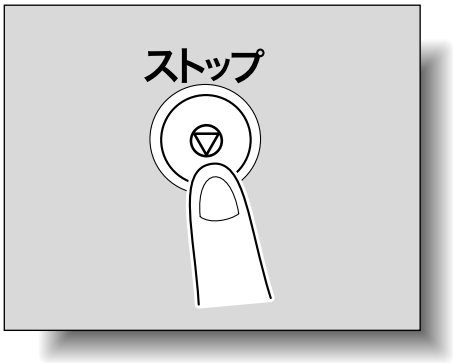
参照

一時停止したジョブの削除のしかたについては、「一時停止したジョブを削除する」（p. 2-73）をごらんください。

2.17　一時停止したジョブを削除する

一時停止したジョブを削除したいときは、以下の手順にしたがってください。

1 ジョブの読込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読込み・印刷が停止します。
タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2 削除したいジョブを選択し、［削除実行］を押します。

選択したジョブが削除されます。

参照

読込み・印刷中のジョブの一時停止のさせ方について、詳しくは、「読込み・印刷を一時停止する」（p. 2-72）をごらんください。

ひとこと

- 削除するジョブは 1 つずつ選択します。
- 一時停止したジョブを再開する場合は【スタート】を押します。

第 3 章
コピー補助機能

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

3.1　コピー条件を確認する（設定内容）.....3-2
3.2　1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）.....3-4
3.3　割込んでコピーする（割込み）.....3-6
3.4　コピー条件を登録する（プログラム登録）.....3-7
3.5　登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）.....3-10
3.6　機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）.....3-12
3.7　操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）.....3-16

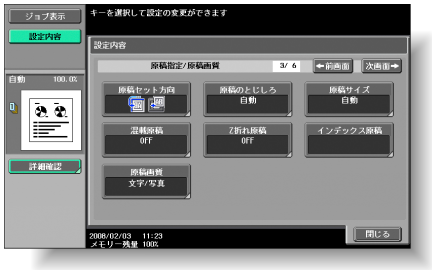
3.1　コピー条件を確認する（設定内容）

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

3.1.1　設定の確認のしかた

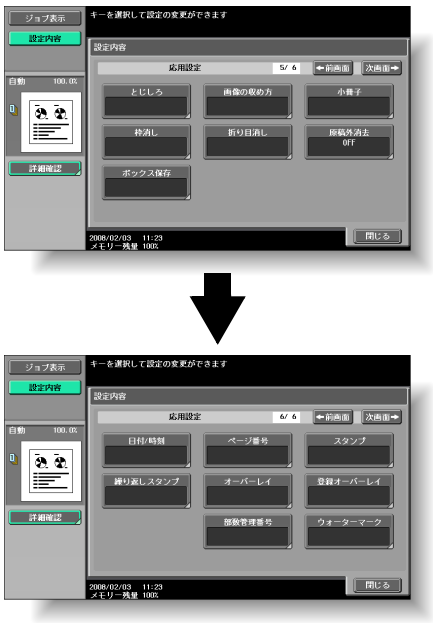
1 画面左エリアの［設定内容］を押し、［詳細確認］を押します。

設定内容画面が表示されます。



詳しく説明します

- 設定内容画面は 6 画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ［←前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。
- 出荷時設定から設定を変更した機能は、その項目が色付きの枠で囲まれます。



2 設定内容の確認が終了したら、［閉じる］を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.1.2　設定の変更のしかた

1 画面左エリアの［設定内容］を押し、［詳細確認］を押します。

2 ［←前画面］または［次画面→］を押して変更する機能のある画面を表示します。

3 変更する機能のキーを押します。

各機能の設定画面が表示されます。

4 各機能の設定方法にしたがい、変更を行ってください。

3.2　1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）

大量のコピーを行うとき、先に 1 部だけ印刷して仕上りを確認できます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

1. 原稿をセットします。

2. 目的のコピー条件を設定します。

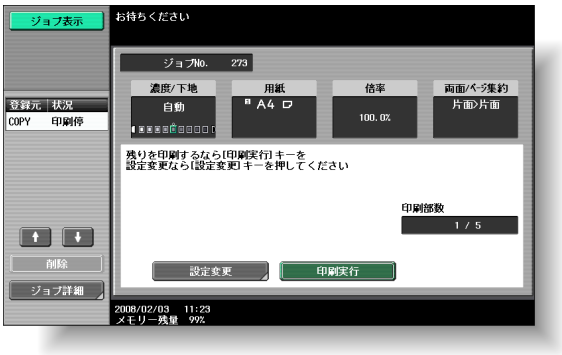
3. 【確認コピー】を押します。

4. 原稿ガラスに原稿をセットした場合は、［読込み終了］を押し、【スタート】を押します。

   1 部印刷されます。

5. コピー結果を確認します。
   - ❍ コピーを確認して問題なければ、手順 8 へ進みます。
   - ❍ コピー条件の設定を変更するときは、手順 6 へ進みます。

6. 確認コピー画面の［設定変更］を押します。



- ❍ この画面が表示された状態で一定時間操作しないでいると、確認コピーを行ったジョブが蓄積ジョブに登録され、基本設定画面に戻ります。
  蓄積ジョブへの登録は、以下のタイミングで行われます。
  - ・システムオートリセットが動作した時
  - ・1 分後（システムオートリセットを「しない」に設定している場合）

参照

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

確認コピーをするときは、複数部数を設定してください。

ひとこと

ADF に原稿をセットした場合は、原稿の読込み終了を確認する画面は表示されず、仕上り確認用の印刷が開始されます。

詳しく説明します

- ・確認コピー画面表示中にコピーを中断する場合は【リセット】または【C】を押します。
  または、左エリアのジョブ表示リストから中断する確認コピージョブを選んで、［削除］を押します。削除確認画面が表示されたら、［はい］を押し、［OK］を押します。
- ・蓄積ジョブについては、p. 10-10 をごらんください。システムオートリセットを「しない」に設定している場合は、操作をしなくなってから 1 分で蓄積ジョブに登録されます。
- ・システムオートリセットについては、「自動的に設定を取消す（オートリセット）」（p. 1-34）をごらんください。
- ・確認コピー画面の「印刷部数」は、「確認コピー済み印刷部数 / 設定総部数」を示しています。
- ・確認コピー画面の「総印刷枚数」は、「確認コピー済み印刷枚数 / 確認コピー印刷枚数」を示しています。

設定変更画面でコピー条件を変更して、［OK］を押します。

7 【確認コピー】を押して、確認コピーを繰り返します。

8 ［印刷実行］を押します。

残り部数がジョブとして登録されます。

詳しく説明します

- 元の設定に戻す場合は［中止］を押します。
- コピー条件が変更できないときは、確認コピーを中断してください。次に【リセット】を押してコピー条件を取消してから、設定をしなおしてください。
- 設定変更画面表示中にコピーを中断する場合は、左エリアのジョブ確認リストから中断する確認コピージョブを選んで、［削除］を押します。削除確認画面が表示されたら、［はい］を押し、［OK］を押します。
- 設定変更画面表示中に【リセット】を押すと、設定変更画面で変更した設定がリセットされ、手順 2 で設定した内容に戻ります。
- 設定変更画面の「部数」は［印刷実行］を押したときに印刷される部数です。

参照

読込み中または印刷中の確認コピーを中断する場合は、「読込み・印刷を一時停止する」（p. 2-72）をごらんください。

3.3　割込んでコピーする（割込み）

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。
急いでコピーをしたいときなどに便利です。

1. 原稿をセットします。

2. 【割込み】を押します。
   - ❍ 現在のジョブが印刷中の場合は、「もうすぐ止まります」と表示されます。

   割込みランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。

3. 目的のコピー条件を設定します。

4. 【スタート】を押します。
   割込みコピーを開始します。

5. 割込みジョブの印刷が終了したら、【割込み】を押します。
   割込みランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。
   割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

参照

印刷が終了した時点で割込みコピーを行う場合は、「優先出力の設定をする」（p. 10-12）をごらんください。

詳しく説明します

- 原稿読込み中は【割込み】を押すことができません。
- 【割込み】を押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。

参照

原稿セット方法については、「ADF に原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

割込みコピーを解除すると、割込み前に中断したジョブの印刷が自動的に再開されます。

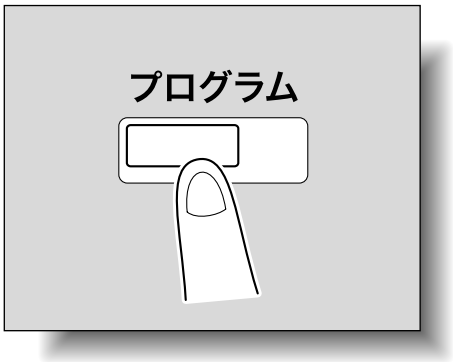
3.4　コピー条件を登録する（プログラム登録）

よく使う各種コピー設定条件の組合わせを、プログラムとして最大 30 件まで本機に登録し、簡単に呼出すことができます。

登録するコピープログラムは、全角で最大 8 文字まで、半角で最大 16 文字までの登録名称を付けることができます。

1 タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、プログラムに登録するコピー条件を設定します。

2 【プログラム】を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

3 画面に表示されているコピープログラムキーの中から、コピー条件を登録したいキーを押し、［プログラム登録］を押します。

登録名称入力画面が表示されます。

4 キーボードおよびテンキーで登録名称を入力します。

❍ 登録名称は全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字で登録できます。

ひとこと

- 左エリアの［設定内容］を押し、［詳細確認］を押すと、現在設定されているコピー条件を確認できます。詳しくは、「コピー条件を確認する（設定内容）」（p. 3-2）をごらんください。
- オプションのハードディスク装着時は、最大 100 件までコピープログラムとして登録できます。

詳しく説明します

以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】または【プログラム】を押します。
いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。
または、基本設定画面に戻るまで［中止］を押します。

詳しく説明します

- コピープログラム呼出し画面は 3 画面に分かれています。［↑］または［↓］で切換えて表示します。
- コピープログラムが 30 件登録されている場合は、不要なコピープログラムを削除してから登録してください。コピープログラムの削除については、「コピープログラムの削除のしかた」（p. 3-9）をごらんください。

参照

文字の入力のしかたは「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

詳しく説明します

- 既存のコピープログラムキーと同じ登録名称をつけることができます。
- 登録名称の入力を中断する場合は、［中止］を押します。

5 入力が完了したら、［OK］を押します。

コピープログラム呼出し画面に戻ります。登録が完了し、入力した登録名称のキーが表示されます。

6 ［OK］または、［中止］を押します。

❍【プログラム】を押しても基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- 入力した登録名称を変更する場合は、変更するコピープログラムキーを押し、［名称変更］を押します。名称変更画面が表示されます。手順 4 からの操作をし、登録名称を変更します。
- コピープログラムキーを押し、［設定内容］を押すと、登録したコピープログラムを確認できます。詳しくは、「登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）」（p. 3-10）をごらんください。
- コピープログラムの内容は、変更できません。
- コピープログラムロック設定を行ったコピープログラムを選択すると、［名称変更］、［削除］は表示されません。詳しくは、「環境設定」（p. 11-22）をごらんください。

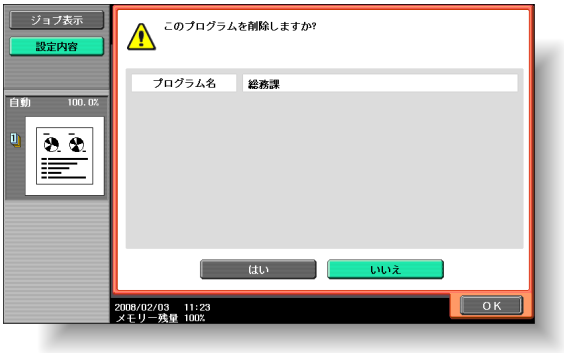
3.4.1　コピープログラムの削除のしかた

1 コピープログラム呼出し画面で、削除したいコピープログラムキーを押します。

2 ［削除］を押します。

削除確認画面が表示されます。

3 ［はい］を押し、［OK］を押します。



プログラム呼出し画面に戻ります。キーと登録されていたコピー条件は削除されます。

詳しく説明します

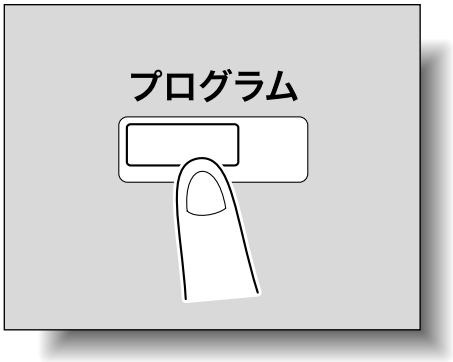
呼出したいコピープログラムが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

3.5　登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）

登録したコピー条件を呼出しコピーします。

1 原稿をセットします。

2 【プログラム】を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

3 呼出したいコピー条件が登録されているコピープログラムキーを押します。

❍ 選択したコピープログラムキーに登録されているコピー条件を確認しない場合は、手順 8 へ進みます。

4 ［設定内容］を押します。

設定内容画面が表示されます。

参照

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

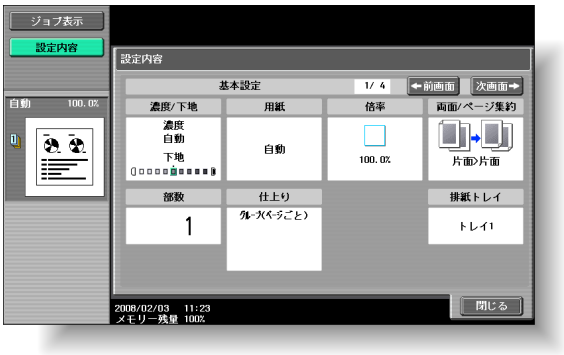
- コピープログラムの呼出しを中断する場合は、【リセット】、【プログラム】、［中止］いずれかを押します。
- 呼出したいコピープログラムが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

詳しく説明します

- 設定内容画面は 4 画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ［←前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。
- 設定内容画面では、設定変更できません。

5 選択したコピープログラムキーに登録されているコピー条件を確認します。

6 ［閉じる］を押します。



コピープログラム呼出し画面に戻ります。

7 もう 1 度呼出したいコピー条件が登録されているコピープログラムキーを押します。

8 ［OK］を押します。

登録されていたコピー条件を呼出して設定し、基本設定画面に戻ります。

9 【スタート】を押します。

呼出されたコピー条件でコピーを開始します。

詳しく説明します

コピープログラムキーを選択しないで［OK］を押すと、コピープログラムを呼出さずに基本設定画面に戻ります。

3.6　機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）

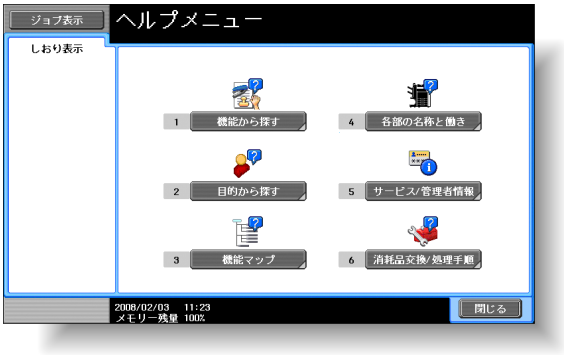
各機能の説明や操作方法を画面上に表示して、確認できます。
ヘルプ画面の表示方法は 2 つあります。

- ヘルプ基本画面（基本設定画面から）
- 設定手順のヘルプ画面（基本設定画面以外の画面から）

3.6.1　ヘルプ基本画面の概要

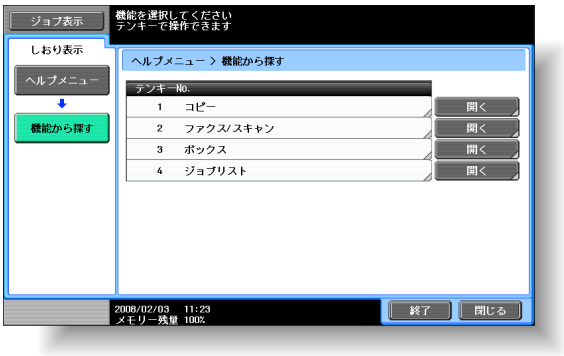
ヘルプは、以下のメニューで構成されています。

- 第 1 階層 ヘルプメインメニュー



項目	説明
［機能から探す］	機能の種類と名称で分類されたヘルプメニューから説明を確認できます。
［目的から探す］	行いたい操作の種類で分類されたヘルプメニューから説明を確認できます。
［機能マップ］	機能マップ画面へ進みます。機能や設定項目が階層表示されます。
［各部の名称と働き］	各部の名称と働きのヘルプメニューへ進みます。本体とオプションについての説明を確認できます。
［サービス / 管理者情報］	管理者名、内線番号、E-Mail アドレスを確認できます。
［消耗品交換 / 処理手順］	機器のメンテナンス方法について確認できます。

- 第 2 階層以下のヘルプメニュー（例：機能から探す）



項目	説明
［コピー］、［ファクス / スキャン］、［ボックス］、［ジョブリスト］	各キーのヘルプ画面の 1 画面目へ進みます。

詳しく説明します

以下の状態のときはヘルプ機能を使用できません。
・スキャン中、確認コピー中、拡大表示時、ユニバーサル設定中
ヘルプ機能使用中は、以下の操作パネルのキーは無効となります。
・【スタート】、【ストップ】、【C】、【割込み】、【確認コピー】、【ID】、【プログラム】、【拡大表示】

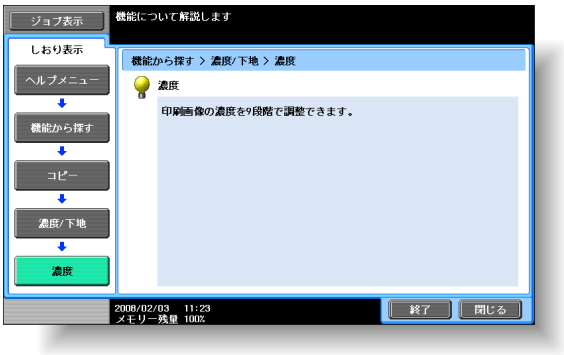
詳しく説明します

・メインメニュー画面とヘルプメニュー画面では、画面のキーを押すか、キーの番号をテンキーで押して項目を選択します。
・［閉じる］を押すと、1 つ上の階層が表示されます。
・［終了］を押すと、ヘルプ機能を終了し、【ヘルプ】を押す前の画面に戻ります。

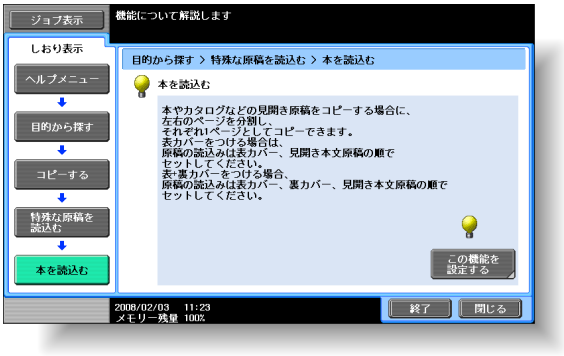
詳しく説明します

各部の名称と働きのヘルプメニューは、装着されているオプションの構成によって表示される項目が異なります。

- 最終階層 ヘルプ画面（例：機能から探す→コピー→濃度 / 下地→濃度）

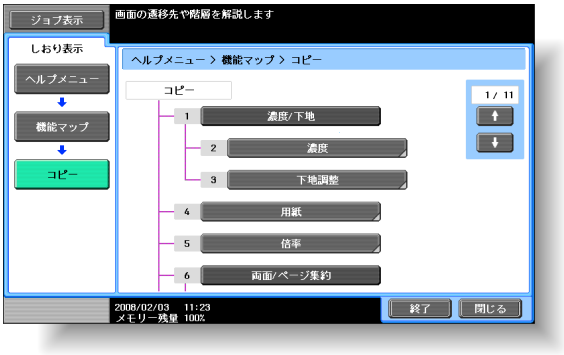


- 最終階層 ヘルプ画面（例：目的から探す→コピーする→特殊な原稿を読込む→本を読込む）



❍［この機能を設定する］を押すと、選択した目的の機能を設定することができます。

- 機能マップについて（例：コピー）



❍ 機能マップ画面では、機能や設定項目が階層表示されます。一覧から見たいヘルプ画面を選択できます。

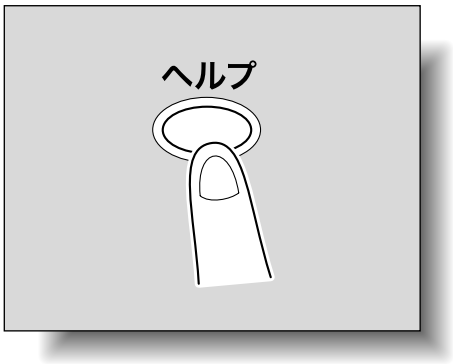
詳しく説明します

- コピーの機能マップ画面は、全部で 11 画面あります。数字の分子が 11 画面のうちの現在表示されている画面番号を示しています。
- ［↑］を押すと 1 つ前の画面に、［↓］を押すと次の画面に切換わります。
- 機能マップ画面では、テンキーで番号を押して選択します。
- 機能マップ画面で選択して表示したヘルプ画面で、［閉じる］を押すと表示した項目を含む［機能から探す］のメニュー階層が表示されます。

3.6.2　ヘルプ基本画面を表示させる

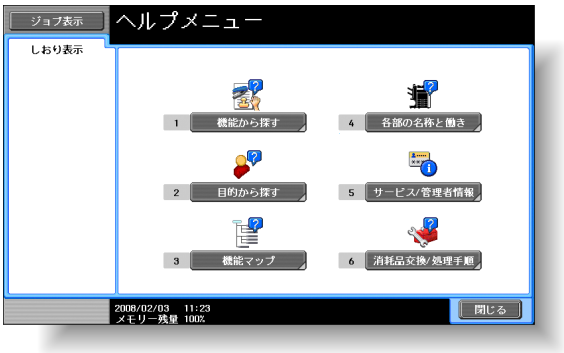
ここでは、［機能から探す］でコピーに関するヘルプ画面を表示させる場合を例として説明します。

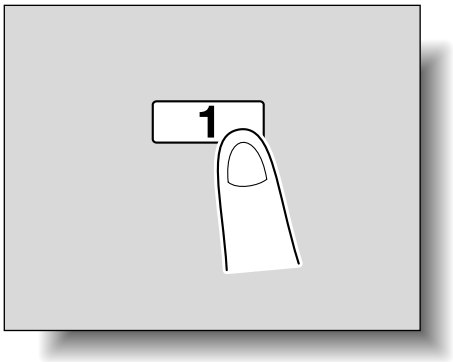
1 基本設定画面で、【ヘルプ】を押します。



ヘルプメインメニューが表示されます。

2 ［機能から探す］またはテンキーの【1】を押します。





［機能から探す］のメインメニューが表示されます。

詳しく説明します

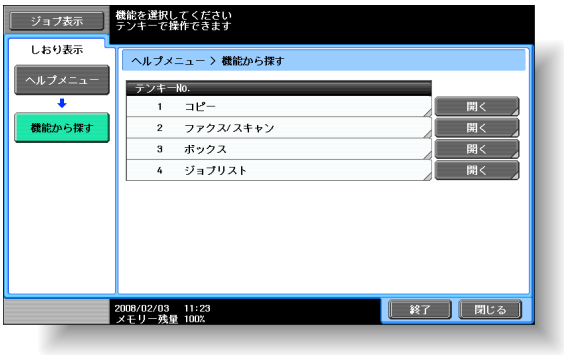
ヘルプ機能を終了する場合は、【ヘルプ】または［終了］を押します。

参照

ヘルプ画面のキーについては、「ヘルプ基本画面の概要」（p. 3-12）をごらんください。

3

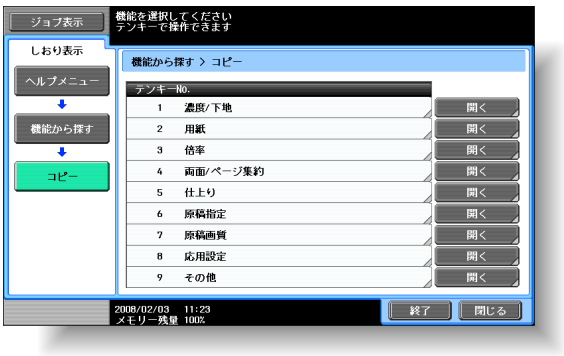
［コピー］、［開く］またはテンキーの【1】を押します。



コピーに関するヘルプメニューが表示されます。

4

知りたい項目または［開く］を押すか、項目左の番号をテンキーで押し、目的のヘルプ画面を表示させます。



5

ヘルプ内容の確認が終了したら、［終了］または【ヘルプ】を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.7　操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）

操作パネルに関する設定を変更する方法と、タッチパネルの調整について説明します。

3.7.1　ユニバーサル設定画面を表示させる

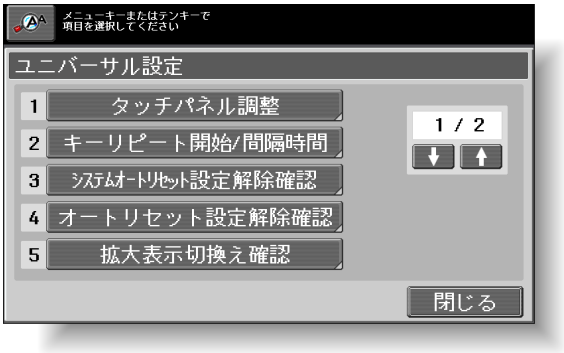
➔ 【ユニバーサル】を押します。

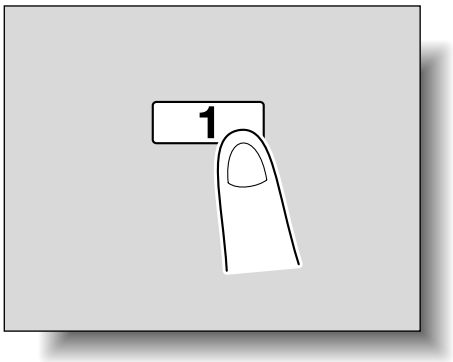
ユニバーサル設定画面が表示されます。

3.7.2　タッチパネルの調整をする

タッチパネルのキーを押しても正常に反応しないときは、パネル内のキー表示位置と実際のタッチセンサの位置がずれている可能性があるため、タッチパネルの表示位置を調整します。

1. ユニバーサル設定画面を表示させます。
2. ［タッチパネル調整］またはテンキーの【1】を押します。





タッチパネル調整画面が表示されます。

詳しく説明します

ユニバーサル設定画面から基本設定画面に戻りたい場合は、【ユニバーサル】または【リセット】、［閉じる］を押します。

ひとこと

拡大表示にしていた場合、［拡大表示初期設定］が表示され、拡大表示におけるコピー、ファクス / スキャンの初期設定値を設定できます。

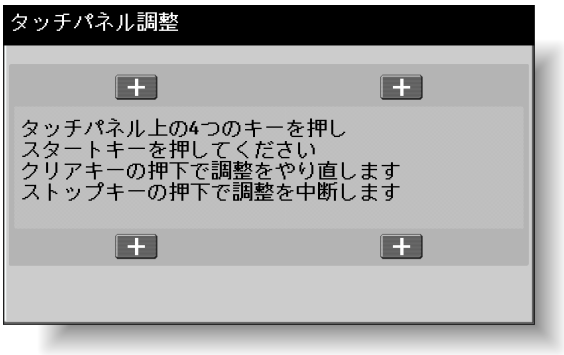
参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。

ひとこと

［タッチパネル調整］を押しても反応しない場合は、タッチセンサと画面が合っていません。テンキーの【1】を押してください。

3 4つのチェックキー［+］を、ブザー音を確認しながら押します。



正しく押されると、【スタート】のランプが青色に点灯します。

4 【スタート】を押します。

タッチパネルの調整が行われ、ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.7.3　キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする

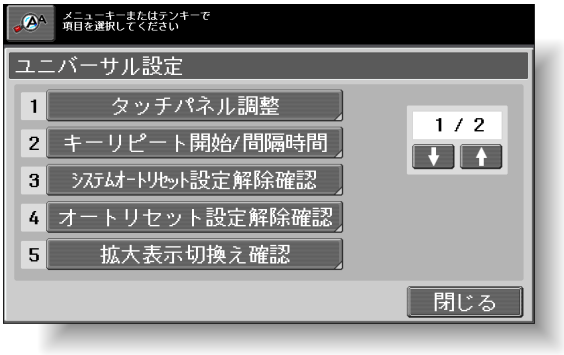
タッチパネル内の数値設定のキーを押してから数値が変わりはじめるまでの時間と、次の数値に変わるまでの時間を設定できます。

原則

設定したキーリピート時間は拡大表示時にのみ反映されます。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［キーリピート開始 / 間隔時間］またはテンキーの【2】を押します。



詳しく説明します

- チェックキー［+］を押す順番は、任意でかまいません。
- 調整をやりなおすときは【C】を押し、4つのチェックキー［+］を押しなおしてください。
- タッチパネルの調整を中断する場合は、【ストップ】または【リセット】を押します。

ひとこと

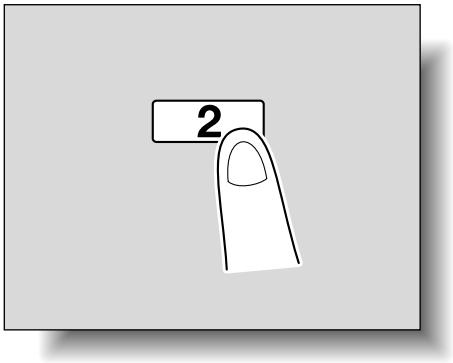
調整できないときは、サービス実施店にご連絡ください。

ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファクスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、キーリピート開始は「0.8 秒」、間隔時間は「0.3 秒」に設定されています。

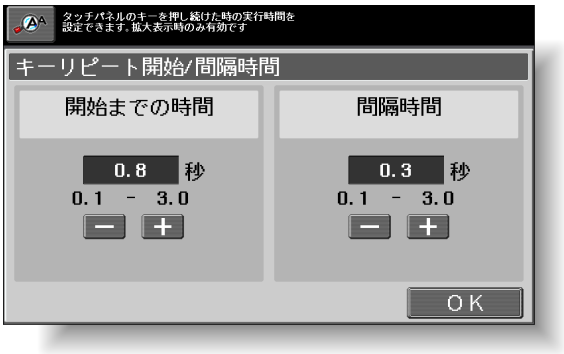
参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。



キーリピート開始 / 間隔時間設定画面が表示されます。

3 ［+］、［-］を押して、キーリピート開始までの時間と間隔時間を設定します。



4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

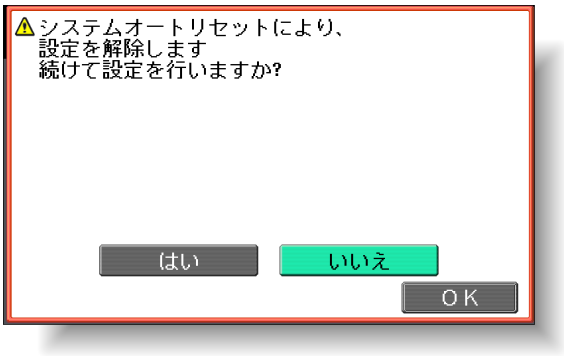
基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- ［+］を押すごとに時間が長くなります。
- ［-］を押すごとに時間が短くなります。
- キーリピート開始、間隔時間はともに、0.1 秒～ 3.0 秒の範囲を 0.1 秒単位で設定できます。
- 設定を中止する場合は、【リセット】を押します。

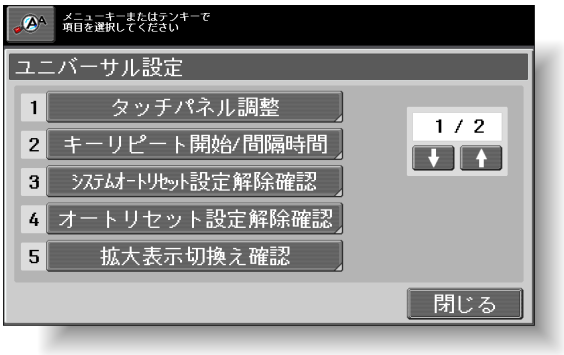
3.7.4　拡大表示が自動的に解除されるときに確認画面を表示する

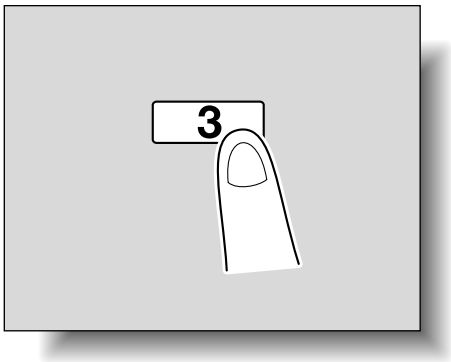
拡大表示中にシステムオートリセット機能が動作し、拡大表示が解除されるときに、拡大表示を解除せずそのまま作業を続けるか、拡大表示を解除して基本設定画面に戻るか確認する画面を表示できます。
また、確認画面が表示される時間を設定できます。



- はい：拡大表示を解除しません。
- いいえ：拡大表示を解除し、基本設定画面に戻ります。

1. ユニバーサル設定画面を表示させます。
2. ［3 システムオートリセット設定解除確認］またはテンキーの【3】を押します。





システムオートリセット設定解除確認が表示されます。

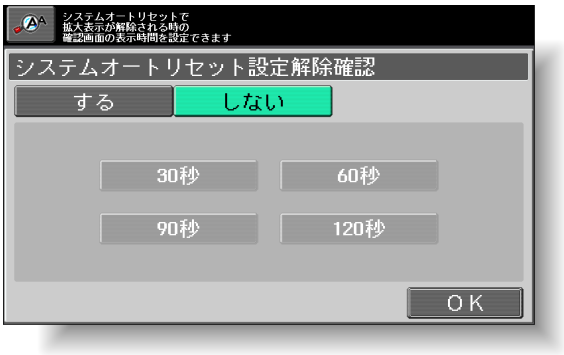
ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファクスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、「しない」に設定されています。

参照

- ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。
- システムオートリセットについては、「自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）」（p. 1-34）をごらんください。

3 目的の表示方法を選択します。



4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

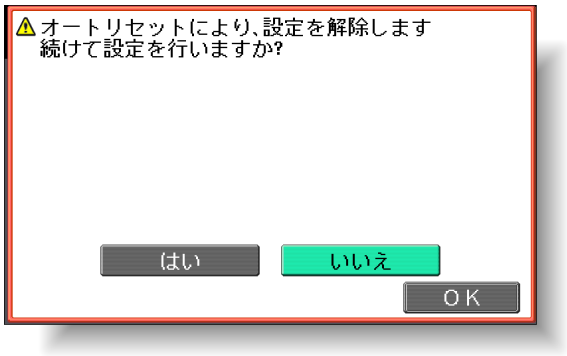
基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- システムオートリセット設定解除確認画面を表示しない場合は、［しない］を押します。
- 拡大表示解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、［30 秒］、［60 秒］、［90 秒］、［120 秒］から選択できます。
- 設定を中止する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3.7.5　拡大表示中に設定がオートリセットされるときに確認画面を表示する

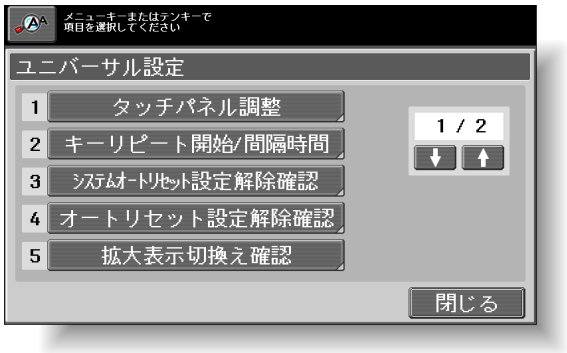
拡大表示中にオートリセット機能が動作し、コピーの設定が初期状態に戻されるときに、現在の設定をリセットせずそのまま作業を続けるか、設定をリセットするか確認する画面を表示できます。
また、確認画面が表示される時間を設定できます。

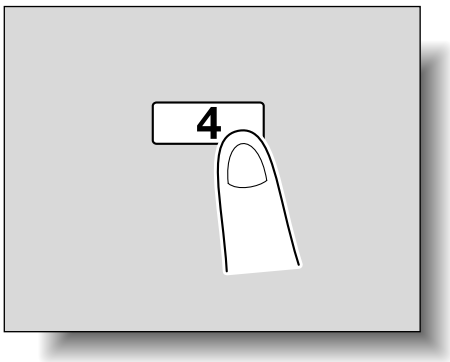


- はい：現在の設定をリセットしません。
- いいえ：現在の設定をリセットし、初期状態に戻します。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［オートリセット設定解除確認］またはテンキーの【4】を押します。





オートリセット設定解除確認画面が表示されます。

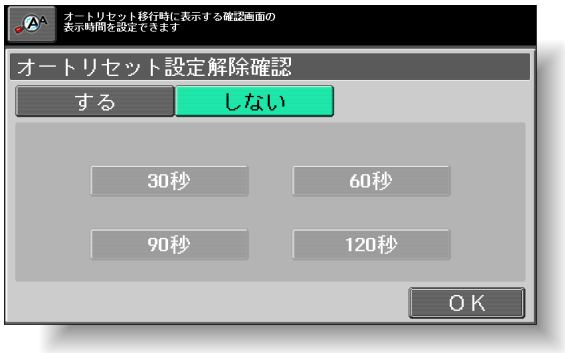
ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファクスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、「しない」に設定されています。
- オートリセットの時間設定とシステムオートリセットの時間設定が同じ場合は、拡大表示解除確認画面の表示が優先され、拡大表示設定解除確認は表示されません。

参照

- ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。
- オートリセットについては、「自動的に設定を取消す（オートリセット）」（p. 1-34）をごらんください。

3 目的の表示方法を選択します。



4 ［OK］を押します。

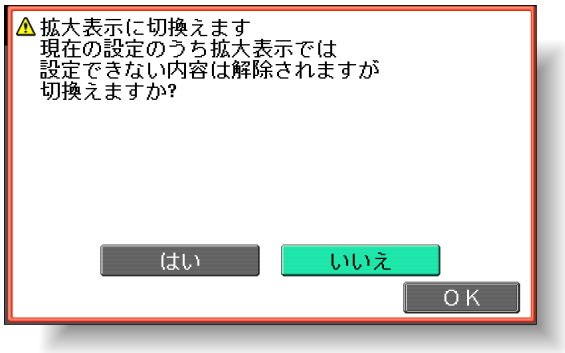
ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.7.6　拡大表示に切換える時に、設定解除の確認画面を表示する

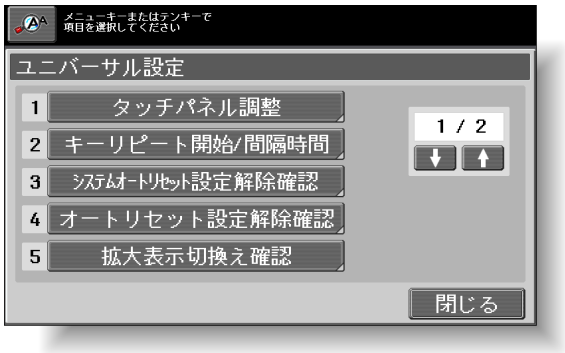
【拡大表示】を押して画面表示を切換えるときに、拡大表示中は設定できない一部の内容が解除される画面を表示できます。



- はい：設定できない内容を解除し、拡大表示に切換えます。
- いいえ：拡大表示への切換えを中止します。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［拡大表示切換え確認］またはテンキーの【5】を押します。



詳しく説明します

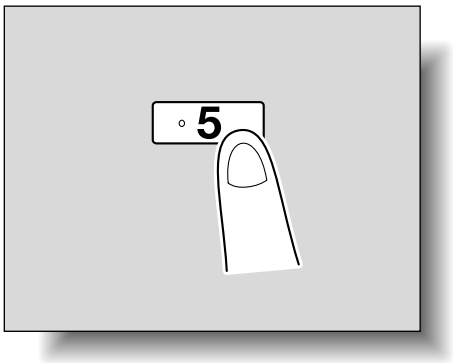
- オートリセット設定解除確認画面を表示しない場合は、［しない］を押します。
- オートリセット設定解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、［30 秒］、［60 秒］、［90 秒］、［120 秒］から選択できます。
- 設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファクスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、「表示しない」に設定されています。
- 拡大表示切換え確認画面で［いいえ］を押すと、画面表示は切換わりません。

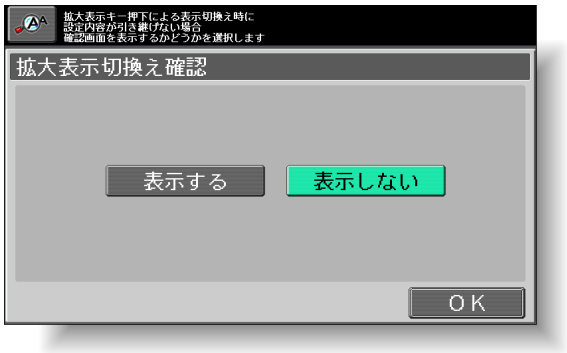
参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。



拡大表示切換え確認画面が表示されます。

3 表示方法を選択します。



4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

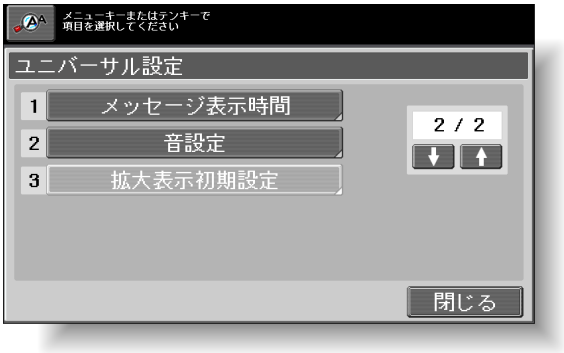
設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

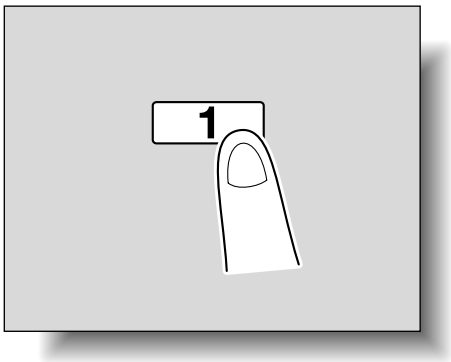
3.7.7　メッセージ表示時間の設定をする

誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定できます。

1 ユニバーサル設定画面を表示させ、［↓］を押して表示を切換えます。

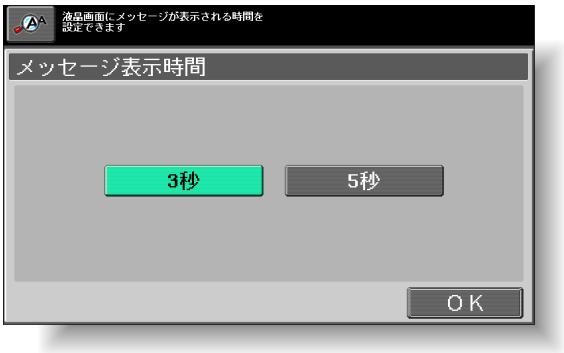
2 ［メッセージ表示時間］またはテンキーの【1】を押します。





メッセージ表示時間設定画面が表示されます。

3 メッセージ表示時間を選択します。



4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

出荷時設定では、「3 秒」に設定されています。

参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。

詳しく説明します

- メッセージ表示時間は、［3 秒］、［5 秒］から選択できます。
- 設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3.7.8　装置の状態を知らせる音の設定をする

［音設定］では、キー操作などに呼応して音を鳴らすときの音量を 16 段階で調整します。また、ここで調整した音を鳴らすかどうかの設定ができます。

設定の詳細は下表をごらんください。

		音が鳴る状況
音出力設定	一括出力	音設定の音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	操作確認音出力	操作確認音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	正常終了音出力	正常終了音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	準備完了音出力	準備完了音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	注意音出力	注意音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
操作確認音	入力確認音	操作パネルのキーやタッチパネルのキーを押して入力を行ったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	入力無効音	操作パネルのキーやタッチパネルのキーを押したが無効な入力だったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	基点音	切換えがローテーションする選択項目で、初期値となる項目が選ばれたときの音量（0 ～ 16）を調整します。
正常終了音	操作終了音	操作が正常に終了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	通信終了音	通信関連の操作が正常に終了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
準備完了音		装置の準備が完了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
注意音	弱注意音（Level 1）	各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、タッチパネルにメッセージが表示されたときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	弱注意音（Level 2）	ユーザーが誤操作を行ったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	弱注意音（Level 3）	画面メッセージおよびマニュアルの参照等によりユーザーが対処可能なエラーが発生したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	強注意音	ユーザーでは復帰不可能な、サービス技術者対応レベルのエラーが発生したときの音量（0 ～ 16）を調整します。

1 ユニバーサル設定画面を表示させ、［↓］を押して表示を切換えます。

ひとこと

出荷時設定では、すべての操作音は「8」に設定されています。

参照

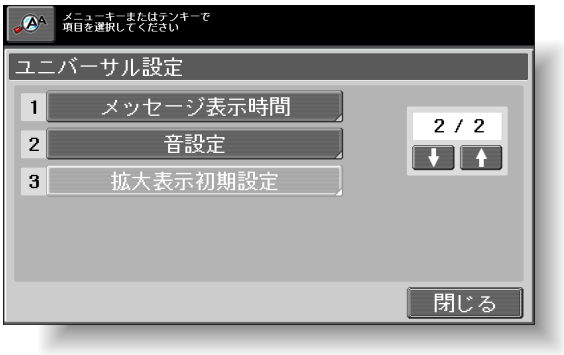
ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 3-16）をごらんください。

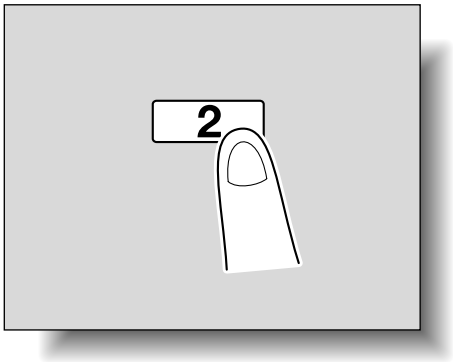
詳しく説明します

一括出力を「しない」に設定した場合は、個々の音設定はすべて解除されます。

2

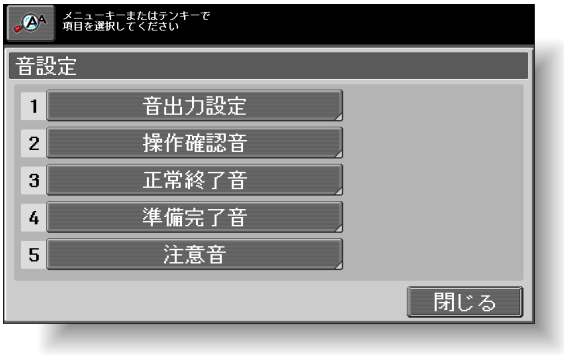
［音設定］またはテンキーの【2】を押します。





3

音設定項目画面が表示されます。
目的の音設定（2 ～ 5）のキーまたは該当するテンキーの数字を押します。



音設定画面が表示されます。

4

任意の音設定キーを押します。

音量設定画面が表示されます。

ひとこと

［音出力設定］で、音設定項目を［する］に設定しないと音設定（2 ～5）は選択できません。

5

音量を調整します。

❍ 鳴らす場合は［する］を押します。音量を 16 段階で調整できます。［小さく］、［大きく］を押すごとに、1 段階ずつ音量が増減します。鳴らさない場合は［しない］を押します。

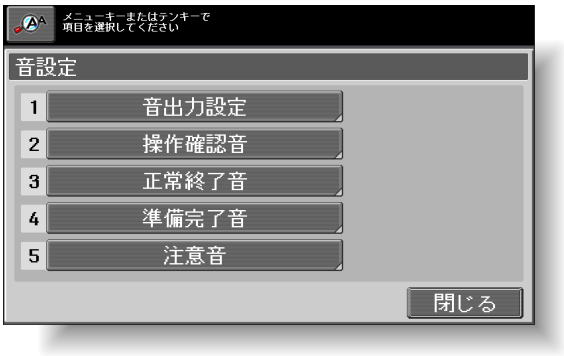
6

［OK］を押して、［閉じる］を押します。

音設定項目画面に戻ります。

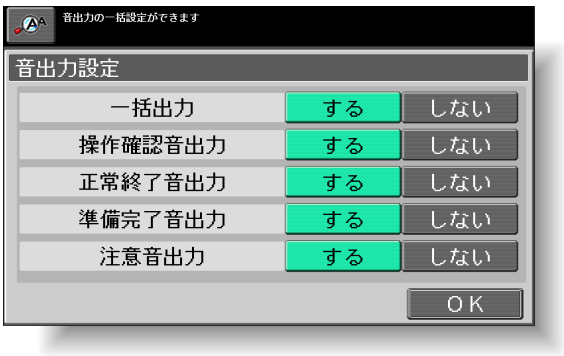
7

2～5の音を一括で鳴らすがどうかを設定するときは、［1 音出力設定］またはテンキーの【1】を押します。



8

任意の音設定項目の［する］、［しない］を選択します。



9

［OK］を押します。

音設定項目画面に戻ります。

10

［閉じる］を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

詳しく説明します

設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

詳しく説明します

一括出力を「しない」に設定した場合は、以降の音設定はすべて解除されます。

11

［閉じる］を押すか、または【ユニバーサル】を押します。
基本設定画面に戻ります。

第 4 章
トラブルの処理

トラブルの処理方法について説明します。

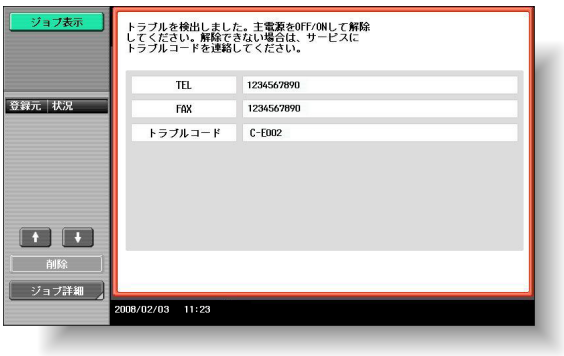
4.1　「トラブル」が表示されたら（サービスコール）.....4-2
4.2　「紙づまり」ですと表示されたら 4-4
4.3　簡単なトラブルの処理 4-48
4.4　おもなメッセージと処理のしかた 4-52

4.1 「トラブル」が表示されたら（サービスコール）

トラブルの種類には、前ドアを開閉して処理するトラブル、電源をOFF/ON して処理するトラブル、処理できないトラブルがあります。画面のメッセージにしたがって、トラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、トラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

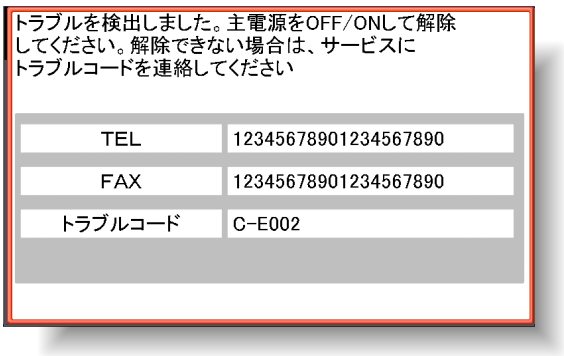
画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

例：電源を OFF/ON して処理するトラブル（C-E002）



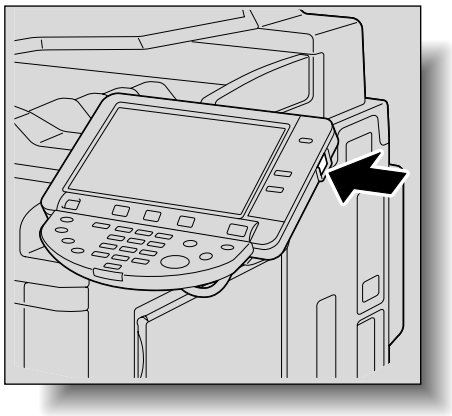
＜拡大表示機能時の表示＞

トラブルが発生すると下図が表示されます。



1. サービスコール画面のトラブルコード（例：C-E002）を書き留めてください。

2. 【副電源スイッチ】と【主電源スイッチ】を OFF にします。

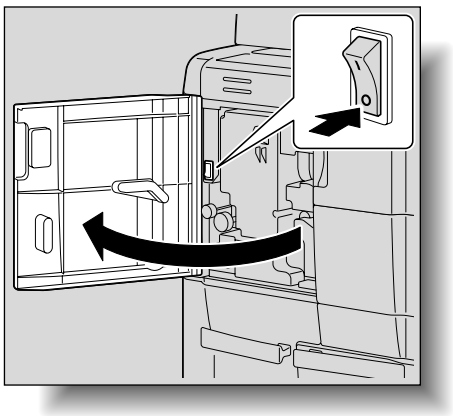


必ず守ってください

- 故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがってサービス実施店にご連絡ください。
- CS Remote Care による管理が行われている機械の場合は、「すでに自動通報により サービスに通知しました お急ぎの方は担当営業所へ連絡願います」の表示後に【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

ひとこと

サービス実施店による CS Remote Care が行われている機械の場合は、自動でサービス実施店にトラブルコードが連絡されます。



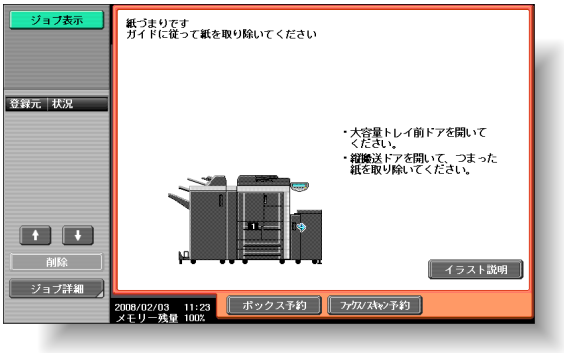
3 本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4 サービス実施店に連絡し、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

4.2 「紙づまり」ですと表示されたら

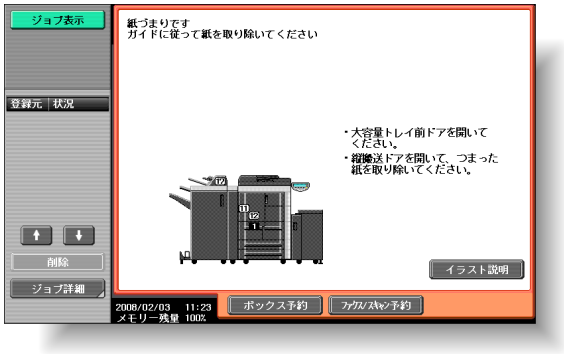
印刷中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです　ガイドに従って紙を取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり箇所が番号で、紙づまりの処理方法が文章で表示されます。

ジャム位置表示画面



4.2.1 ジャム位置表示とイラスト説明

紙づまりが複数箇所で発生していると、複数の番号が点滅または点灯します。点滅している番号は最優先に処理する位置をあらわしています。



ジャム位置表示画面の［イラスト説明］を押すと「ガイド表示、イラスト表示に従って紙を取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり処理方法が図解と文章で表示されます。

表示が複数ある場合は［次画面→］が表示されます。

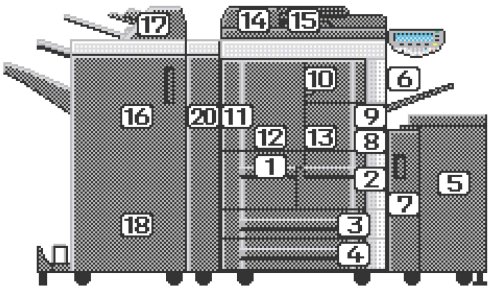
押して表示させます。

［ジャム位置表示］を押すと、ジャム位置表示画面にもどります。

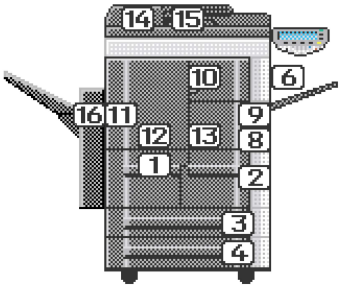
ひとこと

紙づまり処理が適切に行われるまでは、印刷はできません。

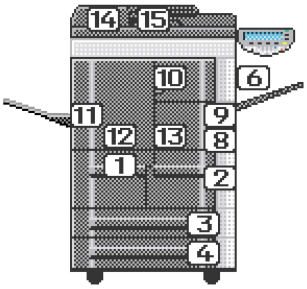
4.2.2　紙づまり位置表示



*　本図はオプションのフィニッシャー FS-610、Z 折りユニット、ポストインサータ、大容量給紙ユニット LU-405 を装着しています。



*　本図はオプションのシフトトレイを装着しています。

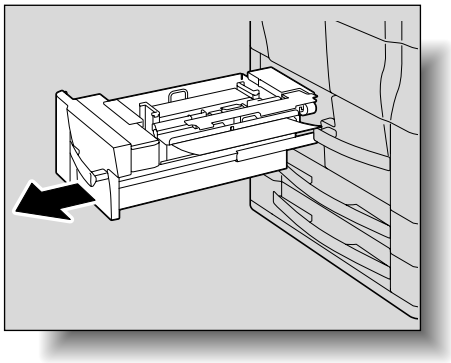


*　本図はオプションの排紙トレイを装着しています。

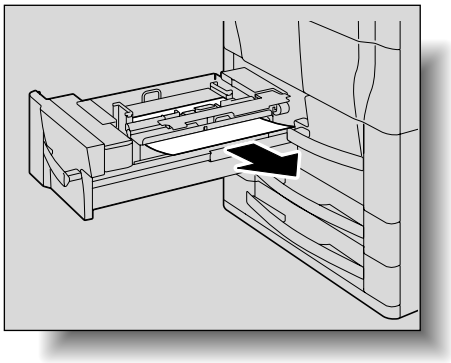
No	ジャム位置
1	トレイ 1 での紙づまり
2	トレイ 2 での紙づまり
3	トレイ 3 での紙づまり
4	トレイ 4 での紙づまり
5	大容量給紙ユニット LU-405/LU-406 での紙づまり
6	手差しトレイでの紙づまり
7	縦搬送部での紙づまり
8	定着搬送ユニットでの紙づまり
9	定着搬送ユニットでの紙づまり
10	定着搬送ユニットでの紙づまり
11	定着搬送ユニットでの紙づまり
12	定着搬送ユニットでの紙づまり
13	定着搬送ユニットでの紙づまり
14	ADF での紙づまり
15	ADF での紙づまり
16	フィニッシャー FS-524/FS-525/FS-610、シフトトレイでの紙づまり
17	ポストインサータでの紙づまり
18	フィニッシャー FS-524/FS-525/FS-610 での紙づまり
20	Z 折りユニットでの紙づまり

4.2.3 トレイ 1 での紙づまり処理のしかた「1」

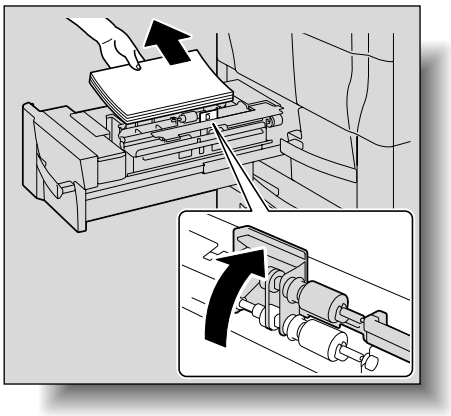
1 トレイ 1 を引出します。



2 つまっている用紙を取除きます。



3 給紙ローラー部を上に持上げて、トレイ内に残っている用紙を取出します。



4 用紙をセットしなおし、給紙ローラー部を下げてトレイを元の位置に戻します。

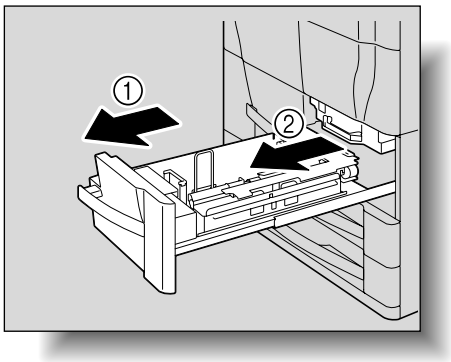
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

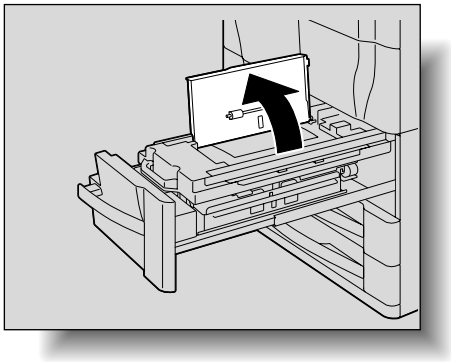
ひとこと

用紙がトレイ 1 とトレイ 2 にまたがっている場合は、トレイ 2 も同時に引出してください。

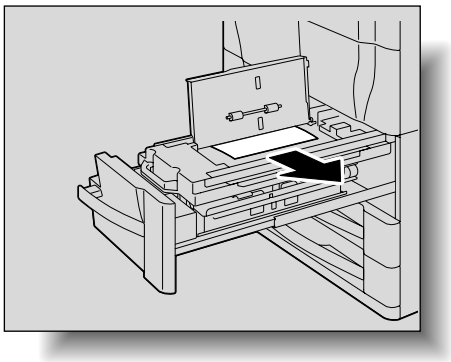
5 トレイ 2 を開いて、水平搬送ユニットを引出します。



6 水平搬送カバーを開きます。

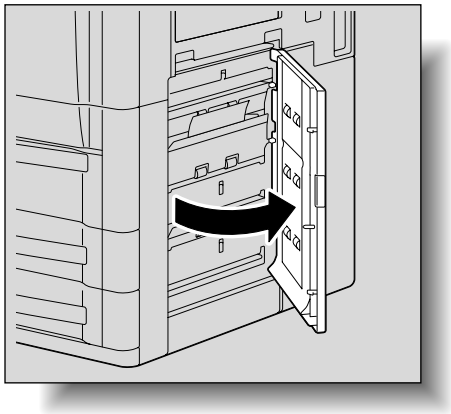


7 水平搬送ユニットにつまっている用紙を取除きます。



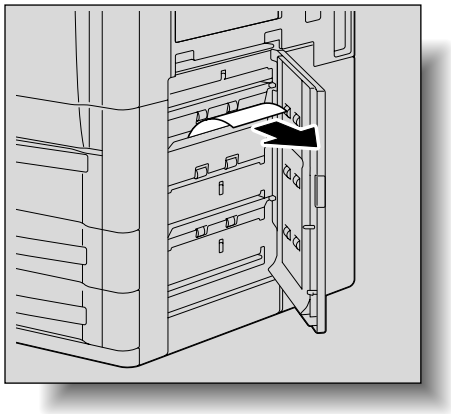
8 水平搬送ユニットとトレイ 2 を元の位置に戻します。

9 縦搬送ドアを開きます。

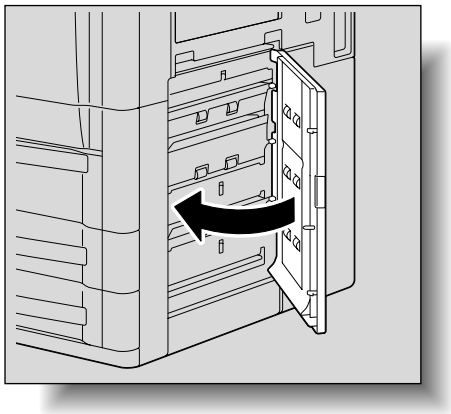


❍ 大容量給紙トレイを装着している場合は、大容量トレイ前ドアを開いて縦搬送ドアを開きます。

10 縦搬送部につまっている用紙を取除きます。

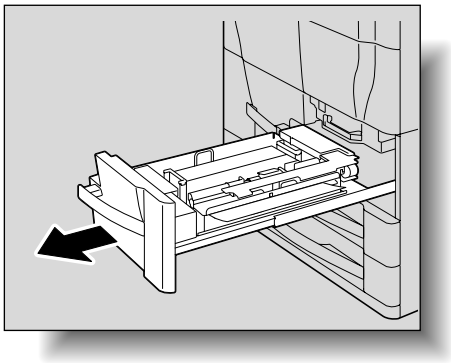


11 縦搬送ドアを閉じます。

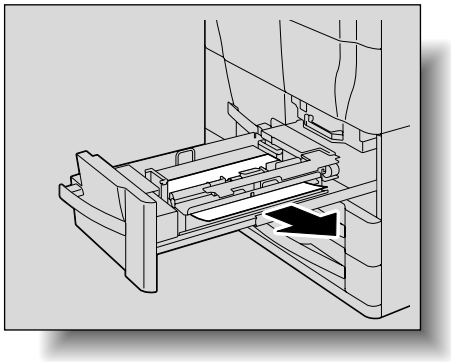


4.2.4 トレイ 2 での紙づまり処理のしかた「2」

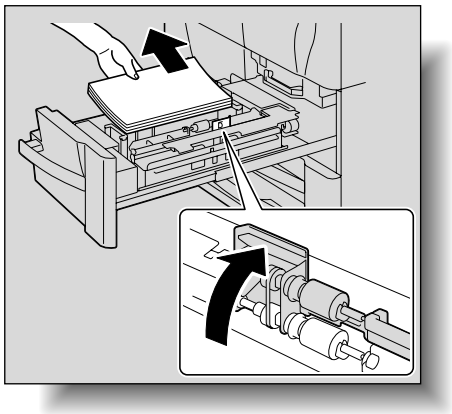
1 トレイ 2 を引出します。



2 つまっている用紙を取除きます。



3 給紙ローラー部を上に持上げて、トレイ内に残っている用紙を取出します。

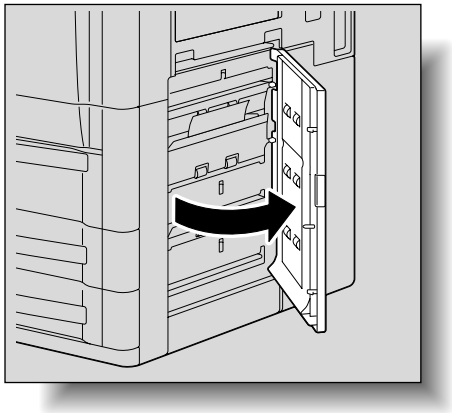


4 用紙をセットしなおし、給紙ローラー部を下げてトレイを元の位置に戻します。

参照

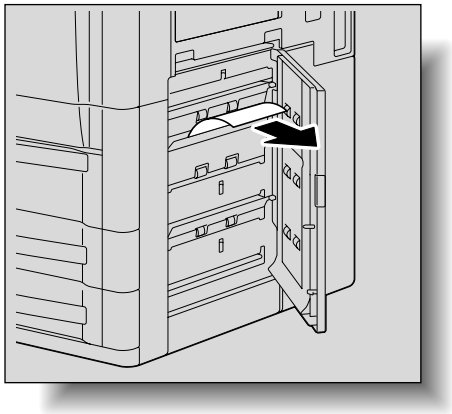
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

5 縦搬送ドアを開きます。

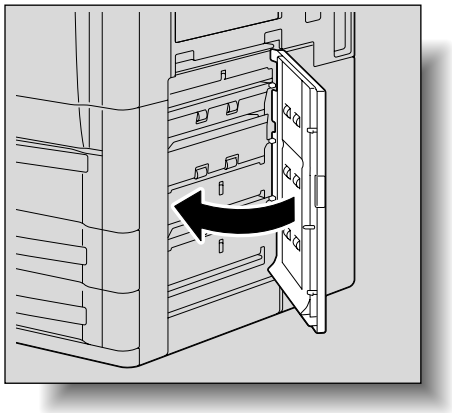


❍ 大容量給紙トレイを装着している場合は、大容量トレイ前ドアを開いて縦搬送ドアを開きます。

6 縦搬送部につまっている用紙を取除きます。

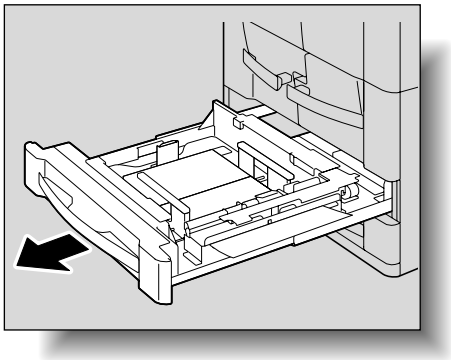


7 縦搬送ドアを閉じます。

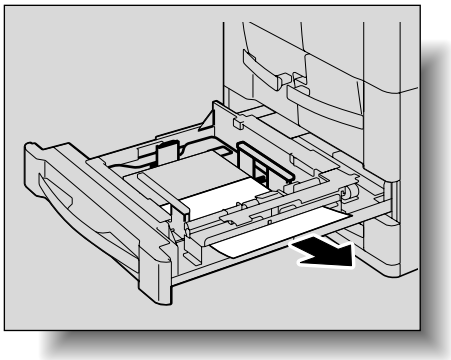


4.2.5 トレイ 3/4 での紙づまり処理のしかた「3」「4」

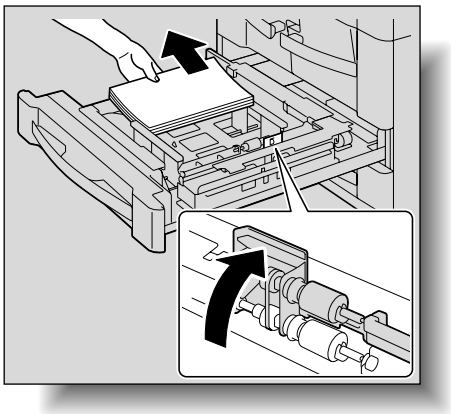
1 トレイ 3 またはトレイ 4 を引出します。



2 つまっている用紙を取除きます。



3 給紙ローラー部を上に持上げて、トレイ内に残っている用紙を取出します。

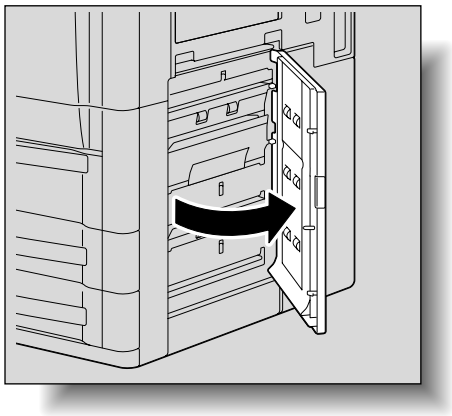


参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

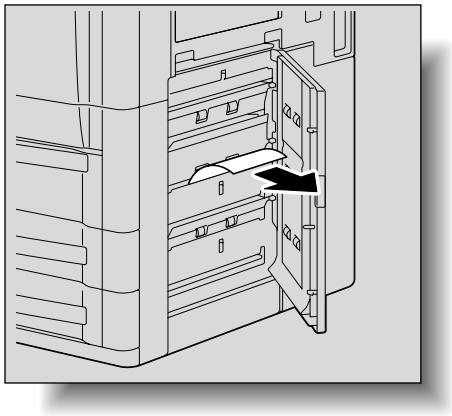
4 用紙をセットしなおし、給紙ローラー部を下げてトレイを元の位置に戻します。

5 縦搬送ドアを開きます。

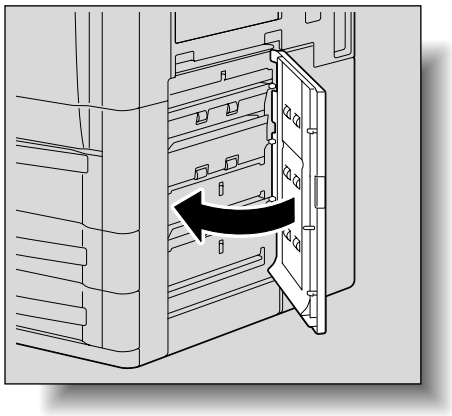


❍ 大容量給紙トレイを装着している場合は、大容量トレイ前ドアを開いて縦搬送ドアを開きます。

6 縦搬送部につまっている用紙を取除きます。

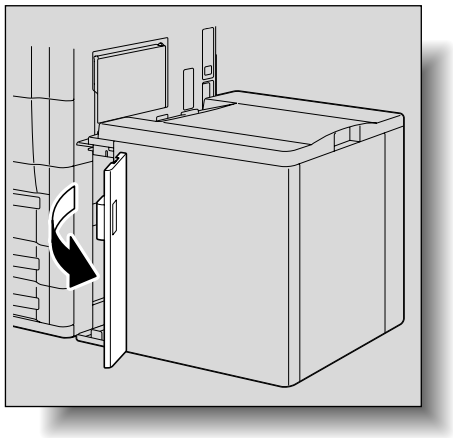


7 縦搬送ドアを閉じます。

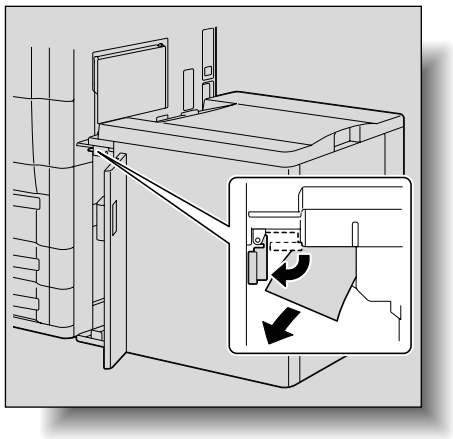


4.2.6　大容量給紙トレイでの紙づまり処理のしかた「5」

1 大容量トレイ前ドアを開きます。



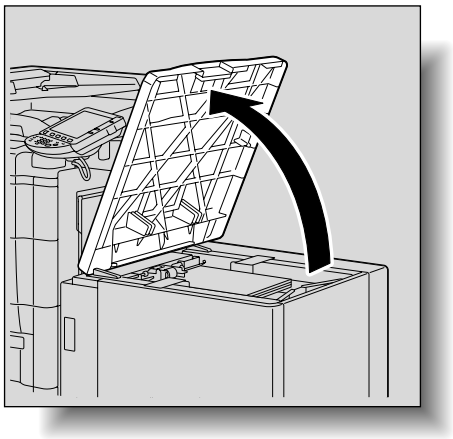
2 つまっている用紙を取除きます。



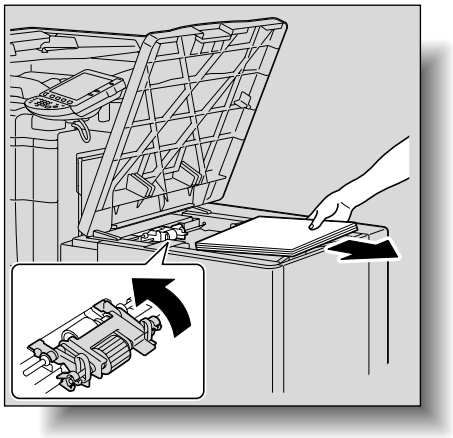
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

3 大容量トレイ上カバーを開きます。



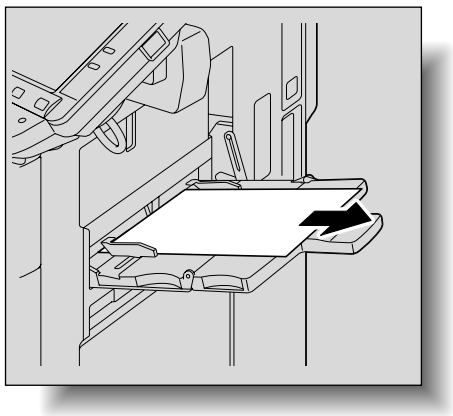
4 給紙ローラー部を上に持上げて、トレイ内に残っている用紙を取出します。



5 用紙をセットしなおし、給紙ローラー部を下げて大容量トレイ上カバーを閉じます。

4.2.7 手差しトレイでの紙づまり処理「6」

1 手差しトレイの用紙を取除きます。



2 用紙をセットしなおします。

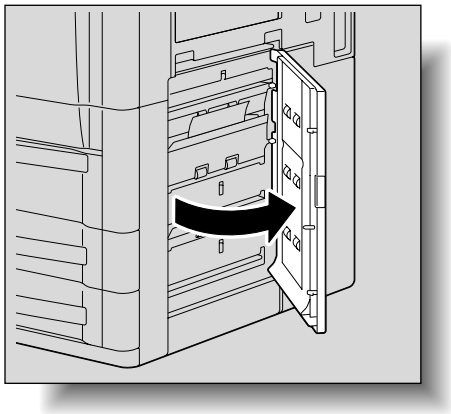
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

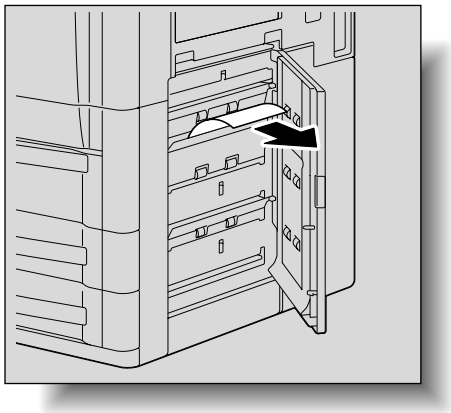
4.2.8　縦搬送部での紙づまり処理のしかた「7」

1 縦搬送ドアを開きます。

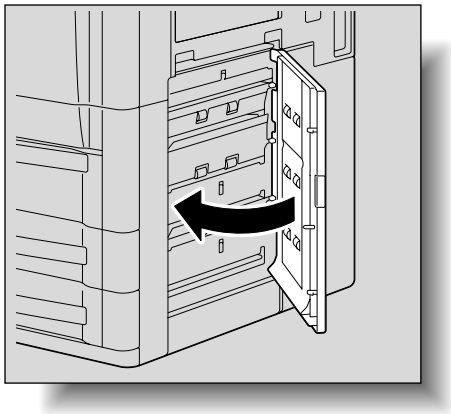
❍ 大容量給紙トレイを装着している場合は、大容量トレイ前ドアを開いて縦搬送ドアを開きます。



2 縦搬送部につまっている用紙を取除きます。



3 縦搬送ドアを閉じます。

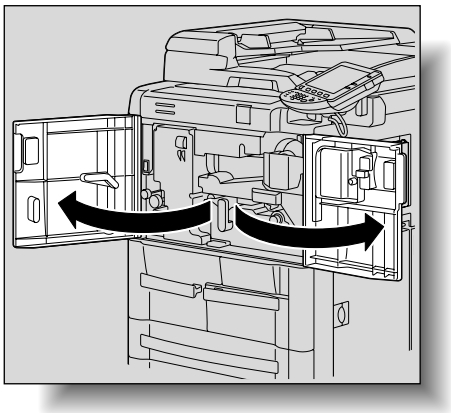


参照

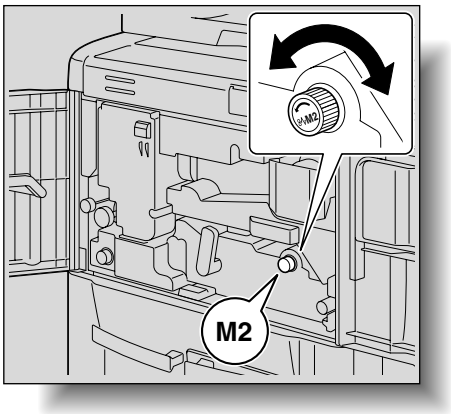
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

4.2.9 定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「8」

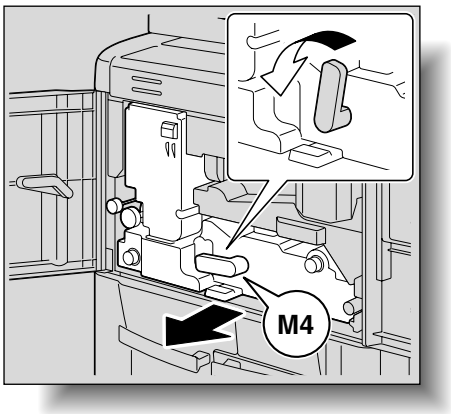
1 右前ドアと左前ドアを開きます。



2 つまみ【M2】を回して用紙を送ります。



3 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

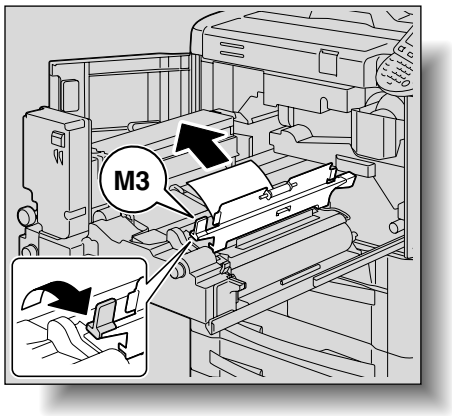
⚠警告

感電事故に注意！
本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。
➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

⚠注意

やけどに注意！
本体内部の定着部は高温になっています。
➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

4 レバー【M3】を持上げて、用紙を取除きます。

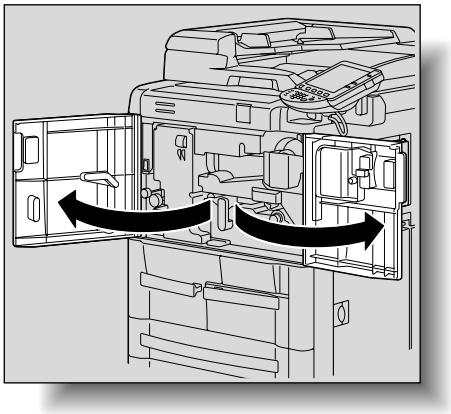


5 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

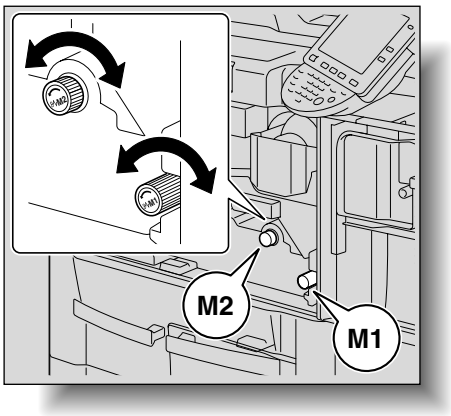
6 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.10　定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「9」

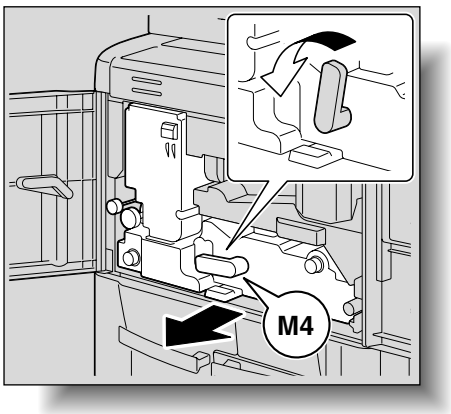
1 右前ドアと左前ドアを開きます。



2 つまみ【M1】、【M2】を回して用紙を送ります。



3 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

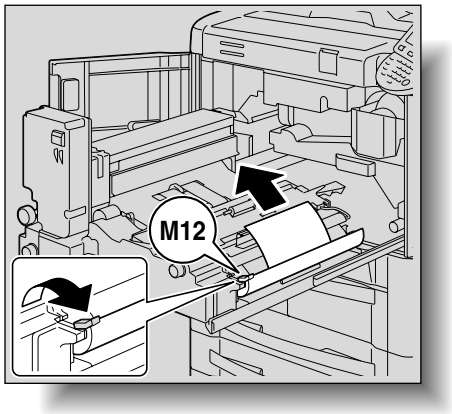
⚠警告

感電事故に注意！
本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。
➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

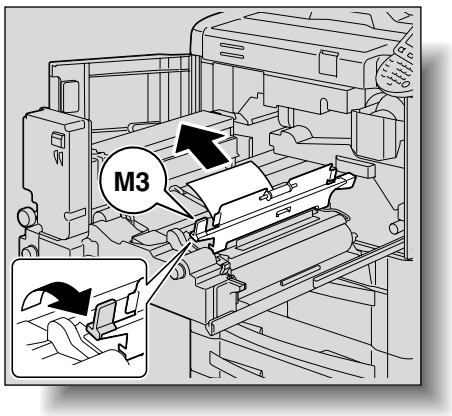
⚠注意

やけどに注意！
本体内部の定着部は高温になっています。
➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

4 カバー【M12】を持上げて、用紙を取除きます。



5 カバー【M3】を持上げて、用紙を取除きます。

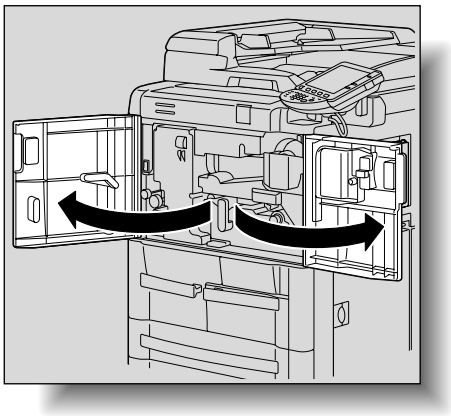


6 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

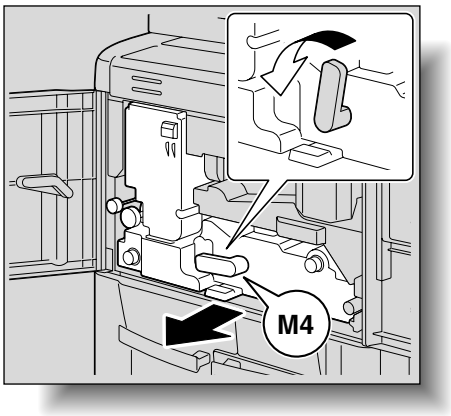
7 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.11　定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「10」

1 右前ドアと左前ドアを開きます。



2 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



⚠警告

感電事故に注意！
本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。
➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

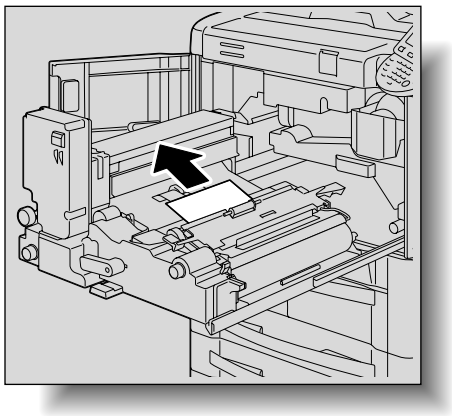
⚠注意

やけどに注意！
本体内部の定着部は高温になっています。
➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

3 定着搬送ユニット上の用紙を取除きます。

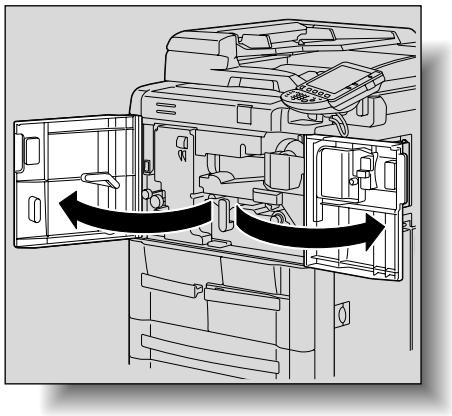


4 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

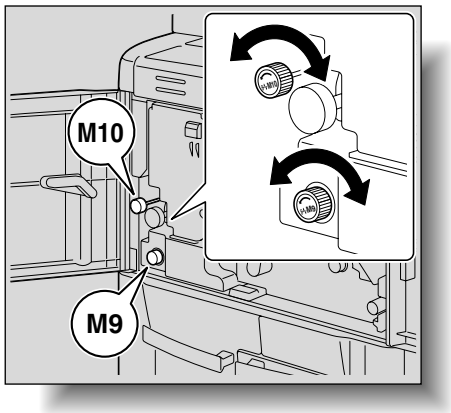
5 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.12　定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「11」

1 右前ドアと左前ドアを開きます。



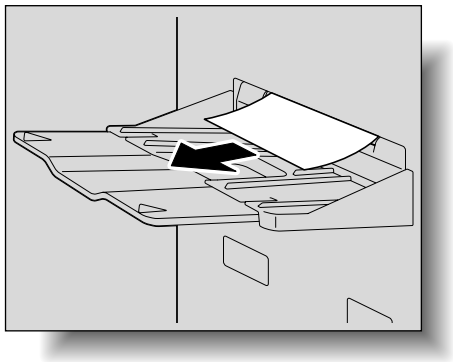
2 つまみ【M9】、【M10】を回して用紙を送ります。



参照

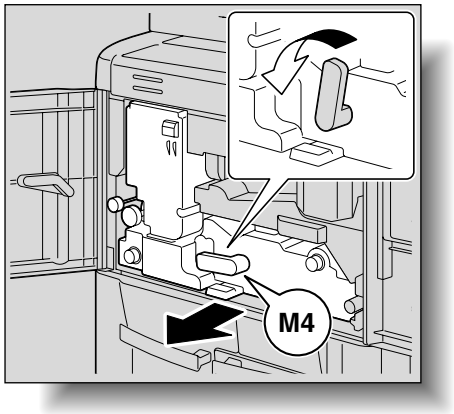
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

3 排紙口から用紙を取除きます。



❍ フィニッシャー、シフトトレイ、Z 折りユニットを装着している場合は、各ユニットの紙づまり処理を行ってください。

4 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



⚠ 警告

感電事故に注意！

本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

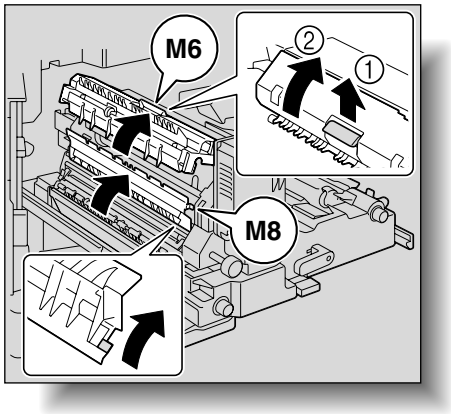
⚠ 注意

やけどに注意！

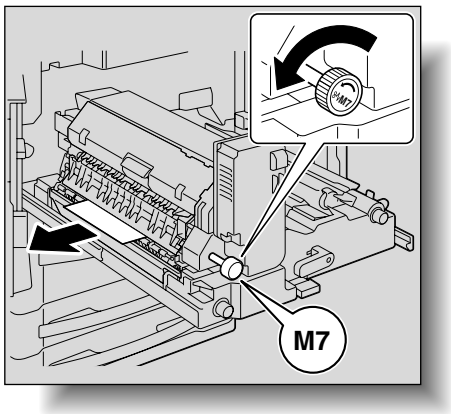
本体内部の定着部は高温になっています。

➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

5 カバー【M6】、【M8】を開きます。



6 つまみ【M7】を回して、用紙を取除きます。



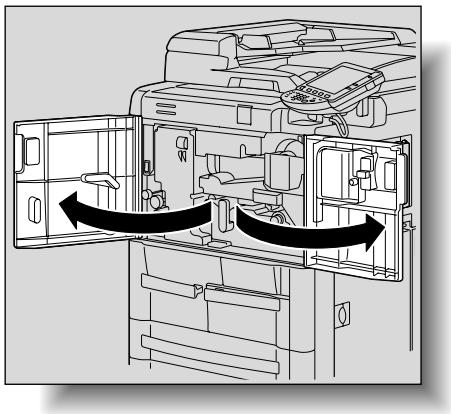
7 カバー【M6】のレバーを持上げて、カバー【M6】を閉じます。

8 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

9 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.13　定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「12」

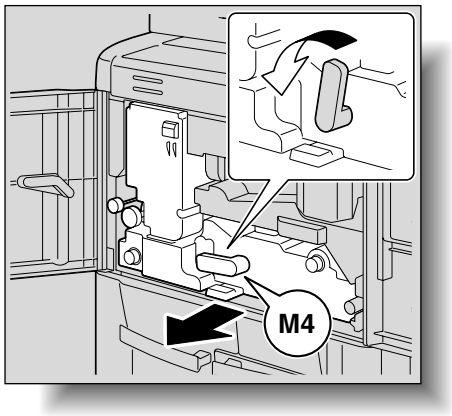
1 右前ドアと左前ドアを開きます。



参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

2 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



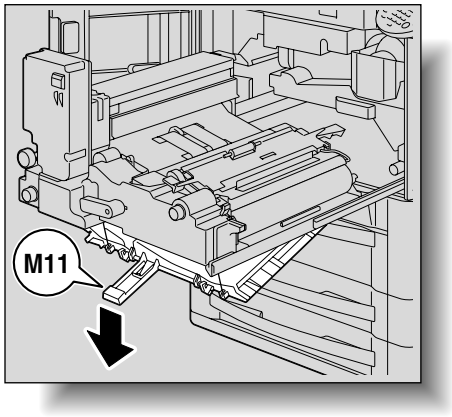
⚠警告

感電事故に注意！
本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。
➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

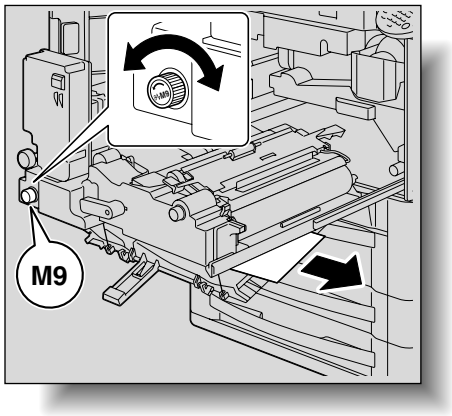
⚠注意

やけどに注意！
本体内部の定着部は高温になっています。
➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

3 カバー【M11】を開きます。



4 つまみ【M9】を回して、用紙を取除きます。



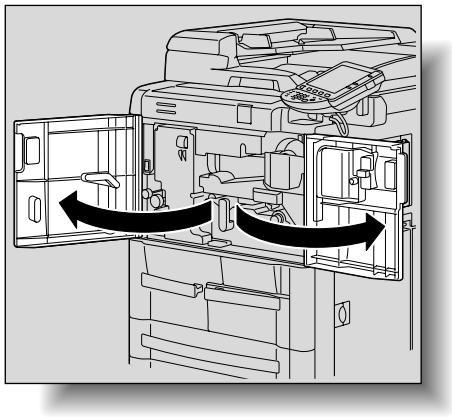
5 カバー【M11】を元の位置に戻します。

6 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

7 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.14　定着搬送ユニットでの紙づまり処理のしかた「13」

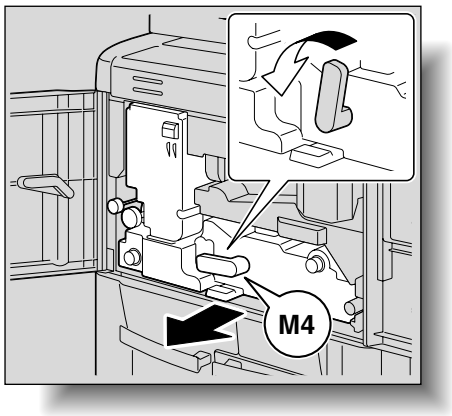
1 右前ドアと左前ドアを開きます。



参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

2 レバー【M4】を倒して、定着搬送ユニットを引出します。



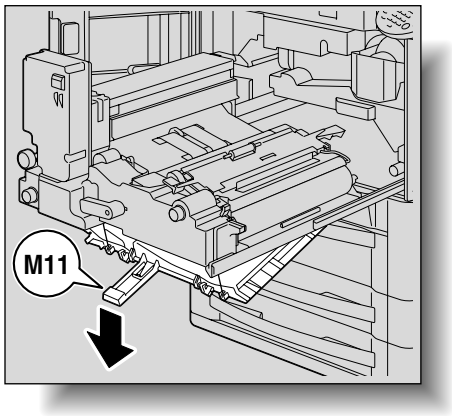
⚠警告

感電事故に注意！
本体内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。
➔ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

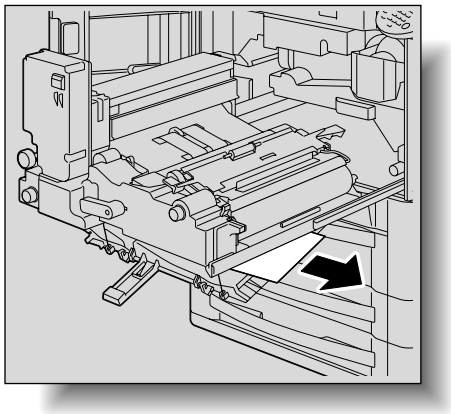
⚠注意

やけどに注意！
本体内部の定着部は高温になっています。
➔ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

3 カバー【M11】を開きます。



4 用紙を取除きます。



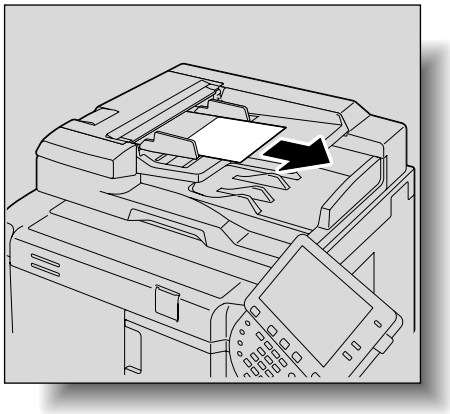
5 カバー【M11】を元の位置に戻します。

6 定着搬送ユニットを元の位置に戻します。

7 レバー【M4】を戻して、右前ドアと左前ドアを閉じます。

4.2.15 ADF での紙づまり処理のしかた「14」

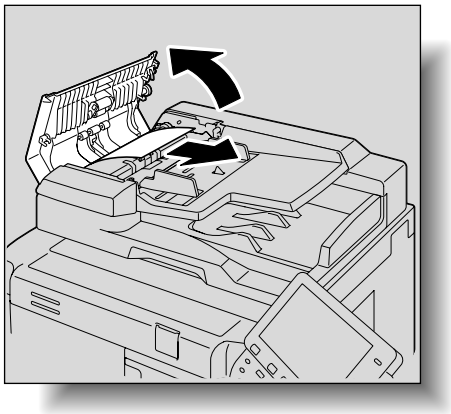
1 原稿給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



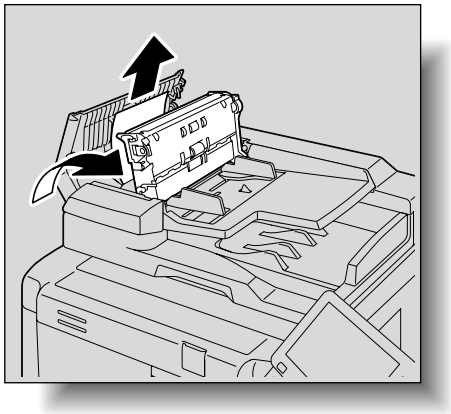
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

2 左カバーを開いて、原稿を取除きます。

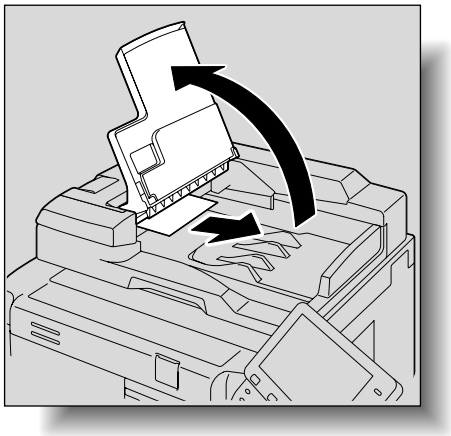


3 給紙ユニットを開いて、原稿を取除きます。



4 給紙ユニット、左カバーを閉じます。

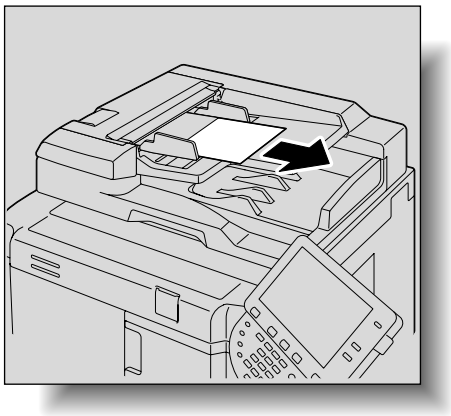
5 原稿給紙トレイを持上げて、原稿を取除きます。



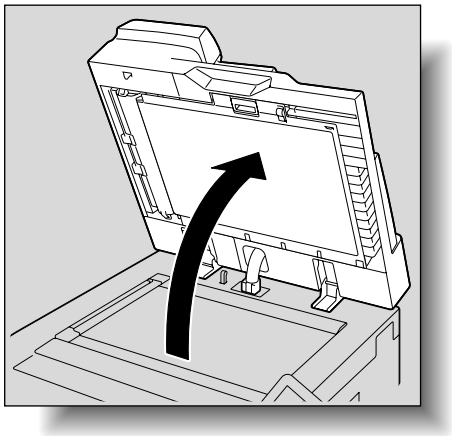
6 原稿給紙トレイを元の位置に戻します。

4.2.16 ADF での紙づまり処理のしかた「15」

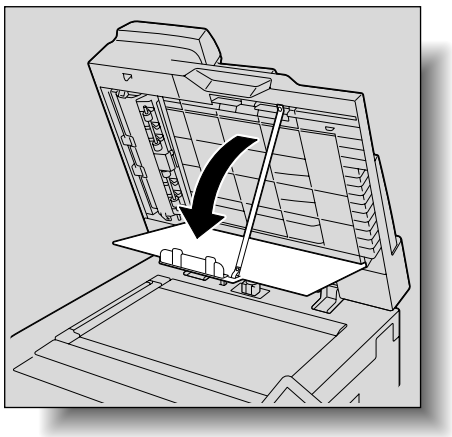
1 原稿給紙トレイに残っている原稿を取除きます。



2 ADF を開きます。



3 原稿ガラスガイドを開きます。

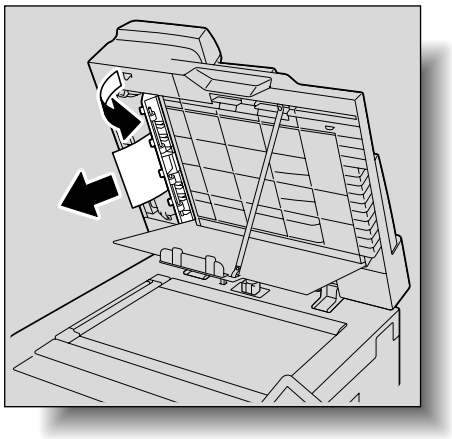


参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

4

排紙ガイドを開いて、原稿を取除きます。



5

原稿ガラスガイドを閉じます。

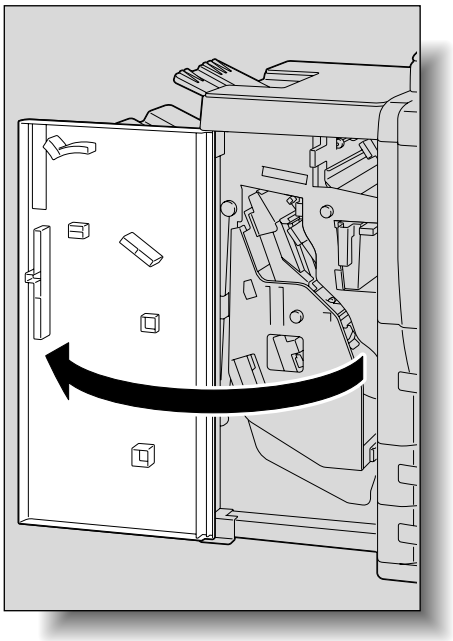
4.2.17 フィニッシャー FS-524/FS-525 での紙づまり処理のしかた「16」「18」

ここでは、紙づまりの可能性のある位置を通紙経路に沿って説明しています。

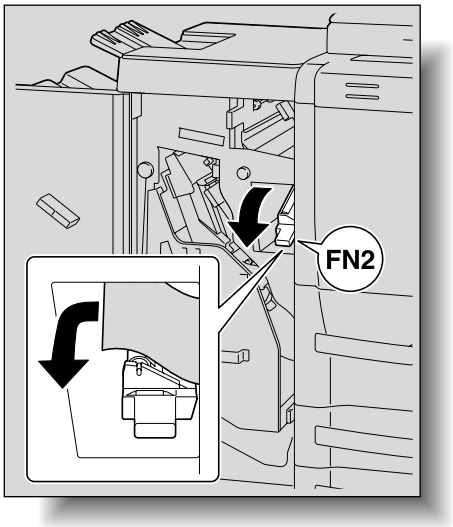
フィニッシャー内では、[仕上り] の設定によって通紙経路が変わり、紙づまりの発生する箇所が異なります。

フィニッシャー FS-524 とフィニッシャー FS-525 の紙づまり処理は同じです。
ここではフィニッシャー FS-524 を例に説明します。

1. 前ドアを開きます。

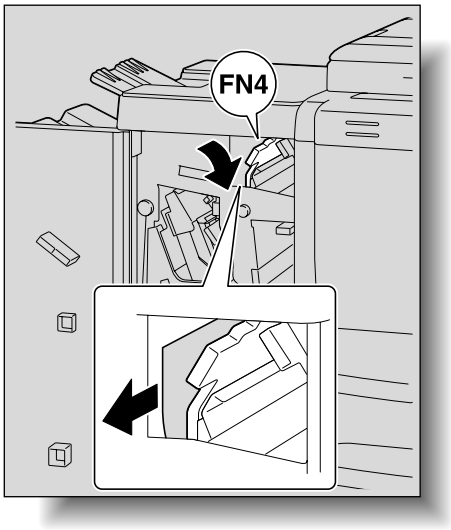


2. ガイドレバー【FN2】を下げ、用紙を取除きます。

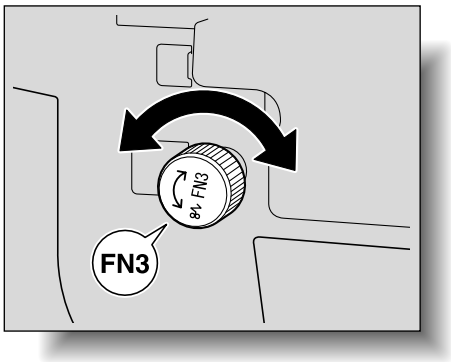


3. ガイドレバー【FN2】を元の位置に戻します。

4 ガイドレバー【FN4】を下げ、用紙を取除きます。

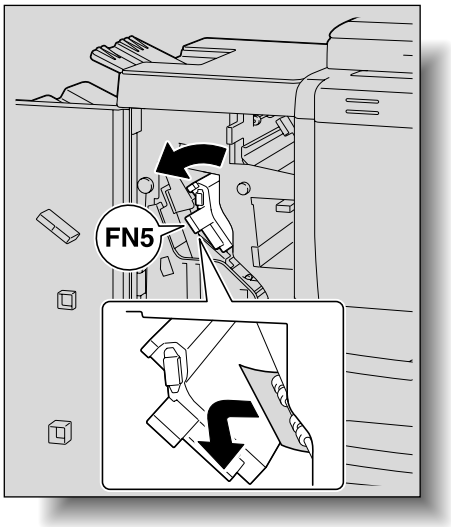


❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN3】を回して用紙を送り出します。

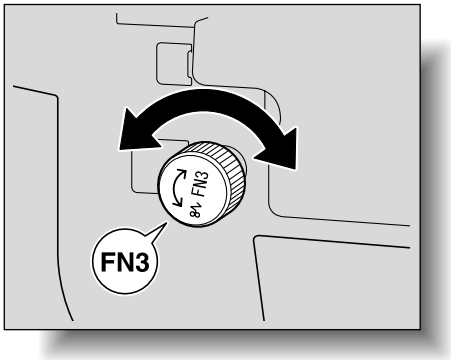


5 ガイドレバー【FN4】を元の位置に戻します。

6 ガイドレバー【FN5】を下げ、用紙を取除きます。



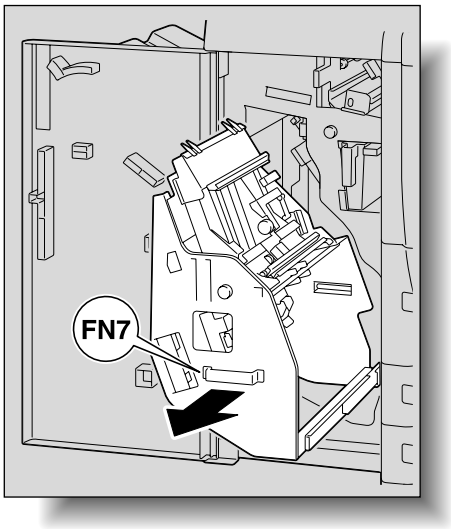
❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN3】を回して用紙を送り出します。



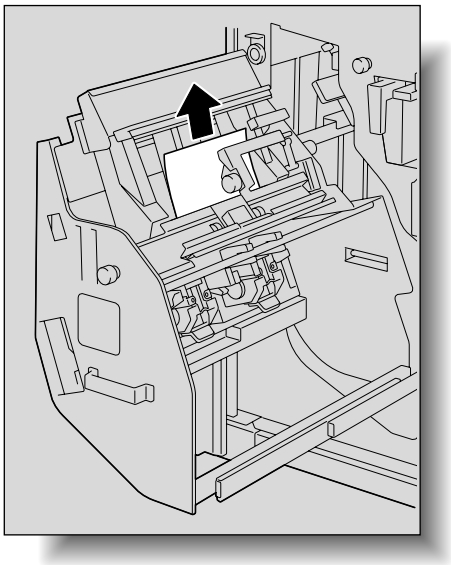
7 ガイドレバー【FN5】を元の位置に戻します。

8 取っ手【FN7】を持って、スタッカーユニットを引出します。

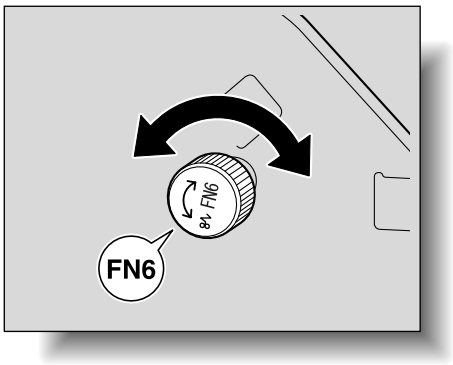
❍ スタッカーユニットが止まる位置までゆっくり引出します。



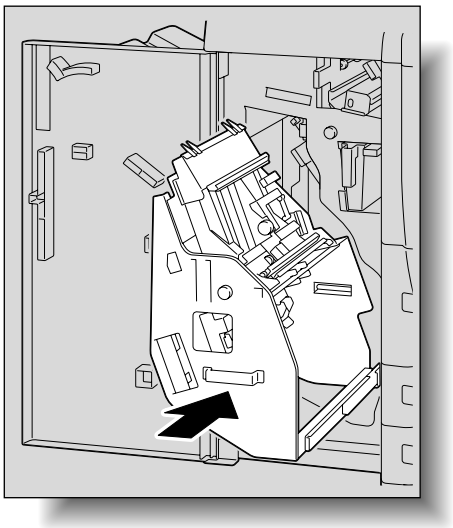
9 スタッカーユニットにつまっている用紙を取除きます。

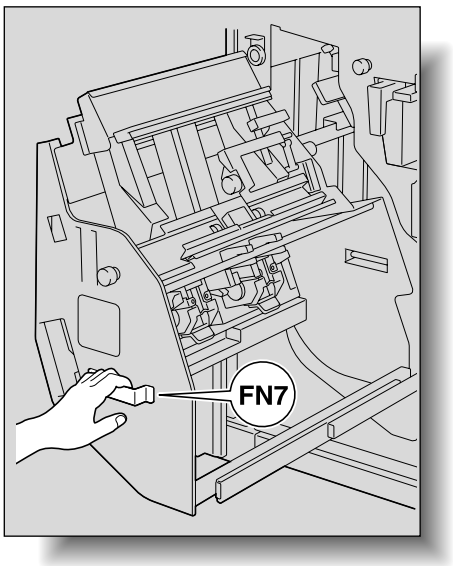


❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN6】を回して用紙を送り出します。



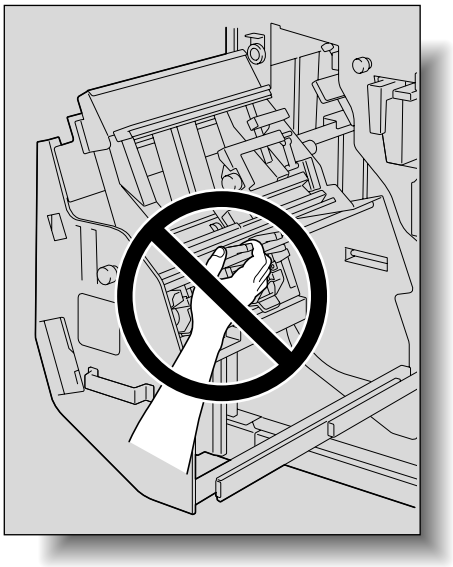
10 スタッカーユニットを元の位置に戻します。





必ず守ってください

スタッカーユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN7】以外は持たないでください。
手、指を挟込むおそれがあります。



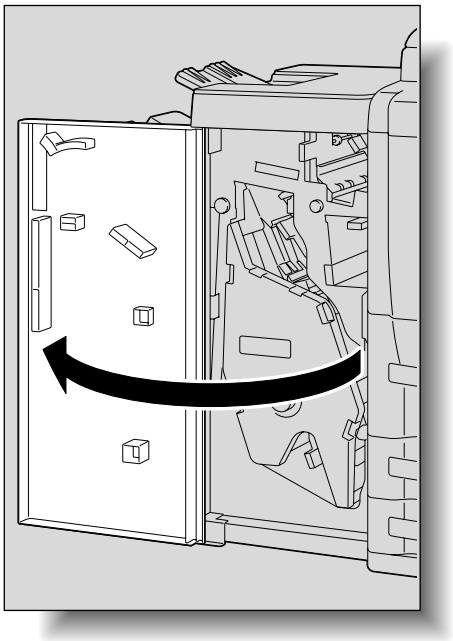
11 前ドアを閉じます。

4.2.18 フィニッシャー FS-610 での紙づまり処理のしかた「16」「18」

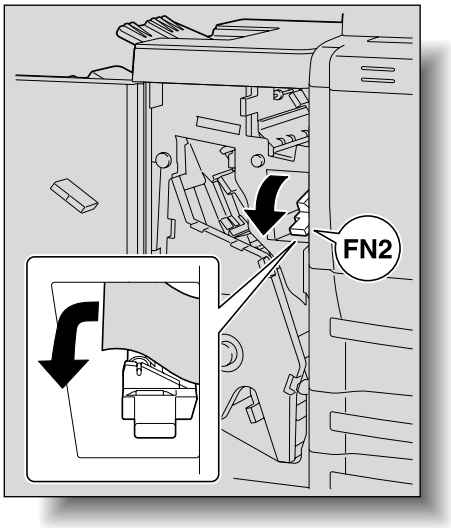
ここでは、紙づまりの可能性のある位置を通紙経路に沿って説明しています。

フィニッシャー内では、［仕上り］の設定によって通紙経路が変わり、紙づまりの発生する箇所が異なります。

1 前ドアを開きます。

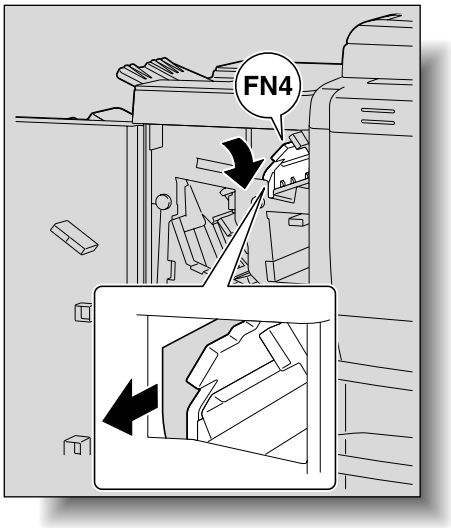


2 ガイドレバー【FN2】を下げ、用紙を取除きます。

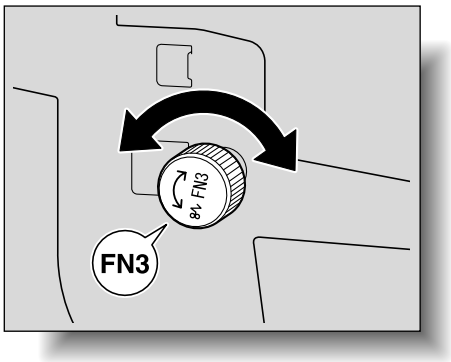


3 ガイドレバー【FN2】を元の位置に戻します。

4 ガイドレバー【FN4】を下げ、用紙を取除きます。

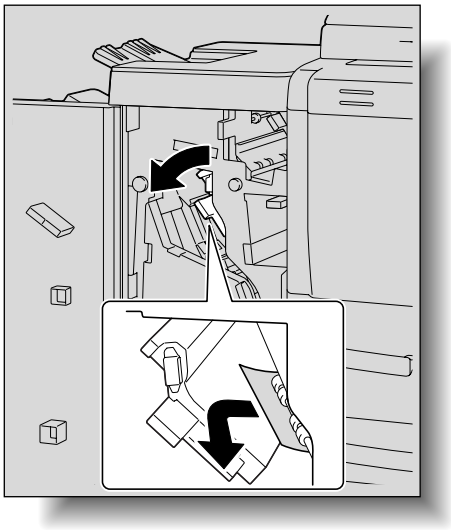


❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN3】を回して用紙を送り出します。

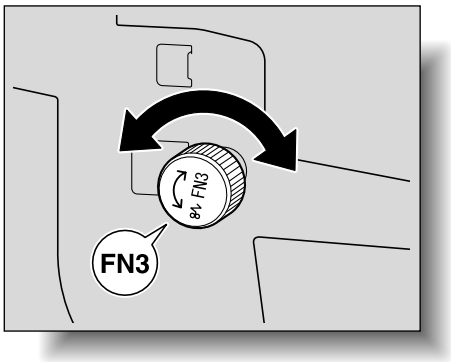


5 ガイドレバー【FN4】を元の位置に戻します。

6 ガイドレバー【FN5】を下げ、用紙を取除きます。



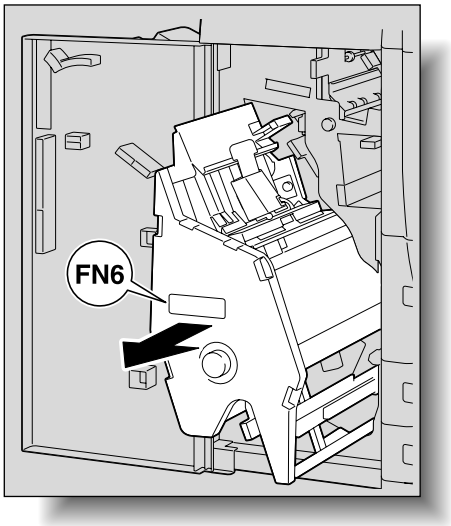
❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN3】を回して用紙を送り出します。



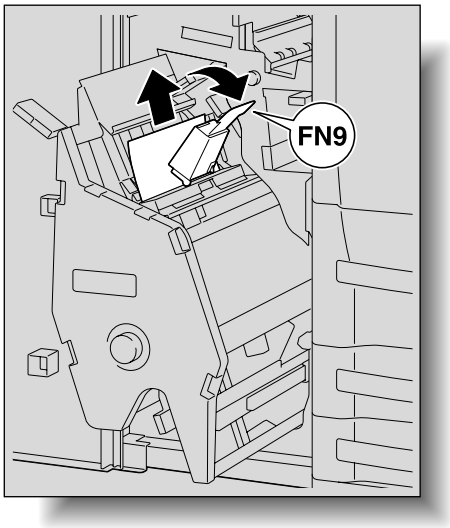
7 ガイドレバー【FN5】を元の位置に戻します。

8 取っ手【FN6】を持って、スタッカーユニットを引出します。

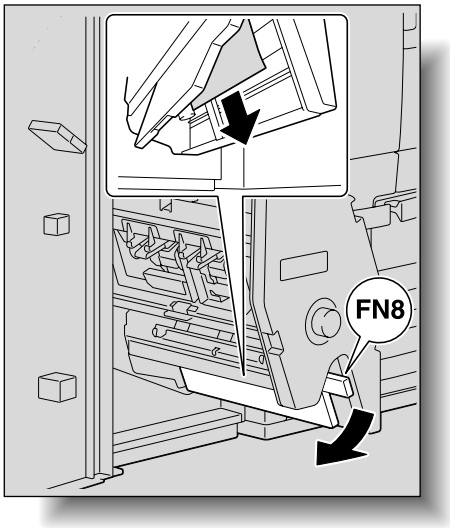
❍ スタッカーユニットが止まる位置までゆっくり引出します。



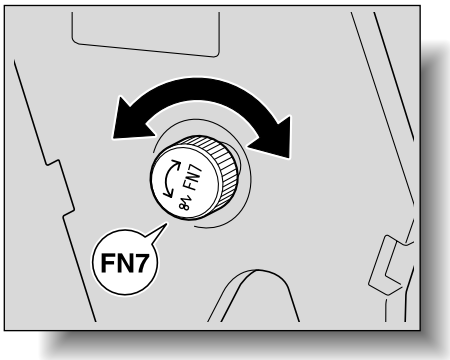
9 ガイドレバー【FN9】を下げ、用紙を取除きます。



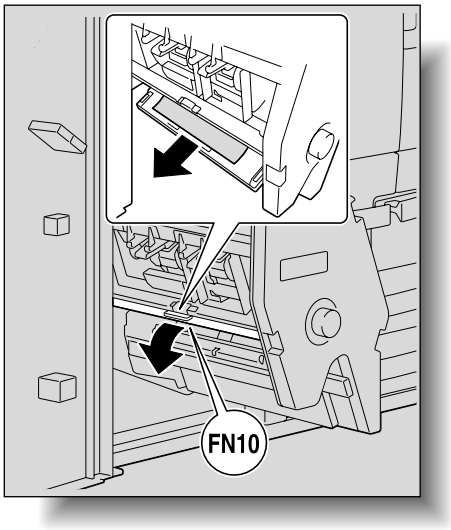
10 ガイドレバー【FN8】を開いて、用紙を取除きます。



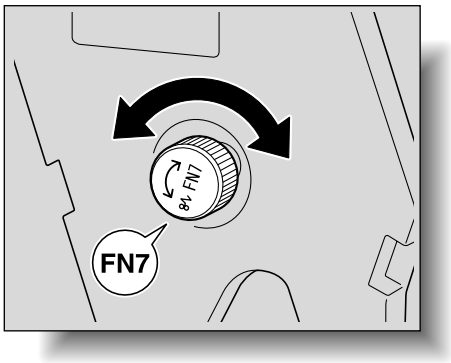
❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN7】を回して用紙を送り出します。



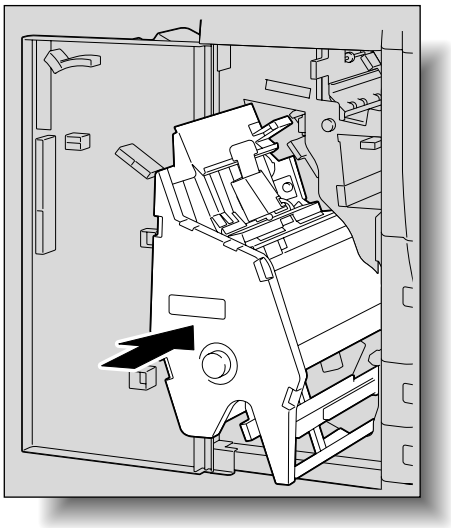
11 ガイドレバー【FN10】を下げ、用紙を取除きます。

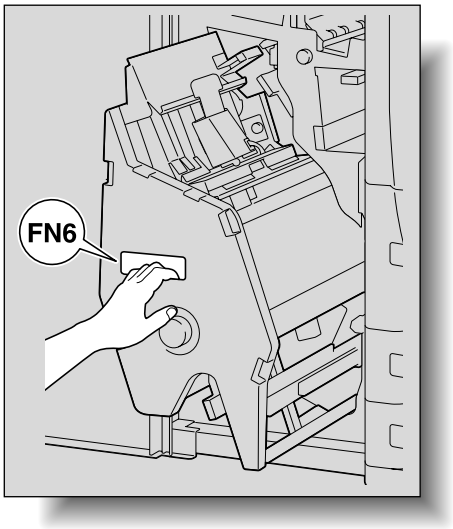


❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN7】を回して用紙を送り出します。



12 スタッカーユニットを元の位置に戻します。





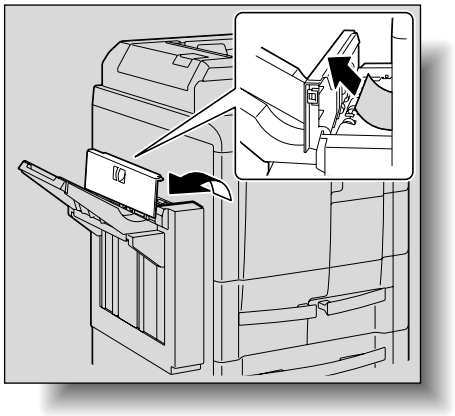
必ずお守ってください

スタッカーユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN6】以外は持たないでください。
手、指を挟込むおそれがあります。

13 前ドアを閉じます。

4.2.19 シフトトレイでの紙づまり処理のしかた「16」

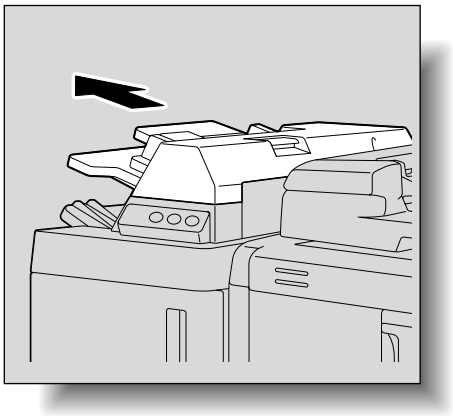
1 シフトトレイのカバーを開けて、つまっている用紙をゆっくり取除きます。



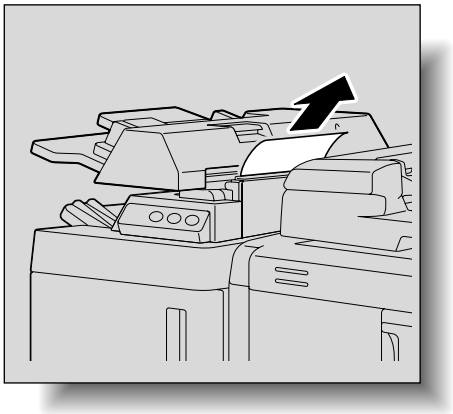
2 シフトトレイのカバーを閉じます。

4.2.20 ポストインサータでの紙づまり処理のしかた「17」

1 上ユニット解除レバーを持上げて、上ユニットを左へスライドさせます。



2 つまっている用紙をゆっくり取除きます。



3 上ユニットを元の位置に戻します。

参照

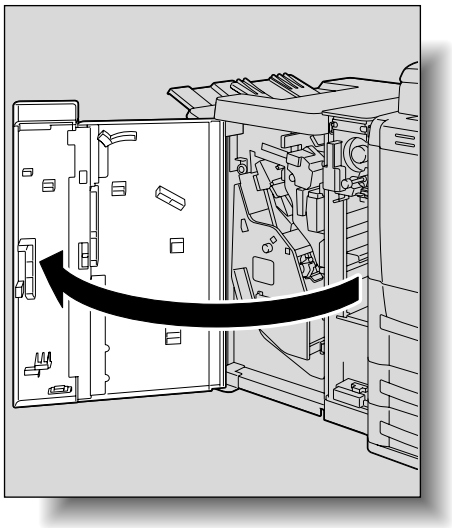
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 4-5）をごらんください。

4.2.21 Z 折りユニットでの紙づまり処理のしかた「20」

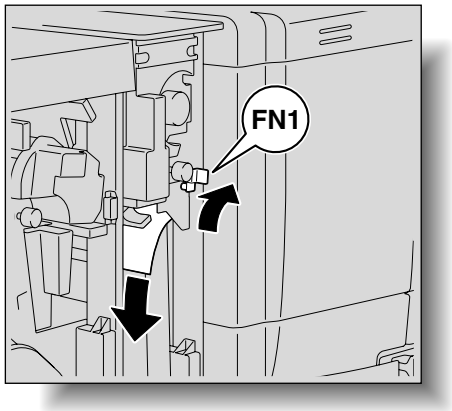
ここでは、紙づまりの可能性のある位置を通紙経路に沿って説明しています。

Z 折りユニット内では、［仕上り］の設定によって通紙経路が変わり、紙づまりの発生する箇所が異なります。

1 前ドアを開きます。



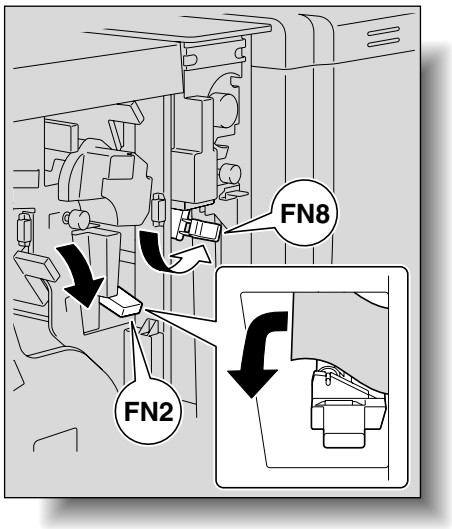
2 ガイドレバー【FN1】を上げ、用紙を取除きます。



3 ガイドレバー【FN1】を元の位置に戻します。

4

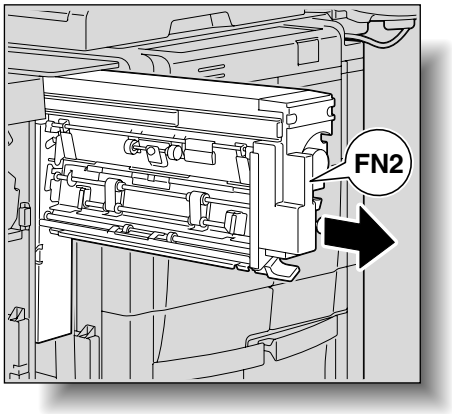
ガイドレバー【FN8】とフィニッシャーのガイドレバー【FN2】を下げ、用紙を取除きます。



5

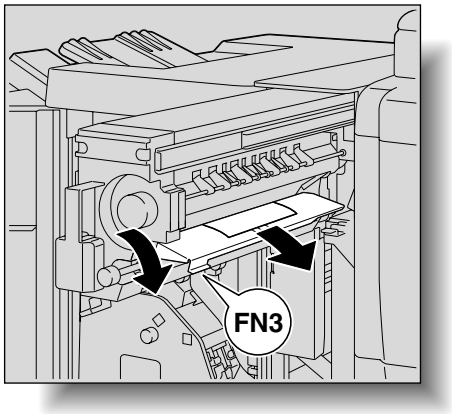
取っ手【FN2】を持って、Z 折り / 搬送ユニットを引出します。

❍ Z 折り / 搬送ユニットが止まる位置までゆっくり引出します。

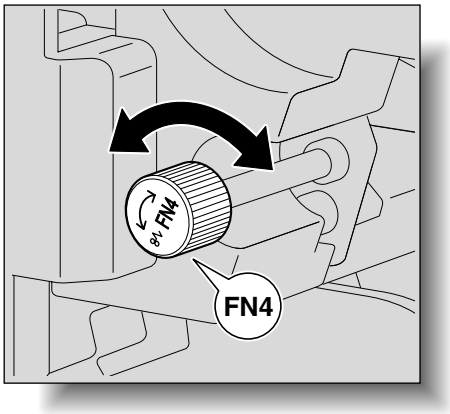


6

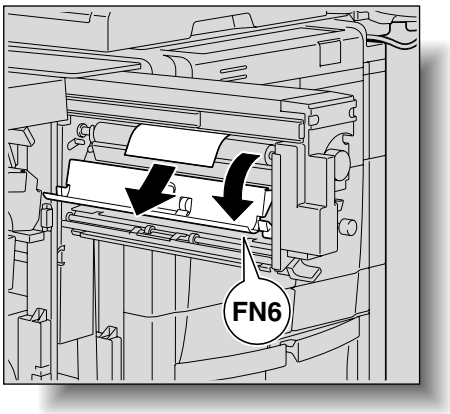
ガイドレバー【FN3】を下げ、用紙を取除きます。



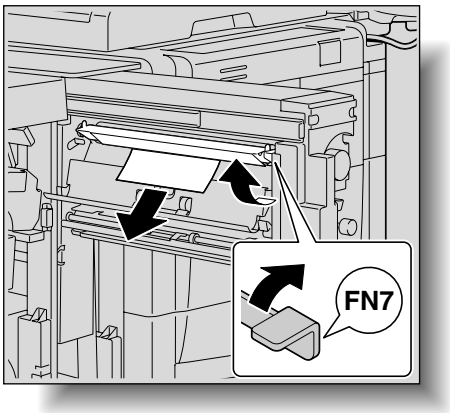
❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN4】を回して用紙を送り出します。



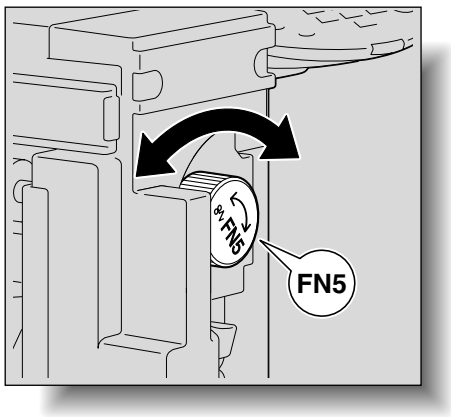
7 ガイドレバー【FN6】を下げ、用紙を取除きます。



8 ガイドレバー【FN7】を上げ、用紙を取り除きます。

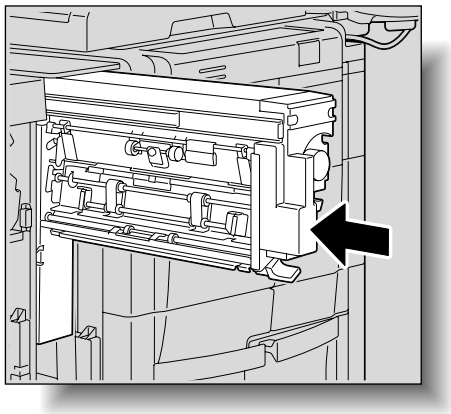


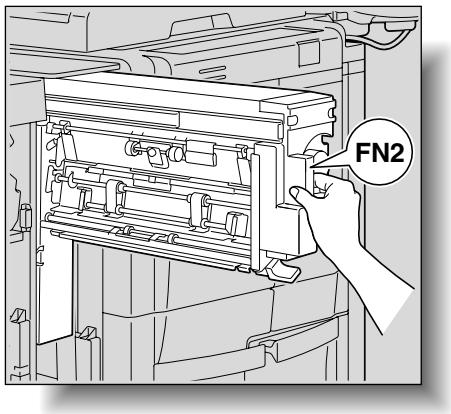
❍ 用紙が取除けない場合は、紙づまり処理ダイアル【FN5】を回して用紙を送り出します。



9 ガイドレバー【FN6】を元の位置に戻します。

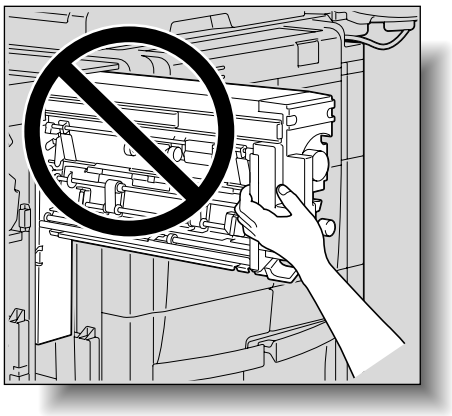
10 Z 折り / 搬送ユニットを元の位置に戻します。





必ずお守ってください

Z 折り / 搬送ユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN2】以外は持たないでください。
手、指を挟込むおそれがあります。



11 前ドアを閉じます。

4.3　簡単なトラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本体	【主電源スイッチ】を入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
		【副電源スイッチ】は ON になっていますか？	【副電源スイッチ】を ON にしてください。
	コピーがスタートしない	本体右上ドアを確実に閉じていますか？	本体右上ドアを確実に閉じてください。
		原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい／色がうすい	濃度の設定が、［うすく］になっていませんか？	濃度画面で［こく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 2-47）
		用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 1-48）、（p. 1-52）
	画像がこい／色がこい	濃度の設定が、［こく］になっていませんか？	濃度画面で［うすく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 2-47）
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。（p. 2-7）
	画像がにじむまたはボケる	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 1-48）、（p. 1-52）
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。（p. 2-7）
	印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 9-2）
		原稿読取りガラスが汚れていませんか？	原稿読取りガラスを柔らかい布で清掃してください。（p. 9-2）
		原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。（p. 9-3）
		第 2 原紙、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。（p. 2-7）
		両面原稿を使っていませんか？	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、おもて面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。（p. 2-48）
	印刷の画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに合わせて、正しくセットしてください。（p. 2-7） 原稿を ADF にセットし、原稿ガイドを原稿サイズに正しく合わせてください。（p. 2-6）
		ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。（p. 2-7）
		原稿読取りガラスに異物が付着していませんか？（ADF 使用時）	原稿読取りガラスを柔らかい布で清掃してください。（p. 9-2）
		給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
		カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
	印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
			吸湿していない、新しい用紙に交換してください。 （p. 1-48）、（p. 1-52）
	画像の周りが汚れる	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。 （p. 9-3）
		原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ （等倍 100.0% コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。 （p. 2-30）
		原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ （等倍 100.0% コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
		用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ （縮小コピー倍率手動入力時）	用紙サイズにあった倍率を選択してください。（p. 2-31） または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。 （p. 2-31）
	紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取除いてください。 （p. 4-5）
	両面＞片面、両面＞両面機能にならない	組合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組合わせをご確認ください。
	部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	「部門別カウンターが上限値です」が表示されていませんか？	管理責任者にご確認ください。
ADF	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
		仕様以外の原稿を使用していませんか？	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。（p. 6-27）
		正しく原稿をセットしていますか？	原稿を正しくセットしてください。 （p. 2-6）
フィニッシャー	フィニッシャーが作動しない	コネクターへの接続は確実ですか？	コードをコネクターへ確実に接続してください。
	ステープルができない	ステープル針がなくなっていませんか？	ステープル針を補給してください。 （p. 8-7）
	ステープルの位置が 90゜ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか？	ステープルの位置を目的の位置に指定してください。（p. 2-54）
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
		用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない（パンチユニットが装着されたフィニッシャー）	「パンチユニットのくずを廃棄してください」が表示されていませんか？	パンチくずボックスからパンチくずをすててください。（p. 8-20）

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
認証装置　指静脈認証タイプ	認証装置と本機を USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	本機の USB ポートの誤作動が考えられます。	本機の主電源を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の主電源を ON にしてください。
	認証装置とコンピューターを USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	コンピューターの USB ポートの誤作動が考えられます。	お使いのコンピューターを再起動してください。
		認証装置のドライバーは正しく組込まれていますか？	「Data Administrator で登録する」を参照して、お使いのコンピューターに正しくドライバーが組込まれているかを確認してください。（p. 12-6）
	本機での撮影開始時や認証完了時に報知音が鳴らない	本機の報知音の設定が OFF になっていませんか？	「ユーザー登録のしかた」を参照して、本機の報知音の設定を ON にしてください。（p. 12-5）
	登録に失敗する 本機に「登録に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	認証装置での撮影時間は 1 回の撮影につき時間が制限されています。制限時間内に撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。 撮影時間については、サービス技術者にお問い合わせください。	制限時間内に撮影が終わるように、すぐに使える操作ガイド 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。 撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
	ログインに失敗する 本機に「認証に失敗しました。」のメッセージが表示される場合		
	登録に失敗する コンピューターに「失敗しました。もう一度指を置き直してから、「読取開始」をクリックして ...」のメッセージが表示される場合	認証装置での撮影時間は 1 回の撮影につき 5 秒となっています。5 秒で撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	
	撮影が開始されない	認証装置に指を正しく置いていますか？	すぐに使える操作ガイド 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。 撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
		認証装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の主電源を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の主電源を ON にしてください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
	認証装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	認証装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか？	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに認証装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。
認証装置 ICカード認証タイプ	登録に失敗する 本機に「登録に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	認証装置の読取り時間は 10 秒に制限されています。制限時間内に読取れなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	制限時間内に読取りが終わるように、すぐに使える操作ガイド 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）を参照し、IC カードの置き方を確認してください。
	登録に失敗する コンピューターにメッセージが表示される場合		
	ログインに失敗する 本機に「認証に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合 正しいパスワードを入力しましたか？	パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。
	読取りが開始されない	認証装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の主電源を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の主電源を ON にしてください。
	認証装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	認証装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか？	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに認証装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。
上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

4.4 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
原稿ガラス上に原稿が残っています	原稿ガラス上に原稿を置き忘れています。	原稿ガラス上の原稿を取除いてください。
最適用紙がありません 用紙を選択してください	適合するサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの用紙を選択するか、適合するサイズの用紙をセットしてください。
手差しに用紙をセットしてください。	適合するサイズの用紙が手差しトレイにセットされていません。	適合するサイズの用紙を手差しトレイにセットしてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	① 原稿が正しくセットされていない。 ② 不定形サイズまたは、検出できない小サイズの原稿を使用している。	① 原稿を正しくセットしてください。 ② 用紙を選択して、コピーしてください。
用紙に画像が収まりません 原稿の方向を変えてセットしなおしてください	画像が用紙に収まらない場合に表示されます。	原稿を 90° 回転させ、セットしなおしてください。
○○○とは同時設定できません	同時に設定できない機能を選択しています。	どちらか一方の機能でコピーしてください。
トレイの容量オーバーです →のトレイの用紙を取り除いてください	表示されているフィニッシャーの排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上の用紙を全て取除いてください。
ログインするユーザー名とパスワードを入力し［ログイン］キー、または［ID］キーを押してください	ユーザー認証されています。ユーザー名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	ユーザー名と正しいパスワードを入力してください。 （p. 1-39）
ログインする部門名とパスワードを入力し［ログイン］キー、または［ID］キーを押してください	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。（p. 1-41）
部門別カウンターが上限値です	印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
→部が開いています 確実に閉めてください	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションを確実にセットしてください。
トナーカートリッジを装着して全てのドアを閉めてください	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
用紙を補給してください	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。 （p. 1-48）、（p. 1-52）
ステープル針がありません ステープルカートリッジを交換するか、ステープルを解除してください	ステープル針がなくなりました。	ステープルカートリッジを交換してください。（p. 8-7）
紙づまりです	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。（p. 4-4）
以下の原稿枚数を戻してください ○○	紙づまり処理が終わったあと、ADF から排紙された原稿を戻す必要があるときに表示されます。	表示枚数の原稿を ADF にセットしなおしてください。
トラブルを検出しました。前ドアを開閉して解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面のメッセージにしたがってトラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
トラブルを検出しました。主電源を OFF/ON して解除してください。解除できない場合はサービスにトラブルコードを連絡してください。		
トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
プログラムサーバからプログラムをダウンロード中です	①サービス実施店による CS Remote Care が行われています。 ② Internet ISW のダウンロード実行中です。	メッセージが表示されている間は、副電源スイッチを OFF しないでください。 副電源スイッチを OFF にした場合は、主電源スイッチを OFF にし、サービス実施店に連絡してください。
不正アクセスのため、入力した認証情報は無効です 管理者に連絡してください	認証に指定回数連続失敗したため、認証情報が無効となっています。	本機の管理者に連絡してください。
不正アクセスのため、現在管理者パスワードは無効となっています	認証に指定回数連続失敗したため、管理者パスワードが無効となっています。	本機の電源を OFF/ON します。 主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

第 5 章
仕様・保守サービス

本体およびオプションの仕様・保守サービスについて説明します。

5.1　本体仕様 5-2
5.2　オプション仕様 5-4
5.3　保守サービス 5-13

5.1 本体仕様

5.1.1 本体

項　目	説　明
名称	bizhub 751/601
形式	コンソールタイプ
原稿台方式	ミラー走査型縮小光学系
感光体	OPC
光源	希ガス放電蛍光ランプ
複写方式	レーザー露光静電複写方式
現像方式	乾式 2 成分反転磁気ブラシ現象
定着方式	ヒートローラー定着
解像度	読取り：600 dpi × 600 dpi、出力：2400 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大　A3/11x17 厚み：最大 30 mm、重量：6.8 kg 原稿ガラスの自動検出サイズ： A3▭、B4▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、郵政はがき ▭、Foolscap*3 ADF の自動検出サイズ： A3▭、B4▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯
複写紙種類	普通紙：60 g/m^2 ～ 90 g/m^2、 薄紙 *1：50 g/m^2 ～ 59 g/m^2、 厚紙：91 g/m^2 ～ 200 g/m^2、 OHP フィルム *1、ラベル紙 *1、インデックス紙 *1、第 2 原紙 *1、特殊紙 *1、郵政はがき *2、上質紙、ユーザー紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙
複写紙サイズ	トレイ 1/2 A4 ▯、B5 ▯、A5 ▯、郵政はがき ▭、8-1/2 × 11 ▯、5-1/2 × 8-1/2 ▯ トレイ 3/4 定形サイズ： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▯、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、Foolscap*3、ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4W ▭/▯、B5W ▭/▯、A5W ▯、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▭） 不定形サイズ： 182 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm 手差しトレイ 定形サイズ： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4W ▭/▯、B5W ▭/▯、A5W ▭/▯、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▯） 不定形サイズ： 100 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm
画像欠け幅	片面コピー： 先端 / 後端 3 mm 以内、手前 / 奥側 2 mm 以内 両面コピー： オモテ面 先端 / 後端 4 mm 以内、手前 / 奥側 2 mm 以内 ウラ面 先端 / 後端 3 mm 以内、手前 / 奥側 2 mm 以内
用紙収納枚数	トレイ 1：1650 枚（普通紙 64 g/m^2） トレイ 2：1100 枚（普通紙 64 g/m^2） トレイ 3/4：550 枚（普通紙 64 g/m^2） 手差しトレイ：100 枚（普通紙 64 g/m^2）
ウォームアップタイム	30 秒以下（室温 20 ℃）
ファーストコピータイム	bizhub 751：2.9 秒以下、bizhub 601：約 3.3 秒以下

項　目	説　明
連続複写速度	bizhub 751 75 枚 / 分（A4▯）、35 枚 / 分（A3▭） bizhub 601 60 枚 / 分（A4▯）、30 枚 / 分（A3▭）
複写倍率	等倍：× 1.000 ± 1.0% 以下 拡大（固定倍率）：× 1.154、× 1.224、× 1.414、× 2.000 縮小（固定倍率）：× 0.866、× 0.816、× 0.707、× 0.500 小さめ：0.930 連動ズーム：× 0.250 ～ 4.000　0.001 刻み 独立ズーム： タテ × 0.250 ～ 4.000、ヨコ × 0.250 ～ 4.000、タテ／ヨコ 0.001 刻み 倍率登録：3
連続複写枚数／部数	1 ～ 9999 枚／ 1 ～ 9999 部
濃度調整	コピー濃度：自動および手動調整（9 段階） 下地調整：手動調整（9 段階）
電源	AC 100 V、15 A、50/60 Hz
騒音	bizhub 751/601：75 dB 以下（作動時）
消費電力	最大 1500 W 以下（含オプション）
エネルギー消費効率	bizhub 751：105 wh/h bizhub 601：55 wh/h
大きさ	886 (W) × 859 (D) × 1140 (H) mm（本体 +ADF、操作パネル含む）
機械占有寸法 *4	1275 (W) × 791 (D)（本体 +ADF）
メモリー	1 GB
質量	約 224 kg（本体 +ADF）

*1　手差しトレイのみ使用可能です。
*2　手差しトレイ、トレイ 3/4 のみ使用可能です。
*3　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。
*4　機械占有寸法は、手差しトレイを最大に開いた状態の寸法です。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

5.1.2　自動両面原稿送り装置 DF-614

項　目	説　明
名称	DF-614
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載原稿機能：片面原稿、両面原稿
原稿種類	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
原稿サイズ	100 mm × 139.7 mm ～ 297 mm × 431.8 mm 自動検出サイズ： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/ ▯、B5 ▭/ ▯、A5 ▭/ ▯、B6 ▭、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯
原稿積載量	最大 100 枚（80 g/m^2）
電源	本体から供給
最大消費電力	53 W 以下
大きさ	625 (W) × 576 (D) × 154 (H) mm
質量	約 12.9 kg

5.2 オプション仕様

5.2.1 大容量給紙ユニット LU-405

項　目	説　明
名称	LU-405
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）
用紙サイズ	定形紙： A4 ▯、B5 ▯、8-1/2 × 11 ▯、16K ▯ 不定型紙： 182 mm × 257 mm ～ 223 mm × 314 mm
収納枚数	5000 枚（64 g/m^2）
電源	本体から供給
最大消費電力	82 W 以下
大きさ	430 (W) × 639 (D) × 690 (H) mm
質量	約 30 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

5.2.2 大容量給紙ユニット LU-406

項　目	説　明
名称	LU-406
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）
用紙サイズ	定形紙： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/ ▯、 Foolscap*、8K ▭、16K ▯ 不定形紙： 182 mm × 257 mm ～ 314 mm × 459 mm
収納枚数	4500 枚（64 g/m^2）
電源	本体から供給
最大消費電力	100 W 以下
大きさ	670 (W) × 639 (D) × 695 (H) mm
質量	約 42 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

* Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.3 フィニッシャー FS-524

項　目	説　明
名称	FS-524
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート + 仕分け、グループ + 仕分け） ステープル
排紙トレイ	メイン排紙トレイ（トレイ 1）、サブ排紙トレイ（トレイ 2）
仕分けシフト量	30 mm

項　目	説　明
用紙種類	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ ソート、グループ、ソート＋仕分け、グループ＋仕分け： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき、特殊紙、上質紙、ユーザー紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙 ステープル： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、再生紙、上質紙、ユーザー紙、レターヘッド紙、特殊紙、薄紙、厚紙、色紙 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ ソート、グループ： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき
用紙サイズ	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 *1/、B6 *1、12 × 18 ～ 5-1/2 × 8-1/2 *1/、Foolscap*2、8K、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W 、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W ） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 /、B6 、A6 、13 × 19 、12 × 18 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /、郵政はがき 、Foolscap*2、8K 、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W /、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W /） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm ＜ステープル＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 、Foolscap*2、8K 、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W 、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W ） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
収納枚数	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ B4 以上 1500 枚、A4 ～ B5 3000 枚、A5 以下 500 枚 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 200 枚
ステープル機能	最大とじ枚数　50 枚（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
パンチ機能	オプションのパンチ機能による
電源	本体から供給
最大消費電力	80 W 以下
大きさ	680 (800) (W) × 656 (D) × 990 (H) mm （　）はトレイ引出し時
質量	60 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

*1　仕上がり設定をしていない場合に可能です。

*2　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 、8-1/4 × 13 、8-1/2 × 13 、8 × 13 の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.4　フィニッシャー FS-525

項　目	説　明
名称	FS-525
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート＋仕分け、グループ＋仕分け） ステープル
排紙トレイ	メイン排紙トレイ（トレイ 2）、サブ排紙トレイ（トレイ 1）
仕分けシフト量	30 mm
用紙種類	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ ソート、グループ、ソート＋仕分け、グループ＋仕分け： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき、特殊紙、上質紙、ユーザー紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙 ステープル： 普通紙（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）、再生紙、上質紙、ユーザー紙、レターヘッド紙、特殊紙、薄紙、厚紙、色紙 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ ソート、グループ： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき
用紙サイズ	＜メイン排紙トレイ（トレイ 1）＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 *1/、B6 *1、12 × 18 ～ 5-1/2 × 8-1/2 *1/、Foolscap*2、8K、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W 、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W ） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 /、B6、A6、13 × 19、12 × 18 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /、郵政はがき、Foolscap*2、8K、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W /、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W /） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm ＜ステープル＞ 定形サイズ： A3 ～ A5 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 、Foolscap*2、8K、16K /、ワイド紙（A3W ～ A5W 、11 × 17W ～ 5-1/2 × 8-1/2W ） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
収納枚数	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ B4 以上 1500 枚、A4 ～ B5 3000 枚、A5 以下 500 枚 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 200 枚
ステープル機能	最大とじ枚数　100 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）
パンチ機能	オプションのパンチ機能による
電源	本体から供給
最大消費電力	80 W 以下
大きさ	680 (800) (W) × 656 (D) × 990 (H) mm （　）はトレイ引出し時
質量	60 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

*1　仕上がり設定をしていない場合に可能です。

*2　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.5　フィニッシャー FS-610

項　目	説　明
名称	FS-610
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート + 仕分け、グループ + 仕分け） ステープル、中折り、中とじ、三つ折り
排紙トレイ	メイン排紙トレイ（トレイ 2）、サブ排紙トレイ（トレイ 1）、ブックレットトレイ
仕分けシフト量	30 mm
用紙種類	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ ソート、グループ、ソート + 仕分け、グループ + 仕分け： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき、特殊紙、上質紙、ユーザー紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙 ステープル： 普通紙（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）、再生紙、上質紙、ユーザー紙、レターヘッド紙、特殊紙、薄紙、厚紙、色紙 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ ソート、グループ： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、インデックス紙、郵政はがき ＜ブックレットトレイ＞ 中折り、三つ折り： 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 中とじ： 普通紙（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）
用紙サイズ	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭*1/▯、B6 ▭*1、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭*1/▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭、A6 ▭、13 × 19 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、郵政はがき ▭、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▭/▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm ＜ステープル＞ 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm ＜ブックレットトレイ＞ 定形サイズ（中折り、中とじ）： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭、12 × 18 ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭、8K ▭、ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4W ▭、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▭） 定形サイズ（三つ折り）： A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭、16K ▭ 不定形サイズ（中折り、中とじ）： 210 mm × 279 mm ～ 314 mm × 458 mm

項　目	説　明
収納枚数	＜メイン排紙トレイ（トレイ 2）＞ B4 以上 1500 枚、A4 ～ B5 2500 枚、A5 以下 500 枚 ＜サブ排紙トレイ（トレイ 1）＞ 200 枚 ＜ブックレットトレイ＞ 中折り（3 枚折り）：25 ～ 33 部 中とじ（5 枚とじ）：15 ～ 20 部 三つ折り（1 枚折り）：50 部
ステープル機能	最大とじ枚数　50 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2） 最大中とじ枚数　20 枚（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2）
パンチ機能	オプションのパンチ機能による
電源	本体から供給
最大消費電力	80 W 以下
大きさ	680 (800) (W) × 656 (D) × 990 (H) mm （　）はトレイ引出し時
質量	65 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

*1　仕上がり設定をしていない場合に可能です。

*2　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.6　パンチキット PK-502/PK-503

項　目	説　明
名称	PK-502/PK-503
機能	ファイリング用パンチ穴あけ
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
パンチ穴ピッチ	80 mm ± 0.5 mm
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 128 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯
電源	フィニッシャーから供給
大きさ	PK-502：68（W）× 442（D）× 120（H）　mm PK-503：130（W）× 470（D）× 115（H）　mm
質量	PK-502：約 2 kg PK-503：約 3 kg

5.2.7　Z 折りユニット ZU-605

項　目	説　明
名称	ZU-605
機能	ファイリング用パンチ穴あけ Z 折り
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
パンチ穴ピッチ	80 mm ± 0.5 mm
パンチ出力時の用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
パンチ出力時の用紙サイズ	A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、Foolscap*

項　目	説　明
折り種類	Z 折り
Z 折り出力時の用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
Z 折り出力時の用紙サイズ	A3 ▭、B4 ▭
電源	本体から供給
大きさ	169 (W) × 660 (D) × 930 (H) mm
質量	約 38 kg

* Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.8　ポストインサータ PI-504

項　目	説　明
名称	PI-504
構成	上下 2 段給紙トレイ
カバー紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
カバー紙サイズ	＜上段トレイ＞ 定形サイズ： A4 ▭/▯ ～ A5 ▯、8-1/2 × 11 ▭/▯ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、16K ▭/▯、ワイド紙（A4W ▭/▯ ～ A5W ▯、8-1/2 × 11W ▭/▯ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 216 mm × 297 mm ＜下段トレイ＞ 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
用紙積載量	上段・下段とも 200 枚
電源	フィニッシャーから供給
最大消費電力	30 W 以下
大きさ	511 (W) × 620 (D) × 220 (H) mm
質量	約 10.5 kg

* Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.9　シフトトレイ SF-602

項　目	説　明
名称	SF-602
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート + 仕分け、グループ + 仕分け）
シフト量	30 mm
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 216 g/m^2）、薄紙（52 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、OHP フィルム *1、第 2 原紙 *1、インデックス紙、郵政はがき

項　目	説　明
用紙サイズ	定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭*1、A6 ▭*1、郵政はがき ▭*1、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、7-1/4 × 10-1/2 ▭*1/▯*1、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、 不定形サイズ： 105 mm × 139 mm ～ 305 mm × 458 mm*1、139 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
収納枚数	A4 ～ B5 ：1250 枚 B4 以上、A5 ▯：500 枚 A5 ▭ 以下：100 枚
電源	本体から供給
大きさ	400 (490) (W) × 600 (D) × 480 (H) mm (　) はトレイ引出し時
質量	約 14 kg

*1　仕上がり設定をしていない場合に可能です。
*2　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

5.2.10　排紙トレイ OT-505

項　目	説　明
名称	OT-505
機能	本体排紙トレイ
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）、OHP フィルム、第 2 原紙、インデックス紙、郵政はがき
収納枚数	最大収容枚数　150 枚
大きさ	215 (335) (W) × 365 (D) × 70 (H)mm (　) はトレイ引出し時
質量	約 0.6 kg

5.2.11　認証装置（指静脈認証タイプ）AU-101

項　目		説　明
名称		AU-101
適応指幅		10 mm 以上～ 25 mm 未満
インターフェース		USB 2.0
寸法（mm）		約 78（W）× 95（D）× 55（H）
質量（g）		約 150　（USB ケーブル含まず）
最大消費電力　（mA）		DC 5 V 500 mA
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	10 ～ 35
	湿度（%）	10 ～ 80　（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-10 ～ 60
	湿度（%）	10 ～ 80　（ただし結露しないこと）

項　目		説　明
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、 16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

5.2.12　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201

項　目		説　明
名称		AU-201
寸法（mm）		約 92（W）× 64（D）× 16（H）
質量（g）		約 120
電源		USB ポートより受電
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	0 ～ 40
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-20 ～ 50
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
電波法区分		誘導式読み書き通信設備
適用カード		ISO 14443 TypeA、FeliCa 準拠非接触 IC カード
取得規格		VCCI クラス B
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2）

5.2.13　その他

イメージコントローラー IC-208
取り付けキット MK-716
ハードディスク HD-510
ステイプルキット SK-602
ステイプル MS-10A
ステイプル MS-5C
キーカウンター
キーカウンターソケット
FAX キット FK-502
セキュリティキット SC-506
ワーキングテーブル WT-504
ローカル接続キット EK-703

5.3　保守サービス

このチャージシステムを契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご使用いただくための保守サービス（定期点検、調整、修理、感光体、現像剤交換等）を提供いたします。

保守サービス提供の対価として、カウンタ数値により算出されますコピー料金を申し受けます。

コピー料金には、用紙の代金は含まれませんので、別途ご購入いただきます。

5.3.1　補修用性能部品の保有期間

複写機の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、機械本体製造打切り後 7 年間です。

5.3.2　同梱品

ユーザーズガイドホルダー 1
現像剤 . . . . . 各 1
ユーザーズガイド（すぐにお使いいただく操作ガイド）. . . 1
ユーザーズガイド（安全にお使いいただくために）. 1
CD-ROM（3 枚）. . . . . 各 1
　User Software
　Page Scope Utilities CD
　マニュアル CD
QA シート 1
チャージシステムお申込書 1
インストールマニュアル 1
ネットワークファクスインストールマニュアル 1
その他

第 6 章
用紙・原稿について

本機で使用する用紙と原稿の条件について説明します。

6.1　用紙について 6-2
6.2　手差しトレイの用紙設定 6-9
6.3　給紙トレイの用紙種類設定 6-19
6.4　原稿について 6-27

6.1　用紙について

各装置によって、扱える用紙に制限があります。

6.1.1　用紙をセット／処理／出力する装置

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- 本体給紙トレイ：トレイ 1/2/3/4
- 本体手差しトレイ
- 大容量給紙ユニット LU-405/406

用紙にパンチ／ステープルなどの処理をし、出力積載する装置には下記のものがあります。

- 自動両面コピーユニット（本体内蔵）
- フィニッシャー FS-524（ステープルユニット内蔵）
- フィニッシャー FS-525（ステープルユニット内蔵）
- フィニッシャー FS-610（ステープルユニット、折りユニット内蔵）
- パンチキット PK-502/503（フィニッシャー FS-524/525/610 に装着）
- Z 折りユニット ZU-605（パンチキット内蔵）
- ポストインサータ PI-504（フィニッシャー FS-524/525/610 に装着）
- シフトトレイ SF-602（フィニッシャー未装着機の本体に装着）
- 排紙トレイ OT-505（フィニッシャー未装着機の本体に装着）

6.1.2　使用できる用紙の坪量

用紙をセットする装置	坪　　量
本体給紙トレイ（トレイ 1/2/3/4）	60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 91 g/m^2 ～ 200 g/m^2 の用紙をセットしたときは、トレイを「厚紙」に設定 50 g/m^2 ～ 59 g/m^2 の用紙をセットしたときは、トレイを「薄紙」に設定
大容量給紙ユニット LU-405	
大容量給紙ユニット LU-406	
手差しトレイ	
ポストインサータ PI-504	

用紙を処理／排出する装置	坪　　量
自動両面コピーユニット	60 g/m^2 ～ 200 g/m^2
フィニッシャー FS-524 + パンチキット PK-502/503	ソート、グループ：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ソート + 仕分け、グループ + 仕分け：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ステープル：60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 パンチ：60 g/m^2 ～ 128 g/m^2
フィニッシャー FS-525 + パンチキット PK-502/503	ソート、グループ：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ソート + 仕分け、グループ + 仕分け：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ステープル：60 g/m^2 ～ 80 g/m^2 パンチ：60 g/m^2 ～ 128 g/m^2
フィニッシャー FS-610 + パンチキット PK-502/503	ソート、グループ：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ソート + 仕分け、グループ + 仕分け：50 g/m^2 ～ 200 g/m^2 ステープル：60 g/m^2 ～ 80 g/m^2 中折り、三つ折り：60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 中とじ：60 g/m^2 ～ 80 g/m^2 パンチ：60 g/m^2 ～ 128 g/m^2
Z 折りユニット　ZU-605	Z 折り：50 g/m^2 ～ 90 g/m^2
シフトトレイ　SF-602	52 g/m^2 ～ 216 g/m^2

用紙を処理／排出する装置	坪　　量
排紙トレイ　OT-505	52 g/m^2 ～ 216 g/m^2

6.1.3　セット／出力可能な用紙枚数

用紙をセットする装置	セット可能枚数
本体給紙トレイ（トレイ 1）	1650 枚（64 g/m^2）
本体給紙トレイ（トレイ 2）	1100 枚（64 g/m^2）
本体給紙トレイ（トレイ 3/4）	550 枚（64 g/m^2）
大容量給紙トレイ LU-405	5000 枚（64 g/m^2）
大容量給紙トレイ LU-406	4500 枚（64 g/m^2）
手差しトレイ	普通紙：100 枚（80 g/m^2） 特殊紙：1 枚 郵政はがき：40 枚
ポストインサータ　PI-504	200 枚（80 g/m^2）

用紙を搬送／出力する装置	搬送／出力可能枚数
自動両面コピーユニット	搬送枚数に制限なし
フィニッシャー FS-524	メイン排紙トレイ（トレイ 2） B4 以上 1500 枚（80 g/m^2）、A4 ～ B5 3000 枚（80 g/m^2）、A5 以下 500 枚（80 g/m^2）、ステープル 100 部～ 20 部（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） サブ排紙トレイ（トレイ 1） 200 枚（80 g/m^2）
フィニッシャー FS-525	メイン排紙トレイ（トレイ 2） B4 以上 1500 枚（80 g/m^2）、A4 ～ B5 3000 枚（80 g/m^2）、A5 以下 500 枚（80 g/m^2）、ステープル 100 部～ 20 部（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2） サブ排紙トレイ（トレイ 1） 200 枚（80 g/m^2）
フィニッシャー FS-610	メイン排紙トレイ（トレイ 2） B4 以上 1500 枚（80 g/m^2）、A4 ～ B5 2500 枚（80 g/m^2）、A5 以下 500 枚（80 g/m^2）、ステープル 100 部～ 20 部（60 g/m^2 ～ 80 g/m^2） サブ排紙トレイ（トレイ 1） 200 枚（80 g/m^2） ブックレットトレイ 中折り（3 枚折り）：25 ～ 33 部（80 g/m^2） 中とじ（5 枚とじ）：15 ～ 20 部（80 g/m^2） 三つ折り（1 枚折り）：50 部（80 g/m^2）
シフトトレイ　SF-602	A4 ～ B5：1250 枚（80 g/m^2） B4 以上、A5 ▯：500 枚（80 g/m^2） A5 ▭ 以下：100 枚（80 g/m^2）
排紙トレイ　OT-505	150 枚（80 g/m^2）

6.1.4　セット／処理／出力可能な用紙サイズ

用紙をセットする装置	セット可能サイズ
本体給紙トレイ（トレイ 1/2）	A4 ▯、B5 ▯、A5 ▯、郵政はがき ▭、8-1/2 × 11 ▯、5-1/2 × 8-1/2 ▯
本体給紙トレイ（トレイ 3/4）	定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、Foolscap*、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm
大容量給紙トレイ LU-405	定形サイズ： A4 ▯、B5 ▯、16K ▯、8-1/2 × 11 ▯ 不定形サイズ： 182 mm × 257 mm ～ 223 mm × 314 mm
大容量給紙トレイ LU-406	定形サイズ： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/▯、Foolscap*、8K ▭、16K ▯ 不定形サイズ： 182 mm × 257 mm ～ 314 mm × 458 mm
手差しトレイ	定形サイズ： A3 ▭ ～ B6 ▭、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5 ▭/▯、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▯） 不定形サイズ： 100 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm
ポストインサータ　PI-504	＜上段トレイ＞ 定形サイズ： A4 ▭/▯ ～ A5 ▯、8-1/2 × 11 ▭/▯ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、16K ▭/▯、ワイド紙（A4W ▭/▯ ～ A5W ▯、8-1/2 × 11W ▭/▯ ～ 5-1/2 × 8-1/2W▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 216 mm × 297 mm ＜下段トレイ＞ 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm

* Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
自動両面コピーユニット	定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭、A6 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▭/▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 105 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
フィニッシャー FS-524	<メイン排紙トレイ（トレイ 2）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭*1/▯、B6 ▭*1、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭*1/▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 <サブ排紙トレイ（トレイ 1）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭、A6 ▭、13 × 19 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、郵政はがき ▭、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▭/▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm <ステープル> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ B6W ▭、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
フィニッシャー FS-525	<メイン排紙トレイ（トレイ 2）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭*1/▯、B6 ▭*1、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭*1/▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 <サブ排紙トレイ（トレイ 1）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭、A6 ▭、13 × 19 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、郵政はがき ▭、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▭/▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm <ステープル> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
フィニッシャー FS-610	<メイン排紙トレイ（トレイ 2）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭*1/▯、B6 ▭*1、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭*1/▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ B6W ▭、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 182 mm × 148 mm ～ 314 mm × 458 mm、128 mm × 139 mm*1 <サブ排紙トレイ（トレイ 1）> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭、A6 ▭、13 × 19 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、郵政はがき ▭、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▭/▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▭/▯） 不定形サイズ： 100 mm × 139 mm ～ 331 mm × 488 mm <ステープル> 定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▯、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▯、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5W ▯、11 × 17W ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2W ▯） 不定形サイズ： 182 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm <ブックレットトレイ> 定形サイズ（中折り、中とじ）： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭、12 × 18 ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭、8K ▭、ワイド紙（A3W ▭、B4W ▭、A4W ▭、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▭） 定形サイズ（三つ折り）： A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭、16K ▭ 不定形サイズ（中折り、中とじ）： 210 mm × 279 mm ～ 314 mm × 458 mm
シフトトレイ SF-602	定形サイズ： A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、B6 ▭*1、A6 ▭*1、郵政はがき ▭*1、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、7-1/4 × 10-1/2 ▭*1/▯*1、Foolscap*2、8K ▭、16K ▭/▯ 不定形サイズ： 105 mm × 139 mm ～ 305 mm × 458 mm*1、139 mm × 139 mm ～ 314 mm × 458 mm
排紙トレイ OT-505	定形サイズ： A3 ▭ ～ B6 ▭、郵政はがき ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、ワイド紙（A3W ▭ ～ A5 ▭/▯、11 × 17W ▭、8-1/2 × 11W ▯） 不定形サイズ： 100 mm × 140 mm ～ 314 mm × 458 mm

*1　仕上がり設定をしていない場合に可能です。

*2　Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

6.1.5　専用紙について

OHP フィルム、厚紙、色紙など普通紙以外の用紙を給紙トレイにセットするとき、その給紙トレイに 10 種類の専用紙から任意の用紙種類を設定します。専用紙をセットした給紙トレイとして設定されると、自動用紙または自動トレイ切換え機能が働いても、その給紙トレイから用紙を自動的に給紙しなくなります。

手差しトレイの用紙設定に関しては、「手差しトレイの用紙種類を選択する」（p. 6-18）をごらんください。

各給紙トレイの用紙設定に関しては、「給紙トレイの用紙種類設定」（p. 6-19）をごらんください。

用紙種類	アイコン	説　明
OHP		OHP フィルムをセットするときに選択します。
特殊紙		坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 の普通紙で、上質紙などの特別な用紙をセットする場合に選択します。
厚紙		坪量 91 g/m^2 ～ 200 g/m^2 の厚手の用紙をセットするときに選択します。
薄紙		坪量 50 g/m^2 ～ 59 g/m^2 の薄手の用紙をセットするときに選択します。
レターヘッド紙		坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 のあらかじめ社名や定型文がプリントされた用紙をセットするときに選択します。
色紙		坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 の色紙をセットするときに選択します。
インデックス紙		インデックス紙をセットするときに選択します。
第 2 原紙		第 2 原紙をセットするときに選択します。
ユーザー紙 1		本機で設定できる用紙種類以外の坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 の用紙をセットするときに選択します。サービス実施店にお問い合わせください。
ユーザー紙 2		本機で設定できる用紙種類以外の坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 の用紙をセットするときに選択します。サービス実施店にお問い合わせください。
ユーザー紙 3		本機で設定できる用紙種類以外の坪量 60 g/m^2 ～ 90 g/m^2 の用紙をセットするときに選択します。サービス実施店にお問い合わせください。
再生紙		再生紙をセットするときに選択します。
上質紙		上質紙をセットするときに選択します。
ラベル紙		ラベル紙をセットするときに選択します。

6.1.6　用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。
印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1 度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

6.1.7　用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
  トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

6.1.8　自動トレイ切換え機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした給紙トレイが他にあれば、自動的に給紙トレイを切り換えてプリントを続けます。オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、最大 5,850 枚の連続プリントが可能になります。

ユーザ設定の「1 環境設定＞ 3 給紙トレイ設定」で下記の設定をします。

- 「給紙トレイ自動選択」で自動用紙機能が働いたとき自動選択の対象になるトレイを設定
  このとき、切換順位を設定できます。
- 「ATS 許可」で「許可する」を設定
- 「用紙種類設定」で同じ用紙種類を設定

給紙トレイに下記の用紙をセットします。

- 同じサイズの用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

6.2　手差しトレイの用紙設定

ここでは、手差しトレイにセットした用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

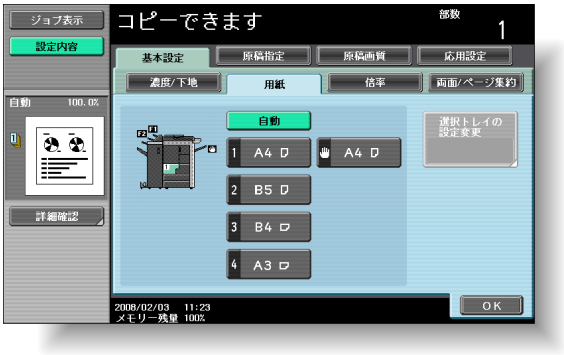
6.2.1　用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）

手差しトレイの用紙サイズを自動的に検出します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

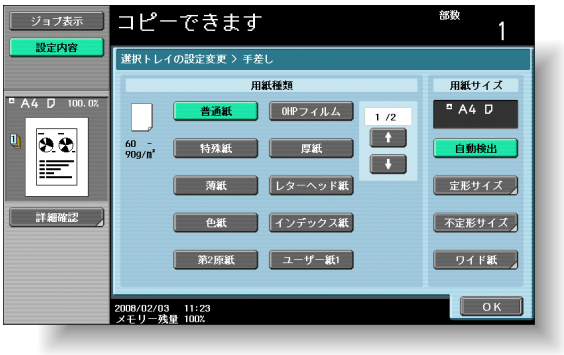
用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイキーを押します。



3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

4 ［自動検出］を押します。



出荷時設定では［自動検出］が選択されています。

5 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

参照

・手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

ひとこと

郵政はがきをセットした場合は、用紙種類を［厚紙］に設定してください。

6.2.2　用紙サイズを指定する（サイズ指定）

手差しトレイの用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用できます。

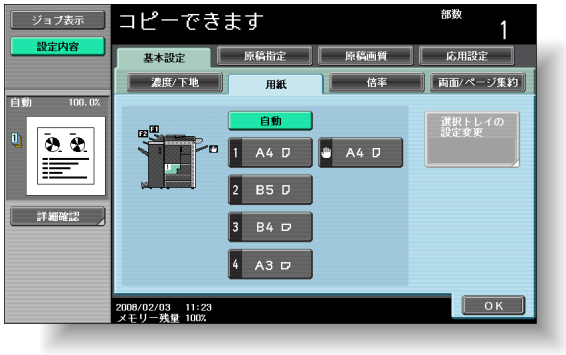
たとえば、インチサイズの用紙など、自動的にサイズが検出されない用紙を設定しておくと便利です。

ここでは手差しトレイを 8-1/2 × 11 サイズ用紙に設定する方法を説明します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

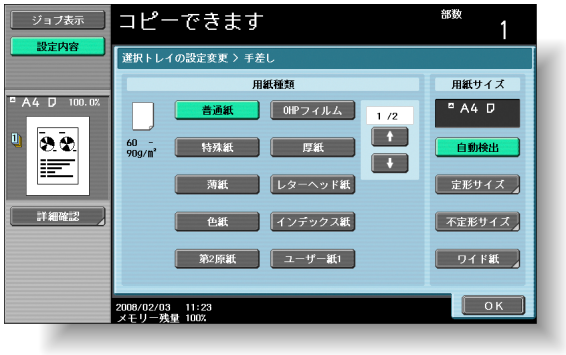
用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを押します。



3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

4 ［定形サイズ］を押します。



定形サイズ画面が表示されます。

必ず守ってください

サイズ指定された用紙サイズ以外の用紙をセットした場合、用紙サイズを自動検出しないため、紙づまりの原因となります。

参照

手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

5 ［8-1/2 × 11 ▭］を押します。

6 ［OK］を 3 回押します。

基本設定画面に戻ります。
手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

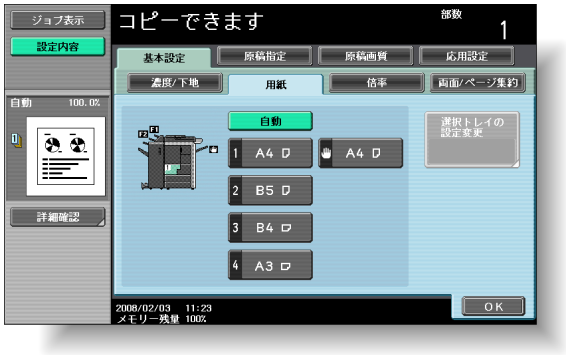
6.2.3　不定形紙をセットする（不定形）

手差しトレイで、定形外サイズの用紙を使用する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを押します。



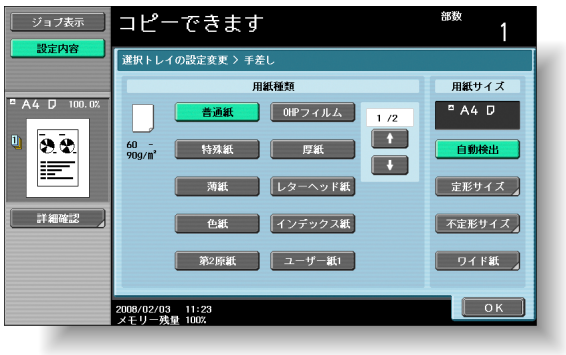
3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

参照

手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

4

［不定形サイズ］を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

5

用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

- ［X］が反転していることを確認し、テンキーで X 辺の長さを設定します。（139.7 mm ～ 458.0 mm）
- ［Y］を押して反転させ、テンキーで Y 辺の長さを設定します。（100.0 mm ～ 314.0 mm）

6

［OK］を 3 回押します。

基本設定画面に戻ります。

参照

- 5 つの用紙サイズを登録できます。
- 登録した用紙サイズは、メモリーキーを押して呼出します。
- 「memory1」～「memory5」の名称は変更できます。変更のしかたについては、「目的の用紙サイズを登録する（不定形）」（p. 6-13）の手順 5 をごらんください。
- 用紙サイズの登録については、「目的の用紙サイズを登録する（不定形）」（p. 6-13）をごらんください。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

6.2.4　目的の用紙サイズを登録する（不定形）

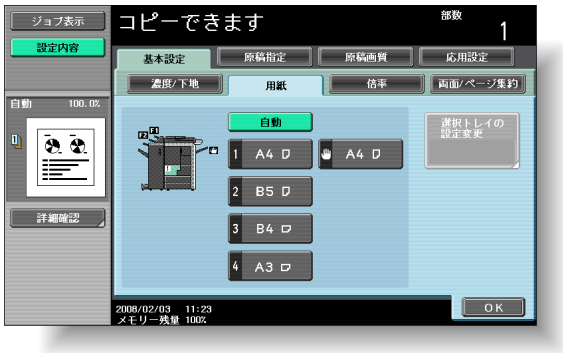
5 つの不定形紙を登録できます。

よく使用する用紙サイズを登録しておけば、次回使用するときに用紙サイズを入力する必要がなくなります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

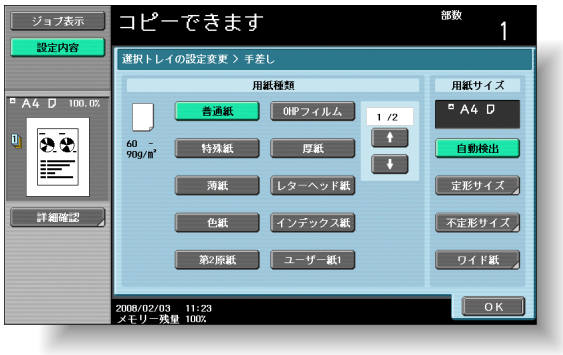
用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを押します。



3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

4 ［不定形サイズ］を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

参照

手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

5

X 辺サイズ／Y 辺サイズを設定し、[メモリー登録] を押します。

❍ [X] が反転していることを確認し、テンキーで、X 辺の長さを設定します。（139.7 mm ～ 458.0 mm）

❍ [Y] を押して反転させ、テンキーで、Y 辺の長さを設定します。（100.0 mm ～ 314.0 mm）

6

登録するメモリーキーを押します。

❍ メモリーキーの名称を変更する場合は、[不定形名称変更] を押し、変更するキーを押します。

表示されるキーボードで登録名称を入力し、[OK] を押し、[閉じる] を押します。

詳しく説明します

・X 辺、Y 辺は、画面のイラストで確認してください。
・設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
・入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

[中止] を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

画面に表示されるキーボードを押して入力します。文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

7 ［OK］を 4 回押します。

基本設定画面に戻ります。

6.2.5　ワイド紙を設定する

手差しトレイで、定形サイズの一回り大きいサイズの用紙を使用する場合にワイド紙を設定します。
ここでは手差しトレイでのワイド紙の設定方法を説明します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを押します。

ひとこと

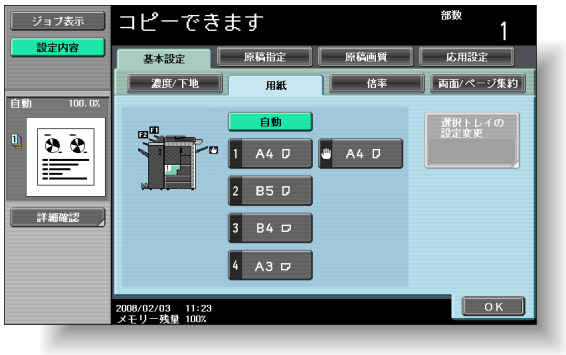
原稿サイズに対して、ひと回り大きいサイズの用紙をワイド紙として設定することで、原稿の画像を欠損させることなく用紙の中央に配置してコピーします。

詳しく説明します

・手差しトレイでワイド紙を設定する場合、定形サイズ以外に不定形サイズの用紙が設定できます。不定形サイズの用紙を使用する場合は、サイズ入力を行ってください。

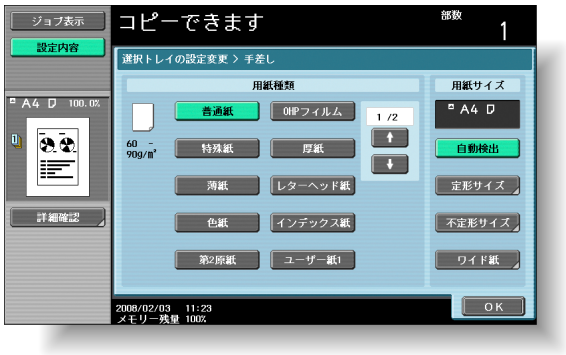
参照

・トレイ 3/4 の設定については、「ワイド紙を設定する」（p. 6-15）をごらんください。
・手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。



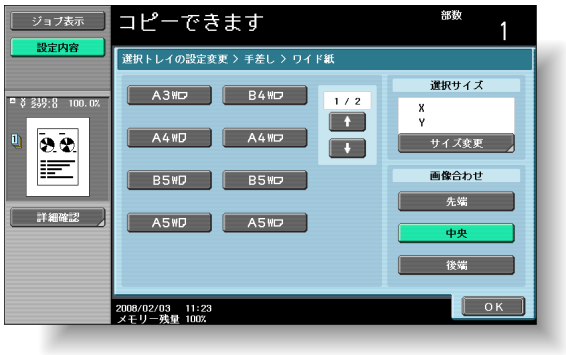
3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

4 ［ワイド紙］を押します。



ワイド紙画面が表示されます。

5 セットする用紙のサイズを選択します。



6 サイズの変更をしたい場合は、［サイズ変更］を押します。
ワイド紙のサイズ変更画面が表示されます。

詳しく説明します

・［↑］または［↓］を押して、目的の用紙サイズのキーを押します。

7

X 辺サイズと Y 辺サイズを設定し、［OK］を押します。

［X］または［Y］を押し、【C】を押し数値を取消してから、テンキーで入力します。

8

［OK］を 3 回押します。

基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

- 入力したサイズは、サイズキーに登録されます。次回からは、サイズの入力は不要です。また、サイズを変更することもできます。
- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。設定可能範囲は、用紙のサイズによって異なります。
- セットした用紙の向きと X 辺、Y 辺のサイズが合っていない場合は、設定可能範囲内でも「入力エラー」となります。また、X 辺、Y 辺の同一サイズでの入力は行わないでください。
- 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

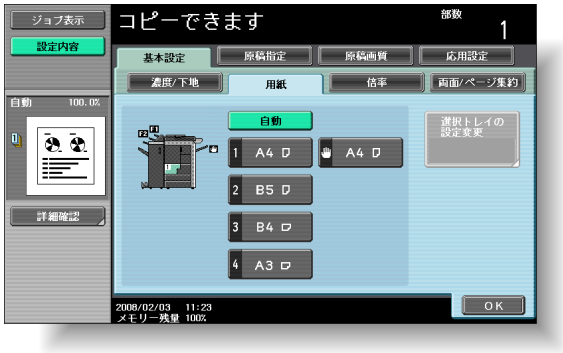
6.2.6　手差しトレイの用紙種類を選択する

普通紙以外の OHP フィルムや特殊紙などを手差しトレイにセットする場合には、トレイの用紙種類の設定を変更してください。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

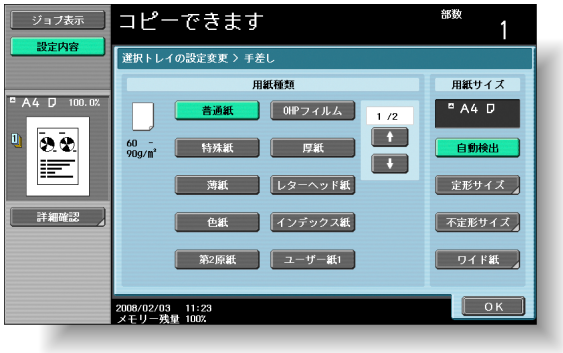
2 手差しトレイのキーを押します。



3 ［選択トレイの設定変更］を押します。

4 専用紙の種類を選択します。

❍ 目的の用紙種類のキーを押します。



5 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

必ず守ってください

特殊紙をセットした場合は、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

参照

手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

詳しく説明します

- 専用紙として設定した手差しトレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。
- 自動トレイ切換え機能は同一の用紙種類を設定したトレイ間に限り動作します。

詳しく説明します

はがきをセットしたときは、自動的に［厚紙］が選択されます。

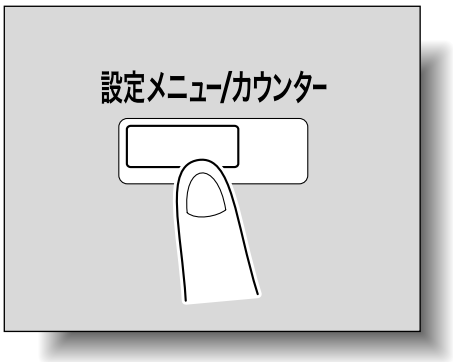
6.3　給紙トレイの用紙種類設定

ここでは、トレイ 3/4 の用紙サイズの設定方法、および各給紙トレイの用紙種類の設定方法について説明します。

6.3.1　給紙トレイ設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、給紙トレイ設定画面を表示させるまでの手順を説明します。

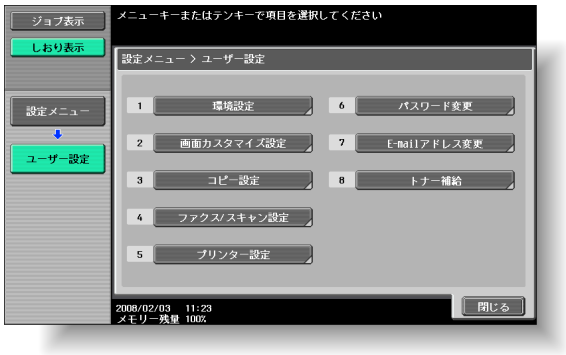
1 【設定メニュー / カウンター】を押します。



2 ［2 ユーザ設定］を押します。

ユーザ設定画面が表示されます。

3 ［1 環境設定］を押します。



環境設定画面が表示されます。

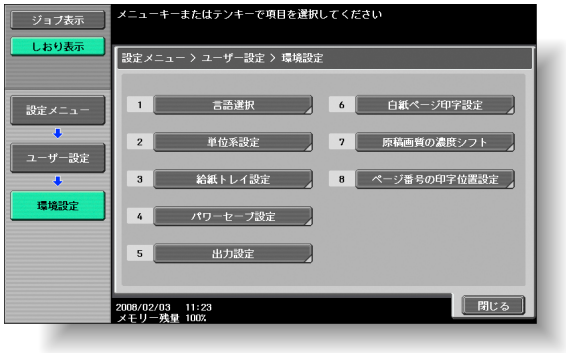
ひとこと

トレイ 3/4、大容量給紙ユニットの用紙サイズを変更したいときはサービス実施店にご連絡ください。

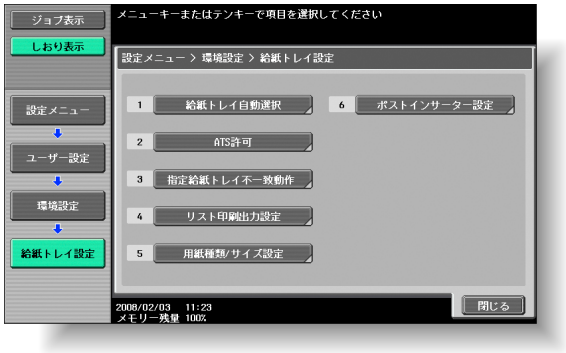
ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［2 ユーザ設定］の場合は、テンキーの【2】を押します。

4 ［3 給紙トレイ設定］を押します。



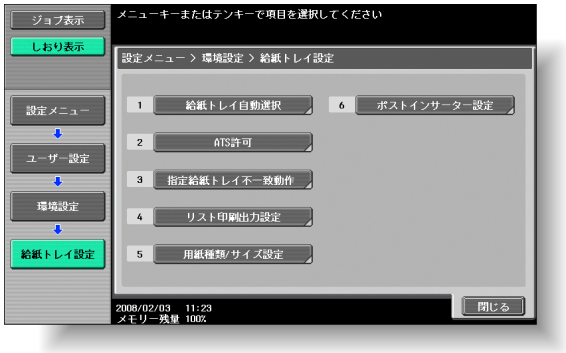
給紙トレイ設定画面が表示されます。



6.3.2　定形サイズの用紙を設定する（定形サイズ）

トレイ 3/4 で、定形サイズの用紙を設定します。
ここではトレイ 3 での定形サイズの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［5 用紙種類 / サイズ設定］を押します。



用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 6-19）をごらんください。
- トレイ 3/4 への用紙のセットのしかたは、「トレイ 3/4 へ用紙をセットする」（p. 1-49）をごらんください。

2 トレイ 3 のキーを選択し、「用紙サイズ種別」の［定形サイズ］を押します。

3 ［OK］を押します。

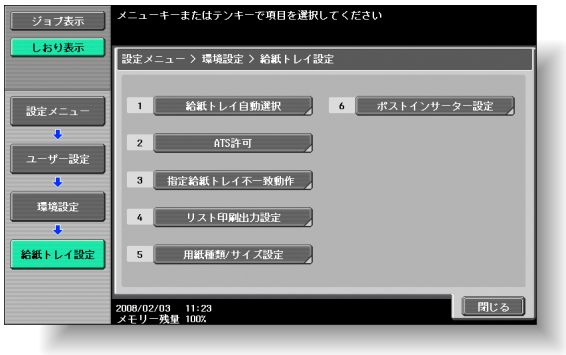
給紙トレイに定形サイズの用紙をセットすると、用紙サイズが自動で検出されます。

6.3.3　定形の特殊サイズ用紙を設定する（定形特殊サイズ）

トレイ 3/4 で、代表的なインチサイズの用紙を使用する場合に定形特殊サイズを設定します。

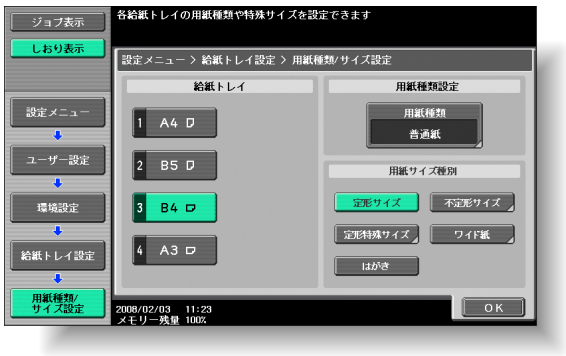
ここではトレイ 3 での定形特殊サイズの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［5 用紙種類 / サイズ設定］を押します。



用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 トレイ 3 のキーを選択し、「用紙サイズ種別」の［定形特殊サイズ］を押します。



参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 6-19）をごらんください。
- トレイ 3/4 への用紙のセットのしかたは、「トレイ 3/4 へ用紙をセットする」（p. 1-49）をごらんください。

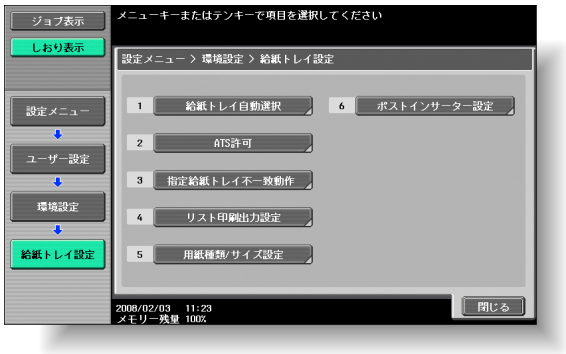
3 セットする用紙のサイズを選択します。

4 ［OK］を押します。

6.3.4　定形外サイズの用紙を設定する（不定形サイズ）

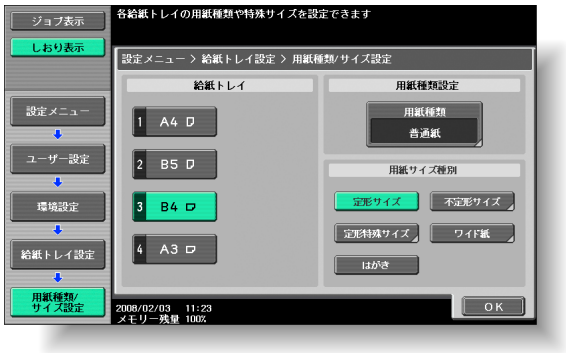
トレイ 3/4 で、定形外サイズの用紙を使用する場合に不定形サイズを設定します。
ここではトレイ 3 での不定形サイズ用紙の設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［5 用紙種類 / サイズ設定］を押します。



用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 トレイ 3 のキーを選択し、「用紙サイズ種別」の［不定形サイズ］を押します。



用紙サイズ画面が表示されます。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 6-19）をごらんください。
- トレイ 3/4 への用紙のセットのしかたは、「トレイ 3/4 へ用紙をセットする」（p. 1-49）をごらんください。

3

用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

- ［X］が反転していることを確認し、テンキーでＸ辺の長さを設定します。（139.7 mm ～ 458.0mm）
- ［Y］を押して反転させ、テンキーでＹ辺の長さを設定します。（182.0 mm ～ 314.0 mm）

4

［OK］を押します。

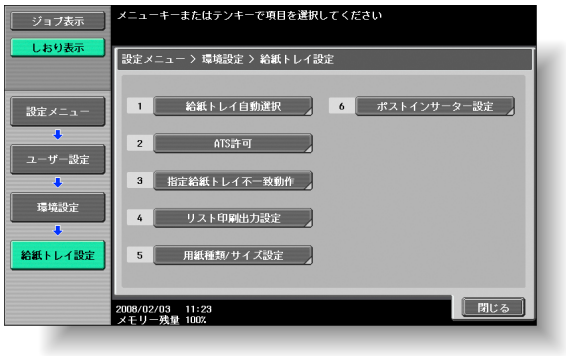
6.3.5　ワイド紙を設定する

トレイ 3/4 で、定形サイズの一回り大きいサイズの用紙を使用する場合にワイド紙を設定します。

ここではトレイ 3 でのワイド紙の設定方法を説明します。

1

給紙トレイ設定画面で［5 用紙種類 / サイズ設定］を押します。



用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2

トレイ 3 のキーを選択し、「用紙サイズ種別」の［ワイド紙］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 6-19）をごらんください。
- トレイ 3/4 への用紙のセットのしかたは、「トレイ 3/4 へ用紙をセットする」（p. 1-49）をごらんください。

3 セットする用紙のサイズを選択します。

❍ サイズの指定をしたい場合は、テンキーで「サイズ変更」の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

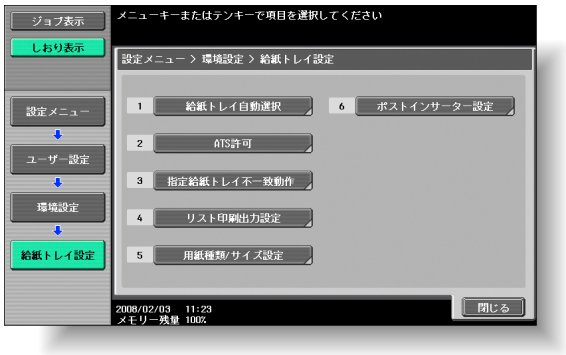
4 画像合わせの位置を選択します。

5 ［OK］を押します。

6.3.6　はがきを設定する（はがき）

トレイ 3/4 で、郵政はがきを使用する場合にはがきを設定します。
ここではトレイ 3 でのはがきの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［5 用紙種類 / サイズ設定］を押します。



用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 トレイ 3 のキーを選択し、「用紙サイズ種別」の［はがき］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

参照

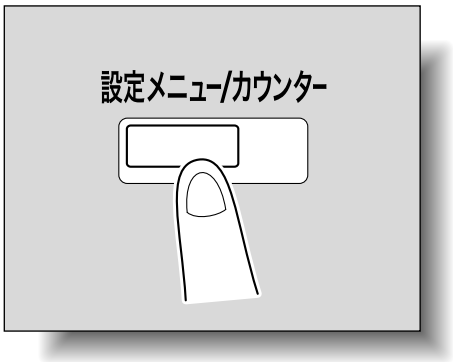
- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 6-19）をごらんください。
- トレイ 3/4 への用紙のセットのしかたは、「トレイ 3/4 へ用紙をセットする」（p. 1-49）をごらんください。

3 ［OK］を押します。

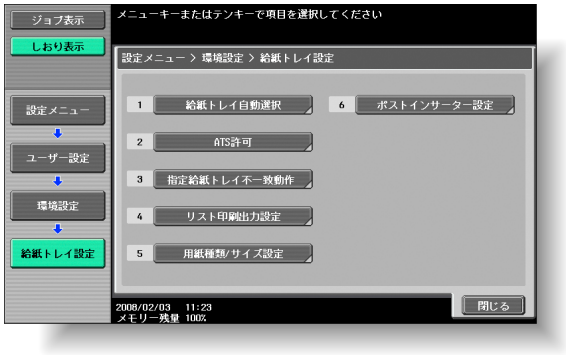
6.3.7　用紙種類を選択する

ここでは、各給紙トレイの用紙種類の設定方法について説明します。

1 【設定メニュー / カウンター】を押します。

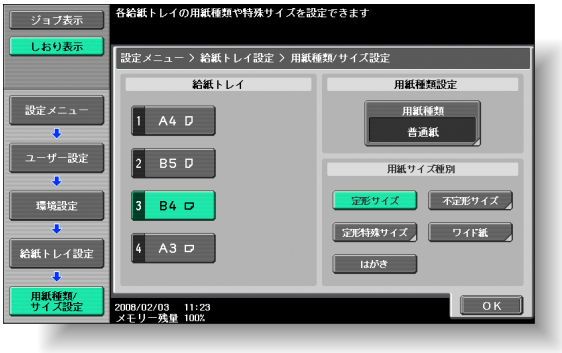


2 ［2 ユーザー設定］-［1 環境設定］-［3 給紙トレイ設定］-［5 用紙種類 / サイズ設定］を順に押します。



用紙種類設定画面が表示されます。

3 左側の「給紙トレイ」下の任意のトレイキーを押して反転させ、右側の［用紙種類］を押します。



詳しく説明します

特殊紙をセットしたトレイを該当する用紙種類に設定すると下記のように動作します。

- レターヘッド紙に設定した場合、印刷面が逆になります。
- 専用紙として設定した給紙トレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。
- 自動トレイ切換え機能は同一の用紙種類を設定したトレイ間に限り動作します。

4 任意の用紙種類キーを押して反転させます。

5 変更内容を確定させるため［OK］を押します。

6.4 原稿について

コピーするときは、原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。
ADF にセットできない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。

6.4.1 ADF にセットする原稿

ADF を使用する場合、原稿の形状によって下記のいずれかの設定でコピーします。ADF に原稿をセットすると、セットした時点で原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズのときは、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。
各設定によって原稿の厚み、サイズなどに制限があります。

- 通常設定
- 混載原稿設定
- Z 折れ原稿設定

通常設定

項　目	説　明
原稿坪量	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
セット可能原稿サイズ	100 mm × 139.7 mm ～ 297 mm × 431.8 mm
自動検出サイズ	A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯、郵政はがき ▭
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	100 枚以内（80 g/m^2 紙）

混載原稿設定

サイズの異なる定形サイズの原稿を自動検出してコピーすることができます。

項　目	説　明
原稿坪量	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
自動検出サイズ	混載可能な原稿サイズの組み合わせは、ADF ガイド板の開き幅で決まります。 A3▭ ／ A4 ▯ の開き幅：A3▭、B4▭、A4 ▭/▯、B5 ▯、A5 ▯ B4▭ ／ B5 ▯ の開き幅：B4▭、A4 ▭、B5 ▭/▯、A5 ▯ A4▭ ／ A5 ▯ の開き幅：A4 ▭、B5 ▭、A5 ▯ A5▭ の開き幅：A5 ▭、B6 ▭
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	100 枚以内（80 g/m^2 紙）

Z 折れ原稿設定

項　目	説　明
原稿坪量	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
セット可能原稿サイズ	100 mm × 139.7 mm ～ 297 mm × 431.8 mm
自動検出サイズ	A3▭、B4▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▯
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	100 枚以内（80 g/m^2 紙）

インデックス原稿設定

項　目	説　明
原稿坪量	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
セット可能原稿サイズ	A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/▯
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	100 枚以内（80 g/m^2 紙）

6.4.2　ADF にセットする原稿についての注意

下記のような原稿を ADF にセットしないでください。このような原稿を ADF にセットしてコピーすると、原稿づまりを起こして原稿を傷めることがあります。また、ADF の故障の原因になります。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原紙などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理されている原稿
- 201 g/m^2 以上の厚紙原稿
- 50 g/m^2 未満の薄紙原稿
- 両面コピー時の 50 g/m^2 未満の薄紙原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせている原稿
- 切り取りや切り抜きのある原稿
- ラベル紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿

6.4.3　原稿ガラスにセットする原稿

ADF にセットできない原稿をコピーするときや、ADF を使用してコピーできない設定をしたとき、原稿を原稿ガラスにセットします。

原稿ガラスに原稿をセットし ADF を閉じると、原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズのときは、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。

項　目	説　明
原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
セット可能原稿サイズ	128 mm × 139.7 mm ～ 297 mm × 431.8 mm
自動検出サイズ	A3▭、B4▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、B6 ▭、郵政はがき ▭、Foolscap*
最大原稿質量	6.8 kg
最大原稿厚み	30 mm

* Foolscap には、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/2 × 13 ▭、8 × 13 ▭ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

原稿ガラスにセットする原稿についての注意事項を下記に説明します。

- インチサイズの原稿（11 × 17、8-1/2 × 14、8-1/2 × 11 など）は、サイズを自動検出しません。サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 自動検出できない不定形の原稿をセットしたときは、自動用紙や自動倍率の機能を使用できません。給紙トレイを選択して、コピーする用紙を手動で選択してください。

- OHP フィルムや第 2 紙などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないことがあります。原稿を同じサイズの白紙を上に重ねてセットしてください。
- 質量が 6.8 kg を超える重い原稿は、原稿ガラス上に置かないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で押さえつけないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。

第 7 章
応用機能

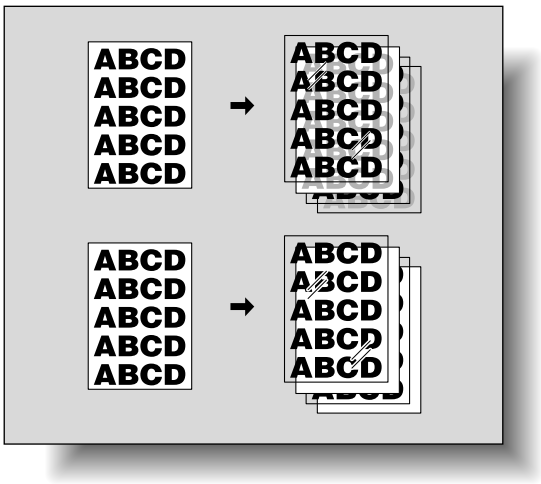
便利な応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

7.1　OHP フィルムの間に用紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）.....7-2
7.2　表紙をつける（カバーシート）.....7-4
7.3　別の用紙を挿入してコピーする（インターシート）.....7-7
7.4　追加原稿を指定したページに差込む（差込みページ）.....7-10
7.5　指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）.....7-12
7.6　原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）.....7-15
7.7　原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）.....7-19
7.8　見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）.....7-20
7.9　指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート）.....7-24
7.10　ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる （ページ連写）.....7-28
7.11　とじしろをつくってコピーする（とじしろ）.....7-30
7.12　原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）.....7-33
7.13　雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする（小冊子）.....7-35
7.14　不要部分を消してコピーする（消去）.....7-37
7.15　日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする（スタンプ / ページ印字）.....7-41
7.16　読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存）.....7-62

7.1 OHP フィルムの間に用紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）

OHP フィルムにコピーする場合に、コピー後の熱で OHP フィルム同士が貼り付くのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。

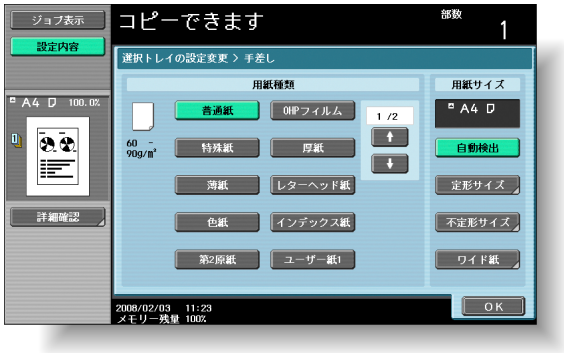
合紙は白紙のままでも、OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入することもできます。



原則

フィニッシャー機能は使用できません。

1. 原稿をセットします。
2. OHP フィルムを手差しトレイにセットします。合紙用の用紙を目的の給紙トレイにセットします。
3. 手差しトレイの用紙種類を［OHP フィルム］に設定し、［OK］を押します。



参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- OHP フィルムの補給方法については、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。
- 用紙種類の設定方法については、「用紙種類を選択する」（p. 6-25）をごらんください。

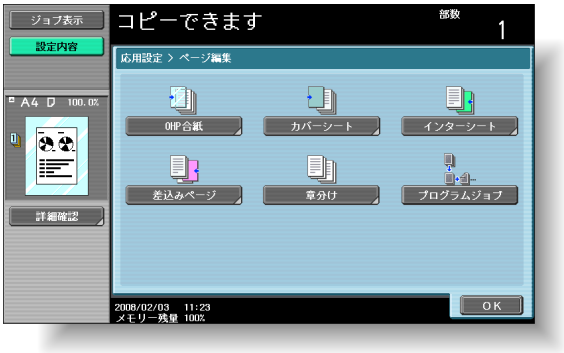
ひとこと

合紙用の用紙は OHP フィルムと同じサイズの用紙を使用してください。

4 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

5 ［OHP 合紙］を押します。



OHP 合紙画面が表示されます。

6 合紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。

7 「合紙にコピー」で、［コピーする］または［コピーしない］を押します。

8 ［OK］を押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
・OHP 合紙機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

コピー部数は 1 です。設定変更できません。

詳しく説明します

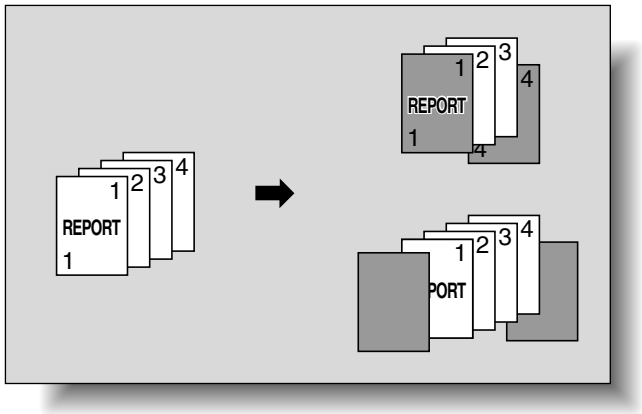
［コピーする］を選択した場合、合紙に OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入します。［コピーしない］を選択した場合、白紙のまま挿入します。

7.2　表紙をつける（カバーシート）

表紙と表紙を除く本文原稿で異なる用紙を使ってコピーしたり、コピーに異なる用紙の表紙をつけたりします。

カバーシートには以下の種類があり、表カバー、裏カバーの設定ができます。

機能名		説明
表カバー	［表コピー］	原稿の 1 枚目が表カバー用の用紙にコピーされます。両面コピーの場合、原稿の 2 枚目は表カバー用の用紙の裏面にコピーされます。
	［表白紙］	コピーの 1 枚目に表カバー用の用紙が挿入されます。両面コピーの場合も同様の結果となります。
裏カバー	［裏コピー］	原稿の最終ページが裏カバー用の用紙にコピーされます。 両面コピーの場合、原稿枚数が偶数のときは、原稿の最後 2 ページが裏カバー用の用紙に両面コピーされます。
	［裏白紙］	コピーの最終ページに裏カバー用の用紙が挿入されます。 両面コピーの場合も同様の結果となります。



1 原稿をセットします。

2 表紙用の用紙と本文用の用紙をそれぞれ目的の給紙トレイにセットします。

ひとこと

オプションのポストインサータを装着している場合は、ポストインサータから表外カバー、裏外カバーをつけることができます。

詳しく説明します

ポストインサータ用紙とトレイ用紙の表紙設定の併用は可能です。このとき、ポストインサータにセットされた用紙は表外カバーが先に、裏外カバーが後につけられます。

参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。

ひとこと

表紙用の用紙と本文用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

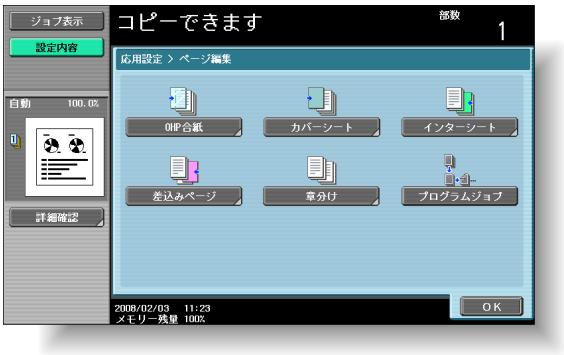
参照

表紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

3 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。

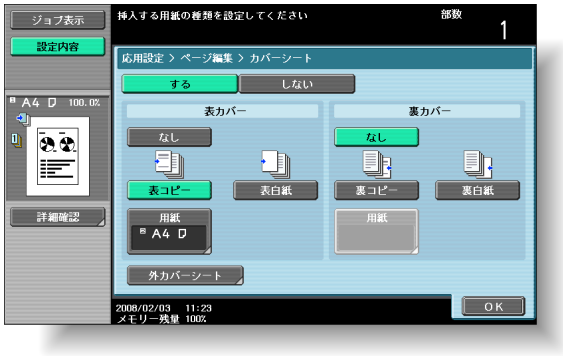
ページ編集画面が表示されます。

4 ［カバーシート］を押します。



カバーシート画面が表示されます。

5 表紙の設定を選択します。



- ❍ 表紙用の用紙を本体トレイにセットした場合は、手順 6 へ進みます。
- ❍ 表紙用の用紙をポストインサータのトレイにセットした場合は、手順 9 に進みます。

6 設定に応じて、表カバーおよび裏カバーの［用紙］を押します。

それぞれのカバー用紙画面が表示されます。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

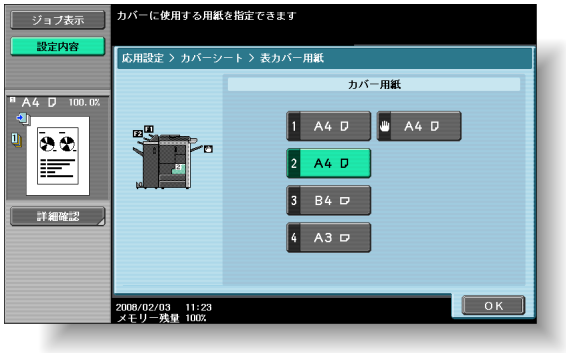
ひとこと

- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- カバーシート機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

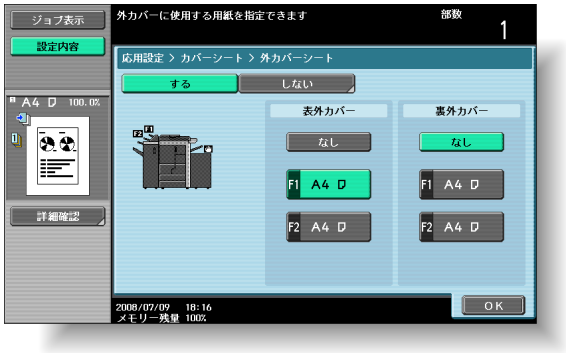
- 表紙用の給紙トレイの初期設定は設定メニューで変更することができます。詳しくは、「コピー設定」（p. 11-32）の「インターシートトレイ選択」をごらんください。
- オプションのポストインサータを装着している場合、［外カバーシート］が表示されます。

7 表紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



8 ［OK］を 3 回押します。

9 ［外カバーシート］を押し、表外カバーまたは、裏外カバーの用紙をセットしたトレイを設定します。



10 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11 テンキーでコピー部数を入力します。

12 【スタート】を押します。

7.3　別の用紙を挿入してコピーする（インターシート）

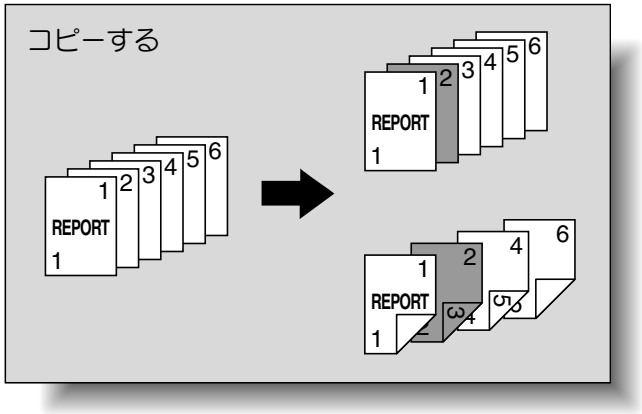
指定のページに別の用紙（色紙等）を挿入してコピーできます。

用紙の挿入方法には［コピーする］と［コピーしない］の 2 種類があり、挿入用紙にコピーするかどうかを選択できます。片面コピーや両面コピーと組合わせると、以下のような仕上りになります。

［コピーする］を設定した場合、指定ページに指定用紙が挿入され、原稿がコピーされます。

指定ページを「2」に設定したとき

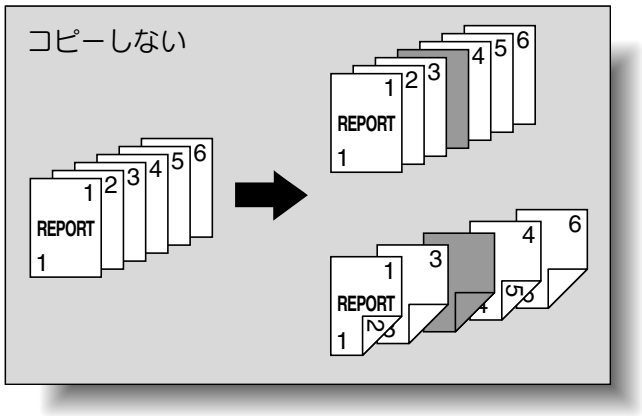
仕上り	説明
片面コピー	コピーの 2 枚目に指定用紙が挿入され、原稿 2 ページ目がコピーされます。
両面コピー	コピーの 1 枚目ウラ面が白紙でコピーされ、コピーの 2 枚目に指定用紙が挿入され、原稿 2 ページ目と 3 ページ目が両面コピーされます。



［コピーしない］を設定した場合、指定ページの後ろに指定用紙が挿入されます。

指定ページを「3」に設定したとき

仕上り	説明
片面コピー	コピーの 4 枚目に指定用紙が挿入されます。
両面コピー	コピーの 2 枚目ウラ面が白紙でコピーされ、コピーの 3 枚目に指定用紙が挿入されます。



詳しく説明します

- 最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 箇所まで指定用紙を挿入することができます。
- 両面原稿の場合、両面原稿 1 枚はオモテウラ 2 ページ分とみなして設定します。

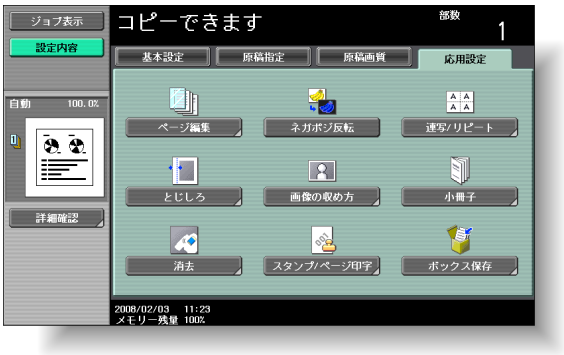
ひとこと

オプションのポストインサータを装着している場合は、ポストインサータから用紙を挿入することができます。

1 原稿をセットします。

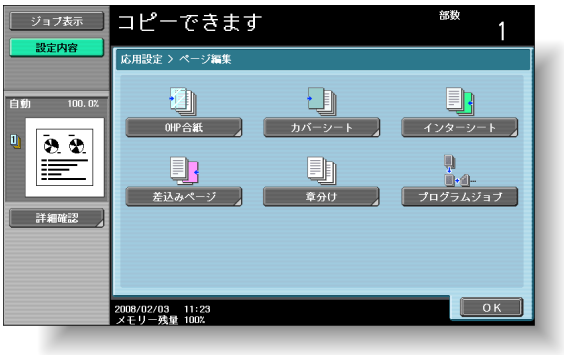
2 挿入用紙と本文用紙を、それぞれ目的の給紙トレイにセットします。

3 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。



ページ編集画面が表示されます。

4 ［インターシート］を押します。



インターシート画面が表示されます。

5 ページを入力するキーを押してから、テンキーで用紙を挿入するページを指定します。

- 挿入用紙を本体トレイにセットした場合は、手順 6 に進みます。
- 挿入用紙をポストインサータのトレイにセットした場合は、手順 10 に進みます。

参照

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。

ひとこと

- 挿入用紙と原稿用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。
- 全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

参照

挿入用紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 1-52）をごらんください。

ひとこと

- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- インターシート機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

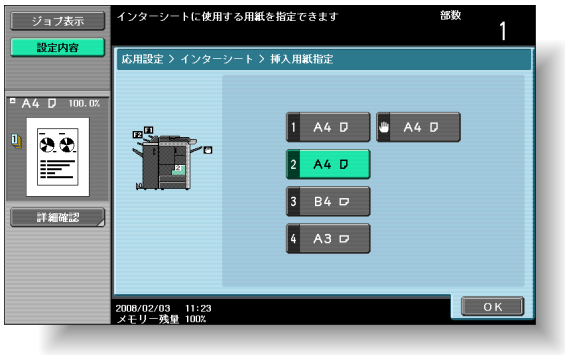
- インターシート画面は 2 画面に分かれています。［↑］または［↓］で切換えて表示します。
- ［ソート実行］を押すと、ページ順が小さい順に並びかわります。
- 入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- 同じページが複数回入力されていると、コピーを実行することができません。重複しているページを削除してください。
- 入力したページが原稿総ページ数より大きい場合、用紙は挿入されません。
- オプションのポストインサータを装着している場合、［ポストインサーター］が表示されます。

6 「挿入方法」で、［コピーする］または［コピーしない］を押します。

7 ［挿入用紙］を押します。

挿入用紙画面が表示されます。

8 挿入用紙をセットした給紙トレイを選択し、［OK］を押します。



9 ［OK］を２回押します。

10 ［ポストインサーター］を押します。
ページを入力するキーを押してから、テンキーで用紙を挿入するページを指定します。

11 挿入用紙をセットした給紙トレイを選択し、［OK］を押します。

12 ［OK］を２回押します。

13 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

14 テンキーでコピー部数を入力します。

15 【スタート】を押します。

詳しく説明します

［コピーする］を設定した場合、指定ページに指定用紙が挿入され原稿がコピーされます。［コピーしない］を設定した場合、指定ページの後ろに指定用紙が挿入されます。

ひとこと

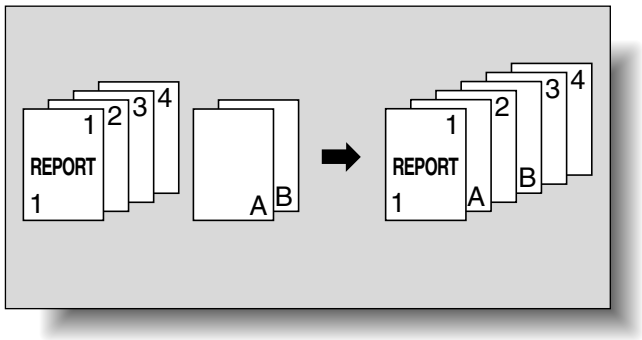
手順６で［コピーしない］を押した場合は、ポストインサータの給紙トレイを選択することができます。

詳しく説明します

- ポストインサータ画面は２画面に分かれています。［↑］または［↓］で切換えて表示します。
- ［ソート実行］を押すと、ページ順が小さい順に並びかわります。
- 入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- 同じページが複数回入力されていると、コピーを実行することができません。重複しているページを削除してください。
- 入力したページが原稿総ページ数より大きい場合、用紙は挿入されません。

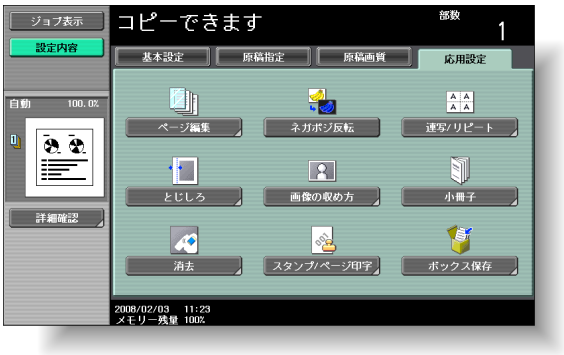
7.4　追加原稿を指定したページに差込む（差込みページ）

最初に ADF で読込んだ原稿に、あとから原稿ガラスで読込んだ複数の原稿を、指定の位置に差込みます。差込みページでは、指定したページの後ろに差込み原稿が挿入されます。



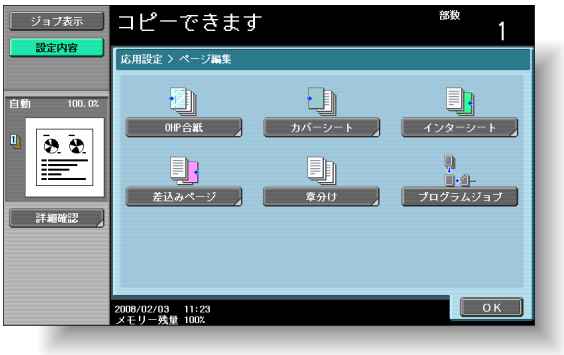
1 原稿を ADF にセットします。

2 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。



ページ編集画面が表示されます。

3 ［差込みページ］を押します。



差込みページ画面が表示されます。

詳しく説明します

- 最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 箇所まで別の原稿を差込むことができます。
- 両面原稿の場合、両面原稿 1 枚はオモテウラ 2 ページ分とみなして設定します。

参照

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- 差込みページ機能を解除するときは［しない］を押します。

4 テンキーで差込みページを指定します。

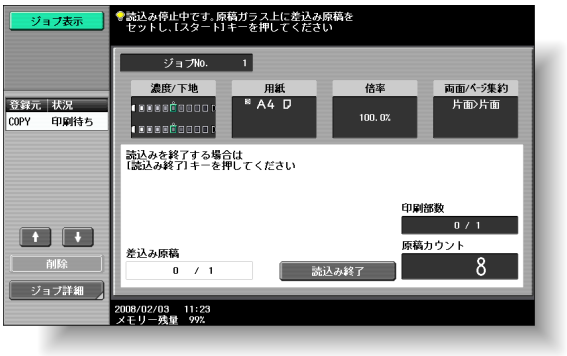
5 ［OK］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

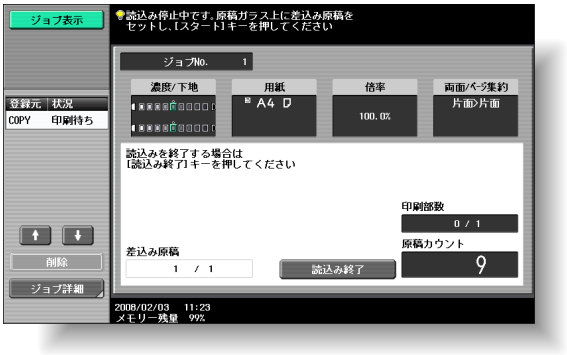


9 差込み原稿を、原稿ガラス上にセットします。

10 【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

11 ［読込み終了］を押します。



12 【スタート】を押します。

詳しく説明します

- 差込みページ画面は 2 画面に分かれています。［↑］または［↓］で切換えて表示します。
- 指定したページの後ろにあとから読込んだ原稿が差込まれます。
- ［ソート実行］を押すと、ページ順が小さい順に並びかわります。
- 入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- 差込みページ画面で指定したページ数よりも多い原稿を、原稿ガラスで読み込んだ場合、残りの差込み原稿は最終ページの後に続けて印刷されます。
- 差込みページ画面で指定したページ数よりも少ない原稿を、原稿ガラスで読み込んだ場合、原稿が不足している差込みページは印刷されません。
- 同じページを 2 度入力した場合、該当箇所に差込み原稿 2 枚分が差込まれます。
- 入力したページが差込まれる原稿の総ページ数より大きい場合、該当の差込み原稿は最終ページの後ろに差込まれます。

参照

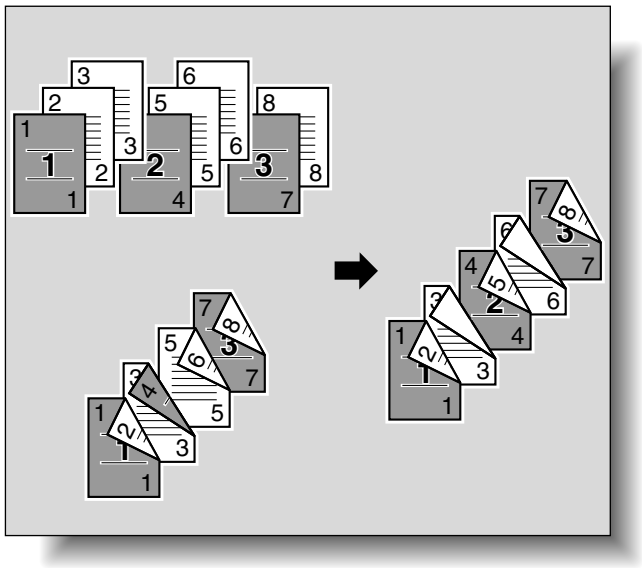
原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

複数枚の原稿を差込む場合は、手順 9 と 10 を繰返し、全ての差込み原稿を差込む順に読込みます。

7.5　指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）

両面コピーする場合に、章の先頭ページを指定するとそのページが必ずオモテ面になるようにコピーします。指定ページがコピーのウラ面にくる場合には白紙ページが挿入され、指定ページは次のページのオモテ面にコピーされます。また指定ページを別の用紙でコピーできます。



原則

章分け紙と原稿用のコピー用紙が異なる場合は、用紙サイズと向きを合わせてセットします。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

詳しく説明します

- 最大 999 ページまでの原稿で、最大 30 箇所までオモテ面にしたいページを指定できます。
- 両面原稿の場合、両面原稿 1 枚はオモテウラ 2 ページ分とみなして設定します。

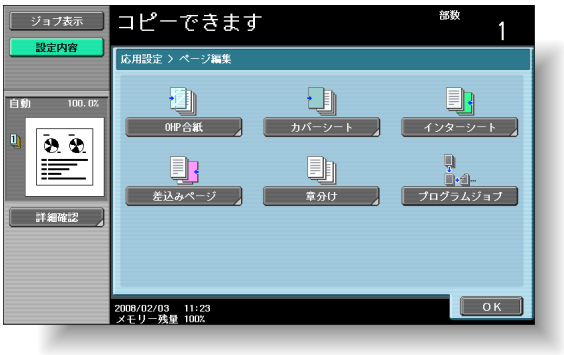
参照

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。

詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3 ［章分け］を押します。



章分け（編集）画面が表示されます。

4 テンキーで章の先頭ページを指定します。

5 「章分け紙」で［コピー挿入］または［なし］を押します。

詳しく説明します

- 章分け画面は 2 画面に分かれています。［↑］または［↓］で切換えて表示します。
- ［ソート実行］を押すと、ページ順が昇順に並びかわります。
- 入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- 原稿＞コピー機能は片面＞両面に設定されます。
- 同じページが複数回入力されていると、コピーを実行することができません。重複しているページを削除してください。
- 入力したページが原稿総ページ数より大きい場合、無効になります。

ひとこと

- ［なし］を選択すると全て同じ用紙でコピーされます。
- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- 章分け機能を解除するときは［しない］を押します。

❍［コピー挿入］を選択すると［章分け紙］が表示されます。［章分け紙］を押し、章分け紙画面で章の先頭ページに使用する用紙を選択して［OK］を押します。

6 ［OK］を押します。

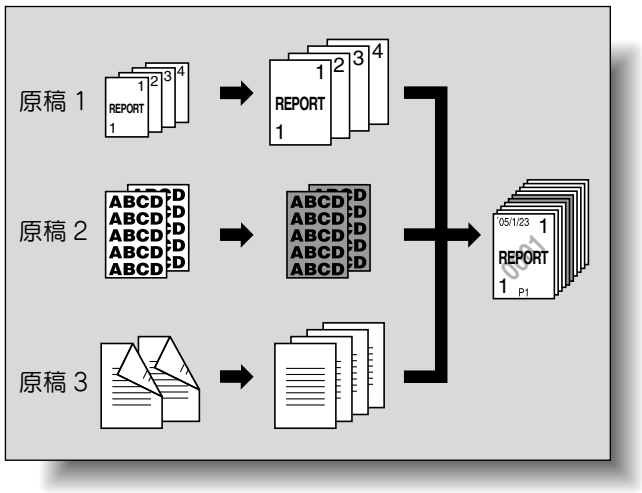
7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

7.6　原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）

セットする原稿ごとに異なる設定で読込み、1 度にまとめてコピーします。1 部の原稿のみ倍率や用紙を変更したり、全ての原稿を読込んだあとで仕上り機能やナンバリングを設定してコピーすることができます。



原則

原稿は 100 束まで設定できます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

ひとこと

プログラムジョブを設定する場合、仕上りの［グループ（ページごと）］を選択することはできません。［ソート（1 部ごと）］を選択してください。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

詳しく説明します

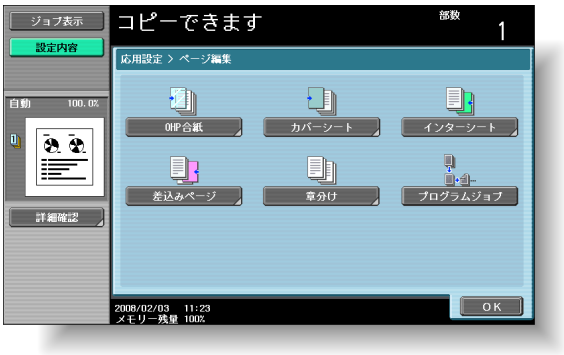
読込んだ原稿のデータをボックスに保存するとき、ボックス内のページ数が 10,000 ページを越えた場合、読込んだデータが破棄されます。

詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3

［プログラムジョブ］を押し、［OK］を押します。



4

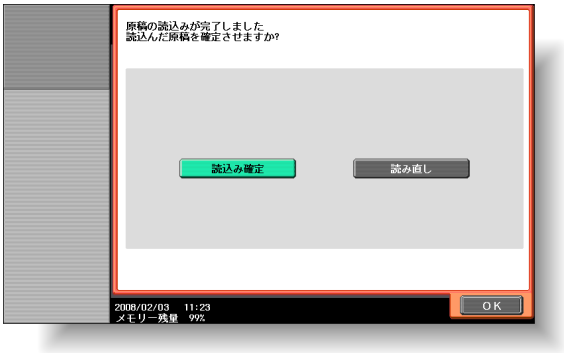
目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

❍【確認コピー】を押すと 1 部だけ印刷され、仕上りを確認できます。

読込みが開始されます。

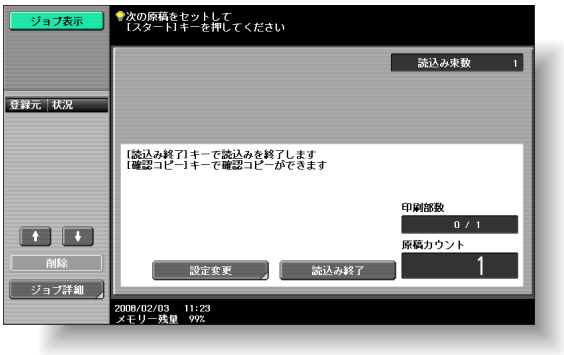
5

［読込み確定］を選択して［OK］を押します。



6

次の原稿をセットして［設定変更］を押します。



ひとこと

・原稿を原稿ガラス上にセットした場合は、表示される原稿読込み終了の確認画面で［読込み終了］を押します。
・［読み直し］を選択した場合、［設定変更］を押してコピー条件を変更できます。

7 目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

❍【確認コピー】を押すと 1 部だけ印刷され、仕上りを確認できます。

読込みが開始されます。読込み後、［読込み確定］を選択して［OK］を押します。

8 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

読込み終了の確認画面が表示されます。

9 ［はい］を選択して［OK］を押します。

10 必要に応じて、仕上りのコピー条件を設定します。

詳しく説明します

・手順 5 ～ 7 を繰り返して、全ての原稿を読込みます。画面左下部の［メモリー残量］表示で、メモリーの残量が確認できます。また［読込み束数］で原稿束数が確認できます。
・メモリー不足の場合、メッセージが表示されます。最後の原稿データを破棄して読込みなおす、または最後の原稿データを破棄して印刷する、または全ての原稿データを破棄するのいずれかを選択します。

参照

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

ひとこと

［いいえ］を選択した場合、［設定変更］を押してコピー条件を変更できます。

参照

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

❍［印刷］を押すと、読込んだ全ての原稿に対して印刷方法を設定できます。

11 テンキーでコピー部数を入力します。

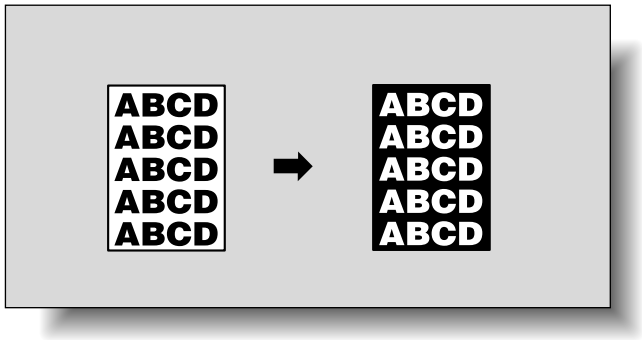
12 ［実行］または【スタート】を押します。

ひとこと

［中止］を押すとデータ破棄の確認画面が表示されます。印刷を中止する場合は、［はい］を選択して［OK］を押します。

7.7　原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）

原稿の濃淡および色（階調）を反転させてコピーします。



1. 原稿をセットします。

2. ［ネガポジ反転］を押し、［OK］を押します。

3. 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

4. テンキーでコピー部数を入力します。

5. 【スタート】を押します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

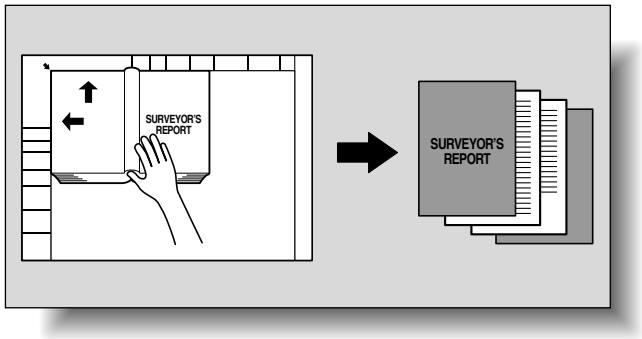
ネガポジ反転機能を解除するときは再度［ネガポジ反転］を押します。

7.8 見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）

本やカタログなどをコピーする場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとしてコピーできます。

ブック連写には以下の種類があり、設定を変えずに本の表カバー、裏カバーのコピーをつけることもできます。

機能名	説明
［見開き］	見開き原稿が 1 ページ分の原稿としてコピーされます。
［分割］	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割してコピーされます。使用する用紙サイズに合わせて原稿を読込みます。
［表カバー］	表カバー + ページ順の分割コピーの順でコピーされます。
［表 + 裏カバー］	表カバー + ページ順の分割コピー + 裏カバーの順でコピーされます。

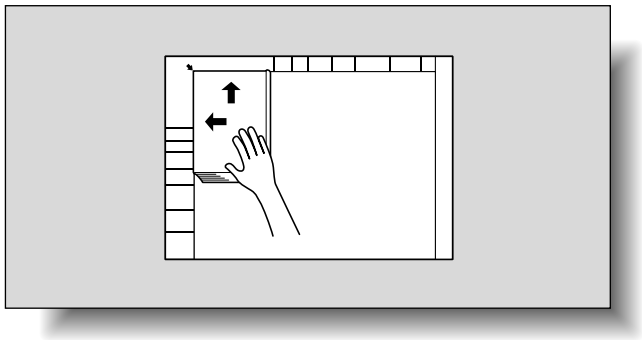


原則

原稿は原稿ガラス上にセットし、ADF を開けたままにします。

1 原稿ガラス上に最初のページからセットします。

❍ 表紙のコピーをつける場合は、最初に表カバーをセットします。



2 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

必ずお守ってください

［表 + 裏カバー］を選択する場合、原稿の読込みは、表カバー、裏カバー、見開き本文原稿の順に行ってください。

3

［応用設定］を押し、［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

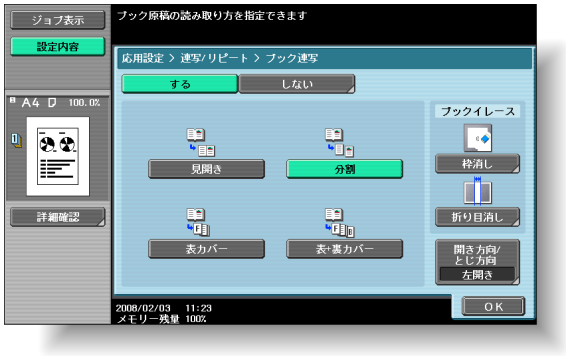
4

［ブック連写］を押します。

ブック連写画面が表示されます。

5

目的の仕上り設定を選択します。



ひとこと

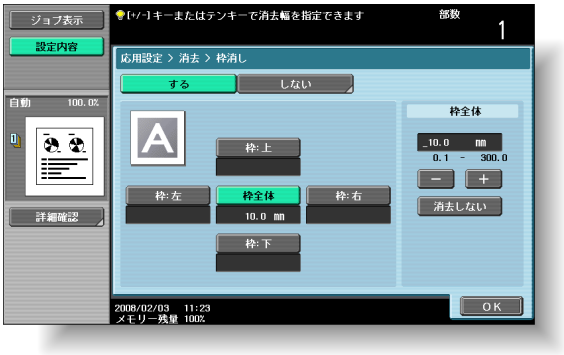
全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

ブック連写機能を解除するときは［しない］を押します。

- ［分割］［表カバー］［表 + 裏カバー］を選択すると、「開き方向 / とじ方向」が表示されます。原稿のとじ方向に合わせて選択します。
- 必要に応じて、「ブックイレース」を設定します。イレース方法を選択し、任意の設定をして、［OK］を押します。

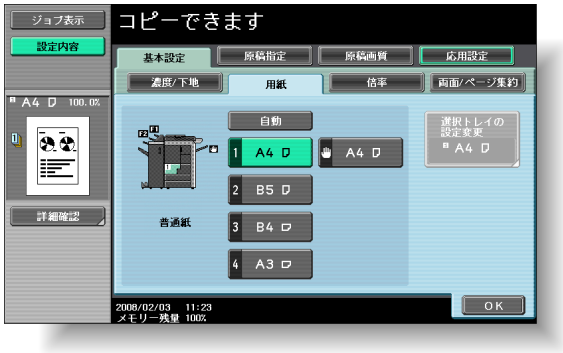
＜枠消し画面＞



＜折り目消し画面＞

6 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

7 基本設定画面で［用紙］を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

詳しく説明します

「ブックイレース」を設定すると、周囲や中央部にできる黒い影を消すことができます。「ブックイレース」は組合わせて使用できます。

参照

［枠消し］、［折り目消し］については、「不要部分を消してコピーする（消去）」（p. 7-37）をごらんください。

ひとこと

応用設定画面で枠消し、または折り目消し機能を設定している場合は、「ブックイレース」の［枠消し］または［折り目消し］が反転されます。

詳しく説明します

- テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

10

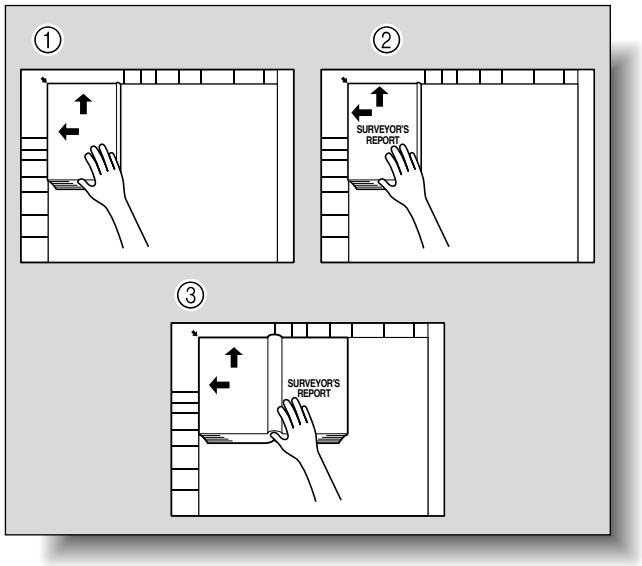
【スタート】を押します。

読込みが開始されます。
［見開き］または［分割］を選択している場合は、出力が開始されます。
［表カバー］または［表 + 裏カバー］を選択している場合は、手順 11 へ進みます。

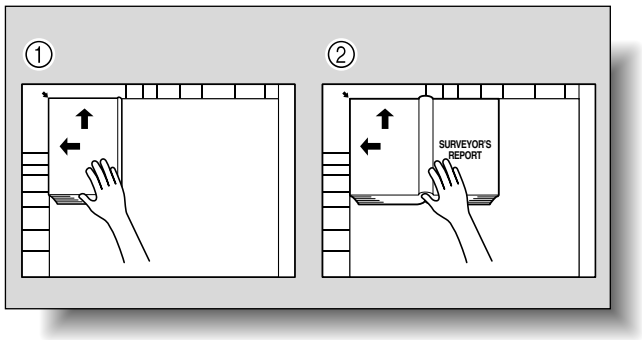
11

全ての原稿を読込み、［読込み終了］を押します。

❍［表 + 裏カバー］を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、裏カバーを読込み、最後に見開き本文原稿をページ順に読込みます。



❍［表カバー］を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読込みます。



12

【スタート】を押します。

参照

原稿の読込みについては、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 2-12）をごらんください。

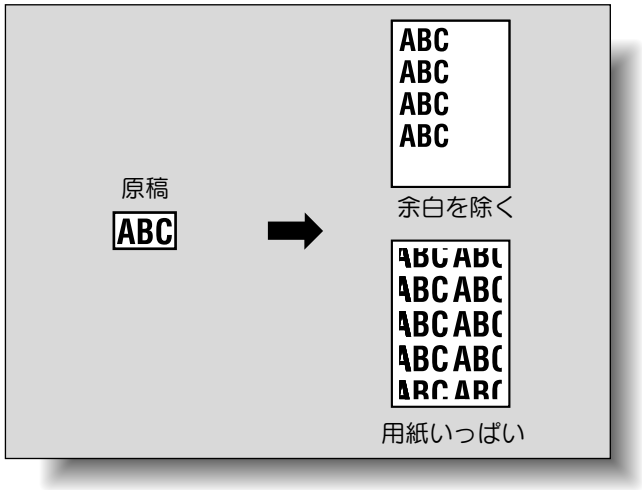
詳しく説明します

原稿をセットしたあと、手順 10 の操作を繰り返し、全ての原稿を読込みます。

7.9　指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。
原稿と用紙のサイズまたは倍率により、繰り返し可能な画像の数を自動的に検出してコピーします。
リピートには以下の種類があり、仕上りを設定できます。

機能名	説明
［余白を除く］	画像の選択範囲が全て収まるように複数コピーされます。選択範囲が収まりきらない部分は余白として残されます。
［用紙いっぱい］	画像の選択範囲が用紙サイズいっぱいまで複数コピーされます。ただし、画像の欠ける部分があります。
［定型リピート］	画像の選択範囲を一定の回数だけ用紙に繰り返してコピーします。繰り返し回数は 2、4、8 回から選べます。ただし、用紙の分割範囲に収まりきらない画像は欠けた状態になります。



1. 原稿をセットします。
2. 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。
3. ［応用設定］を押し、［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

4

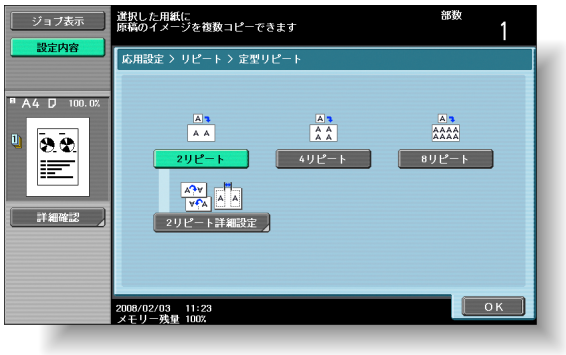
［リピート］を押します。

リピート画面が表示されます。

5

「配置方向」の「余白を除く」または「用紙いっぱい」を押すか、「定型リピート」を押します。

❍［定型リピート］を押した場合は、表示される定型リピート画面でリピート回数を設定します。
［2 リピート］を選択した場合、［2 リピート詳細設定］を押すと方向指定とリピート間隔を指定できます。



ひとこと

リピート機能を解除するときは［しない］を押します。

6

「読込み範囲」を確認し、［OK］を押し、［閉じる］を押します。

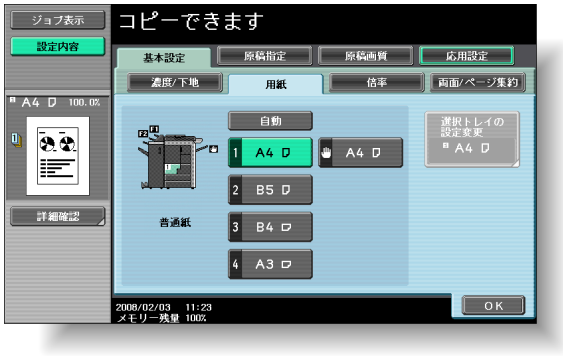
❍「読込み範囲」に原稿サイズが自動検出されなかったり、読込み範囲を指定する場合は、［範囲指定］を押し、いずれかの画面で読込み範囲を指定します。

＜範囲指定画面＞

＜不定形サイズ画面＞

7

基本設定画面で［用紙］を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



詳しく説明します

- ［↑］または［↓］で、定形サイズの表示を切換えます。
- ［不定形サイズ］を押すと、不定形画面が表示されます。［X］または［Y］を選択しテンキーで数値を入力します。（数値が入っている場合は、【C】を押してからテンキーで入力します。）
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

ひとこと

［中止］を押すと設定は変更されません。

❍［定型リピート］を選択した場合は、基本設定画面で［倍率］を押して倍率設定をします。

8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

10 【スタート】を押します。

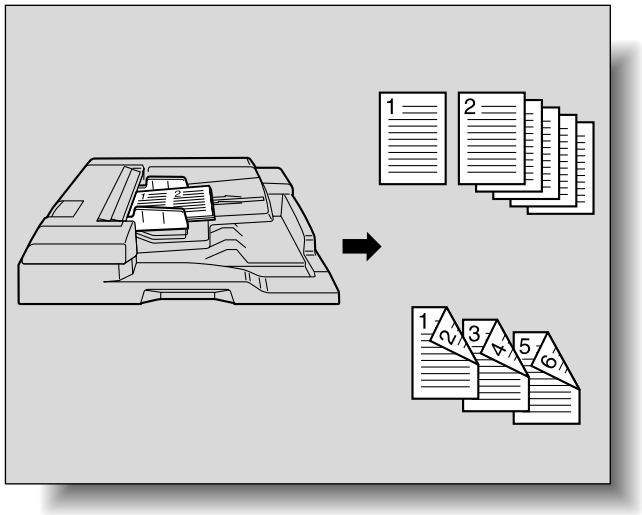
ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

7.10　ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる（ページ連写）

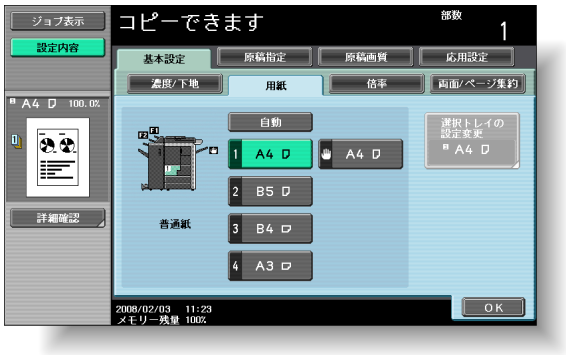
ADF にセットできる見開き原稿を ADF にセットし、左右ページを 1 ページずつ分割してコピーします。

1 枚の原稿を左右に分割し、コピーします。片面コピーの場合は左右で 2 枚、両面コピーの場合は表裏で 1 枚コピーされます。



1. 原稿を ADF にセットします。
2. A4 ▯、B5 ▯、または 8-1/2x11▯ の用紙を任意の給紙トレイにセットします。
3. ［用紙］を押します。

4. A4 ▯、B5 ▯、または 8-1/2x11▯ の用紙サイズを選択します。



参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

5 ［応用設定］を押し、［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

6 ［ページ連写］を押します。

ページ連写画面が表示されます。

7 原稿に合わせて「開き方向 / とじ方向」を選択します。

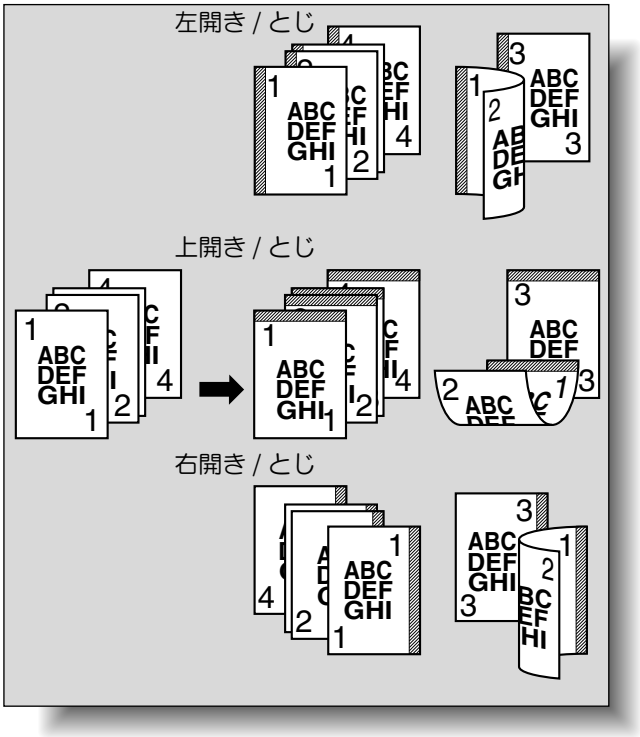
8 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10 ［スタート］を押します。

7.11　とじしろをつくってコピーする（とじしろ）

原稿の画像をファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーします。両面コピーする場合、とじしろ位置を指定することにより画像の向きを補正できます。また、とじしろはつくらずに画像の向きのみを補正することもできます。



1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［とじしろ］を押します。

とじしろ画面が表示されます。

詳しく説明します

ステープルやパンチの位置指定ととじしろの位置が異なる場合、ステープルやパンチ位置の設定が優先されます。

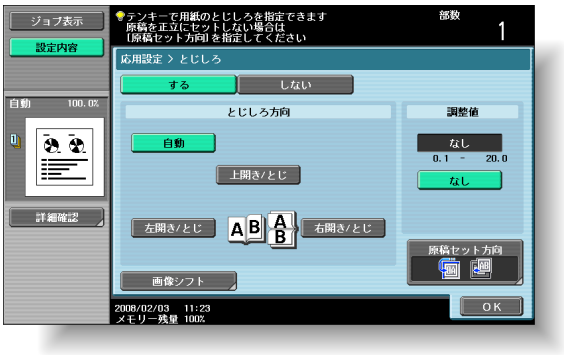
参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3 とじしろ方向を選択します。



4 テンキーでとじしろ幅を入力します。

- ［なし］が設定されている場合、とじしろ幅が 0 mm に設定されます。両面コピーする場合に、とじしろはつくらずに画像の向きのみを補正することができます。

5 必要に応じて、［画像シフト］を押します。

画像シフト画面が表示されます。

6 画像の位置を調整して、［OK］を押します。

- ［左］［右］［上］［下］から調整する方向を押し、テンキーでシフト幅を入力するか、［+］［-］を押してシフト幅を設定します。
- シフトを解除するには、［シフトしない］を押します。

- ［裏面編集］を押すと、両面コピー時の裏面の画像位置を調整できます。

ひとこと

- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- とじしろ機能を解除するときは［しない］を押します。
- 出荷時設定では［自動］が設定されています。
- ［自動］を押すと、原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。
- ［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。
- ［自動］によりとじしろの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

詳しく説明します

- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、またはとじしろ幅の入力を間違えた場合は、［なし］または【C】を押して入力しなおします。
- とじしろ幅の数値を保持したまま、とじ位置を変更できます。

参照

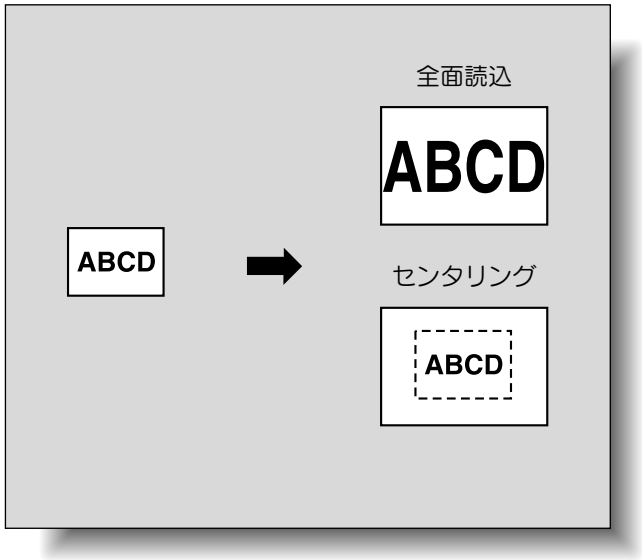
原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 2-21）をごらんください。

7. 必要に応じて、［原稿セット方向］を押し、原稿のセットされている向きを指定します。
8. ［OK］を押します。
9. 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
10. テンキーでコピー部数を入力します。
11. 【スタート】を押します。

7.12　原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）

画像位置を調整してコピーします。
［センタリング］は原稿画像を用紙の中央に配置してコピーします。

機能名	説明
［センタリング］	画像が拡大されずに、用紙の中央にコピーされます。
［全面読込］	用紙の周りに余白を作らずにコピーします。原稿いっぱいに文字が書かれている場合でも、欠けることなく原稿がコピーされます。



1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［画像の収め方］を押します。

画像の収め方画面が表示されます。

詳しく説明します

通常は、用紙サイズに対して先端約 3 mm、後端約 4 mm、左端 / 右端に約 2 mm ずつの画像消しを行ってコピーしています。
［全面読込］を選択すると、上記の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

3 画像の収め方を選択します。

4 原稿サイズを確認し、[OK] を押します。

❍ 原稿サイズが自動検出されなかったり、原稿サイズを指定する場合は、[原稿サイズ] を押し、目的の画面で原稿サイズを指定します。

5 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

6 テンキーでコピー部数を入力します。

7 【スタート】を押します。

ひとこと

選択した機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

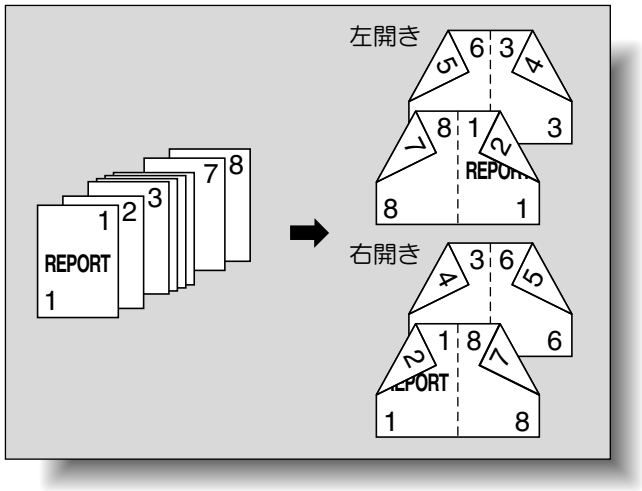
・[↑] または [↓] で、定形サイズの表示を切換えます。
・[不定形サイズ] を押すと、不定形サイズ画面が表示されます。[X] または [Y] を選択しテンキーで数値を入力します。（数値が入っている場合は、【C】を押してからテンキーで入力します。）範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

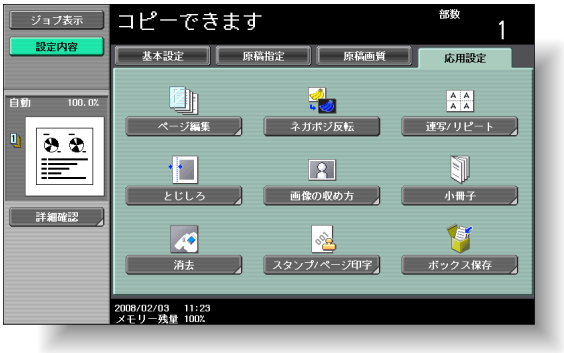
7.13　雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする（小冊子）

雑誌や週刊誌のように中とじ用のページレイアウトになるよう、読込んだ原稿のページ順を自動的に入れ換えて両面コピーします。オプションのフィニッシャーに中綴じ機が装着されている場合、ステープルでとじることができます。



1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［小冊子］を押します。



3 ［左開き］または［右開き］を押します。

詳しく説明します

原稿枚数は片面原稿の場合は 4 の倍数、両面原稿の場合は 2 の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。

参照

ステープルとじについては、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 2-61）をごらんください。

参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読込み設定）」（p. 2-8）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

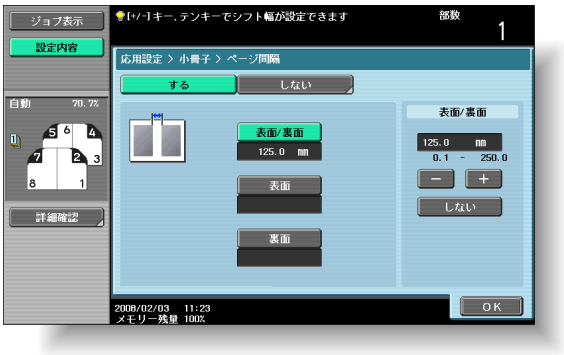
- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- 小冊子機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

- とじしろ幅は自動的に設定されます。
- 原稿がランドスケープ原稿のみの場合、どちらを選択しても上とじになります。

❍ 画像位置を上下左右に任意に調整したいときは、［画像シフト］を押し、シフト幅を設定して［OK］を押します。

❍ 左右に配置される画像間隔を調整したいときは、［ページ間隔］を押します。表面、裏面を同じ幅に調整するときは［表面 / 表面］、表面、裏面を個別に調整するときは［表面］、［裏面］をそれぞれ選択し、テンキーまたは［−］、［+］で調整値を入力して、［OK］を押します。



4 ［OK］を押します。

5 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

6 テンキーでコピー部数を入力します。

7 【スタート】を押します。

参照

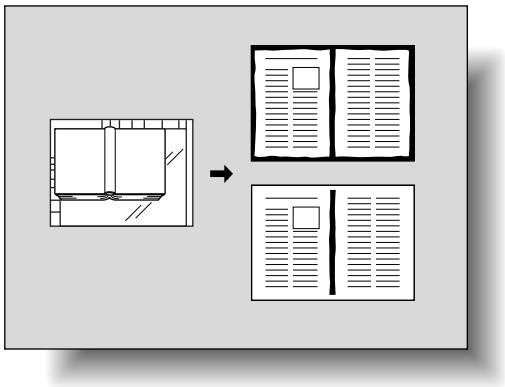
画像シフトの設定については「とじしろをつくってコピーする（とじしろ）」（p. 7-30）をごらんください。

7.14　不要部分を消してコピーする（消去）

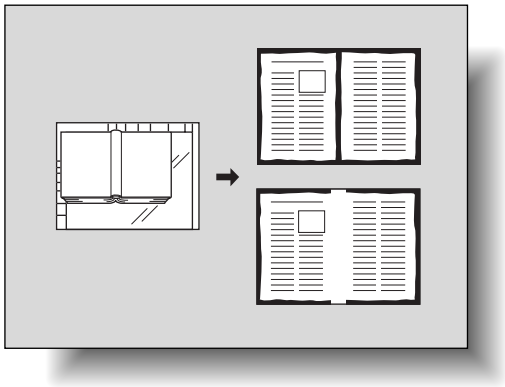
原稿を読込むときに、コピーの周囲や中央部、パンチ穴などに黒い影ができることがありあます。この機能を設定することで、それらの黒い影を消してコピーし、トナーの消費をおさえることができます。

機能名	説明
［枠消し］	本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするとできるコピー画像の周囲の影を消去してコピーします。 周囲に影ができてしまった原稿から影を消去したコピーができます。
［折り目消し］	本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするとできるコピー画像中央の折り目やとじ部分の影を消去してコピーします。 中央に影ができてしまった原稿から影を消去したコピーができます。
［原稿外消去］	原稿ガラスにセットした原稿の大きさを検知して、原稿外側の部分を消去してコピーします。

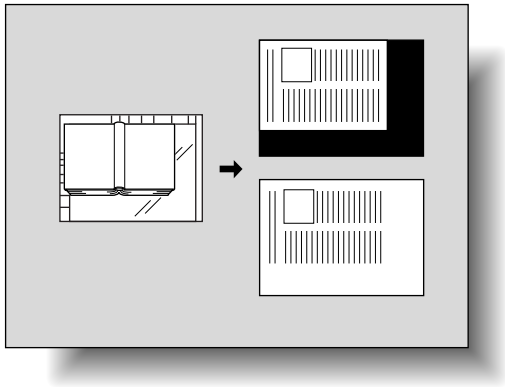
［枠消し］



［折り目消し］



［原稿外消去］



参照

- 枠消しに関しては、p. 7-38 をごらんください。
- 折り目消しに関しては、p. 7-39 をごらんください。
- 原稿外消去に関しては、p. 7-40 をごらんください。

7.14.1　周囲 4 辺の不要部分を消してコピーする（枠消し）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［消去］を押します。

3 消去画面が表示されます。

［枠消し］を押します。

4 枠消し画面が表示されます。

枠消しの消去位置を選択します。

5 ［-］、［+］または［消去しない］で消去幅を設定します。

❍ 消去位置によって異なる消去幅を設定する場合、［枠：上］、［枠：左］、［枠：右］、［枠：下］の全てをそれぞれ設定します。

6 ［OK］を押します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- 枠消し機能を解除するときは［しない］を押します。
- 出荷時設定では「枠全体」が設定されています。
- ［枠全体］は、原稿の周囲 4 辺が同じ幅で消去されます。
- ［枠全体］はその他のキー（［枠：上］、［枠：左］、［枠：右］、［枠：下］）と同時設定できません。

ひとこと

枠消し機能を解除するには［しない］を押します。

詳しく説明します

- テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

7.14.2　中央の不要部分を消してコピーする（折り目消し）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［消去］を押します。

消去画面が表示されます。

3 ［折り目消し］を押します。

折り目消し画面が表示されます。

4 ［－］、［＋］またはテンキーで消去幅を設定します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

折り目消し機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

- テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合は、【C】を押して入力しなおします。

5 ［OK］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

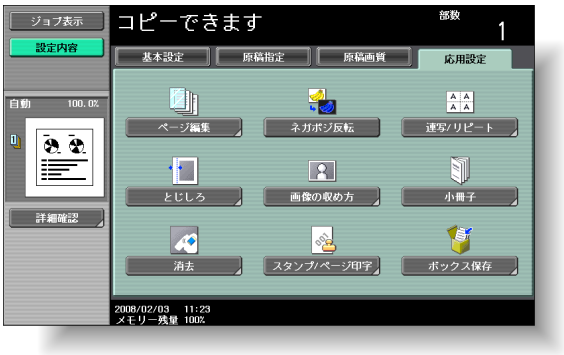
7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 ［スタート］を押します。

7.14.3　原稿外側の影を消してコピーする（原稿外消去）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［消去］を押します。



消去画面が表示されます。

3 ［原稿外消去］を押し、［OK］を押します。

4 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5 テンキーでコピー部数を入力します。

6 ［スタート］を押します。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

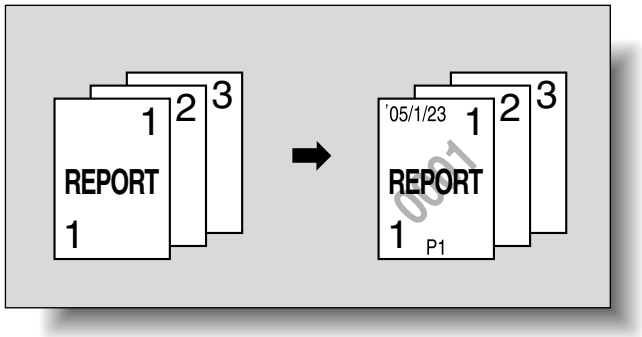
原稿外消去機能を解除するときは再度［原稿外消去］を押します。

7.15　日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする（スタンプ / ページ印字）

印字位置を指定して日付 / 時刻やページ番号を入れたり、複数部コピーする場合に管理番号を入れてコピーします。

下記の種類があり、組合わせて使用できる機能もあります。

機能名	説明
［日付 / 時刻］	表記形式を選択し、指定したページに日付や時刻を印字します。
［ページ番号］	表記形式を選択し、指定した番号からページ数を印字します。
［スタンプ］	・定型スタンプ あらかじめ登録された定型スタンプをページに重ねて印字します。 ・登録スタンプ Copy Protection Utility で登録したスタンプをページに重ねて印字します。
［繰り返しスタンプ］	登録スタンプ、定型スタンプ、日付などをページ上に繰り返し印字します。
［オーバーレイ］	原稿の 1 枚目の内容をオーバーレイ画像として、2 枚目以降の内容と重ね合わせて印字します。
［登録オーバーレイ］	あらかじめ読込んだ画像を HDD に保存（オーバーレイ画像登録）しておき、必要に応じて保存した画面を呼び出し、重ねて印字（登録オーバーレイ出力）します。
［ヘッダー / フッター］	ページごとに日付・時刻や配布番号を印字します。 管理者設定で設定したときに使用できます。
［部数管理番号］	コピー部数ごとにコピー画像の背景いっぱいに 4 桁の管理番号を印字します。
［ウォーターマーク］	コピー画像の真ん中の背景に定型パターンの文字を印字します。



参照

・日付や時刻の印字設定については、p. 7-42 をごらんください。
・ページ番号の印字設定については、p. 7-44 をごらんください。
・スタンプの印字設定については、p. 7-47 をごらんください。
・繰り返しスタンプの印字設定については、p. 7-49 をごらんください。
・オーバーレイの印字設定については、p. 7-53 をごらんください。
・ヘッダー / フッターの印字設定については、p. 7-57 をごらんください。

参照

・部番管理番号の印字設定については、p. 7-59 をごらんください。
・ウォーターマークの印字設定については、p. 7-61 をごらんください。

詳しく説明します

・登録オーバーレイは、HDD が装着されているときに表示されます。登録オーバーレイの印字方法については、p. 7-56 をごらんください。
・ヘッダー / フッターを使用するには、あらかじめ管理者設定でヘッダー / フッターを登録しておく必要があります。登録の方法については「ヘッダー / フッターを設定する」（p. 11-59）をごらんください。

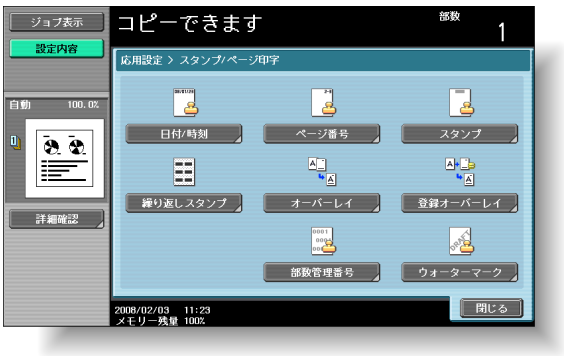
7.15.1　日付 / 時刻を印字するには（日付 / 時刻）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

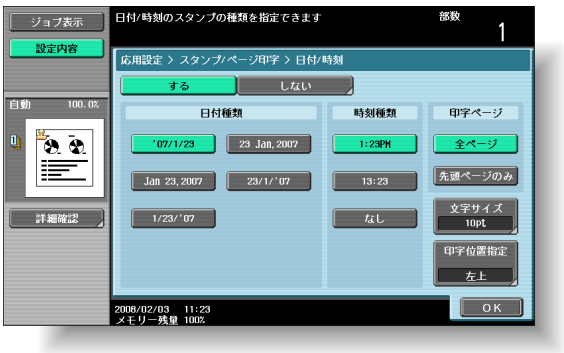
スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［日付 / 時刻］を押します。



日付・時刻画面が表示されます。

4 「日付種類」、「時刻種類」、「印字ページ」をそれぞれ選択します。



参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

- 日付 / 時刻機能を解除するときは［しない］を押します。
- 「時刻種類」で［なし］を設定すると、時刻が印字されません。

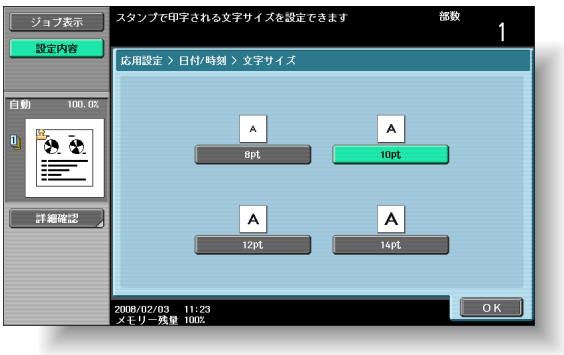
詳しく説明します

- ［先頭ページのみ］を選択した場合、先頭ページのみ印字されます。
- カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印字されません。

5 ［印字位置指定］を押し、印字位置を選択します。

❍ 印字位置を微調整する場合は［位置調整］を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［-］、［+］で調整値を入力して、［OK］を押します。

6 必要に応じて、その他の設定をします。
文字サイズを設定する場合には、［文字サイズ］を押し、サイズを選択します。



7 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【C】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。
［文字サイズ］：10pt

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

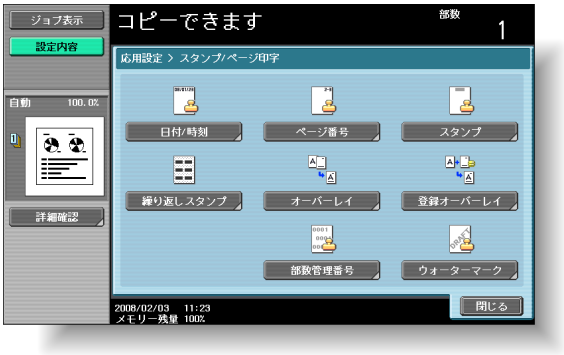
7.15.2　ページ数を印字するには（ページ番号）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［ページ番号］を押します。



ページ番号画面が表示されます。

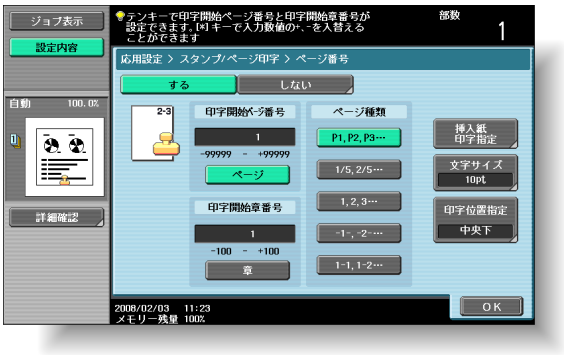
参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

4 テンキーで印字を開始するページ番号を入力します。



❍ 必要に応じて［章］を押し、テンキーで章番号を入力します。入力した章番号は、ページ種類で「1-1,1-2…」を選択した場合に印字されます。

5 「ページ種類」を選択します。

6 ［印字位置指定］を押し、印字位置を選択します。

❍ 印字位置を微調整する場合は［位置調整］を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［-］、［+］で調整値を入力して、［OK］を押します。

ひとこと

ページ番号機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

- 開始ナンバーの［ページ］は -99999 ～ 99999 の範囲で、［章］は -100 ～ 100 の範囲で設定します。
- 「開始ナンバー」の設定では【 ¥ 】で設定値の正負を入換えることができます。
- ーの値を設定すると、1 になるまで印字されません。例えば「-1」を設定した場合、コピー 3 ページ目の「1」から印字されます。
- 複数の章を印刷する場合は、あらかじめ章分け機能で章の先頭ページを指定しておきます。詳しくは、「指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）」（p. 7-12）をごらんください。

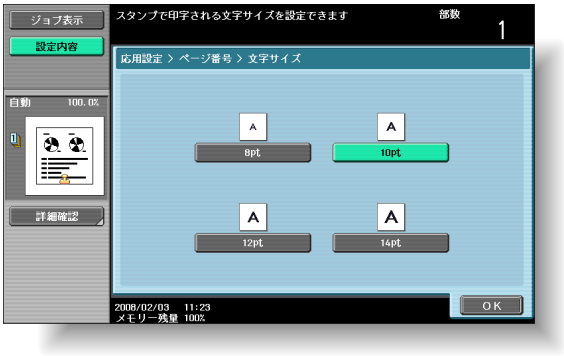
ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【C】を押して入力しなおします。

7 必要に応じて、その他の設定をします。

❍ 応用機能の［カバーシート］や［インターシート］、［章分け］を同時設定する場合は、［挿入紙印字指定］を押し、印字ページを選択します。

❍ 文字サイズを設定する場合には、［文字サイズ］を押し、サイズを選択します。



8 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10 テンキーでコピー部数を入力します。

11 【スタート】を押します。

詳しく説明します

・カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページは、カウントされるのみで印字されません。
・カバーシートで［裏カバーのみ印字］または［カバーシートに印字しない］を選択した場合、片面コピーは「2」から、両面コピーは「3」からページが印字されます。
・［印刷しない］を選択した場合、挿入ページはカウントされるのみで印字されません。［スキップ］を選択した場合、挿入ページはカウントも印字もされません。

詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。
［文字サイズ］：10pt

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

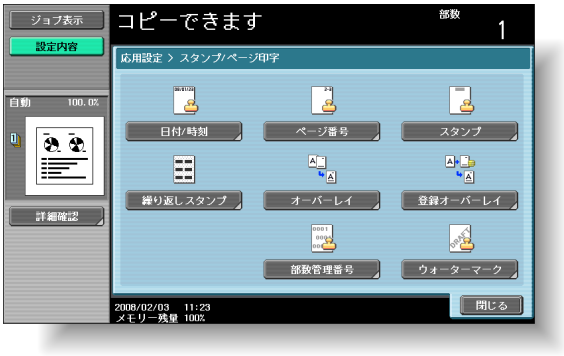
7.15.3　あらかじめ登録されたスタンプを印字するには（スタンプ）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［スタンプ］を押します。



4 スタンプ画面が表示されます。

「定型スタンプ種類」または「登録スタンプ種類」から、目的のスタンプを選択します。

参照

- 登録スタンプを登録するには、Copy Protection Utility を使用します。スタンプの登録方法については、Copy Protection Utility ユーザーズガイドをごらんください。
- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

スタンプ機能を解除するときは［しない］を押します。

詳しく説明します

- ［↑］または［↓］で、定型スタンプと登録スタンプの表示を切換えます。
- スタンプの複数選択はできません。

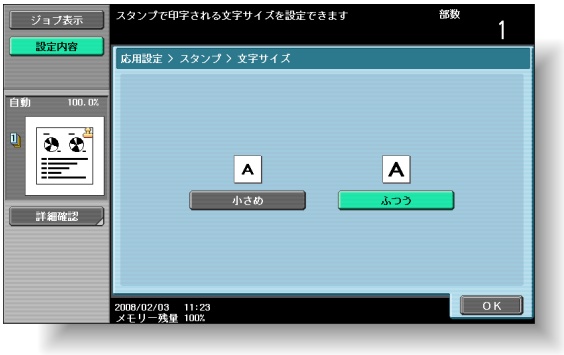
5 「印字ページ」を選択します。

6 ［印字位置指定］を押し、印字位置を選択します。

❍ 印字位置を微調整する場合は［位置調整］を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［-］、［+］で調整値を入力して、［OK］を押します。

7 ［文字サイズ］を選択します。

<文字サイズ画面>



8 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

詳しく説明します

・［先頭ページのみ］を選択した場合、表カバーのみ印字されます。
・カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印刷されません。

ひとこと

・印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
・［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
・範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【C】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。
［文字サイズ］：ふつう

10 テンキーでコピー部数を入力します。

11 【スタート】を押します。

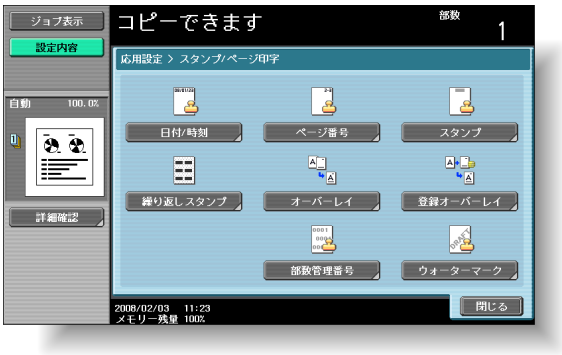
7.15.4　繰り返しスタンプを印字するには（繰り返しスタンプ）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［繰り返しスタンプ］を押します。



繰り返しスタンプ画面が表示されます。

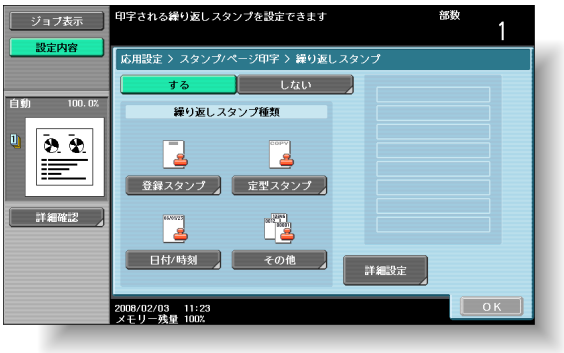
参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

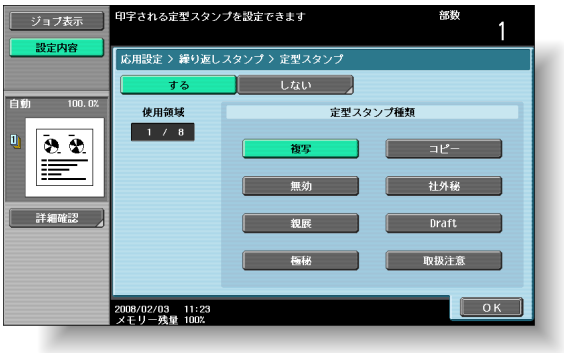
ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。

4 繰り返しスタンプ種類を選択します。



❍［登録スタンプ］または［定型スタンプ］を押すと、スタンプキーの画面が表示されます。目的のキーを選択して［OK］を押します。



❍［日付 / 時刻］を押すと繰り返しスタンプの日付 / 時刻画面が表示されます。「日付種類」と「時刻種類」を選択して［OK］を押します。

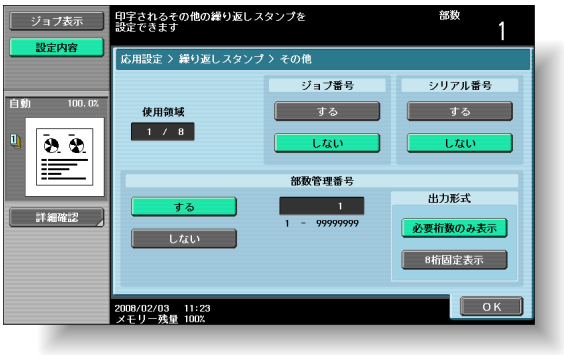
ひとこと

繰り返しスタンプ機能を解除するときは、［しない］を押します。

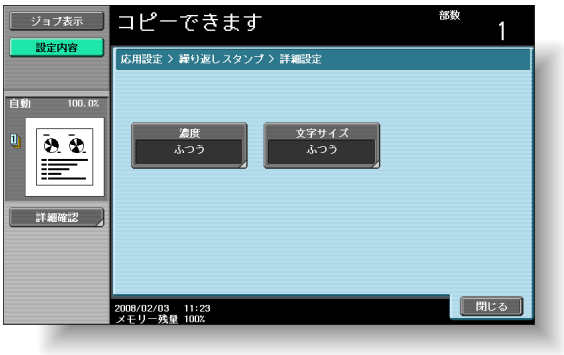
詳しく説明します

- 登録スタンプには、Copy Protection Utility で登録したスタンプが表示されます。スタンプの登録については、Copy Protection Utility ユーザーズガイドをごらんください。
- 選択した繰り返しスタンプは中央に配列順が表示され、8 行分まで組合わせて使用できます。
- 登録スタンプまたは定型スタンプでの複数選択はできません。
- 繰り返し印刷の日付や時刻は、読込み時のものが印字されます。

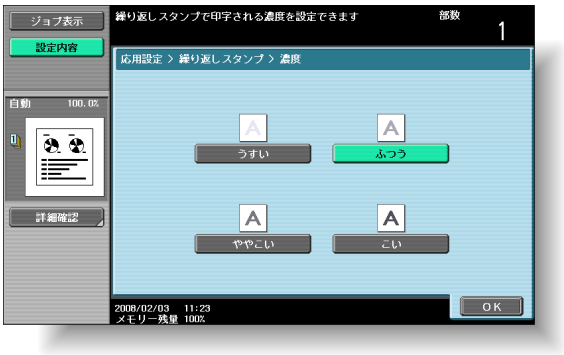
❍［その他］を押すと、その他のスタンプの設定画面が表示されます。目的のキーを選択して［OK］を押します。



❍ 必要に応じて［詳細設定］を押し、繰り返しスタンプの設定を変更します。詳細設定画面で目的のキーを押し、各設定画面で設定値を変更します。



＜濃度画面＞



ひとこと

繰り返しスタンプの各設定画面で、［しない］を押すと各画面での設定のみが解除されます。

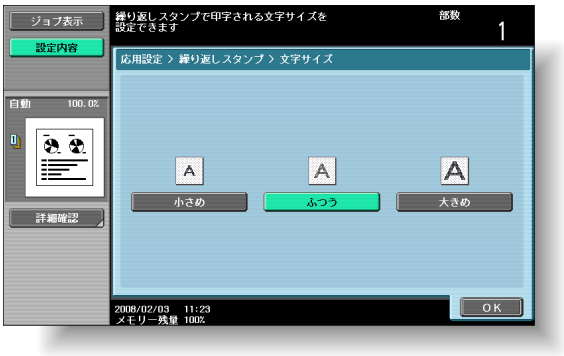
詳しく説明します

・「ジョブ番号」の［する］を押すと、コピーのジョブ番号が印刷されます。
・「シリアル番号」の［する］を押すと、本機のシリアル番号が印刷されます。シリアル番号の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
・「部数管理番号」の［する］を押すと、コピーの部数管理番号が印刷されます。部数管理番号は 1 ～ 99999999 の範囲で設定します。

詳しく説明します

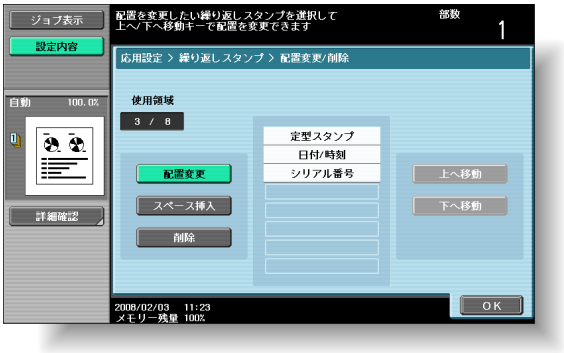
出荷時設定では、以下のように選択されています。
［濃度］：ふつう、［文字サイズ］：ふつう

<文字サイズ画面>

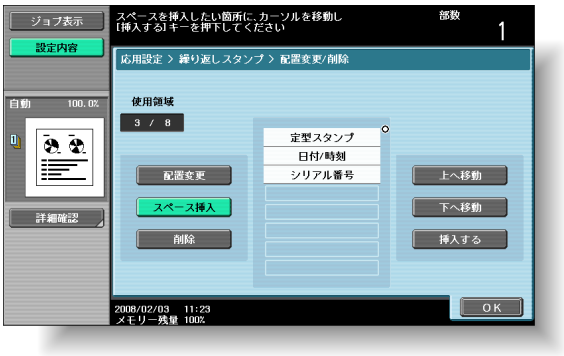


❍ 必要に応じて［配置変更 / 削除］を押し、配置変更 / 削除画面で配置順などを設定します。

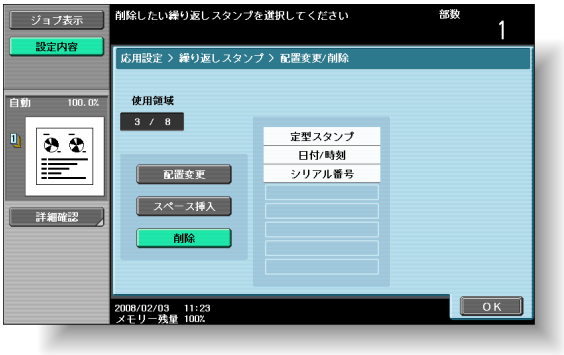
<配置変更画面>



<スペース挿入画面>



<削除画面>



5 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

- 配置順を変更する場合は、［配置変更］を押し、目的の繰り返しスタンプを選択して、［上へ移動］または［下へ移動］を押します。
- 繰り返しスタンプにスペースを入れる場合は、［スペース挿入］を選択します。設定した繰り返しスタンプ種類の横に表示された○を［上へ移動］または［下へ移動］で移動させ、［挿入する］を押します。
- 繰り返しスタンプを削除する場合は、［削除］を押して目的の繰り返しスタンプを押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

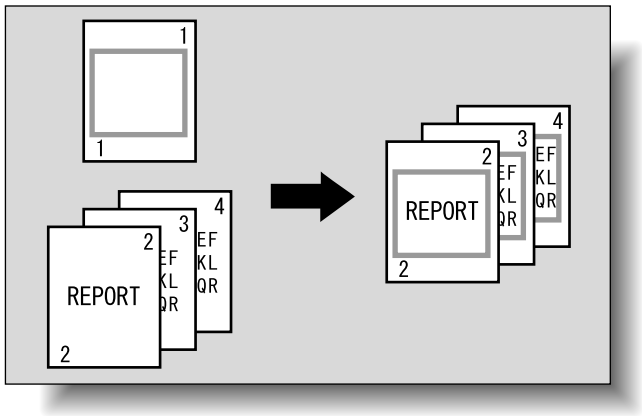
7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

7.15.5　最初に読み込んだ画像を、他の全ての画像と重ね合わせてコピーする（オーバーレイ）

1 枚目に読み込んだ原稿の画像を、2 枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

また、読み込んだ原稿を登録オーバーレイとして保存しておき、後で呼出して使用することもできます。



1 重ね合わせたい原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［オーバーレイ］を押します。

オーバーレイ画面が表示されます。

4 「印字ページ」を選択します。

5 ［閉じる］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

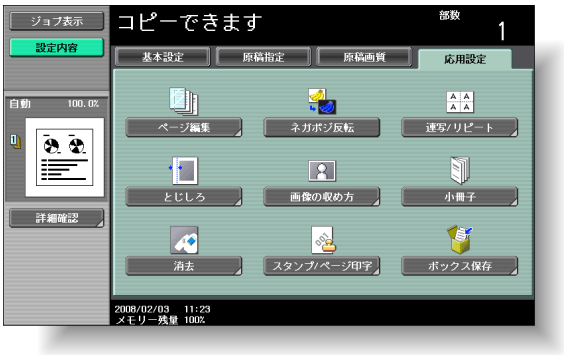
8 【スタート】を押します。

7.15.6　読み込んだ画像を、登録オーバーレイとして保存する（登録オーバーレイ）

繰り返しオーバーレイとして使用する画像は、登録オーバーレイとして保存しておくことにより、一覧から呼出すだけで使用できるようになります。

1 重ね合わせたい原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［登録オーバーレイ］を押します。

登録オーバーレイ画面が表示されます。

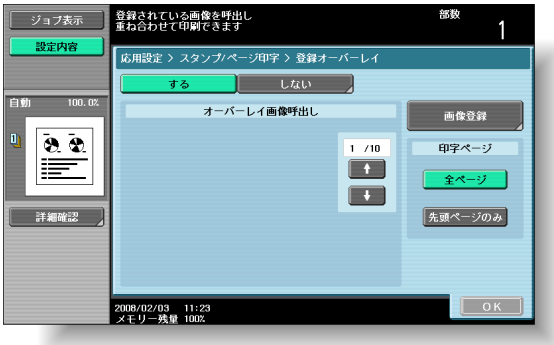
ひとこと

オーバーレイ機能を解除するときは、［しない］を押します。

詳しく説明します

「印字ページ」で［先頭ページのみ］を選択した場合、コピーされる先頭ページのみにオーバーレイ画像が印字されます。

4 ［画像登録］を押します。

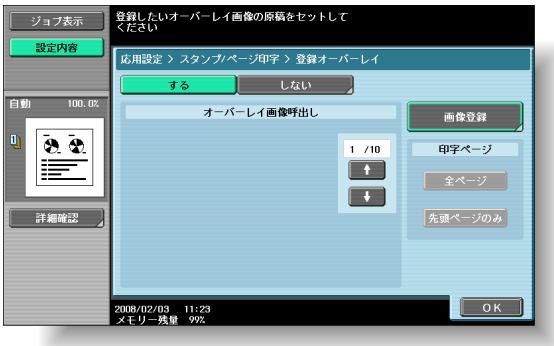


画像登録画面が表示されます。

5 ［新規登録］を押します。

6 画像名称を入力して、［OK］を押します。

7 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。



8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

詳しく説明します

画像名称登録画面が表示されます。

- 既存の登録オーバーレイを選択して［上書き］を押すと、登録された内容を新しく登録する画像で上書きします。
- 既存の登録オーバーレイを選択して［削除］を押すと、登録された内容を削除します。

詳しく説明します

管理者設定の［ユーザー操作禁止設定］により、管理者の許可なく登録オーバーレイを変更することを禁止できます。

ひとこと

登録オーバーレイのキーを押すと、オーバーレイの登録日が表示されます。

詳しく説明します

画面に表示されるキーボードを押して入力します。文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

9 【スタート】を押します。

10 原稿が読み込まれ、登録オーバーレイとして保存されます。

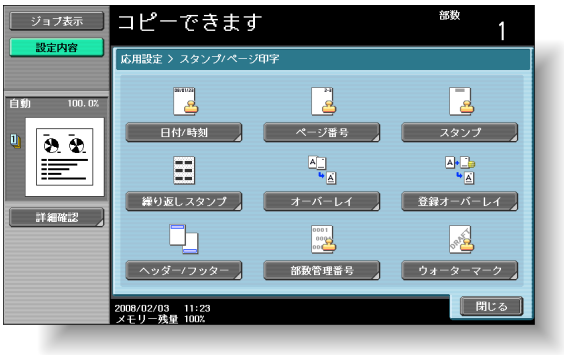
7.15.7　登録オーバーレイを使用する（登録オーバーレイ）

1 重ね合わせたい原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

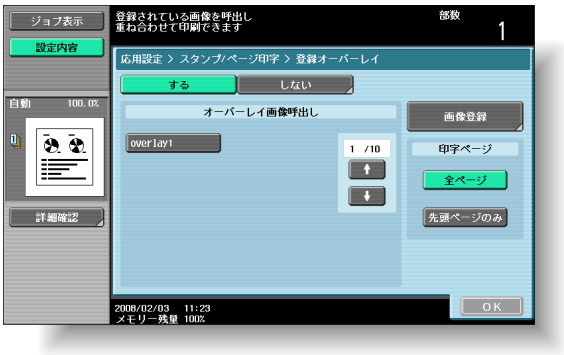
スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［登録オーバーレイ］を押します。



登録オーバーレイ画面が表示されます。

4 使用する登録オーバーレイのキーを押し、［OK］を押します。



5 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

7.15.8　ヘッダー / フッターを印字するには（ヘッダー / フッター）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印字］を押します。

ひとこと

- 登録オーバーレイ機能を解除するときは、［しない］を押します。
- 登録オーバーレイのキーを押すと、オーバーレイの登録日が表示されます。

詳しく説明します

［先頭ページのみ］を選択した場合、先頭ページのみ印字されます。

詳しく説明します

ヘッダー / フッターを使用するには、あらかじめ管理者設定でヘッダー / フッターを登録しておく必要があります。
登録の方法については、「ヘッダー / フッターを設定する」（p. 11-59）をごらんください。

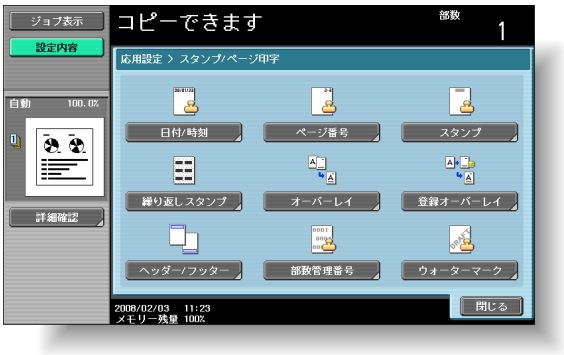
参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。

ひとこと

- 全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。
- 管理者設定でヘッダー / フッターが登録されていない場合、［ヘッダー / フッター］は表示されません。

3 ［ヘッダー / フッター］を押します。



ヘッダー / フッター画面が表示されます。

4 「ヘッダー / フッター呼出し」から使用するヘッダー / フッターを押し、［OK］を押します。

❍ ヘッダー / フッターの設定を確認または一時的に変更する場合は、［確認 / 一時変更］を押します。

5 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

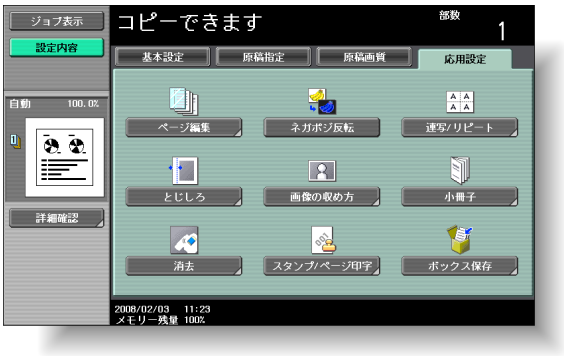
7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

7.15.9　部数管理番号を印字するには（部数管理番号）

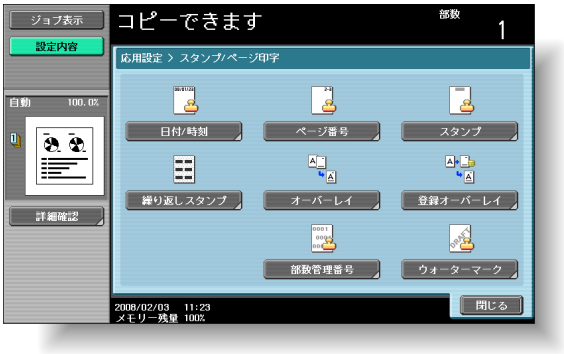
1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印刷］を押します。



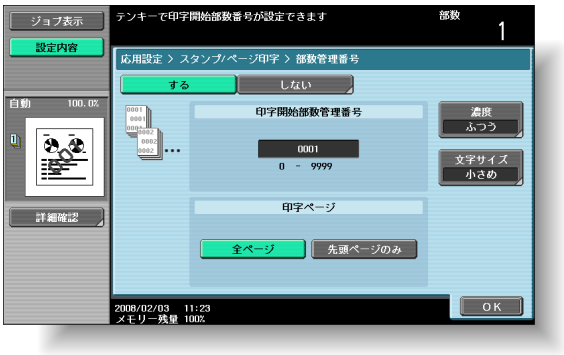
スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3 ［部数管理番号］を押します。



部数管理番号画面が表示されます。

4 テンキーで印字を開始する部数管理番号を入力します。



5 印字ページを選択します。

ひとこと

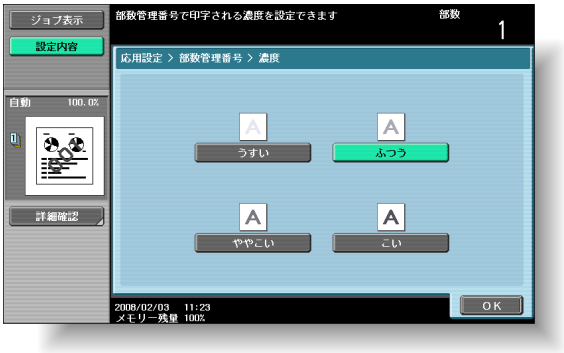
全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

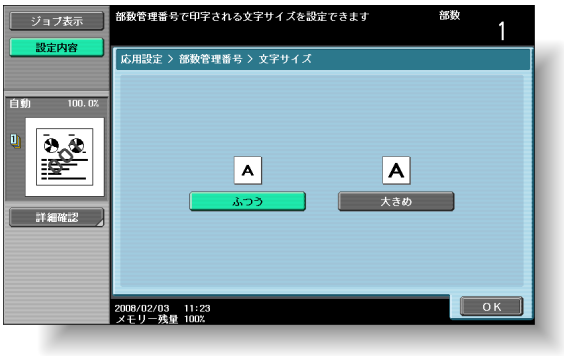
部数管理番号機能を解除するときは、［しない］を押します。

6 必要に応じてその他の設定をします。

❍ 濃度を設定する場合は、［濃度］を押し、濃度を選択します。



❍ 文字サイズを設定する場合は、［文字サイズ］を押し、サイズを選択します。



7 ［OK］を押し、［閉じる］を押します。

8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

出荷時設定で以下のように選択されています。
［濃度］：ふつう、［文字サイズ］：ふつう

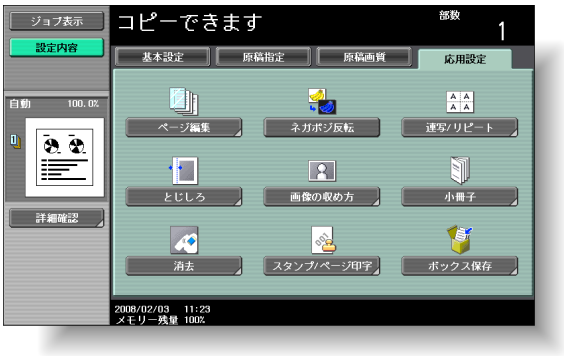
詳しく説明します

・［先頭ページのみ］を選択した場合、先頭ページのみ印字されます。
・カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印字されません。

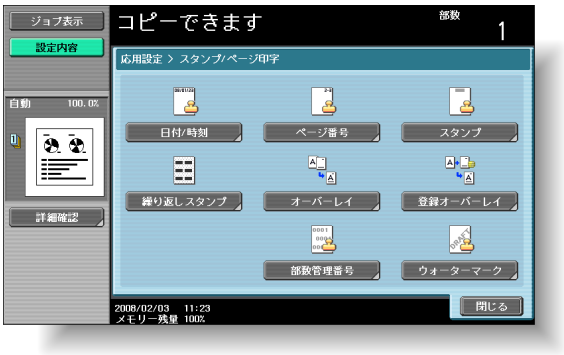
7.15.10　ウォーターマークを印字するには（ウォーターマーク）

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［スタンプ / ページ印刷］を押します。



3 ［ウォーターマーク］を押します。



ウォーターマーク画面が表示されます。

4 目的のキーを押して［OK］を押します。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

ひとこと

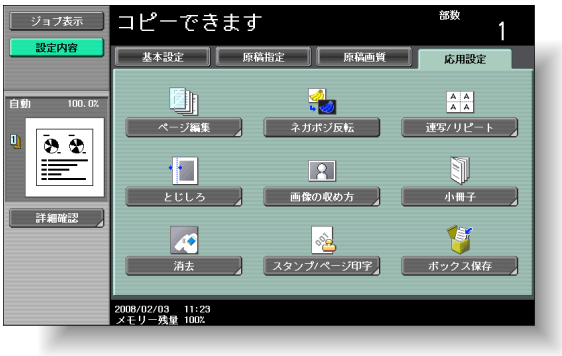
ウォーターマーク機能を解除するときは、［しない］を押します。

7.16　読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存）

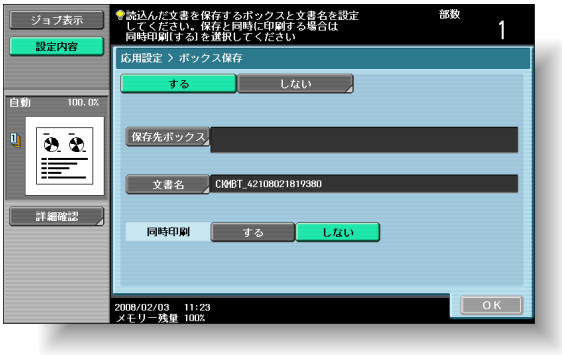
読み込んだ原稿をボックスに保存できます。ボックスに保存されたドキュメントは、必要に応じて印刷できます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押し、［ボックス保存］を押します。



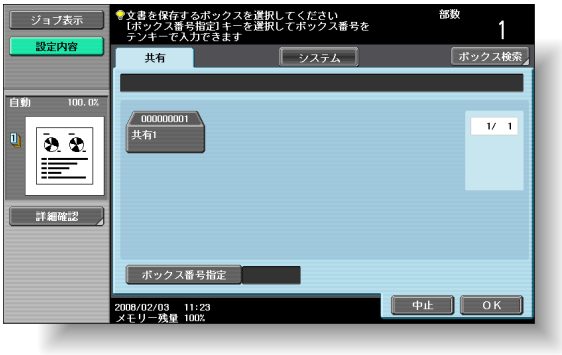
3 ［保存先ボックス］を押します。



ボックスの選択画面が表示されます。

4 保存するボックスを選択します。

❍ 保存するボックスのタブを押して選択し、ボックスキーを押して指定します。



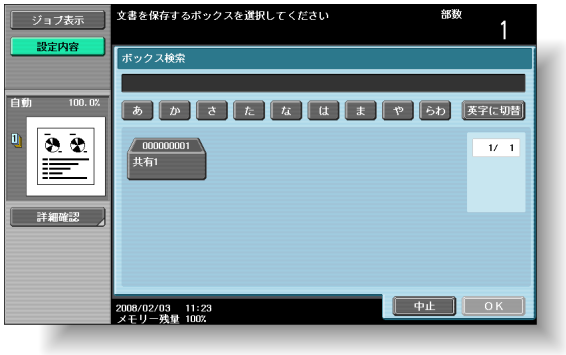
参照

ボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

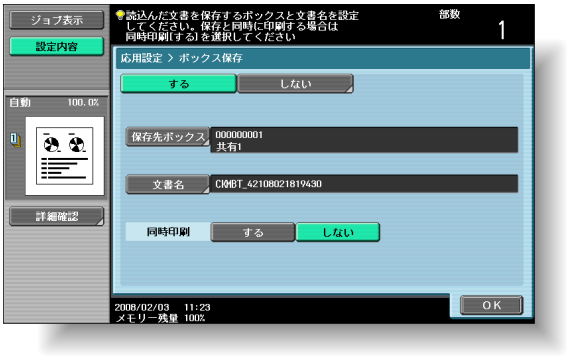
- ［ボックス番号］を押してボックス番号を入力しても指定できます。
- ボックスにパスワードが設定されている場合でも、保存するときにパスワードの入力は必要ありません。

❍［ボックス検索］タブを押すと、ボックス検索画面が表示されます。
ボックス名の先頭文字による検索ができます。
かな（［あ］～［らわ］）または英字（［ABC］～［etc］）を押すと、その文字から始まるボックスが一覧表示されます。
この画面からボックスを選択できます。



5 ［OK］を押します。

6 保存する文書の名称を確認します。自動的につけられる名称を変更する場合は、［文書名］を押します。



7 名称を入力したら［OK］を押します。

詳しく説明します

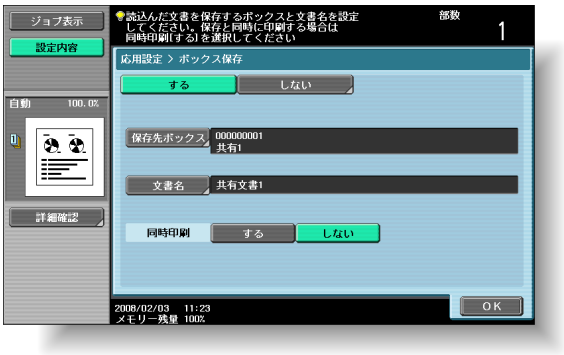
先頭文字のキーは［かなに切替］［英字に切替］で切換えて表示します。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

8

保存するときにコピーも出力するかどうかを選択します。コピーを出力するときは、「同時印刷」で［する］を選択します。



9

［OK］を押します。

応用設定画面にもどります。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

【スタート】を押します。

「同時印刷」を［する］と選択したときは、読込まれた原稿がコピーされ、文書データが指定したボックスに保存されます。

「同時印刷」を［しない］と選択したときは、読込まれた原稿のデータが指定したボックスに保存されます。

ひとこと

ボックス保存機能を解除するときは、［しない］を押します。

ひとこと

ボックスに保存した文書の使用については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

第 8 章
トナーカートリッジ交換／ステープルカートリッジ交換／パンチくず処理

トナーカートリッジの交換やステープルカートリッジの交換、処理などについて説明します。

8.1　トナーカートリッジを交換する 8-2
8.2　ステープルカートリッジを交換する 8-7
8.3　パンチくずを処理する 8-20

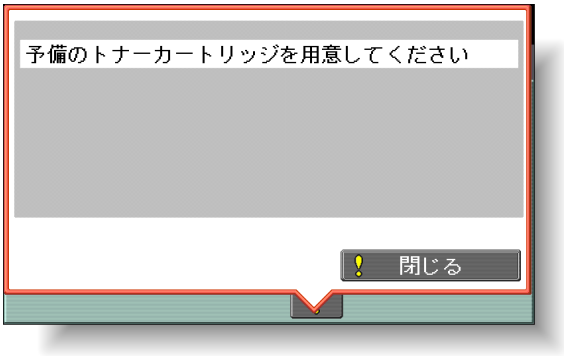
8.1　トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、下図のような事前通知メッセージが表示されます。

＜拡大表示機能時の表示＞

トナーが残り少なくなると、［！］が表示されます。

［！］を押すと下図が表示されます。



ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換の準備を行ってください。

ひとこと

メッセージ表示後に本機は停止します。保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換を行ってください。

参照

トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換のしかた」（p. 8-3）をごらんください。

⚠警告

トナーおよびトナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください！
トナーやトナーカートリッジは、使用済みのトナーカートリッジも含めて、火中に投じるとトナーが飛び散り、やけどをする恐れがあり、とても危険です。
➔ 使用済みのトナーカートリッジは、サービス実施店が回収します。

⚠注意

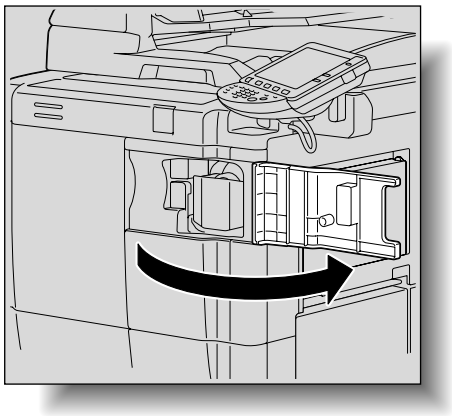
トナーカートリッジの保管や取扱いに注意！
トナーを大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。
➔ トナーカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。
➔ トナーで本体内部、衣服や手を汚さないように注意して取り扱ってください。
➔ トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。
➔ 目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けるようにしてください。

8.1.1　トナーカートリッジの交換のしかた

原則

トナーカートリッジカバーにトナーカートリッジ番号が記載されたラベルが貼られています。その番号と同じ番号のトナーカートリッジをご使用ください。異なる番号のトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。
使用済みのトナーカートリッジは、新しいトナーカートリッジについていたキャップをし、梱包箱に入れてサービス実施店にお渡しください。

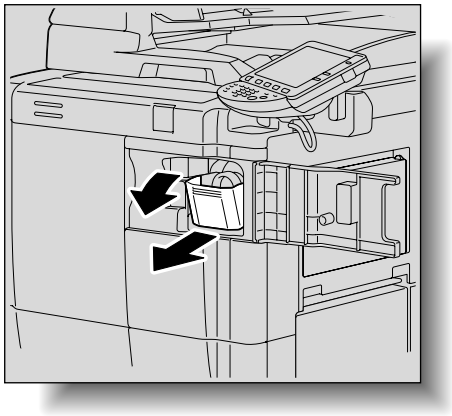
1 トナー補給ドアを開きます。



2

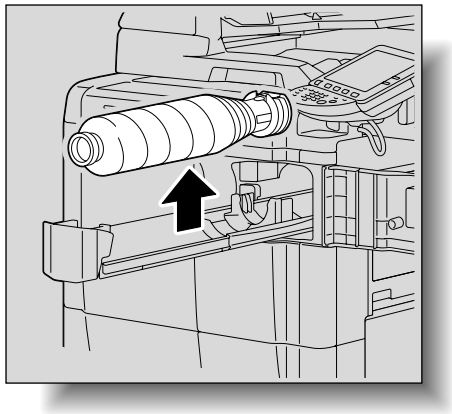
カートリッジホルダーを引出します。

❍ トナーユニットレバーを前に引きながら、カートリッジホルダーが止まるまで手前に引出します。



3

使用済みのトナーカートリッジを手前に持ち上げて取り出します。



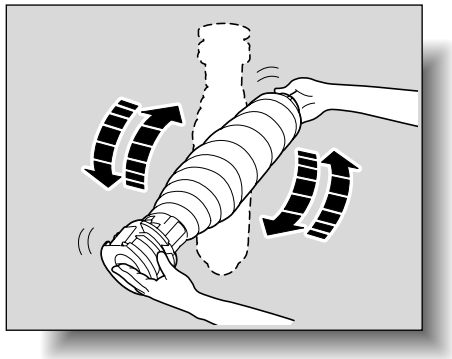
4

新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

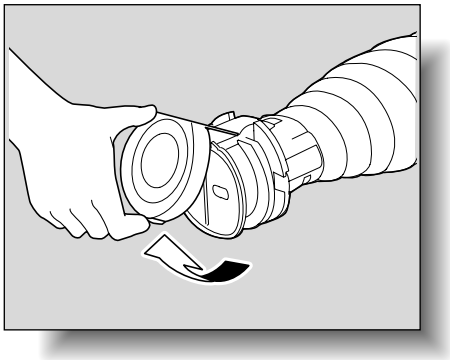
❍ トナーが新しいトナーカートリッジ内で固まっていることがあります。必ず手順 5 の作業を行い、トナーをほぐしてからトナーカートリッジを交換してください。

5

新しいトナーカートリッジホルダーを、5 回ほど天地が逆になるように振ります。

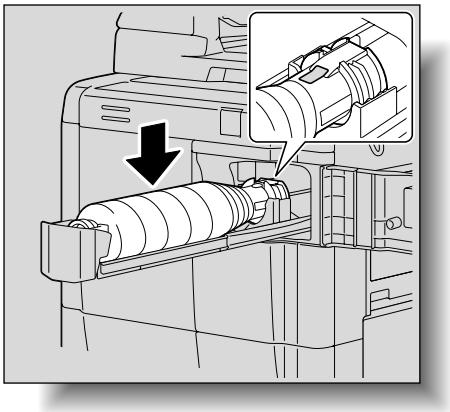


6 新しいトナーカートリッジのカバーを取り外します。

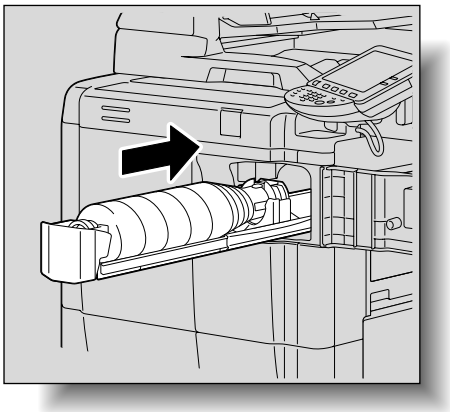


7 向きに注意して新しいトナーカートリッジをトナーカートリッジホルダーにセットします。

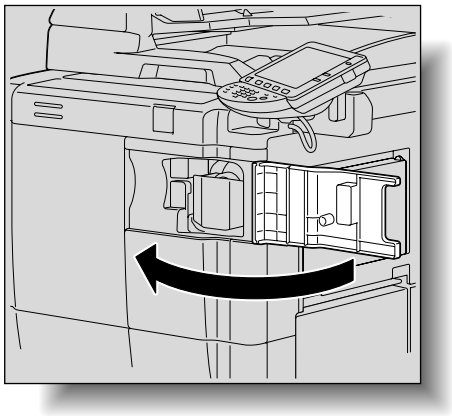
❍ トナーカートリッジ先端のラベル部を上に向け、底部がカートリッジホルダーの溝にしっかり入るようにセットします。



8 トナーカートリッジホルダーを元の位置に押し込みます。



9 トナー補給ドアを閉めます。



8.2　ステープルカートリッジを交換する

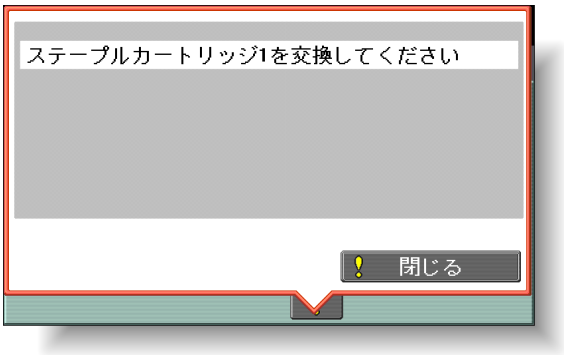
ステープル針がなくなると、「ステープルカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されます。

ステープルカートリッジを交換してください。

＜拡大表示機能時の表示＞

ステープル針がなくなると、［！］が表示されます。

［！］を押すと下図が表示されます。

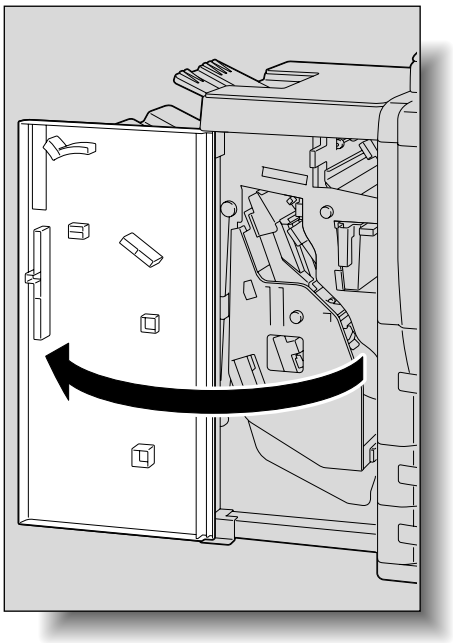


必ずお守ってください

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。

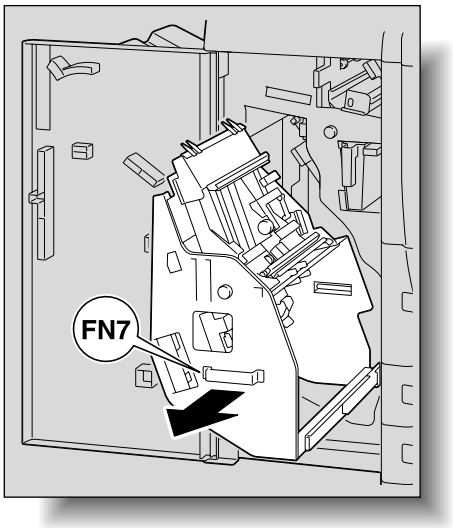
8.2.1　フィニッシャー FS-524 のステープルカートリッジ交換のしかた

1 前ドアを開きます。



2 取っ手【FN7】を持って、スタッカーユニットを引出します。

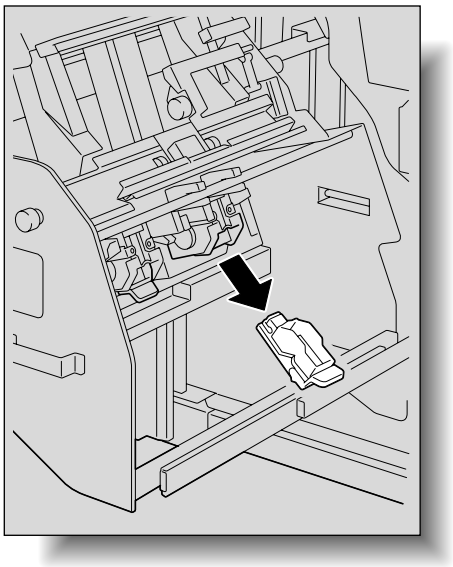
❍ スタッカーユニットが止まる位置までゆっくり引出します。



3

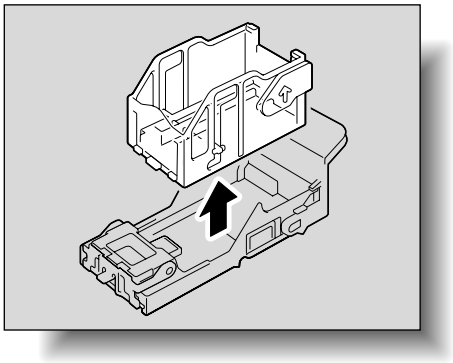
ステープルホルダーを取出します。

❍ ステープルホルダーのつまみを持って、下に引出します。



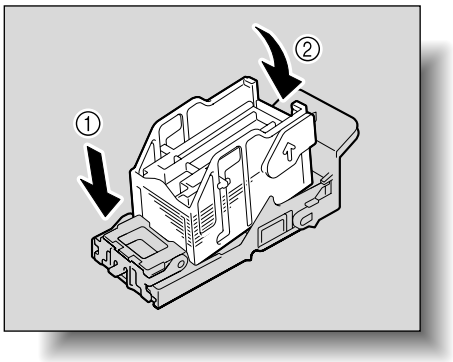
4

ステープルホルダーから空になったカートリッジを取出します。



5

新しいステープルカートリッジをステープルホルダーにセットします。



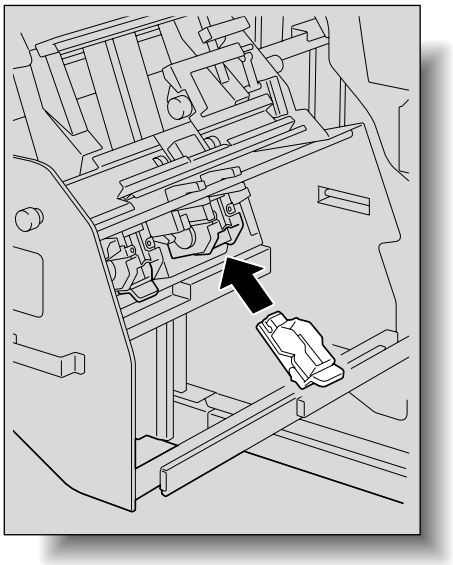
必ずお守ってください

残っている針は取除かないでください。取除くと交換後のステープルは空打ちされステープルされません。

6

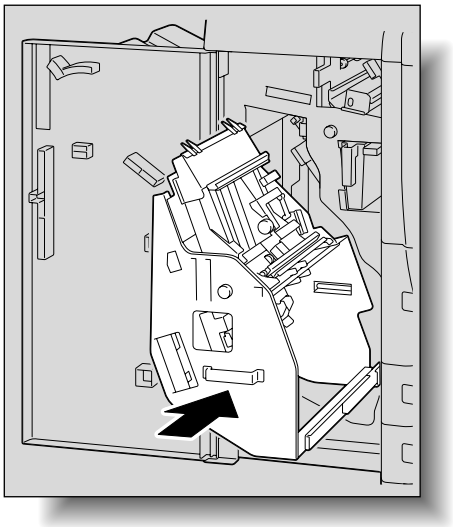
ステープルホルダーを取付けます。

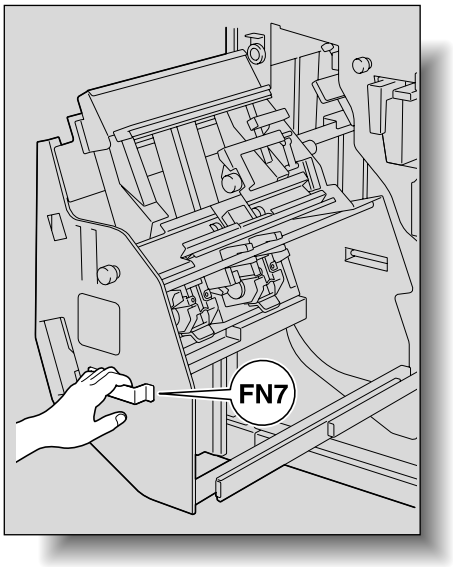
❍ ステープルホルダーが奥までしっかり固定されていることを確認してください。

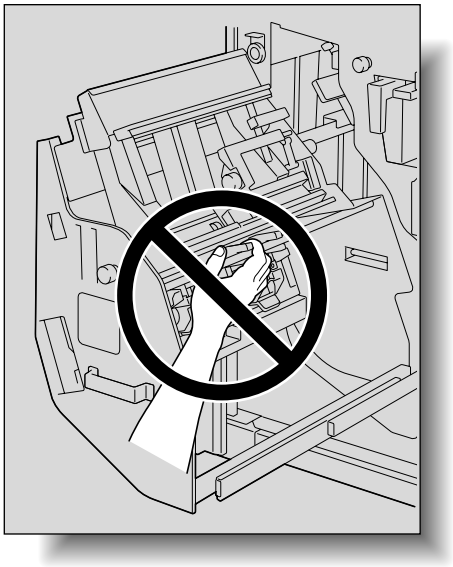


7

スタッカーユニットを元の位置に戻します。







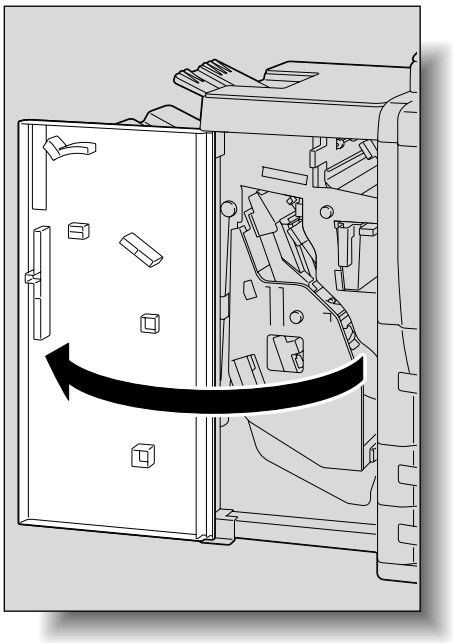
必ず守ってください

スタッカーユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN7】以外は持たないでください。
手、指を挟込む恐れがあります。

8 前ドアを閉じます。

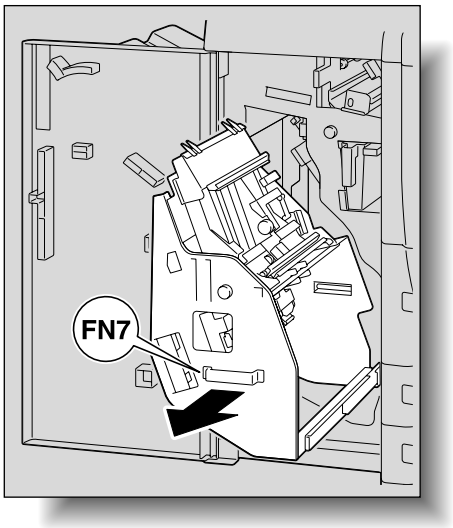
8.2.2　フィニッシャー FS-525 のステープルカートリッジ交換のしかた

1 前ドアを開きます。



2 取っ手【FN7】を持って、スタッカーユニットを引出します。

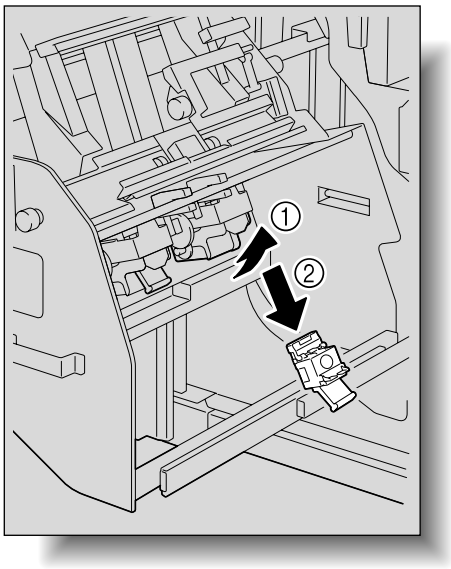
❍ スタッカーユニットが止まる位置までゆっくり引出します。



3

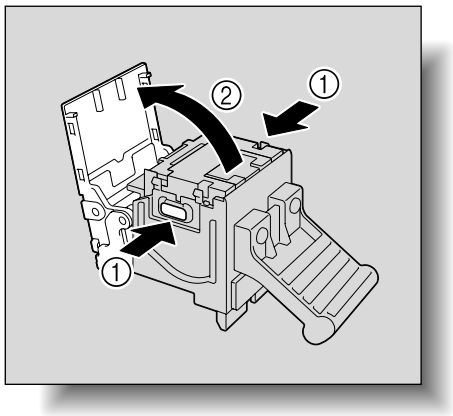
ステープルホルダーを取出します。

❍ ステープルホルダーのつまみを持って上に引き、下に引出します。



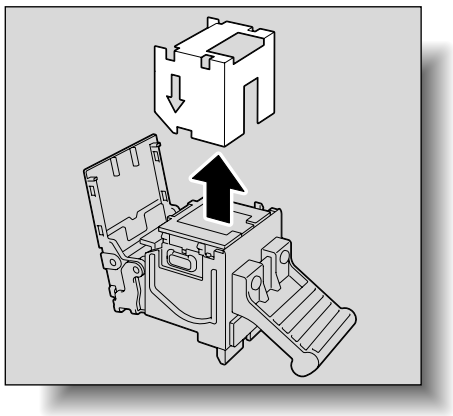
4

ステープルホルダーの「PUSH」を押して、ステープルホルダーのカバーを開きます。

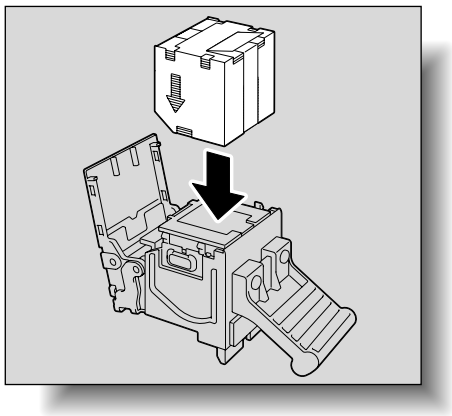


5

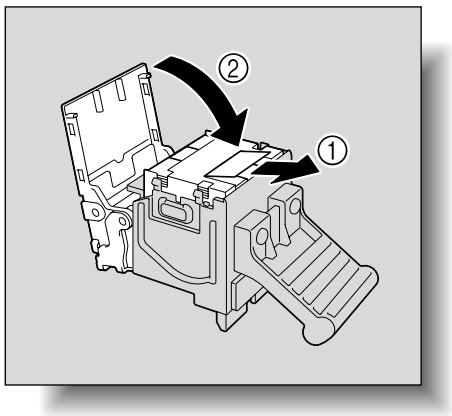
空になったケースを取出します。



6 新しいステープルをセットします。

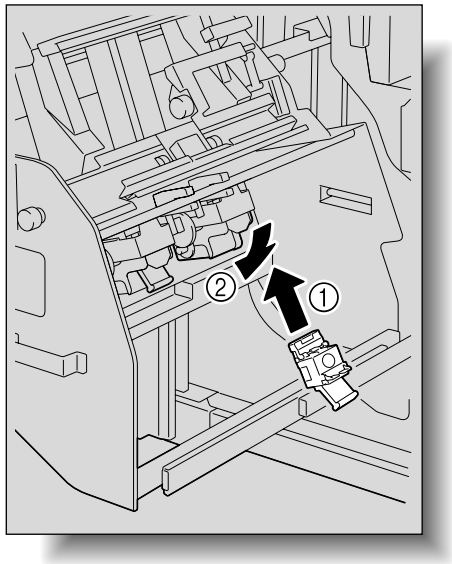


7 ステープルのテープをはがし、ステープルホルダーのカバーを閉じます。



8 ステープルホルダーを取付けます。

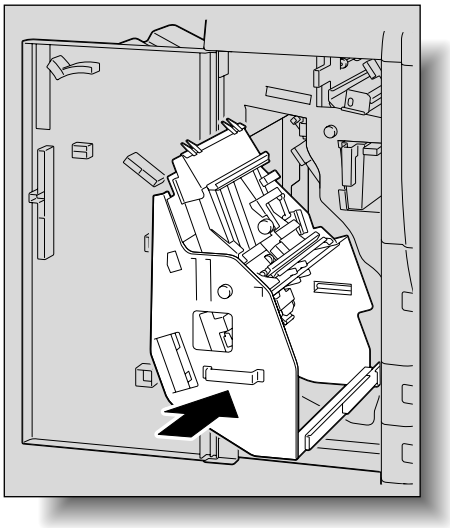
❍ ステープルホルダーが奥までしっかり固定されていることを確認してください。

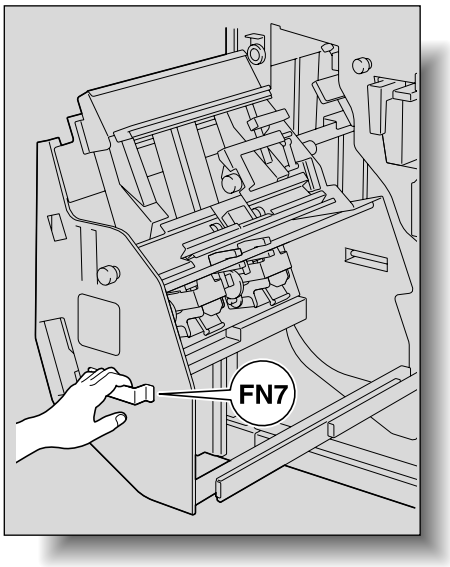


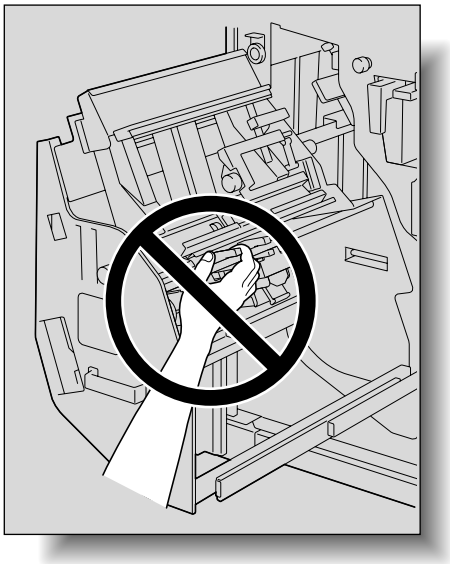
必ず守ってください

残っている針は取除かないでください。取除くと交換後のステープルは空打ちされステープルされません。

9 スタッカーユニットを元の位置に戻します。







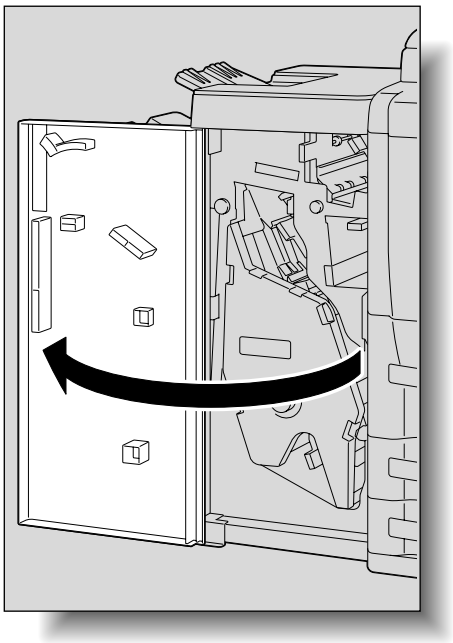
必ず守ってください

スタッカーユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN7】以外は持たないでください。
手、指を挟込む恐れがあります。

10 前ドアを閉じます。

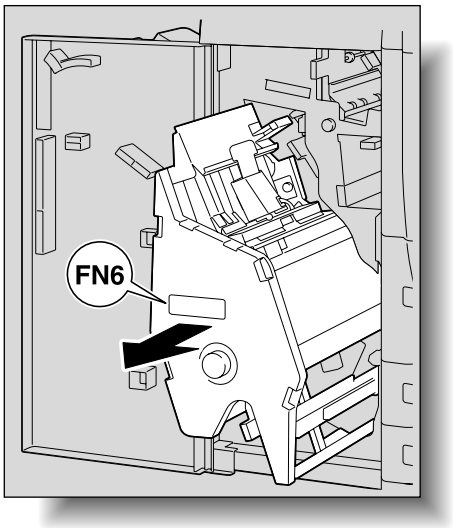
8.2.3　フィニッシャー FS-610 のステープルカートリッジ交換のしかた

1 前ドアを開きます。



2 取っ手【FN6】を持って、スタッカーユニットを引出します。

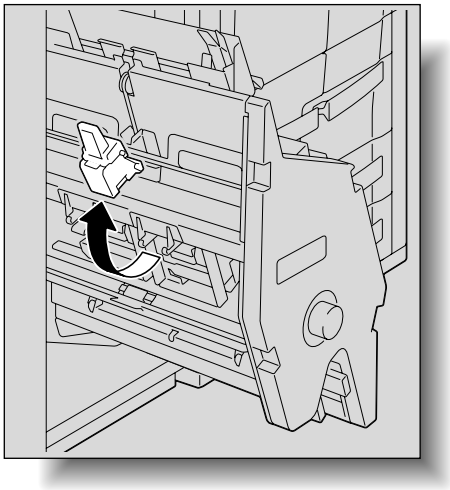
❍ スタッカーユニットが止まる位置までゆっくり引出します。



3

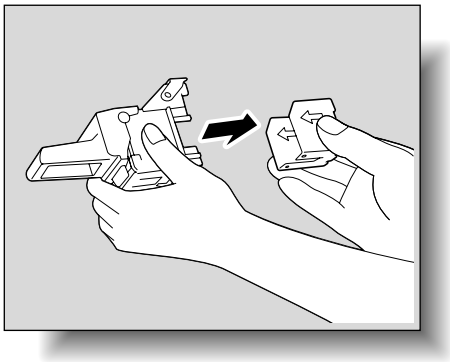
ステープルホルダーを取出します。

❍ ステープルホルダーのつまみを持って、上にあげ、引出します。



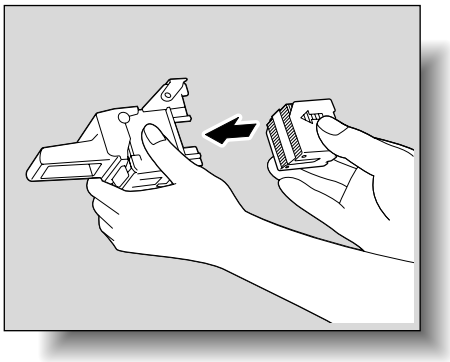
4

ステープルホルダーから空になったカートリッジを取出します。



5

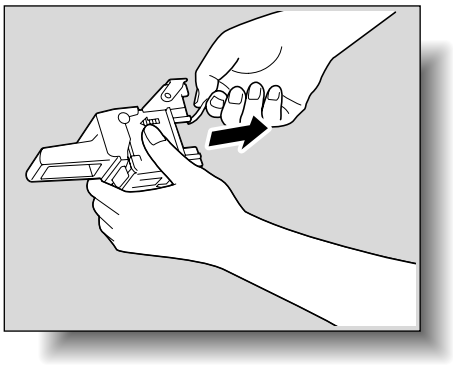
新しいステープルカートリッジをステープルホルダーにセットします。



必ず守ってください

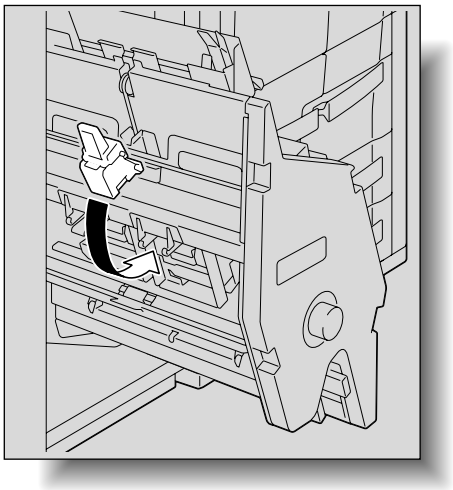
残っている針は取除かないでください。取除くと交換後のステープルは空打ちされステープルされません。

6 ストッパーシールをゆっくりはがします。

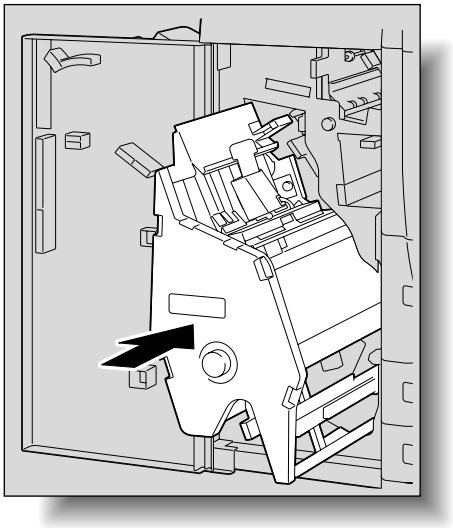


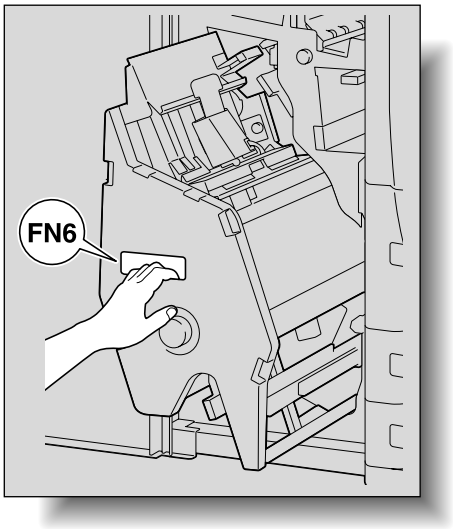
7 ステープルホルダーを取付けます。

❍ ステープルホルダーが奥までしっかり固定されていることを確認してください。



8 スタッカーユニットを元の位置に戻します。





必ず守ってください

スタッカーユニットを元の位置に戻すときは、取っ手【FN6】以外は持たないでください。
手、指を挟込む恐れがあります。

9 前ドアを閉じます。

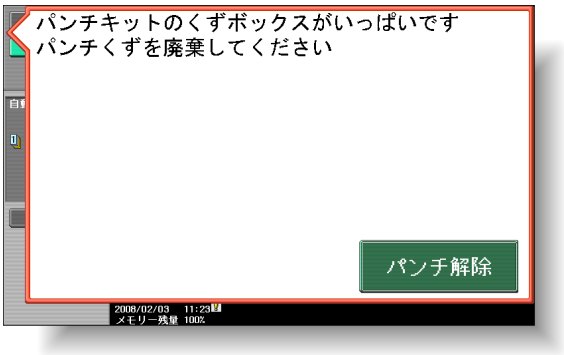
8.3　パンチくずを処理する

フィニッシャーでパンチキットを装着している場合、パンチくずがいっぱいになると下図のメッセージが表示されます。（ユーザー処理の場合）

＜パンチ設定時の表示＞

＜ジョブ実行中の表示＞

＜拡大表示機能時の表示＞



ひとこと

- パンチくずの処理のしかたについての設定は、サービス技術者が行います。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 出荷時設定では［サービス］が設定されています。メッセージが表示された場合、速やかにサービス実施店にご連絡ください。

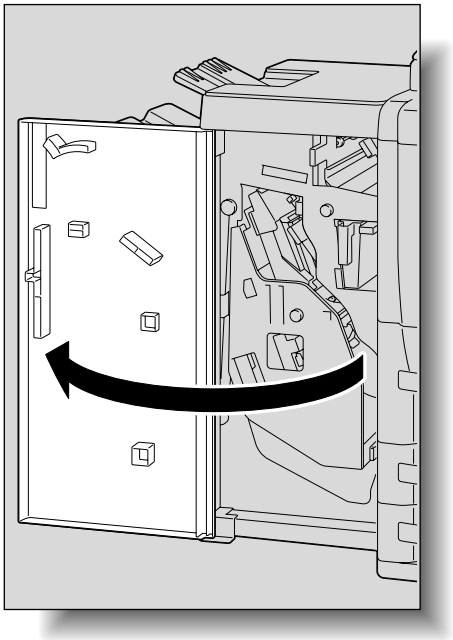
詳しく説明します

＜ユーザー処理の場合＞
ジョブ実行中にパンチくずがいっぱいになった場合、実行中のジョブは一時停止します。パンチ機能を解除せずにジョブを継続する場合は、パンチくずの処理を行ってください。パンチ機能を解除してジョブを継続する場合は、［パンチ解除］を押してください。
＜サービス処理の場合＞
ジョブ実行中にパンチくずがいっぱいになった場合、実行中のジョブは一時停止します。ジョブを継続する場合は［パンチ解除］を押してください。ただし、継続されたジョブはパンチされずに印刷されます。

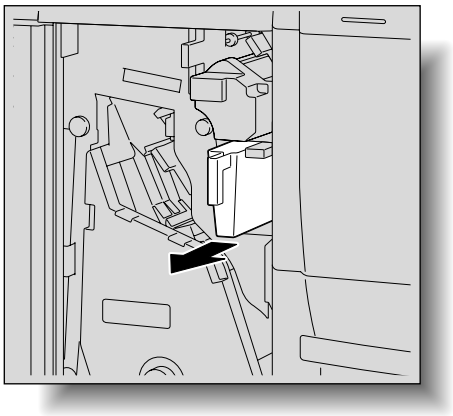
8.3.1　フィニッシャーのパンチくず処理のしかた

以下の手順にしたがって、パンチくずを廃棄してください。

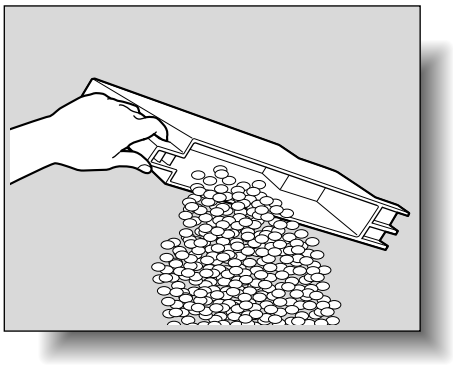
1. 前ドアを開きます。



2. パンチくずボックスを引出します。



3 パンチくずを廃棄します。



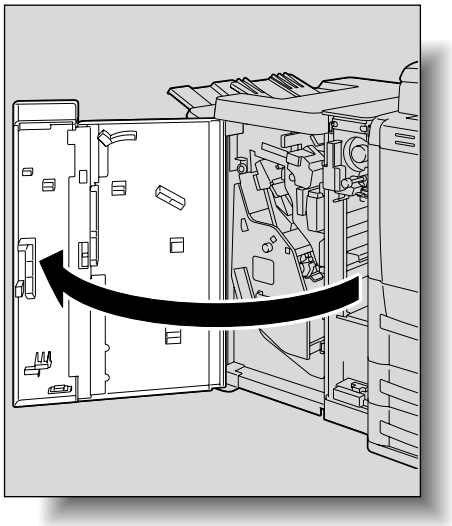
4 パンチくずボックスを元の位置にはめ込みます。

5 前ドアを閉じます。

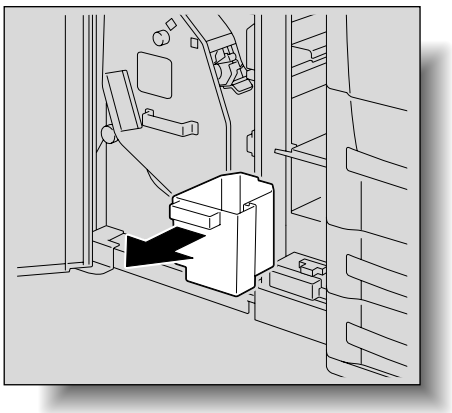
8.3.2　Z 折りユニットのパンチくず処理のしかた

以下の手順にしたがって、パンチくずを廃棄してください。

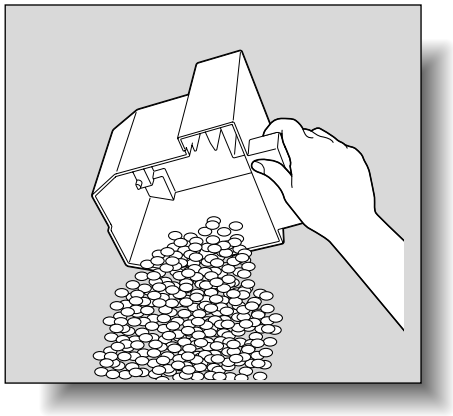
1 前ドアを開きます。



2 パンチくずボックスを引出します。



3 パンチくずを廃棄します。



4 パンチくずボックスを元の位置にはめ込みます。

5 前ドアを閉じます。

第 9 章
日頃の管理

本機の日頃の管理について説明します。

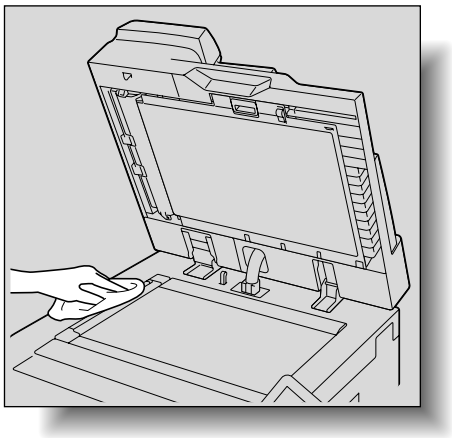
9.1　清掃のしかた 9-2
9.2　カウントを確認する 9-6
9.3　「装置の定期点検時期です」と表示されたら 9-7

9.1　清掃のしかた

ここでは、機械各部の清掃のしかたを説明します。
清掃時は必ず本体の種電源スイッチをオフにしてください。

9.1.1　原稿読取りガラスの清掃

原稿読取りガラスが汚れていると、ADF 使用時のコピー画像にタテスジができることがあります。
柔らかい布で原稿読取りガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

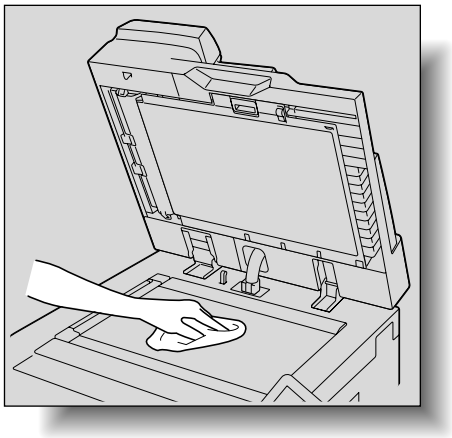


必ず守ってください

原稿読取りガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.2　原稿ガラスの清掃

原稿ガラスが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。
柔らかい布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



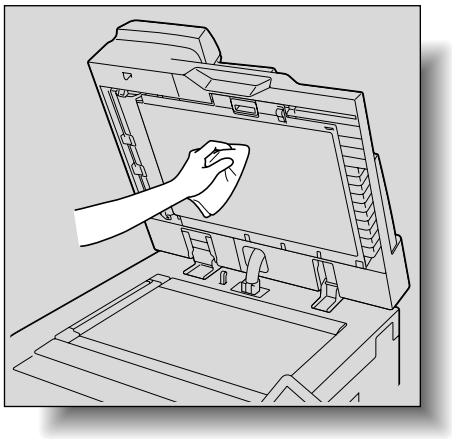
必ず守ってください

原稿ガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.3　原稿押さえパッドの清掃

原稿押さえパッドが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で原稿押さえパッドの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



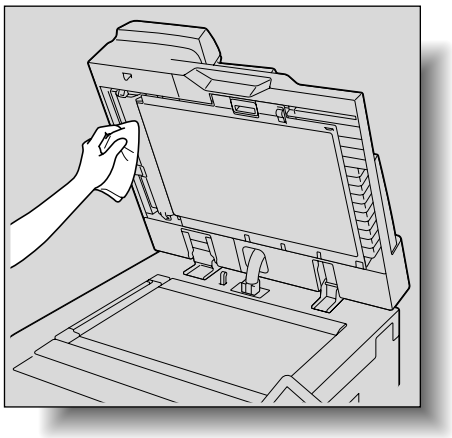
必ず守ってください

原稿押さえパッドの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.4　給紙ローラの清掃

給紙ローラが汚れていると、コピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で給紙ローラを乾拭きし、汚れを拭き取ります。

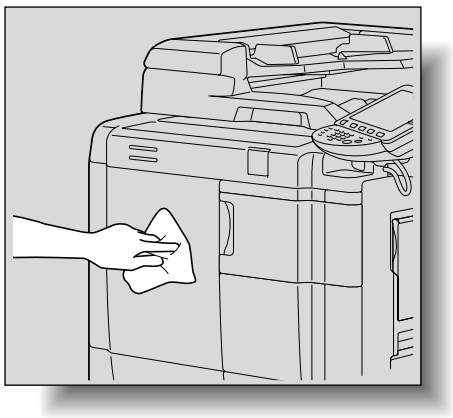


必ず守ってください

給紙ローラの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.5　機械外装の清掃

柔らかい布に家庭用中性洗剤を含ませ、機械外装の汚れを拭き取ります。

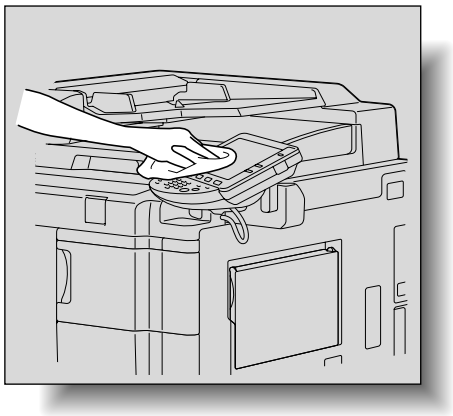


必ず守ってください

機械外装の清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.6　操作パネルの清掃

柔らかい布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



必ず守ってください

清掃時、操作のパネルのキーやタッチパネルを強く押さえないでください。また、機械外装の清掃に中性洗剤、ガラスクリーナーやベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.7　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 のお手入れ

＜外観のお手入れ＞

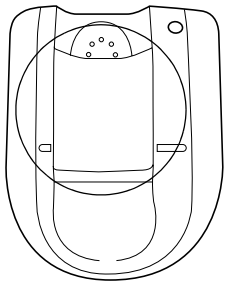
頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは汚れ具合により随時

外観は柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

＜読取り部のお手入れ＞

頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは指紋の跡や汚れが目立った時

読取り部分を眼鏡のレンズ拭きに使用するような柔らかい布で清掃します。大きな汚れが目立つ場合には、眼鏡用のレンズクリーナーなどで掃除します。



必ず守ってください

- お手入れの前に認証装置を本機から取外してください。USB ポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- 認証装置のお手入れの際、認証装置内部に水が入らないようにしてください。認証装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

ひとこと

- 認証装置の取外しおよび接続は、本機の主電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから本機の主電源を ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

9.1.8　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 のお手入れ

頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは汚れ具合により随時

柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

必ず守ってください

- お手入れの前に認証装置を本機から取外してください。USB ポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- 認証装置のお手入れの際、認証装置内部に水が入らないようにしてください。認証装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

ひとこと

- 認証装置の取外しおよび接続は、本機の主電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから本機の主電源を ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

9.2　カウントを確認する

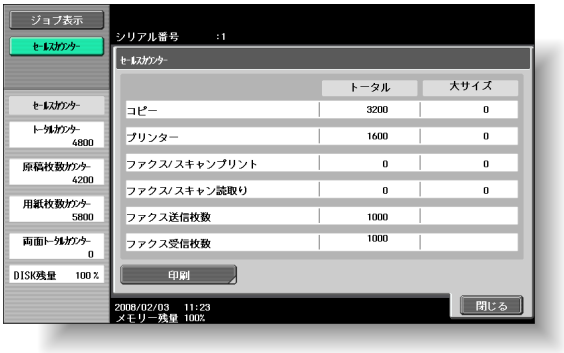
9.2.1　セールスカウンターを確認する

セールスカウンター表示画面を表示させて、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。
また、カウンターリストを印刷できます。

1. 【設定メニュー / カウンター】を押します。

2. 左エリアの［セールスカウンター］を押し、［詳細確認］を押します。

カウンターリスト表示画面が表示されます。



❍ カウンターリストを印刷する場合は、［印刷］を押し、用紙を選択して【スタート】を押します。

3. ［閉じる］を 2 回押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

コピー／印刷中でもカウンターリスト表示画面を表示させることができます。

9.3 「装置の定期点検時期です」と表示されたら

bizhub 751/601 の定期点検は 250,000 コピーごとに実施します。

「装置の定期点検時期です」と表示されたら、サービス実施店にご連絡し、定期点検を受けてください。

第 10 章
ジョブ確認

本機に登録されたジョブの確認、操作について説明します。

10.1　ジョブ表示画面の概要 10-2
10.2　ジョブ操作をする 10-6

10.1　ジョブ表示画面の概要

10.1.1　ジョブについて

コピーの準備をし、【スタート】を押すと、1 件のコピー動作が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、読込み動作やスキャナー、コンピューターからの印刷指示もジョブとして登録されます。

- ジョブ表示画面で、実行中のジョブやジョブ履歴を確認できます。
- 実行中リストの一番上にあるジョブから印刷されます。
- ジョブは、登録された順にジョブ番号が付けられ印刷など動作実行の順番を待ちます。

ひとこと

・ジョブ番号は識別番号です。印刷順を示す番号ではありません。またジョブ番号はジョブが削除されるまで変更されません。
・優先出力機能を使うと、指定したジョブを先に印刷できます。

10.1.2　マルチジョブ機能について

- 1 つのジョブの印刷中でも、別のジョブを登録できます。全てのジョブを合わせて最大 250 件まで登録できます。
  - ❍ 機能によるジョブ件数の詳細については下表をごらんください。

機能名	ジョブ件数
コピー	5
割込みコピー	1
スキャン	5
印刷	10
ファクス（クイックメモリー送信）	1
ファクス（メモリー送信）	50
ファクス（タイマー送信）	20
ファクス受信	100
ファクス（ポーリング受信）	1
ファクス（ポーリング送信）	1
共用	56
合計	250

※ 上記数値はあくまでも参考値であり、各設定条件により実際の値とは異なる場合があります。

- 1 つのジョブの印刷が完了すると、次に登録された印刷ジョブを自動的に開始します。

ひとこと

印刷ジョブ、スキャナー送信ジョブ、ファクス送信ジョブ、受信／保存ジョブ全てを含めて 250 件まで登録できます。

10.1.3　ジョブ表示画面について

ジョブ表示画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認や設定の変更を行うことができます。

- ジョブ表示画面は以下の機能ごとに表示されます。
  - 印刷
    コピー、コンピューターからの印刷、受信ファクスの印刷のジョブリストです。
  - 送信
    スキャナー、ファクス送信のジョブリストです。
  - ファクス受信
    受信ファクスのジョブリストです。
  - 保存
    ボックスへ文書を保存したジョブリストです。

各機能切換えは、どのジョブ表示画面でも行えます。ただし、設定変更中に切換えたときは、その設定は取消されます。

- 各機能のジョブリストは、それぞれ実行中リストと履歴リストがあります。
  - 実行中リスト：
    登録済みジョブ、現在実行中のジョブのリストです。現在の状況を確認できます。
  - 履歴リスト：
    動作終了ジョブのリストです。エラーなどで実行できなかったジョブも含みます。ジョブ履歴、実行結果を確認できます。
- 実行中リストと履歴リストは、表示するジョブの種類を選択できます。例えば、印刷画面の実行中リストの場合は蓄積ジョブまたは動作中ジョブから、履歴リストの場合は消去ジョブ、終了ジョブ、全ジョブから選択できます。画面によって選択できるジョブの種類は異なります。
- ジョブ表示画面の各キーの機能は、以下のとおりです。

名称	説明
［印刷］	ジョブ確認の印刷画面に切換わります。
［送信］	ジョブ確認のファクス / スキャン送信画面に切換わります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

ジョブ表示画面は、画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、表示される［ジョブ詳細］を押すと表示されます。

ひとこと

出荷時設定では、ジョブ表示画面の初期表示は「印刷」の実行中リストが設定されています。

名称		説明
［ファクス受信］		ジョブ確認の受信画面に切換わります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
［保存］		ジョブ確認の保存画面に切換わります。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
［実行中リスト］	反転表示されているキーが、現在表示されているジョブリストの条件を示しています。	履歴リストから実行中リストに切換わります。現在実行中のジョブと印刷待ち（待機中）ジョブが表示されます。
［履歴リスト］		実行中リストから履歴リストに切換わります。実行済みジョブが表示されます。
［削除］*1		実行中リストのジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブを削除する」（p. 10-6）をごらんください。
［優先出力］（印刷画面実行中リストの場合に表示）		印刷中ジョブの次に印刷するジョブを変更できます。詳しくは、「優先出力の設定をする」（p. 10-12）をごらんください。 ここに表示されるキーは、画面や実行中／履歴リストによって異なります。
［蓄積解除］ （印刷機能実行中リスト画面の場合に表示）		蓄積されたジョブのリストに切換わります。蓄積ジョブの設定変更、印刷、削除ができます。
［設定内容］*1		実行中リストのジョブの設定を確認できます。詳しくは、「ジョブの設定内容を確認する」（p. 10-7）、をごらんください。
［消去ジョブ］ ［終了ジョブ］ ［全ジョブ］ （印刷機能履歴リスト画面の場合に表示）		ジョブリストに表示するジョブの種類を指定できます。キーを押すと表示が切換わります。
［詳細］		実行中／履歴リストのジョブの状態、実行結果、エラー詳細、ユーザー名、登録時間、終了時間、原稿枚数、部数などを確認できます。詳しくは、「ジョブの詳細確認をする」（p. 10-7）をごらんください。
［↑］［↓］		ジョブの件数が、1 度に表示できる件数（7 件）を超えた場合にキーを押すと、現在表示されているジョブより印刷順位の高いジョブ、または印刷順位の低いジョブが表示されます。
［閉じる］		ジョブ確認機能は解除され、［ジョブ確認］を押す前の画面に戻ります。

*1　実行中リストを表示しているときに表示されます。

印刷画面の内容は以下のとおりです。

名称	説明
No.	ジョブの登録時につけられる、ジョブの識別番号を表示します。
登録元	ジョブの種類を表示します。コピージョブは“COPY”と表示されます。

名称	説明
状態（実行中リストのみ）	ジョブの状態を表示します。
文書名	PC 印刷ジョブ時にファイル名を表示します。 ユーザー認証時は、他のユーザーにはドキュメント名を表示しません。 セキュリティー文書の場合、ドキュメント名は表示しません。
登録時間	ジョブの登録時間を表示します。
原稿	原稿枚数を表示します。
部数	印刷部数を表示します。 実行中リストでは、ジョブが「印刷中」になると印刷部数をカウント表示します。
実行結果（履歴リストのみ）	ジョブの実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除）を表示します。

10.1.4　左エリアジョブリスト

基本設定画面の左エリアに、ジョブ一覧またはジョブの状態に関する情報を表示できます。

➔ 左エリアの［ジョブ表示］を押します。

左エリアがジョブ一覧の表示に切り換わります。

❍ ユーザー設定でジョブ表示設定を「状態表示」にしている場合、左エリアにはジョブの状態が表示されます。

❍ ［ジョブ詳細］を押すと、ジョブ表示画面が表示されます。

❍ ジョブ一覧のジョブを選択し、［削除］を押すと、そのジョブを削除できます。

❍ ジョブの件数が、一覧に表示できる件数（7 件）を超えた場合は、［↑］［↓］キーを押して表示するジョブを切換えます。

ひとこと

・出荷時設定では、左エリアの初期表示は［ジョブ表示］の［リスト表示］が設定されています。
・左エリアの初期表示や左エリアジョブリストの表示方法の設定については、「画面カスタマイズ設定」（p. 11-15）をごらんください。

10.2　ジョブ操作をする

10.2.1　ジョブを削除する

登録されたジョブや印刷中のジョブ（動作中リストのジョブ）を削除できます。

1 画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2 印刷タブを選択し、削除したいジョブを表示させます。

3 削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。

削除確認画面が表示されます。

4 内容を確認し、該当ジョブであれば、［はい］を押し、［OK］を押します。

［削除］を押す前の画面に戻り、実行中リストからジョブが削除されます。

ひとこと

・ユーザー認証を行っている場合に、他のユーザーがジョブを削除できない設定をしていると、削除できません。
・実行中のジョブについては、左エリアでジョブを選択し、［削除］を押しても削除できます。

ひとこと

履歴リストのジョブは削除できません。

詳しく説明します

・削除したいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
・ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーをもう 1 度押すと選択は取り消されます。

詳しく説明します

削除を中断する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

5 ［閉じる］または【リセット】を押します。

基本設定画面に戻ります。

10.2.2　ジョブの設定内容を確認する

登録されたジョブや印刷中のジョブ、印刷待ち、蓄積ジョブなどの設定内容を確認できます。

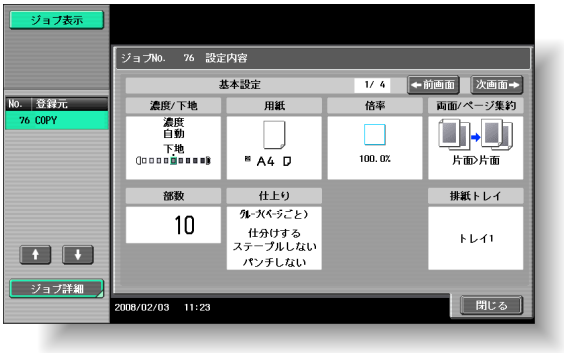
1 画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2 設定内容を確認したいジョブを表示させます。

3 確認したいジョブを選択し、［設定内容］を押します。

設定内容画面が表示されます。



4 設定内容の確認が終了したら、［閉じる］、【リセット】のいずれかを押します。

- ［閉じる］を押すと、［設定内容］を押す前の画面に戻ります。
- 【リセット】を押すと、基本設定画面に戻ります。

10.2.3　ジョブの詳細確認をする

ジョブ表示画面で、以下の内容を確認できます。

- 印刷画面
  状態（受信中、印刷待ち、印刷中、印刷停止、印刷エラー、蓄積中）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、一部のモード解除）*2、エラー詳細*2、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、時間（登録、終了*2）、枚数、部数、外部サーバー情報
- 送信画面
  状態（送信中、送信待ち、ダイアル中、リダイアル待ち）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去）*2、エラー詳細（エラー内容）*2、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類（E-Mail、ファイル FTP、ファイル SMB、TWAIN、ファクス、その他）、宛先（詳細*3）、時間（登録時間、通信時間）、原稿枚数、外部サーバー情報

詳しく説明します

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーをもう 1 度押すと選択は取り消されます。

詳しく説明します

- 設定内容画面の内容、画面数は、ジョブによって異なります。
- ［←前画面］の左の数字の分子が現在表示されている画面番号、分母が総画面数を示しています。
- ［←前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。

- ファクス受信画面
  状態（受信中、ダイアル中（ポーリング受信時のみ）、印刷待ち、印刷中、印刷停止、印刷エラー、メモリー保存中）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除）*2、エラー詳細（エラー内容）*2、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、時間（登録時間、通信時間）、原稿枚数
- 保存画面
  状態（受信中、メモリー保存中）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除）*2、文書名、登録元／ユーザー名、登録時間、原稿枚数、ボックス番号、ボックス名、外部サーバー情報

*1　実行中リストのジョブのみ表示
*2　履歴リストのジョブのみ表示
*3　実行中リストの複数宛先へ送信ジョブのみ表示

1 画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2 詳細確認をしたいジョブを表示させます。

3 詳細確認をしたいジョブを選択し、［詳細］を押します。

詳細確認画面が表示されます。

4 確認が終了したら、［閉じる］、【リセット】のいずれかを押します。

❍［閉じる］を押すと、［詳細］を押す前の画面に戻ります。
❍【リセット】を押すと、基本設定画面に戻ります。

詳しく説明します

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーをもう 1 度押すと選択は取り消されます。

詳しく説明します

・詳細確認画面で、［削除］を押すとジョブを削除できます。
・送信画面の詳細確認画面で［詳細］が表示されたら、同報宛先で送信した複数の宛先詳細情報があります。［詳細］を押すと確認できます。

10.2.4　実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する

コピー機能、PC 印刷機能、ファクス機能の受信印刷の実行中リストが表示されます。

1 画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2 目的のリストのキーを押します。

❍ 蓄積ジョブを確認する場合は、［蓄積解除］を押し、蓄積解除画面を表示します。

［中止］を押すと、ジョブ表示画面に戻ります。

10.2.5　履歴リストを表示する

1 画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2 ［履歴リスト］を押します。

印刷の履歴リスト画面が表示されます。

参照

各キーのはたらきについては、「ジョブ表示画面について」（p. 10-3）をごらんください。

参照

- 蓄積解除画面では、蓄積ジョブを 1 部印刷して確認できます。詳しくは、「蓄積ジョブを 1 部印刷して確認する」（p. 10-10）をごらんください。
- 蓄積解除画面では、蓄積ジョブを印刷できます。詳しくは、「蓄積ジョブを印刷する」（p. 10-11）をごらんください。
- 実行中リスト画面で［優先出力］を押すと、目的のジョブを優先出力できます。詳しくは、「優先出力の設定をする」（p. 10-12）をごらんください。

3 目的のリストのキーを押します。

- 消去ジョブ：終了前に消去したジョブだけを表示
- 終了ジョブ：正常終了したジョブだけを表示
- 全ジョブ：全てのジョブを表示

10.2.6　蓄積ジョブを 1 部印刷して確認する

確認のために蓄積ジョブを 1 部印刷できます。

蓄積ジョブリストには、確認コピー中にシステムオートリセットが機能したジョブなどが表示されます。

1 印刷の実行中リストで［蓄積解除］を押します。

蓄積解除画面が表示されます。

2 ジョブリストから確認印刷をするジョブを選択し、【確認コピー】を押します。

- 1 部印刷されますので、印刷結果を確認します。

参照

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」（p. 10-9）をごらんください。

詳しく説明します

- 蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、選択したジョブをもう 1 度押すと選択は取消されます。
- 確認印刷を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 設定を変更したい場合は、蓄積解除画面で［設定変更］を押します。詳しくは、「蓄積ジョブを印刷する」（p. 10-11）をごらんください。

10.2.7　蓄積ジョブを印刷する

蓄積を解除し、ジョブを印刷します。

1 印刷の実行中リストで［蓄積解除］を押します。

蓄積解除画面が表示されます。

2 ジョブリストから蓄積解除をするジョブを選びます。

❍ 設定されているコピー条件を変更しない場合は、手順 5 へ進みます。

3 ［設定変更］を押します。

設定変更画面が表示されます。

4 設定変更画面でコピー条件を変更して、［OK］を押します。

参照

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」（p. 10-9）をごらんください。

詳しく説明します

- 蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、選択したジョブをもう 1 度押すと選択は取消されます。

参照

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

5 蓄積解除画面で［実行］または【スタート】を押します。

蓄積ジョブは動作中ジョブリストに表示され、印刷されます。

10.2.8　優先出力の設定をする

印刷中のジョブの次に印刷するジョブを変更できます。

原則

管理者設定のジョブ優先順位変更を禁止に設定している場合は、［優先出力］は表示されず、優先出力は設定できません。

1 印刷の実行中リスト画面を表示します。

2 ［優先出力］を押します。

優先出力画面が表示されます。

3 ジョブリストの優先出力をしたいジョブを押して反転させてから、［実行］を押します。

選択したジョブがリストの一番上に移動し、印刷を開始します。

詳しく説明します

- 確認印刷をしたい場合は、p. 10-10 をごらんください。
- 蓄積解除を中止する場合は、［中止］を押します。

詳しく説明します

- 印刷中のジョブが割込み可能な設定の場合は、印刷を中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割込んだジョブの印刷が完了すると自動的に印刷を再開します。
- 印刷中のジョブが割込み不可な設定の場合（割込みコピー中、および優先出力中）は、現在の印刷の完了後に割込み印刷を開始します。

参照

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」（p. 10-9）をごらんください。

詳しく説明します

- 優先出力をしたいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを選択しなおすか、選択したジョブをもう 1 度押すと選択は取消されます。
- 優先出力を中止する場合は、［中止］を押します。

第 11 章
設定メニュー

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

11.1　設定メニューの概要 11-2
11.2　宛先登録を選択する 11-6
11.3　ユーザー設定を選択する 11-13
11.4　管理者設定を選択する 11-22
11.5　ウィークリータイマーの設定の概要 11-38
11.6　フィニッシャー調整 11-39
11.7　ヘッダー / フッターを設定する 11-59
11.8　認証方式 11-62
11.9　ユーザー認証設定 11-67
11.10　部門管理設定 11-74
11.11　パスワード規約 11-78
11.12　セキュリティー強化設定 11-79

11.1　設定メニューの概要

11.1.1　登録・設定項目一覧表

【設定メニュー / カウンター】を押したときに表示されるキーを記載します。

ひとこと

設定メニューに表示されるキーは設定により異なります。

設定メニュー一覧

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
[1] 宛先 / ボックス登録	[1] ファクス / スキャン宛先登録	[1] 短縮宛先	「ファクス / スキャン宛先登録」（p. 11-6）をごらんください。
		[2] グループ宛先	
		[3] E-mail	
		[4] 着信拒否宛先	
	[2] ボックス登録	[1] 共有 / 個人ボックス	「ボックス登録」（p. 11-6）をごらんください。
		[2] 掲示板ボックス	
		[3] 中継ボックス	
	[3] 参照許可設定	[1] 宛先レベル設定	「参照許可設定」（p. 11-6）をごらんください。
[2] ユーザー設定	[1] 環境設定	[1] 言語選択	「環境設定」（p. 11-13）をごらんください。
		[2] 単位系設定	
		[3] 給紙トレイ設定	
		[4] パワーセーブ設定	
		[5] 出力設定	
		[6] 白紙ページ印字設定	
		[7] 原稿画質の濃度シフト	
		[8] ページ番号の印字位置設定	
	[2] 画面カスタマイズ設定	[1] コピー設定	「画面カスタマイズ設定」（p. 11-15）をごらんください。
		[2] ファクス / スキャン設定	
		[3] コピー動作中画面	
		[4] ファクス動作中画面	
		[5] 選択色設定	
		[6] 左エリア初期表示設定	
		[7] 検索オプション設定	
	[3] コピー設定	中とじ時小冊子選択	「コピー設定」（p. 11-17）をごらんください。
		集約 / 小冊子倍率	
		ソート / グループ自動切替え	
		コピー初期設定	
		拡大表示初期設定	
		AMS 方向不可時動作	
		連続読込み方法	
		拡大ローテーション	
		原稿ガラス自動倍率	
		ADF 自動倍率	
		APS 解除時のトレイ指定	
		インターシートトレイ選択	
		三つ折り印刷面方向	
		コピー操作時の印刷受付	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
		自動画像回転	
		原稿ガラス 1 枚読込み時の印字面	
	［4］ファクス / スキャン設定	白黒 2 値圧縮方法	「ファクス / スキャン設定」（p. 11-19）をごらんください。
		ファクス / スキャン初期設定	
	［5］プリンター設定	［1］基本設定	「プリンター設定」（p. 11-19）をごらんください。
		［2］用紙設定	
		［3］PCL 設定	
		［4］PS 設定	
		［5］XPS 設定	
		［6］TIFF 画像用紙設定	
		［7］レポート出力	
		［8］画像シフト設定	
		［9］スタンプ設定	
	［6］パスワード変更		現在ログイン中のユーザーのパスワードを変更します。「パスワード変更」（p. 11-20）をごらんください。
	［7］E-mail アドレス変更	E-mail アドレス	現在ログイン中のユーザーの E-mail アドレスを変更します。「E-mail アドレス変更」（p. 11-20）をごらんください。
	［8］トナー補給		「トナー補給」（p. 11-20）をごらんください。
［3］管理者設定	［1］環境設定	［1］パワーセーブ設定	「環境設定」（p. 11-22）をごらんください。
		［2］出力設定	
		［3］日時設定	
		［4］サマータイム設定	
		［5］ウィークリータイマー設定	
		［6］ユーザー操作禁止設定	
		［7］エキスパート調整	
		［8］リスト / カウンター	
		［9］リセット設定	
		［0］ボックス設定	
		（次画面）	
		［1］サイズ設定	［1］サイズ設定の詳細については、サービス実施店にお問い合わせください。
		［2］スタンプ設定	
		［3］白紙ページ印字設定	
		［4］ページ番号の印字位置設定	
		［5］ジョブ飛越し動作設定	
	［2］管理者 / 本体登録	［1］管理者登録	「管理者 / 本体登録」（p. 11-28）をごらんください。
		［2］本体アドレス登録	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	[3] 宛先 / ボックス登録	[1] ファクス / スキャン宛先登録	「宛先 / ボックス登録」（p. 11-28）をごらんください。
		[2] ボックス登録	
		[3] 宛先登録リスト	
		[4] 最大ボックス数設定	
	[4] ユーザー認証 / 部門管理	[1] 認証方式	「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 11-29）をごらんください。
		[2] ユーザー認証設定	
		[3] 部門管理設定	
		[4] 認証指定なし印刷	
		[5] 使用管理カウンターリスト	
		[6] 外部サーバー設定	
		[7] 参照許可設定	
		[8] 認証装置設定	
	[5] ネットワーク設定	[1] ネットワーク使用設定	「ネットワーク設定」（p. 11-31）をごらんください。
		[2] TCP/IP 設定	
		[3] NetWare 設定	
		[4] http サーバー設定	
		[5] FTP 設定	
		[6] SMB 設定	
		[7] LDAP 設定	
		[8] E-mail 設定	
		[9] SNMP 設定	
		[0] AppleTalk 設定	
		（次画面）	
		[1] Bonjour 設定	
		[2] TCP Socket 設定	
		[3] ネットワークファクス設定	
		[4] WebDAV クライアント設定	
		[6] Web サービス設定	
		[7] 詳細設定	
	[6] コピー設定	原稿ガラス自動倍率	「コピー設定」（p. 11-32）をごらんください。
		ADF 自動倍率	
		APS 解除時のトレイ指定	
		インターシートトレイ選択	
		コピー操作時の印刷受付	
		三つ折り印刷面方向	
		自動画像回転	
		原稿ガラス 1 枚読込み時の印字面	
	[7] プリンター設定	USB タイムアウト	「プリンター設定」（p. 11-33）をごらんください。
		ネットワークタイムアウト	
		XPS エラー印刷	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	［8］ファクス設定	［1］発信元 / ファクス ID 登録	「ファクス設定」（p. 11-33）をごらんください。
		［2］発信元 / 受信情報	
		［3］回線パラメーター設定	
		［4］送信 / 受信設定	
		［5］機能設定	
		［6］PBX 接続設定	
		［7］レポート出力設定	
		［8］設定値リスト	
		［9］増設回線設定	
		［0］ネットワークファクス設定	
	［9］システム連携	［1］OpenAPI 設定	「システム連携」（p. 11-33）をごらんください。
	［0］セキュリティー設定	［1］管理者パスワード	「セキュリティー設定」（p. 11-33）をごらんください。 ［4］セキュリティー詳細では［監査ログ設定］ができます。詳細については、サービス実施店にお問い合わせください。
		［2］ボックス管理者設定	
		［3］ユーザー開放レベル	
		［4］セキュリティー詳細	
		［5］セキュリティー強化設定	
		［6］HDD 管理設定	
		［7］管理機能設定	
		［8］スタンプ設定	
		［0］ドライバーパスワード暗号化設定	
		（次画面）	
		［1］フラッシュメモリーロックパスワード	

11.2　宛先登録を選択する

ここでは【設定メニュー / カウンター】を押し、［宛先 / ボックス登録］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

11.2.1　ファクス / スキャン宛先登録

設定項目	機能説明
短縮宛先	ファクスおよびスキャナーに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
グループ宛先	
E-Mail	
着信拒否宛先	

ひとこと

・ユーザー認証を行う設定にした場合、ユーザーがログアウト状態のとき［1 宛先 / ボックス登録］は選択できません。ただし、ユーザー認証によりログインしているとき［1 宛先 / ボックス登録］は表示されます。
・ファクスに関連する登録項目は、FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に表示されます。

11.2.2　ボックス登録

設定項目	機能説明
共有 / 個人ボックス	ボックスに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
掲示板ボックス	
中継ボックス	

ひとこと

FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に、［2 掲示板ボックス］［3 中継ボックス］は表示されます。

11.2.3　参照許可設定

＜参照許可レベル＞

本機では、「参照許可レベル」を使用し、登録された宛先のそれぞれに対して、内容の閲覧やファクス送信時の使用などを許可・不許可して、セキュリティーを管理することができます。

参照許可レベルには、レベル 0 ～レベル 5 までの 6 段階があり、数字が高いほどセキュリティーレベルも高くなります。

＜レベル設定＞

すべてのユーザーおよび宛先に、参照許可レベルを設定することができます。

ユーザーの参照許可レベルと宛先の参照許可レベルの大小を比較することによって、ユーザーの参照できる宛先を制限できます。

例えば、レベル 2 のユーザーであれば、レベル 0 ～レベル 2 までの宛先を参照でき、レベル 3 ～レベル 5 の宛先については参照できません。レベル 5 のユーザーは、レベル 0 ～レベル 5 までのすべての宛先を参照できます。

ひとこと

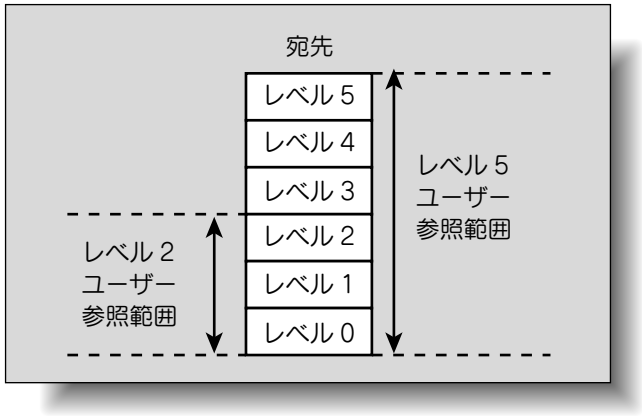
参照許可設定で設定したユーザー、宛先、グループのレベルは、ユーザー認証時に利用することができます。

参照

ユーザーの参照許可レベルの設定については、「＜参照許可設定＞」（p. 11-30）をごらんください。

ひとこと

初期状態では、パブリックユーザーに対してレベル 0 の参照許可レベルが設定されています。



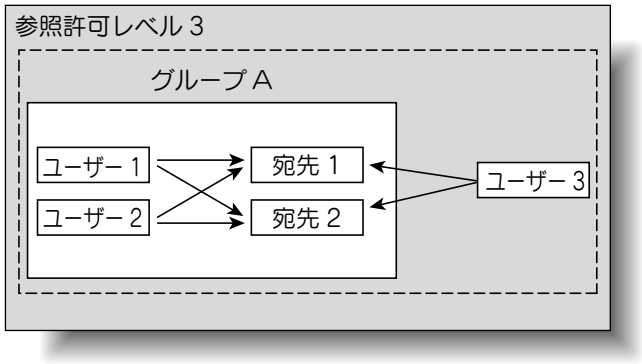
<グループ>

個別のユーザーおよび宛先のほかに、任意の名称で参照許可のためのグループを作成できます。

このグループには複数のユーザーおよび宛先を登録することができ、グループに登録された宛先は、同じようにグループに登録されたユーザーから参照できるようになります。

また、グループそのものにも参照許可レベルがあり、グループに登録されていないユーザーであっても、レベル条件による参照許可が可能になります。

1 つの宛先は、1 つのグループだけに登録できます。また、1 人のユーザーは、複数のグループに登録することができます。



<グループの設定のしかた>

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［7 参照許可設定］を押します。

   参照許可設定画面が表示されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

4 ［1 グループ登録］を押します。

グループ登録画面が表示されます。

5 目的のグループキーを押し、［編集］を押します。

各グループの編集画面が表示されます。

6 ［グループ名］を押します。

グループ名画面が表示されます。

7 グループ名を入力し（入力文字制限：最大 24 文字）、［OK］を押します。

グループ名が設定されます。

8 目的の参照可能レベルを押します。

グループの参照可能レベルが設定されます。

9 ［OK］を押します。

詳しく説明します

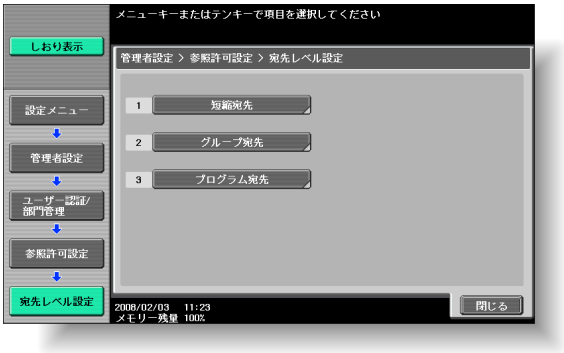
- グループは合計 20 件まで登録できます。
- グループ登録画面でグループキーを押し［詳細］を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

＜宛先レベルの設定のしかた＞

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［7 参照許可設定］を押します。
   参照許可設定画面が表示されます。
4. ［2 宛先レベル設定］を押します。
   宛先レベル設定画面が表示されます。
5. 目的の宛先項目を押します。



参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

詳しく説明します

短縮宛先の場合、宛先の頭文字の検索キーを押し、宛先を検索します。

6 目的の項目のキーを押します。

❍ 宛先のグループを設定する場合は、［参照許可グループ設定］を押します。目的のグループを選択し、［OK］を押します。

❍ 宛先のレベルを設定する場合は、［参照許可レベル設定］を押します。目的のレベルを選択し、［OK］を押します。

<ユーザーレベルの設定のしかた>

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［7 参照許可設定］を押します。

参照許可設定画面が表示されます。

4 ［3 ユーザーレベル設定］を押します。

ユーザーレベル設定画面が表示されます。

詳しく説明します

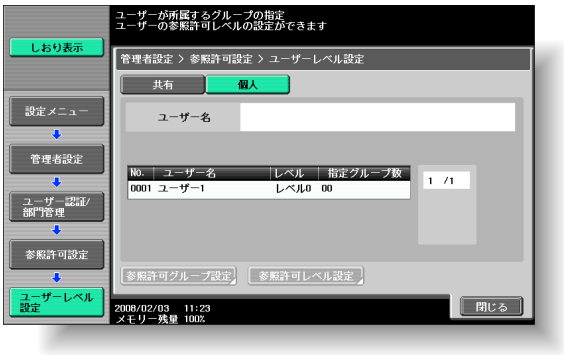
- 1 つの宛先には、参照許可レベルと参照許可グループのどちらか一方だけを設定できます。
- 1 つの宛先に設定できる参照許可グループは 1 つだけです。
- グループキーを押し［詳細］を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

5

ユーザーの種類を［共有］［個人］から選択し、目的の宛先項目を押します。

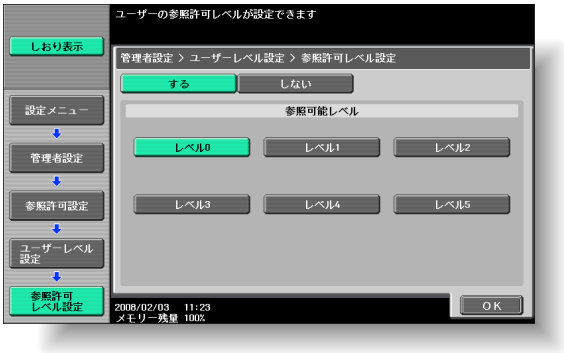


6

目的の項目のキーを押します。

❍ ユーザーのグループを設定する場合は、［参照許可グループ設定］を押します。［する］を押して目的のグループを選択し、［OK］を押します。

❍ ユーザーのレベルを設定する場合は、［参照許可レベル設定］を押します。［する］を押して目的のレベルを選択し、［OK］を押します。



ひとこと

- ［共有］［個人］の選択項目が表示されるのは、パブリックユーザーを許可している場合のみです。
- パブリックユーザーの使用を許可している場合、共有ユーザー項目に「Public」という名称で表示されます。初期状態ではレベル 0 に設定されています。

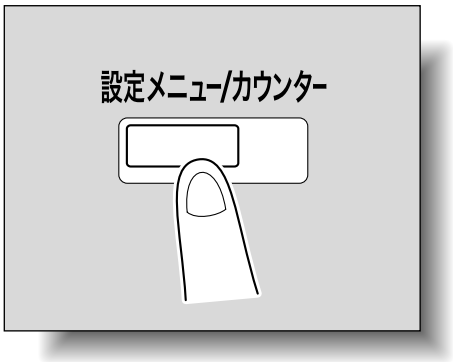
詳しく説明します

- 1 人のユーザーに、参照許可レベルと参照許可グループの両方を設定できます。
- 1 人のユーザーには、複数の参照許可グループを設定できます。
- グループキーを押し［詳細］を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

11.2.4　宛先登録画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、［宛先登録］を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンター】を押します。



2 ［1 宛先 / ボックス登録］を押します。

宛先 / ボックス登録画面が表示されます。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［1 宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーの【1】を押します。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、【設定メニュー / カウンター】を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

11.3　ユーザー設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンター】を押し、［ユーザー設定］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

11.3.1　環境設定

< 言語選択 >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される言語を以下の中から設定できます。 日本語、英語	日本語

< 単位系設定 >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される数値の単位を以下の中から設定できます。 mm（数値）、インチ（数値）、インチ（分数）	mm（数値）

< 給紙トレイ設定 >

設定項目	機能説明	出荷時設定
給紙トレイ自動選択	自動用紙機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。また、自動トレイ切換え機能がはたらいたとき、トレイを切換える優先順位を設定できます。	トレイの優先順：トレイ 1 →トレイ 2 →トレイ 3 →トレイ 4 →手差し→ LCT*
ATS 許可	給紙トレイを手動で選択し、コピー中にそのトレイが用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかどうかを設定できます。	許可しない
指定給紙トレイ不一致動作	指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。 ・［指定給紙トレイ固定］： 動作を停止します。 ・［指定給紙トレイ優先］： 指定された給紙トレイに対して該当の用紙サイズおよび用紙種類がセットされていなかった場合に、他の給紙トレイに該当の用紙があればその給紙トレイを選択します。	指定給紙トレイ固定
リスト印刷出力設定	セールスカウンター、ユニットチェックなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定できます。	トレイ 1、片面
用紙種類 / サイズ設定	各給紙トレイで使用する用紙の種類をトレイごとに選択します。	各トレイ、普通紙
ポストインサーター警告時表示設定	ポストインサータのトレイ表示、警告表示時に用紙サイズ、用紙方向を表示するかしないかを設定します。	する

* オプションの大容量給紙ユニット LU-405/406 装着時に表示されます。

<パワーセーブ設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を1分～240分から設定できます。	1分：オプションなし 15分：オプションあり
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を1分～240分から設定できます。	1分：オプションなし 60分：オプションあり

<出力設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
受信印刷出力設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイドネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」「ユーザーズガイドプリンター機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンター、レポート出力、ファクスのそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ1 プリンター：トレイ1 レポート出力：トレイ2 ファクス：トレイ2

<白紙ページ印字設定>

機能説明	出荷時設定
白紙ページにスタンプ / ページ印字の印字を行うか設定できます。	印字しない

<原稿画質の濃度シフト>

機能説明	出荷時設定
基本設定画面のマニュアル濃度設定では、9つの濃度レベルが選択できますが、その濃度レベルを6段階シフトすることができます。	文字 / 写真：2 文字：3 写真：0 薄文字原稿：2

<ページ番号の印字位置設定>

機能説明	出荷時設定
両面印刷、小冊子を設定した場合に同時設定されたページの裏面印字位置を設定できます。	同位置

ひとこと

管理者設定のユーザー開放レベルが［レベル1］、［レベル2］に設定されている場合にのみ、［パワーセーブ設定］は表示されます。

参照

ユーザー開放レベルについては、「セキュリティー設定」（p. 11-33）をごらんください。

ひとこと

- 管理者設定のユーザー開放レベルが［レベル2］に設定されている場合にのみ、［出力設定］、［原稿画質の濃度シフト］、［ページ番号の印字位置設定］、［白紙ページ印字調整］が表示されます。
- 排紙トレイ設定は、オプションのフィニッシャーを装着している場合にのみ有効になります。

11.3.2　画面カスタマイズ設定

<コピー設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
基本画面表示	コピー機能の基本画面の表示を設定できます。 ・［基本設定］： 通常の基本表示です。 ・［基本（一括）］： 用紙、倍率、両面 / ページ集約の各機能について、選択可能な項目が一括表示されます。通常の［基本設定］画面も、別のタブとして表示されます。	基本設定
ショートカットキー 1	よく使用するコピー応用機能のショートカットキーをコピーの基本画面に配置できます。	使用しない
ショートカットキー 2		

<ファクス / スキャン設定>

設定項目	機能説明
基本画面表示	ファクスおよびスキャナー機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
プログラム初期表示	
アドレス帳初期表示	
ショートカットキー 1	
ショートカットキー 2	
「登録宛先から」初期表示	

<コピー動作中画面>

設定項目	機能説明	出荷時設定
印刷中画面表示	印刷動作中の画面表示を設定できます。 ・［する］：印刷動作中に印刷中画面が表示され［次ジョブ予約］を押すとジョブの予約ができます。 ・［しない］：コピー機能の基本設定画面が表示され、コピー予約ができます。	しない

<ファクス動作中画面>

設定項目	機能説明
送信中画面表示	ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
受信中画面表示	

<選択色設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
選択色	キーの選択状態を示す色を指定できます。	グリーン

＜左エリア初期表示設定＞

設定項目	機能説明	出荷時設定
左エリア初期表示	左エリアで初期表示される内容を設定できます。 ・ジョブ表示： 実行中および待ち状態のジョブの一覧が表示されます。 ・設定内容： 現在のコピー設定の内容が表示されます。	ジョブ表示
ジョブ表示設定	左エリアのジョブ表示の内容を設定できます。 ・リスト表示： 実行中および待ち状態のジョブを一覧で表示します。 ・状態表示： 実行中のジョブの進行状況を表示します。	リスト表示

＜検索オプション設定＞

設定項目	機能説明	出荷時設定
英大文字と英小文字	宛先検索で大文字、小文字を区別するかどうか設定できます。	区別する
検索オプション画面	［英大文字と英小文字］の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかどうか設定できます。	表示しない

11.3.3　コピー設定

設定項目	機能説明	出荷時設定
中とじ時小冊子選択	中とじを選択したとき自動で小冊子の設定をするかしないかの設定ができます。オプションのフィニッシャーが装着されている場合に有効です。	自動選択する
集約 / 小冊子倍率	自動用紙設定時に集約または小冊子を選択すると、自動で適した倍率を選択するかどうかを設定できます。 ・［お勧め倍率］： 以下のように倍率が設定されます。 2in1、小冊子・・・70.7% 4in1・・・50.0% 8in1・・・35.3% ・［設定しない］： 倍率は自動で設定されません。	お勧め倍率
ソート / グループ自動切替え	1 ジョブで印刷する用紙枚数が 2 枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切換えをするかしないかを設定できます。 ・［する］： ADF に原稿をセットし、【スタート】を押したときに、原稿枚数が 1 枚の場合は自動的にソートしないを選択し、原稿枚数が 2 枚以上の場合は自動的にソートするを選択します。 ・［しない］： ソートする／しないの自動切換えは行いません。	する
コピー初期設定	コピー機能の初期設定値を設定できます。電源スイッチを ON【｜】にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるコピー条件を設定できます。 ・［現在の設定値］： 設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がコピー機能の初期設定として登録されます。 ・［出荷時の設定値］： 工場出荷時の設定値がコピー機能の初期設定に登録されます。	出荷時の設定値
拡大表示初期設定	拡大表示画面を表示させたときの初期設定値を設定できます。 ・［現在の設定値］： 設定メニュー画面に入る前に拡大表示画面で設定された各項目が拡大表示画面の初期設定として登録されます。 ・［出荷時の設定値］： 工場出荷時の設定値が拡大表示画面の初期設定に登録されます。	出荷時の設定値
AMS 方向不可時動作	自動倍率を設定しているときに、原稿と用紙の方向が適さない場合に印刷するかどうかを設定できます。 ・［プリントする］： 設定したサイズの用紙に、設定した方向のままで自動的に倍率設定してコピーされます。 ・［ジョブ破棄］： ジョブが破棄され、コピーされません。	プリントする

ひとこと

・管理者設定のユーザー開放レベルが設定されている場合にのみ、［原稿ガラス自動倍率］、［ADF 自動倍率］、［APS 解除時のトレイ指定］、［インターシートトレイ選択］、［自動画像回転］は表示されます。
・管理者設定のユーザー開放レベルが［レベル 2］に設定されている場合にのみ、［コピー操作時の印刷受付］は表示されます。
・拡大表示にしていた場合、［拡大表示初期設定］が表示され、拡大表示におけるコピー、ファクス / スキャンのデフォルト値を設定できます。

参照

ユーザー開放レベルについては、「セキュリティー設定」（p. 11-33）をごらんください。

参照

初期設定、出荷時設定については、p. 1-32 をごらんください。

詳しく説明します

スキャン機能やファクス機能の初期設定を変更する場合、【ファクス / スキャン】を押し、設定メニュー画面を表示してからこれらの設定を行います。

設定項目	機能説明	出荷時設定
連続読込み方法	原稿を分割して読込んだり、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットするときに、原稿読込み中でも印刷するか、原稿読込み終了後に印刷するかを設定できます。 ・［自動出力］： 原稿読込み中でも出力可能な印刷が開始されます。 ・［一括出力］： 全ての原稿読込み終了後に印刷が開始されます。	自動出力
拡大ローテーション	主走査方向（ADF または原稿ガラスの左右方向）が 297 mm を越える画像を回転してコピーを行うかを設定できます。 ・許可： 拡大ローテーションを行います。ただし、カラーの設定がブラックの場合に限り有効です。 ・禁止： カラーの設定によらず、拡大ローテーションを禁止します。	禁止
原稿ガラス自動倍率	原稿ガラス上に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切換えるかどうかを設定できます。	OFF
ADF 自動倍率	ADF に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切換えるかどうかを設定できます。	ON
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定できます。 ・［APS 選択前トレイ］： APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 ・［初期設定トレイ］： トレイ 1 を使用します。	APS 選択前トレイ
インターシートトレイ選択	カバーシート（表紙）インターシート、章分け紙用の用紙をセットするトレイの初期値を選択できます。	トレイ 2
三つ折り印刷面方向	三つ折り出力をするときに、印刷面を内側にして折るか、外側にして折るかを設定できます。オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されている場合に有効です。	外側
コピー操作時の印刷受付	コピーを操作をしているときに印刷データやファクスデータの印刷受付をするかしないかを設定できます。 ・［印刷する］： 印刷データやファクスデータを受付け、印刷します。 ・［印刷抑制］： 印刷データやファクスデータは、コピー操作が終わると印刷されます。	印刷する

設定項目	機能説明	出荷時設定
自動画像回転	原稿と用紙の方向が適さない場合に、自動的に画像を回転して印刷するかどうかを設定できます。 ・［自動用紙 / 自動倍率 / 縮小設定時］： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動用紙 / 自動倍率設定時］： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動倍率 / 縮小設定時］： 自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動倍率設定時］： 自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。	自動用紙 / 自動倍率設定時
原稿ガラス 1 枚読込み時の印字面	原稿ガラスにセットした原稿のコピー排紙方向を設定します。 ・［フェイスダウン］： プリント面が下になって排紙されます。 ・［フェイスアップ］： プリント面が上になって排紙されます。	フェイスダウン

11.3.4　ファクス / スキャン設定

設定項目	機能説明
白黒 2 値圧縮方法	スキャナー機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
ファクス / スキャン初期設定	

11.3.5　プリンター設定

設定項目	機能説明
基本設定	プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編（IC-208）」をごらんください。
用紙設定	
PCL 設定	
PS 設定	
XPS 設定	
TIFF 画像用紙設定	
レポート出力	プリンター機能に関する設定内容をレポートとして印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編（IC-208）」をごらんください。
画像シフト設定	プリンター機能での画像シフトの調整を行います。詳しくは「ユーザーズガイド プリンター機能編（IC-208）」をごらんください。
スタンプ設定	プリンター機能でのスタンプ設定を行います。詳しくは「ユーザーズガイド プリンター機能編（IC-208）」をごらんください。

11.3.6　パスワード変更

機能説明
現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。 現在のパスワードを入力した後、新しいパスワードを入力してください。 この項目は、ユーザー認証が［本体装置認証］に設定されている場合に使用できます。

11.3.7　E-mail アドレス変更

機能説明
現在ログインしているユーザー自身により、E-mail アドレスを変更できます。 この項目は、パブリックユーザー以外のユーザーとしてログインしている場合にのみ表示されます。

ひとこと

管理者設定のユーザー開放レベルが［レベル 2］に設定されている場合にのみ、［E-mail アドレス変更］は表示されます。

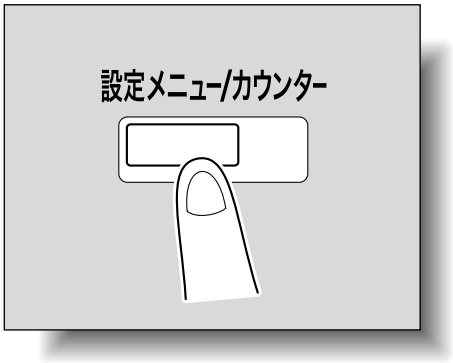
11.3.8　トナー補給

機能説明
トナー濃度が低下したときに、本機が停止している状態でトナー濃度の復帰ができます。

11.3.9　ユーザー設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、［ユーザー設定］を表示させるまでの手順を説明します。

1　【設定メニュー / カウンター】を押します。

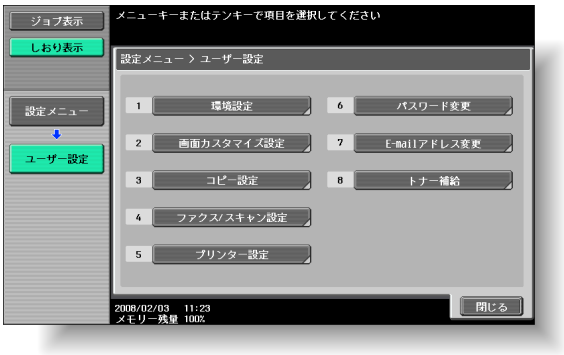


2　［2 ユーザー設定］を押します。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［2 ユーザー設定］の場合は、テンキーの【2】と入力します。

ユーザー設定画面が表示されます。



ひとこと

設定メニューを終了するときは、【設定メニュー / カウンター】を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

11.4　管理者設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンター】を押し、［管理者設定］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

11.4.1　環境設定

<パワーセーブ設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を 1 分～ 240 分から設定できます。	1 分：オプションなし 15 分：オプションあり
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を 1 分～ 240 分から設定できます。	1 分：オプションなし 60 分：オプションあり
パワーセーブキー節電切替	【パワーセーブ】を押したときに開始されるパワーセーブ機能の種類を設定できます。 ・［低電力］： タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。 ・［スリープ］： 低電力モードよりも節電効果が得られます。しかし、再操作時にウォームアップを必要とするため、準備時間は低電力モードよりもかかります。	低電力
パワーセーブ移行	ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。	即時

<出力設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
受信印刷出力設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイドネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」「ユーザーズガイドプリンター機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンター、レポート出力、ファクスのそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ 1 プリンター：トレイ 1 レポート出力：トレイ 2 ファクス：トレイ 2
ジョブ毎の仕分け設定	フィニッシャー装着時に仕分け機能を設定した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排出するかしないかを設定できます。 ・［する］：用紙がシフト排出されます。 ・［しない］：用紙がシフトせずに排出されます。	する

<日時設定>

機能説明	出荷時設定
現在の日付、時刻を設定できます。また、タイムゾーンを -12:00 ～ 13:00 から 30 分単位で設定ができます。日本国内のタイムゾーンは +9:00 が標準です。	タイムゾーン：+00:00

<サマータイム設定>

機能説明	出荷時設定
本機の時刻表示にサマータイムを適用するかしないかを設定できます。ON に設定した場合、現在の時刻に指定した時間分進めた時刻を表示します。サマータイムとして適用できる時間は、1 分～ 150 分から 1 分単位で設定できます。	しない

<ウィークリータイマー設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
ウィークリータイマー使用設定	ウィークリータイマー機能を使用するかしないかを設定できます。	しない
タイマー予約時刻設定	本体電源の ON/OFF 時刻を曜日ごとに設定できます。	-
動作日設定	本体電源の ON/OFF を 1 日ずつ個別に、または曜日ごとに設定できます。	-
昼休み OFF 機能設定	昼の休憩中などの一定時間に本機の電源を OFF する場合、電源の OFF/ON する時刻を設定できます。	しない
時間外パスワード設定	ウィークリータイマー機能で電源が OFF 状態のときに、本機を使用する場合、パスワードによって使用者を制限するかしないかを設定できます。また、この機能を ON にした場合に、入力するパスワードを設定します。	しない

<ユーザー操作禁止設定>

設定項目		機能説明	出荷時設定
コピープログラムロック設定		登録されたコピープログラムの変更や削除を禁止する設定ができます。	-
コピープログラム削除		登録されたコピープログラムを削除できます。	-
変更禁止設定	ジョブ優先順位変更	ジョブの印刷優先順位の変更を許可／禁止します。	許可
	他ユーザージョブ削除	ユーザー認証されている場合に、他のユーザーがジョブを削除することを許可／禁止します。	禁止
	登録宛先変更	登録されている宛先の変更を許可／禁止します。	許可
	登録倍率変更	登録されている倍率の変更を許可／禁止します。	許可
	From アドレス変更	設定されている From アドレスの変更を許可／禁止します。	許可
	登録オーバーレイ変更	登録されているオーバーレイの変更を許可／禁止します。	許可
操作禁止設定	複数宛先禁止	ファクスジョブの送信で、複数の宛先設定を禁止する設定ができます。	しない

詳しく説明します

- ウィークリータイマーを設定すると、指定した日時に電源を ON/OFF できます。また、タイマーで電源を OFF したとき、ON するためのパスワードや、ファクスジョブ、印刷ジョブの受信をするかしないかの設定ができます。
- ウィークリータイマーの設定は、ウィークリータイマー設定画面に表示されるそれぞれの機能を組合わせて行います。設定の概要は、「ウィークリータイマーの設定の概要」（p. 11-38）をごらんください。

＜エキスパート調整＞

設定項目		機能説明	出荷時設定
原稿画質の濃度シフト		原稿の濃度と画質を設定します。	原稿画質： 文字 / 写真 濃度シフト 文字 / 写真 0（うすく）～5（こく）：3 文字 0（うすく）～5（こく）：3 写真 0（うすく）～5（こく）：3 薄文字原稿 0（うすく）～5（こく）：2
消去補正	原稿外消去機能	原稿外消去を機能させる条件を設定します。	原稿ガラス等倍を除く
	原稿外消去動作設定	原稿外消去の動作、消去方法、原稿濃度を設定します。	消去動作：指定 消去方法： 矩形消去 原稿濃度： ふつう
	ADF 枠消し	ADF 枠消し幅を設定します。	3 mm
プリンター調整	印刷位置：先端	用紙排紙方向に対して、用紙先端部分の印刷開始位置を -3.0 mm ～ +6.0 mm の範囲で調整できます。用紙種類ごとに設定できます。	0.0 mm
	印刷位置：側端	用紙排紙方向に対して、用紙左端部分の印刷開始位置を -6.4 mm ～ +6.3 mm の範囲で調整できます。	0.0 mm
	プリンター通紙方向倍率	コピー画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、用紙搬送スピードと画像書出しスピードを同期させ、コピー画像の歪みを -1.35 ～ +5.00 の範囲で調整できます。	0.0 %
	通紙交差方向倍率	コピー画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、原稿通紙交差方向の倍率を -1.0% ～ +1.0%の範囲で調整できます。	0.0 %
裏面倍率補正	各給紙トレイごとに裏面の倍率補正を設定します。 補正倍率： [指定なし]、[-0.1%]、[-0.2%]、[-0.3%]		指定なし
フィニッシャー調整	センターステープル位置調整 *1	中とじ機能で印刷するときのステープル位置を -12.8 mm ～ 12.7 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	中折り位置調整 *1	中とじ機能で印刷するときの中折り位置を -12.8 mm ～ 12.7 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	パンチ縦位置調整 *2	パンチ穴の縦方向の位置を用紙サイズ別に -5 mm ～ 5 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	パンチユニット縦位置調整 *3	パンチ穴の縦方向の位置を用紙サイズ別に -5 mm ～ 5 mm の間で調整できます。	0.0 mm

ひとこと

・［フィニッシャー調整］は、オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。
・［フィニッシャー調整］で設定可能な項目は、装着しているフィニッシャーの機種によって異なります。

設定項目		機能説明	出荷時設定
	パンチ横位置調整 *2	パンチ穴の横方向の位置を -5 mm ～ 5 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	パンチユニット横位置調整 *3	パンチ穴の横方向の位置を -5 mm ～ 5 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	パンチレジストループ量調整 *2	両面出力やカバーシート出力時のパンチの位置ずれを -16.0 mm ～ 16.0 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	第 1 Z 折り位置調整 *3	1 番目の折りの位置を用紙サイズ別に -12.8 mm ～ +12.7 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	第 2 Z 折り位置調整 *3	1 番目の折りの位置を用紙サイズ別に -12.8 mm ～ +12.7 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	三つ折り位置調整 *1	三つ折り機能で印刷するときの用紙の折り位置を -12.8 mm ～ 12.7 mm の間で調整できます。	0.0 mm
	平とじ 2 点ステープル調整 *1	2 点ステープル（平とじ、中とじ）機能で印刷するときのステープル間隔を 128 mm ～ 160 mm の間で調整できます。	128 mm
	ポストインサーターフィーダーサイズ調整 *4	ポストインサータのトレイサイズを自動調整できます。	-
スキャンエリア	スキャン画像位置：先端	画像スキャン方向に対して、原稿先端部の読取り開始位置を－ 2.0 mm ～＋ 6.0 mm の範囲で調整できます。	0.0 mm
	スキャン画像位置：側端	画像スキャン方向に対して、原稿左端部の読取り開始位置を－ 3.0 mm ～＋ 3.0 mm の範囲で調整できます。	0.0 mm
	通紙方向倍率	スキャン画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、スキャナ部の通紙方向の倍率を－ 2.00%～＋ 2.00%の範囲で調整できます。	1.00%
ADF センター調整		原稿通紙交差方向のセンター位置を－ 3.0 mm ～＋ 3.0 mm の範囲で調整できます。	0.0 mm

*1　フィニッシャー FS-610 装着時のみ表示
*2　フィニッシャーにパンチキット装着時のみ表示
*3　Z 折りユニット装着時のみ表示
*4　ポストインサータ装着時のみ表示

<リスト / カウンター>

設定項目		機能説明
マシン管理リスト印刷	設定値リスト	本機の各設定値を印刷できます。
用紙サイズ / 種類カウンター		特定の用紙サイズと用紙種類を組合わせて登録し、カウントする設定ができます。

<リセット設定>

設定項目		機能説明	出荷時設定
システムオートリセット		システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。 ・「優先機能」： システムオートリセット時などに表示する機能を［コピー］、［ファクス / スキャン］から設定できます。 ・「システムオートリセット時間」： システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 9 分または［使用しない］から設定できます。	優先機能： コピー システムオートリセット時間：1 分
オートリセット		「コピー」、「ファクス / スキャン」の各機能でのオートリセット機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 9 分または［しない］から設定できます。	コピー：1 分 ファクス / スキャン：1 分
モードリセット	使用者変更	使用者が変更したときに、機能をリセット（初期化）するかしないかを設定できます。本機はオプションのキーカウンターを抜き取ったときやユーザー認証時および部門管理設定時、ユーザーがログアウトしたときに本機は使用者が変更した（交代した）と判断します。	初期化する
	ADF 原稿セット	ADF に原稿をセットした場合に、機能をリセットするかしないかを設定できます。	リセットしない
	次ジョブ	ステープル設定： ステープル設定されたジョブが開始されたあと、次のジョブ設定が可能になったとき、同じ設定にするか解除するかを設定できます。	解除しない
		原稿セット / とじ方向： 原稿のセット方向または原稿のとじ方向が設定されたジョブが開始されたあと、次のジョブ設定が可能になったとき、同じ設定にするか解除するかを設定できます。	解除しない
		送信後設定解除： スキャンまたはファクス送信を行ったあと、次のスキャンおよびファクス送信時に同じ設定にするか解除するかを設定できます。（ただし、［解除しない］を選択した場合でも、宛先は解除されます。）	解除する
確認コピー時リセット		確認コピー中の動作停止中にシステムオートリセットさせるかどうかを選択します。	しない

詳しく説明します

- システムオートリセット時間を［使用しない］に設定しても、ユーザー認証 / 部門管理中に本機を使用しない状態が 1 分経過すると、システムオートリセット機能がはたらきます。しかし拡大表示機能は、システムオートリセット機能がはたらきません。
- ユーザー認証もしくはセキュリティー強化設定が有効な場合、システムオートリセット時間の設定により、管理者設定モード及びユーザー認証モードをログアウトします。

<ボックス設定>

設定項目		機能説明	出荷時設定
不要ボックス削除		ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
セキュリティー文書削除			
セキュリティー文書削除時間設定		ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	1 日
暗号化 PDF 削除時間設定			1 日
タッチ & プリント削除時間設定			1 日
文書保持設定			する
外部メモリー機能設定	文書保存		OFF
	文書印刷		ON

<スタンプ設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
ヘッダー / フッター設定	ヘッダー / フッターの設定を登録・削除します。	-
ファクス送信設定	スタンプの設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定できます。	解除する

<白紙ページ印字設定>

機能説明	出荷時設定
白紙ページにスタンプ / ページ印字の印字をおこなうかどうか指定できます。	印字しない

<ページ番号の印字位置設定>

機能説明	出荷時設定
両面印刷、小冊子を設定したときに設定したスタンプの裏面印字位置を設定できます。	印字しない

<ジョブ飛越し動作設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
ファクス	ファクスにジョブ飛越しの動作をさせるかどうかの設定をします。	する
ファクス以外	ファクス以外の機能にジョブ飛越しの動作をさせるかどうかの設定をします。	する

11.4.2　管理者 / 本体登録

設定項目	機能説明
管理者登録	ヘルプのサービス / 管理者情報画面で表示する管理者情報や、本機からの E-Mail 送信の From アドレスを登録できます。
本体アドレス登録	本機の装置名と E-Mail アドレスを登録できます。登録した装置名は送信ファイルのファイル名や、ボックスに登録するドキュメントの名称を自動生成する際に付加します。出荷時設定では、KMBT_751/601 が設定されています。登録した E-Mail アドレスは、インターネットファクスを利用する場合に使用します。

11.4.3　宛先 / ボックス登録

設定項目	機能説明
ファクス / スキャン宛先登録	ファクス機能、スキャン機能、ボックス機能に関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
ボックス登録	
宛先登録リスト	短縮宛先リスト、グループ宛先リスト、プログラム宛先リスト、件名 / 本文リストを印刷し、確認できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
最大ボックス数設定	ユーザーごとにボックスの最大数を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

本体アドレス登録の装置名を登録するときは、OS によって扱えない文字を使用しないでください。

11.4.4　ユーザー認証 / 部門管理

＜認証方式＞

機能説明	出荷時設定
本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。 ・「ユーザー認証」： ［外部サーバー認証］、［本体装置認証］からユーザー認証の方法を選択します。ユーザー認証をしない場合は、［認証しない］を押します。 ・「パブリックユーザー」： 認証されているユーザー以外が本機を使用することを許可するかしないかを設定します。「ユーザー認証」が［認証しない］を選択しているときは選択できません。［許可後ログイン］を押すと、パブリックユーザーとしてログインする場合、認証なしで本機を使用できます。認証されているユーザーとしてログインするときは、初めに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。 ・「部門管理」： 部門管理をするかしないかを設定します。 ・「部門管理認証方式」： 部門名＋パスワード］を押します。パスワードのみで認証する場合は、［パスワードのみ］を押します。「部門管理」が［管理しない］を選択しているときには、設定できません。ユーザー認証と部門管理の両方を設定した場合、［部門名＋パスワード］しか設定できません。 ・「ユーザー認証 / 部門認証の連動」： ユーザー認証と部門認証を連動するかしないかを設定します。「ユーザー認証 / 部門認証の連動」は、「ユーザー認証」が［外部サーバー認証］または［本体装置認証］を選択して「部門管理」が［管理する］を選択しているときに、表示されます。 ・「上限値到達時の動作」： 部門管理またはユーザー認証で設定した上限値に到達したときに印刷中のジョブを停止させ次のジョブの印刷を開始させる場合は、［ジョブ飛越し］を押します。上限値に到達したときに全てのジョブを停止する場合は、［ジョブ停止］を押します。 ・「ユーザーカウンター割当て数」： 「ユーザーカウンター割当て数」の数値により、ユーザー登録可能件数と部門登録可能件数を調整できます。 例：「ユーザーカウンター割当て数」の数値を 50 個にした場合、部門登録可能件数は 950 個となります。 ・「チケット保持時間設定」： Kerveros 認定チケットの保持時間を 1 分～ 60 分から設定できます。認証サーバータイプが Active Directory を選択したときに適用されます。	ユーザー認証：認証しない パブリックユーザー：許可しない 部門管理：管理しない 部門管理認証方式：部門名＋パスワード ユーザ認証 / 部門認証の連動：連動する 上限値到達時の動作：ジョブ飛越し ユーザーカウンター割当て数：500 チケット保持時間設定：60 分

＜ユーザー認証設定＞

設定項目		機能説明	出荷時設定
管理設定	ユーザー名一覧	ユーザー認証画面でユーザー名の一覧キーを表示させるかどうか設定ができます。	表示しない
	初期機能制限設定	外部サーバーとの認証時、本機での操作を制限することができます。	コピー操作：許可する スキャン操作：許可する ファクス操作：許可する プリンター印字：許可する 蓄積文書操作：許可する 送信文書印字：許可する 外部メモリー保存：許可する
ユーザー登録		本機を使用するユーザーを登録できます。ユーザーごとに、パスワード、印刷枚数の上限値、認証情報、使用できる機能を設定できます。	-
ユーザーカウンター		ユーザーごとにコピー、プリンター、ファクス / スキャンの使用状況を確認できます。	-

＜部門管理設定＞

設定項目	機能説明
部門登録	本機を使用する部門を登録できます。部門ごとに、パスワード、印刷枚数の上限値を設定できます。
部門カウンター	部門ごとにコピー、プリンター、ファクス / スキャンの使用状況を確認できます。

＜認証指定なし印刷＞

機能説明	出荷時設定
ユーザー、部門が特定できない印刷を許可するかどうかの設定ができます。許可した場合印刷枚数は、パブリックユーザーとしてカウントされます。	禁止

＜使用管理カウンターリスト＞

機能説明	出荷時設定
本機にユーザー認証または部門管理をすると、表示されます。ユーザーまたは部門ごとに使用状況を確認できます。	給紙トレイ：トレイ 1 片面 / 両面：片面 印刷項目：全ての情報

＜外部サーバー設定＞

機能説明
ユーザー認証を行う外部サーバーを設定できます。

＜参照許可設定＞

設定項目	機能説明
グループ登録	宛先の参照許可のためのグループを登録・編集をすることができます。

ひとこと

- ユーザー認証設定の各設定項目は、［認証方式］で「ユーザー認証」が［認証しない］以外に設定されている場合に表示されます。
- 部門管理設定の各設定項目は、［認証方式］で「部門管理」が［管理する］に設定されている場合に表示されます。

設定項目	機能説明
宛先レベル設定	宛先ごとに参照許可レベルまたは参照許可グループを設定できます。
ユーザーレベル設定	ユーザーごとに参照許可レベルおよび参照許可グループを設定できます。

＜認証装置設定＞

設定項目	機能説明	出荷時設定
認証方式	装着されている認証装置の設定キーのみが表示されます。 ・［IC カード認証］： IC カードタイプと動作設定を設定できます。 ・［生体認証］： 報知音と動作設定を設定できます。	認証装置（IC カード認証タイプ）を装着している場合 IC カードタイプ：FeliCa 動作設定：IC カード認証 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を装着している場合 報知音：ON 動作設定：1 対多認証
タッチ＆プリント設定	タッチ＆プリントの印刷動作を指定できます。 ・［使用する］： 全てのジョブを印刷するか、1 つのジョブを印刷するか設定できます。 ・［使用しない］： タッチ＆プリントの印刷は行いません。	使用する： 全ジョブ印刷
ログアウト設定	スキャン送信やファクス送信、コピーで原稿読込み終了時にログアウトするかどうか設定できます。	ログアウトしない

11.4.5　ネットワーク設定

設定項目	機能説明
ネットワーク使用設定	ネットワークに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
TCP/IP 設定	
NetWare 設定	
http サーバー設定	
FTP 設定	
SMB 設定	
LDAP 設定	
E-mail 設定	
SNMP 設定	
AppleTalk 設定	
Bonjour 設定	
TCP Socket 設定	
WebDAV クライアント設定	
Web サービス設定	
詳細設定	

詳しく説明します

- 認証装置設定は、オプションの認証装置を装着している場合にのみ有効になります。
- 認証装置（IC カード認証タイプ）と認証装置（指静脈 生体認証タイプ）は同時に装着することができません。
- タッチ＆プリントを使用すると、認証装置に指または IC カードを置くことにより、そのユーザーがコンピューターから送信したジョブを印刷することができます。

設定項目	機能説明
ネットワークファクス設定	ネットワークファクスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.6　コピー設定

設定項目	機能説明	出荷時設定
原稿ガラス自動倍率	原稿ガラス上に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切換えるかどうかを設定できます。	OFF
ADF 自動倍率	ADF に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切換えるかどうかを設定できます。	ON
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定します。 ・［APS 選択前トレイ］： APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 ・［初期設定トレイ］： トレイ 1 を使用します。	APS 選択前トレイ
インターシートトレイ選択	カバーシート（表紙）インターシート、章分け紙用の用紙をセットするトレイの初期値を選択できます。	トレイ 2
コピー操作時の印刷受付	コピーを操作しているときに印刷データやファクスデータの印刷受付をするかしないかを設定できます。 ・［印刷する］： 印刷データやファクスデータを受付け、印刷します。 ・［印刷抑制］： 印刷データやファクスデータは、コピー操作が終わると印刷されます。	印刷する
三つ折り印刷面方向	三つ折り出力をするときに、印刷面を内側にして折るか、外側にして折るかを設定できます。オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されている場合に有効です。	外側
自動画像回転	原稿と用紙の方向が適さない場合に、自動的に画像を回転するかどうかを設定できます。 ・［自動用紙 / 自動倍率 / 縮小設定時］： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動用紙 / 自動倍率設定時］： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動倍率 / 縮小設定時］： 自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・［自動倍率設定時］： 自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。	自動用紙 / 自動倍率設定時

設定項目	機能説明	出荷時設定
原稿ガラス 1 枚読込み時の印字面	原稿ガラスにセットした原稿のコピー排紙方向を設定します。 ・［フェイスダウン］： プリント面が下になって排紙されます。 ・［フェイスアップ］： プリント面が上になって排紙されます。	フェイスダウン

11.4.7　プリンター設定

設定項目	機能説明
USB タイムアウト	プリンターに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。
ネットワークタイムアウト	
XPS エラー印刷	

11.4.8　ファクス設定

設定項目	機能説明
発信元 / ファクス ID 登録	ファクスに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
発信元 / 受信情報	
回線パラメーター設定	
送信 / 受信設定	
機能設定	
PBX 接続設定	
レポート出力設定	
設定値リスト	
増設回線設定	
ネットワークファクス設定	ネットワークファクスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

ひとこと

FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に、［8 ファクス設定］は表示されます。

11.4.9　システム連携

設定項目	機能説明
OpenAPI 設定	ネットワークに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.10　セキュリティー設定

＜管理者パスワード＞

機能説明	出荷時設定
管理者設定での認証時に必要な管理者パスワードの設定、変更ができます。管理者パスワードは、0 ～ 8 桁から設定できます。ただし、パスワード規約を［ON］に設定する場合、8 桁以外の管理者パスワードは設定できません。	[redacted]

<ボックス管理者設定>

機能説明
ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

<ユーザー開放レベル>

機能説明	出荷時設定
ユーザーに許可する管理者機能の範囲を設定できます。 ・［レベル 1］： パワーセーブ設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、自動画像回転をユーザーに許可します。 ・［レベル 2］： パワーセーブ設定、出力設定、原稿画質の濃度シフト、ページ番号の印字位置設定、白紙ページ印字設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、自動画像回転、コピー操作時の印刷受付、E-mail アドレス変更をユーザーに許可します。 ・［開放しない］： ユーザーにレベル 1、レベル 2 の設定のどちらも許可しません。	開放しない

<セキュリティー詳細>

設定項目	機能説明	出荷時設定
パスワード規約	パスワード規約を適用するかしないかを設定できます。	無効
認証操作禁止機能	ユーザーが認証に失敗した場合に、本機操作の禁止を設定できます。 ・［モード 1］：一定時間、操作ができません。 ・［モード 2］：認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回から設定できます。パネル操作禁止になった場合は、［操作禁止解除］を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。 ・［ユーザー + 部門］：ユーザー認証、部門管理に対する操作 ・［セキュリティー文書］：セキュリティー文書に対する操作 ・［ボックス］：パスワード付きボックスに対する操作 ・［SNMP］：SNMP v3 Write ユーザーの認証に対する操作 ・［操作禁止解除時間設定］：操作禁止の状態から自動的に解除するまでの時間を設定します。1 分～ 60 分の間で調整できます。	モード 1、操作禁止解除時間 5 分
セキュリティー文書アクセス方式	セキュリティー文書に対する操作方式を確認できます。認証操作禁止機能が［モード 1］の場合、［モード 1］が設定されます。認証操作禁止機能が［モード 2］の場合、［モード 2］が設定されます。 ［モード 1］：セキュリティー文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。 ［モード 2］：セキュリティー文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードにより認証します。	モード 1

詳しく説明します

・認証操作禁止機能の対象になるのは、以下のパスワードです。ユーザーパスワード、部門パスワード、ボックスのパスワード、セキュリティー文書のパスワード、管理者パスワード
・認証操作禁止機能の［操作禁止解除］で解除を設定しても操作パネルが操作できない場合や、管理者パスワードの認証失敗で操作できない場合は、本機を再起動してください。再起動後、［操作禁止解除時間設定］で設定されている時間が経過したあと管理者認証を行ってください。

必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

設定項目	機能説明	出荷時設定
手動宛先入力	宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。	許可
プリントデータキャプチャー	印刷ジョブのデータをキャプチャーしてもよいかどうかを設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。	
FAX 送信禁止	FAX 送信を禁止するかどうかを設定できます。	OFF
個人情報非表示	ジョブ履歴のファイル名や宛先を非表示にします。	OFF
通信履歴表示	通信の履歴を表示します。	ON
ジョブ履歴削除	すべてのジョブ履歴をクリアします。	-

＜セキュリティー強化設定＞

機能説明
セキュリティー強化設定を適用するために必要な設定が表示されます。必要な設定がされている場合は、セキュリティー強化設定を適用するかしないかを設定できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

＜ HDD 管理設定＞

設定項目	機能説明	出荷時設定
HDD 容量確認	ハードディスクの容量に関する情報を表示します。	
一時データ上書き削除	コピー、スキャン、ファクス、PC 印刷時の全ての機能において、ハードディスクに一時的に画像データを書き込む動作を行うかどうかを設定します。設定モードについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。一時データ上書き削除の設定を行うと、印刷やデータ送信後に画像データが保存されたハードディスクエリアに上書き処理を行い、完全にデータを削除します。この処理によりハードディスク内の画像データの漏洩を防ぎます。	しない
全データ上書き削除	本機をリース返却または廃棄する際に、ハードディスク内の全領域に対してモード 1 からモード 8 の指定したパターンでデータを上書き削除し、データ漏洩を防ぎます。設定モードについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。この機能を実行する前に、サービス実施店へお問い合わせください。	モード 1
HDD ロックパスワード	ハードディスクのデータを守るためのパスワードを設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
HDD フォーマット	ハードディスクのフォーマットを行います。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
HDD 暗号化設定	オプションのセキュリティーキット装着時に表示されます。ハードディスク内のデータを暗号化するために暗号化ワードを設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。この設定を行うとハードディスクに書き込むデータがすべて暗号化され、ハードディスク内のデータを守ることができます。なお暗号化の設定を変更した場合には、ハードディスクの再フォーマットが必要です。	

＜管理機能設定＞

設定項目	機能説明	出荷時設定
ネットワーク機能使用設定	管理機能使用時に、カウント管理が困難なネットワーク機能の設定ができます。	使用する

＜スタンプ設定＞

設定項目	機能説明
スタンプ付加設定	印字および送信時に、スタンプを付加するかどうかを設定できます。
登録スタンプ削除	コピープロテクトの登録スタンプを削除するかどうかを設定できます。

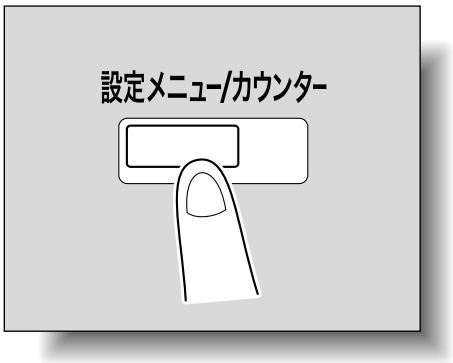
＜ドライバーパスワード暗号化設定＞

機能説明	出荷時設定
プリンタードライバーの暗号化ワードを変更できます。 詳しくは「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。	出荷時を使用

11.4.11　管理者設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、［管理者設定］を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンター】を押します。



詳しく説明します

「ネットワーク機能使用設定」を「使用しない」に変更した場合、以下の機能が使用できません。

- PC FAX 送信
- HDD Twain ドライバーによるボックス内のドキュメントの参照／取り出し
- PageScope Box Operator によるボックス内のドキュメントの参照／取り出し
- PageScope Scan Direct によるボックス内のドキュメントの取り出し
- PageScope Job Spooler によるボックス内のドキュメントの参照／取り出し
- PageScope Web Connection によるボックス操作機能（ボックスタブが表示されません。）

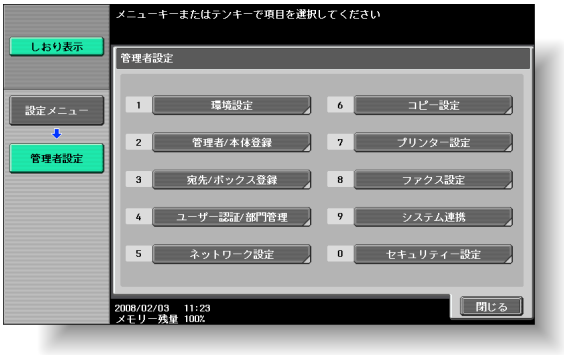
2

［3 管理者設定］を押します。

3

管理者パスワードを入力し、［OK］を押します。

管理者設定画面が表示されます。



ひとこと

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［3 管理者設定］の場合は、テンキーの【3】を入力します。

詳しく説明します

- 管理者パスワードは出荷時設定の“[redacted]”が設定されています。本機を管理される方は、必ず管理者パスワードを変更してください。
- 管理者パスワードは絶対に忘れないでください。管理者パスワードを忘れた場合、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、【設定メニュー / カウンター】を押します。目的の画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

11.5　ウィークリータイマーの設定の概要

ウィークリータイマーの設定はそれぞれの機能を組合わせて行います。
概要は以下のとおりです。

原則

ウィークリータイマーが設定されているときは、電源が OFF のときでも本機の電源プラグをコンセントに接続したままにしてください。
設定メニュー／管理者設定／環境設定／日時設定を正確に設定してください。

1. ウィークリータイマー使用設定を［する］にします。
2. タイマー予約時刻設定をします。
3. 動作日の設定をします。
4. 昼休み OFF 機能、時間外パスワードの必要な機能を設定します。

   ウィークリータイマーが設定されます。

11.6　フィニッシャー調整

11.6.1　センターステープル位置調整

センターステープル機能で印刷するときのステープル位置を用紙サイズ別に調整できます。

原則

- 中折り位置調整後に、センターステープル位置を調整してください。
- 調整を始める前に、センターステープル機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

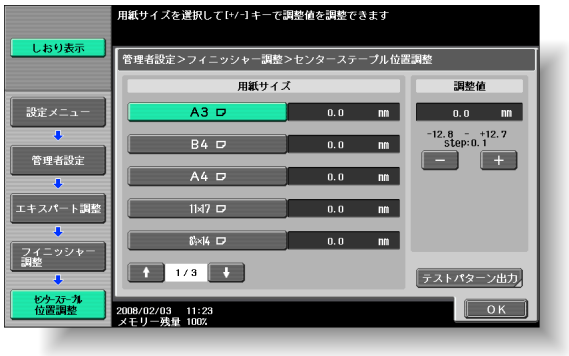
エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャー調整］を押します。

フィニッシャー調整画面が表示されます。

5 ［1 センターステープル位置調整］を押します。

センターステープル位置調整画面が表示されます。



6 調整する用紙サイズキーを押します。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されていない場合、［センターステープル位置調整］は表示されません。

ひとこと

ステープルの傾き調整は、サービス実施店にご連絡ください。

参照

- センターステープル機能については、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 2-61）をごらんください。
- 中折り位置調整については、「中折り位置調整」（p. 11-41）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

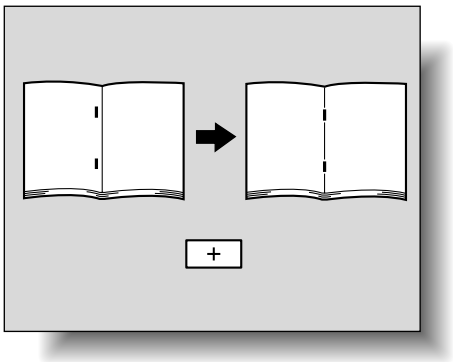
詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

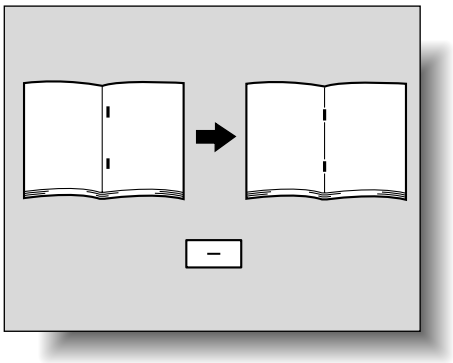
7

サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

- 用紙の中央に対して左側にステープル位置がずれている場合は、[+] を押して補正値を増やします。
  (0.1 mm ～ 12.7 mm)



- 用紙の中央に対して右側にステープル位置がずれている場合は、[-] を押して補正値を減らします。
  (-0.1 mm ～ -12.8 mm)



8

[OK] を押します。

中とじ位置が調整されます。

手順 7 で用紙の中央にステープル位置がある場合は、ここで終了です。

9

再度、センターステープル機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

- ステープル位置が用紙の中央に補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

11.6.2　中折り位置調整

中折り機能で印刷するときの中折り位置を用紙サイズ別、用紙種類別に調整できます。

原則

調整を始める前に、中折り機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［2 中折り位置調整］を押します。
   中折り位置調整画面が表示されます。

6. 調整する用紙サイズキー、用紙種類キーを押します。
7. サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されていない場合、［中折り位置調整］は表示されません。

ひとこと

中折り位置の傾き調整は、サービス実施店にご連絡ください。

参照

中折り機能については、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 2-61）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

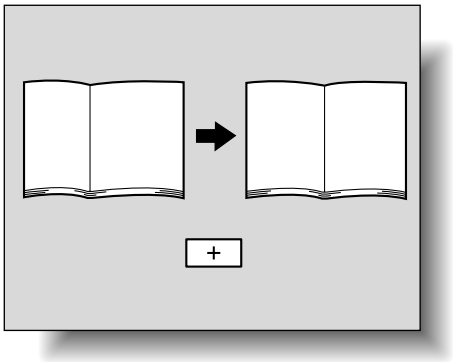
詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

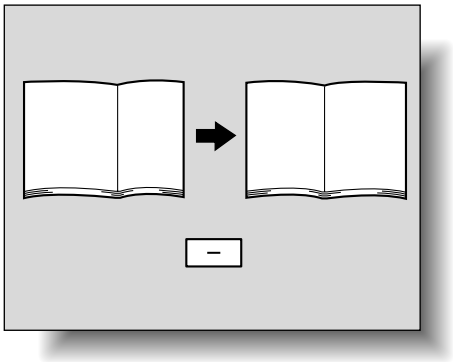
ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

❍ 用紙の中央に対して左側に折り位置がずれている場合は、［+］を押して補正値を増やします。（0.1 mm ～ 12.7 mm）



❍ 用紙の中央に対して右側に折り位置がずれている場合は、［-］を押して補正値を減らします。
（-0.1 mm ～ -12.8 mm）



8 ［OK］を押します。

中折り位置が調整されます。

手順 7 で用紙の中央に折り位置がある場合は、ここで終了です。

9 再度、中折り機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10 サンプルで印刷結果を確認します。

❍ 折り位置が用紙の中央に補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

11.6.3　パンチ縦位置調整

パンチ機能で印刷するときのパンチ穴の縦位置を用紙サイズ別に調整できます。

原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［3 パンチ縦位置調整］を押します。
   パンチ縦位置調整画面が表示されます。

6. 調整する用紙サイズのキーを押します。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合、［パンチ縦位置調整］は表示されます。

参照

パンチ機能については、「パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）」（p. 2-57）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

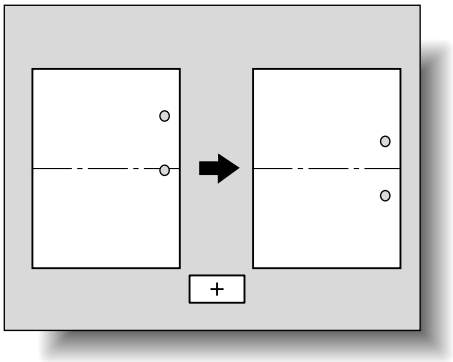
詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

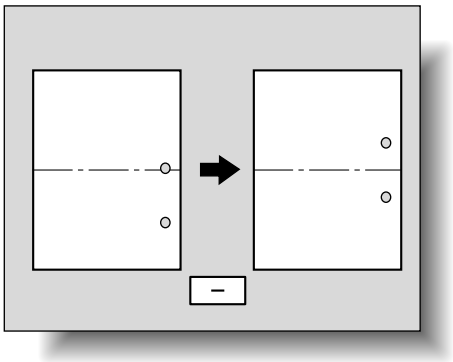
7

サンプルのパンチ位置と用紙の中央を確認します。

❍ 用紙の中央に対して上側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［+］を押します。（0.1 mm ～ 5.0 mm）



❍ 用紙の中央に対して下側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［-］を押します。
（-0.1 mm ～ -5.0 mm）



8

［OK］を押します。

パンチ穴の縦位置が調整されます。

手順 7 でパンチ穴の縦位置調整が不要な場合は、ここで終了です。

9

再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

❍ パンチ穴の縦位置が補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

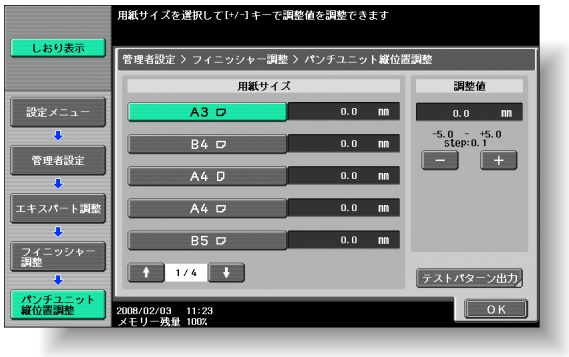
11.6.4　パンチユニット縦位置調整

パンチ機能で印刷するときのパンチ穴の縦位置を用紙サイズ別に調整できます。

原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［4 パンチユニット縦位置調整］を押します。
   パンチユニット縦位置調整画面が表示されます。



6. 調整する用紙サイズのキーを押します。

詳しく説明します

オプションの Z 折りユニットが装着されている場合、［パンチユニット縦位置調整］は表示されます。

参照

パンチ機能については、「パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）」（p. 2-57）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

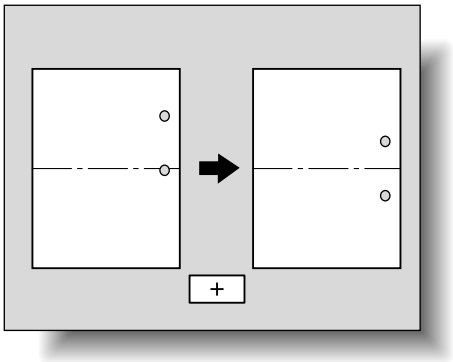
詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。

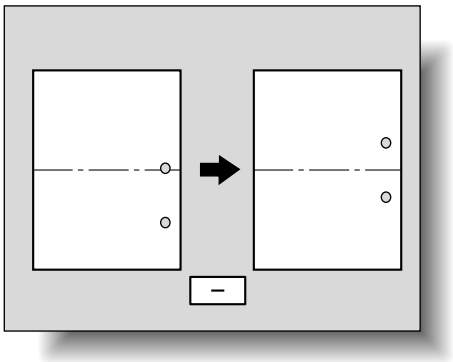
7

サンプルのパンチ位置と用紙の中央を確認します。

❍ 用紙の中央に対して上側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［+］を押します。（0.1 mm ～ 5.0 mm）



❍ 用紙の中央に対して下側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［-］を押します。
（-0.1 mm ～ -5.0 mm）



8

［OK］を押します。

パンチ穴の縦位置が調整されます。

手順 7 でパンチ穴の縦位置調整が不要な場合は、ここで終了です。

9

再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

❍ パンチ穴の縦位置が補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

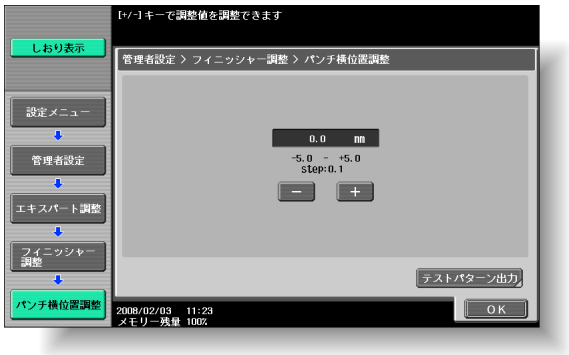
11.6.5　パンチ横位置調整

パンチ機能で印刷するときのパンチ穴の横位置を調整できます。

原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［5 パンチ横位置調整］を押します。
   パンチ横位置調整画面が表示されます。



詳しく説明します

オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合、［パンチ横位置調整］は表示されます。

参照

パンチ機能については、「パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）」（p. 2-57）をごらんください。

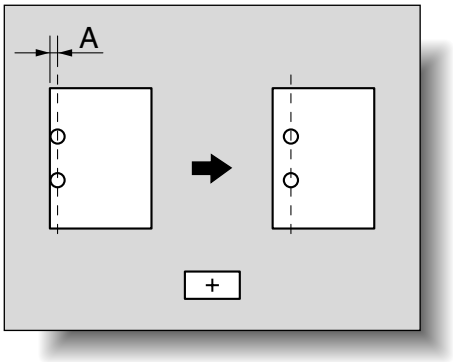
参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

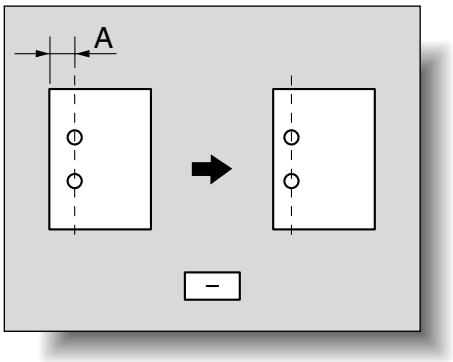
6

パンチ穴の横位置を確認します。

❍ A 幅を広くする場合は、[+] を押して調整値を増やします。
(0.1 mm ～ 5.0 mm)



❍ A 幅を狭くする場合は、[-] を押して調整値を減らします。
(-0.1 mm ～ -5.0 mm)



7

[OK] を押します。

パンチ穴の横位置が調整されます。

手順 7 でパンチ穴の横位置調整が不要な場合は、ここで終了です。

8

再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

9

サンプルで印刷結果を確認します。

❍ パンチ穴の横位置が補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

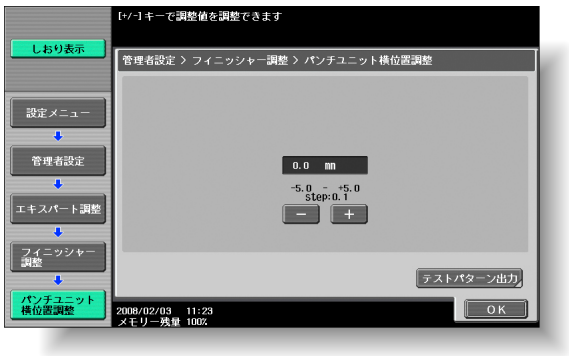
11.6.6　パンチユニット横位置調整

パンチ機能で印刷するときのパンチ穴の横位置を調整できます。

原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［6 パンチユニット横位置調整］を押します。
   パンチユニット横位置調整画面が表示されます。



詳しく説明します

オプションの Z 折りユニットが装着されている場合、［パンチユニット横位置調整］は表示されます。

参照

パンチ機能については、「パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）」（p. 2-57）をごらんください。

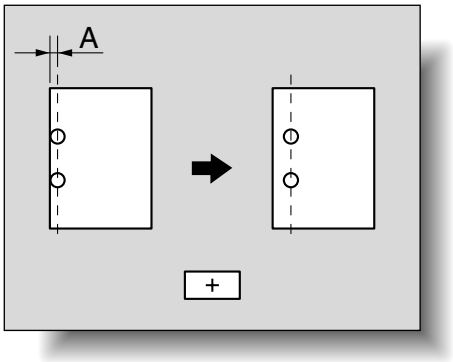
参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

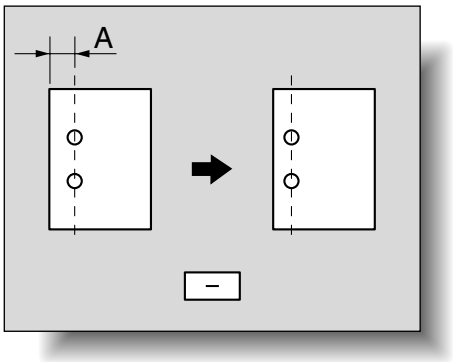
6

パンチ穴の横位置を確認します。

❍ A 幅を広くする場合は、[+] を押して調整値を増やします。
(0.1 mm ～ 5.0 mm)



❍ A 幅を狭くする場合は、[-] を押して調整値を減らします。
(-0.1 mm ～ -5.0 mm)



7

[OK] を押します。

パンチ穴の横位置が調整されます。

手順 6 でパンチ穴の横位置調整が不要な場合は、ここで終了です。

8

再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

9

サンプルで印刷結果を確認します。

❍ パンチ穴の横位置が補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

11.6.7　パンチレジストループ量調整

パンチ機能で印刷するときの、用紙の辺に対するパンチ穴位置の傾きを調整できます。

原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャーにパンチキット、または Z 折りユニットが装着されている場合、［パンチレジストループ量調整］は表示されます。

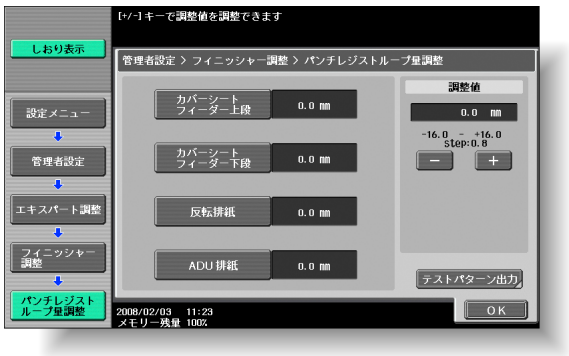
参照

パンチ機能については、「パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）」（p. 2-57）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［7 パンチレジストループ量調整］を押します。
   パンチレジストループ量調整画面が表示されます。



ひとこと

Z 折りユニットが装着されている場合は、［Z 折りパンチユニット］が表示されます。

6. 目的のキーを押します。
7. パンチ穴位置の傾きを確認します。
   - パンチ穴位置が傾いている場合は、［-］を押して調整値を変更します。［-］調整で傾きが補正できない場合、および用紙にしわ等が発生する場合は、［+］を押して調整値を変更します。

ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

8 ［OK］を押します。

パンチ穴位置の傾きが調整されます。

手順 7 でパンチ穴位置の傾き調整が不要な場合は、ここで終了です。

9 再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10 サンプルで印刷結果を確認します。

- パンチ穴位置の傾きが補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 7 ～ 10 を繰り返します。

11.6.8　第 1 Z 折り位置調整／第 2 Z 折り位置調整

Z 折り機能で印刷するときの、用紙の 1 番目と 2 番目の折り位置を用紙サイズ別に調整できます。

原則

調整を始める前に、Z 折り機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。また第 1 Z 折り位置と第 2 Z 折り位置の両方を調整する場合は、必ず第 1 Z 折り位置から調整してください。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

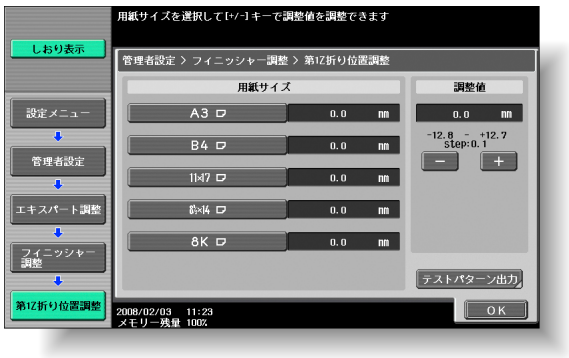
エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャー調整］を押します。

フィニッシャー調整画面が表示されます。

5 ［8 第 1 Z 折り位置調整］または［9 第 2 Z 折り位置調整］を押します。

Z 折り位置調整画面が表示されます。



6 調整する用紙サイズのキーを押します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

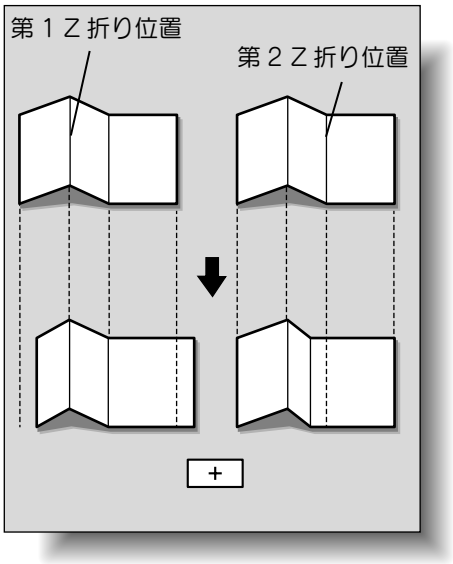
詳しく説明します

オプションの Z 折りユニットが装着されていない場合、［第 1 Z 折り位置調整］と［第 2 Z 折り位置調整］は表示されません。

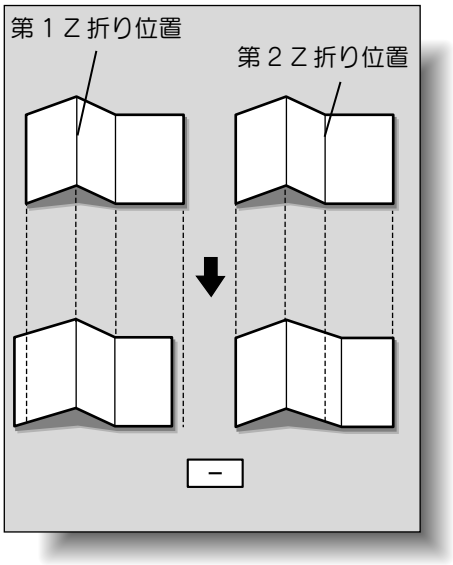
7

サンプルの折り位置を確認します。

❍ 用紙の折り位置を左側にずらす場合は、「調整値」の［+］を押して補正値を増やします。
（0.1 mm ～ 12.7 mm）



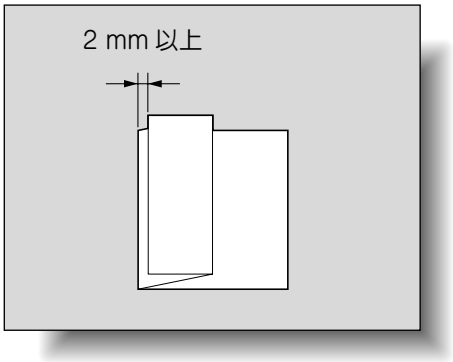
用紙の折り位置を右側にずらす場合は、「調整値」の［-］を押します。
（-0.1 mm ～ -12.8 mm）



ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

用紙の左端と第 2 Z 折り位置が 2 mm 以上になるように設定します。



8 ［OK］を押します。

Z 折りの位置が調整されます。

手順 7 で折り位置の調整が不要な場合は、これで終了です。

9 再度、Z 折り機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10 サンプルで印刷結果を確認します。

- Z 折り位置が補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 10 を繰り返します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

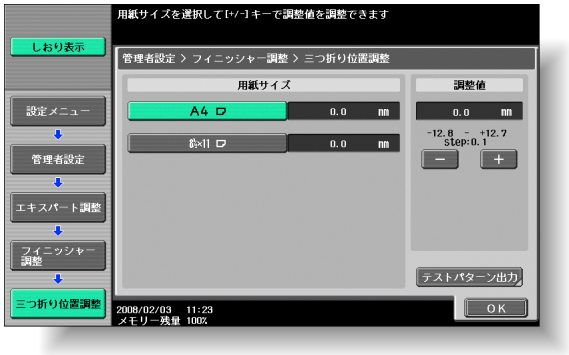
11.6.9　三つ折り位置調整

三つ折り機能で印刷するときの用紙の折り位置を用紙サイズ別に調整できます。

原則

調整を始める前に、三つ折り機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。
   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［10 三つ折り位置調整］を押します。
   三つ折り位置調整画面が表示されます。



6. 調整する用紙サイズのキーを押します。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されていない場合、［三つ折り位置調整］は表示されません。

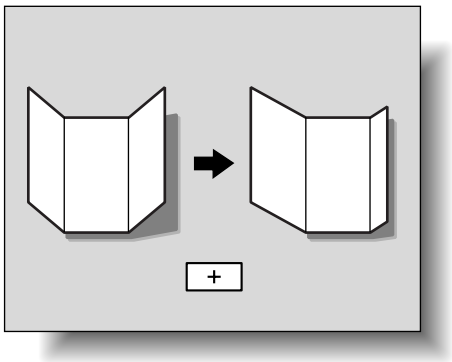
参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

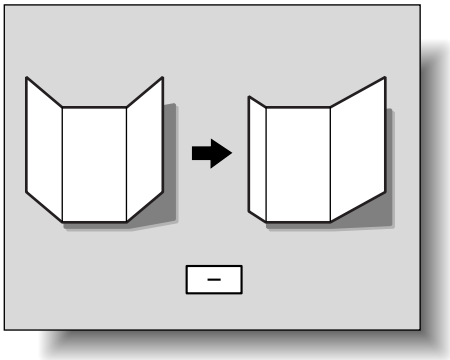
7

サンプルの折り位置を確認します。

❍ 用紙の折り位置を右側にずらす場合は、「調整値」の［+］を押して補正値を増やします。
（0.1 mm ～ 12.7 mm）



❍ 用紙の折り位置を左側にずらす場合は、「調整値」の［-］を押します。
（-0.1 mm ～ -12.8 mm）



8

［OK］を押します。

三つ折りの位置が調整されます。

手順 7 で折り位置の調整が不要な場合は、これで終了です。

9

再度、三つ折り機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

❍ 三つ折り位置が補正されたことを確認します。

❍ 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 10 を繰り返します。

ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

11.6.10　平とじ 2 点ステープル間隔調整

2 点ステープル（平とじ、中とじ）のステープル間隔を調整できます。

原則

調整を始める前に、2 点ステープル機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。

   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。

   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャー調整］を押します。

   フィニッシャー調整画面が表示されます。
5. ［次画面→］を押し、［1 平とじ 2 点ステープル調整］を押します。

   平とじ 2 点ステープル調整画面が表示されます。

6. 調整する項目のキーを押します。
7. サンプルのステープル間隔を確認します。
   - 「調整値」の［+］または［-］を押してステープル間隔を調整します。（128 mm ～ 160 mm）
8. ［OK］を押します。

   ステープルの間隔が調整されます。

   手順 7 でステープルの間隔調整が不要な場合は、これで終了です。
9. 再度、2 点ステープル機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

詳しく説明します

オプションのフィニッシャー FS-610 が装着されていない場合、［平とじ 2 点ステープル間隔調整］は表示されません。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

ひとこと

［+］または［-］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

10 サンプルで印刷結果を確認します。

- ステープル間隔が補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 10 を繰り返します。

11.6.11　ポストインサーターフィーダーサイズ調整

オプションのポストインサータのトレイサイズを自動調整できます。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャー調整］を押します。

フィニッシャー調整画面が表示されます。

5 ［次画面→］を押し、［2 ポストインサーターフィーダーサイズ調整］を押します。

ポストインサーターフィーダーサイズ調整画面が表示されます。

6 選択した用紙をポストインサータのトレイにセットし、【スタート】を押します。

7 ［閉じる］を押します。

詳しく説明します

オプションのポストインサータが装着されている場合、［ポストインサーターフィーダーサイズ調整］は表示されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

11.7　ヘッダー / フッターを設定する

応用設定の［スタンプ / ページ印字］で使用するヘッダー / フッターを設定する手順を説明します。

11.7.1　ヘッダー / フッターの設定のしかた

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［1 環境設定］を押します。

   環境設定画面が表示されます。

3. ［次画面→］を押し、［2 スタンプ設定］を押します。

   スタンプ設定画面が表示されます。

4. ［1 ヘッダー / フッター設定］を押します。

   ヘッダー / フッター設定画面が表示されます。

5. ［登録］を押します。

   ヘッダー / フッター登録画面が表示されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

6 ［登録名］を押します。

ヘッダー / フッター名の登録画面が表示されます。

7 ヘッダー/ フッター名を入力し（全角で 8 文字まで、半角で 16 文字まで）、［OK］を押します。

ヘッダー / フッター名が設定されます。

8 ヘッダー設定またはフッター設定の［印刷する］を押し、印刷するヘッダー / フッターの種類を選択します。

［閉じる］を押します。

9 「印字ページ」「文字サイズ」「印字位置指定」をそれぞれ設定します。

10 ［OK］を押します。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

詳しく説明します

［先頭ページのみ］を選択した場合、先頭ページのみにヘッダー / フッターが印字されます。

11.7.2　ヘッダー / フッターの編集のしかた

1. ヘッダー / フッター設定画面で、編集したいヘッダー / フッターキーを押します。

2. ［確認 / 変更］を押します。

確認 / 変更画面が表示されます。

❍ ヘッダー / フッターを削除する場合は、［削除］を押します。

3. ［OK］を押します。

11.8 認証方式

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。

ユーザー認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するときに設定するのが適しています。

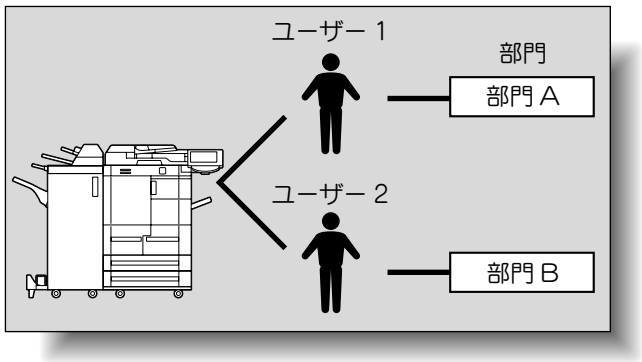
ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

11.8.1 ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

- ユーザー認証
  - 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャン操作／ファクス操作／プリンター印字／蓄積文書操作／送信文書印字／外部メモリー保存）
  - ユーザーごとに出力／読込みのカウントを行う
  - 各ユーザー所有の個人ボックス、グループボックスの操作をする
  - 各ユーザの参照できる宛先の参照許可グループ / レベルの操作をする
  - 他のユーザーのジョブを削除禁止する
- 部門管理
  - 部門ごとに出力／読込みのカウントを行う
  - グループボックスの操作をする

11.8.2 ユーザー認証と部門管理を連動する場合



本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
部門管理	［管理する］を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	［連動する］を選択します。
ユーザー登録 / 所属部門	本体装置認証選択時は、所属部門を設定します。

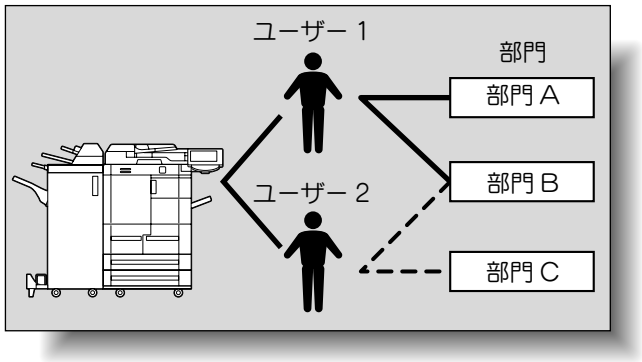
ひとこと

- 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。
- 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザー認証 / 部門認証して本機を使用するには、ユーザー名、パスワードなどを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザーごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証）」（p. 1-39）をごらんください。
- ユーザー認証と部門管理は連動しないで設定することができます。

参照

外部サーバー認証については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.8.3　ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に統計をとったり、業務別（部門別）に集計をとることができます。また社員 1、社員 2 で同じ業務をする場合も、社員別（ユーザー別）、業務別（部門別）に集計がとれます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
部門管理	［管理する］を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	［連動しない］を選択します。

11.8.4　認証方式の設定のしかた

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［1 認証方式］を押します。

認証方式画面が表示されます。

4 「ユーザー認証」を設定します。

- ユーザー認証をしない場合は、［認証しない］を押します。
- 外部サーバーを使用してユーザー認証を行う場合は、［外部サーバー認証］を押し、サーバーの種類を選択します。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

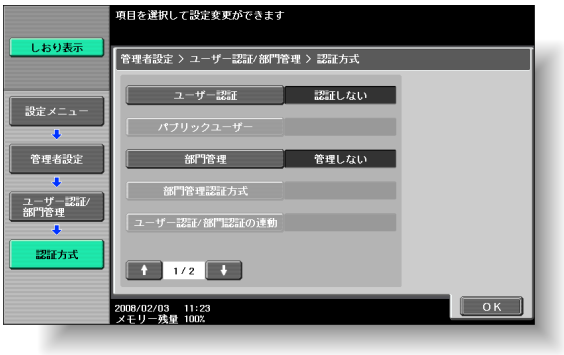
詳しく説明します

外部サーバーを使用するには、あらかじめ外部サーバーを登録しておく必要があります。

参照

外部サーバー認証については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

❍ 本機の認証システムを使用してユーザー認証を行う場合は、［本体装置認証］を押します。



原則

外部サーバーのユーザー名には同一文字で大文字と小文字が入る名称は使用しないでください。bizhub 751/601 では大文字小文字の区別ができないため、正しく処理できないことがあります。

5

「パブリックユーザー」を設定します。

❍［許可しない］は本機に登録されていないユーザーは使用できない設定です。

❍［許可する］はユーザー認証設定をしている場合でも、認証画面で［パブリックユーザー］を押すと、ユーザー名やパスワードを入力しないで使用できる設定です。

❍［許可後ログイン］は、パブリックユーザーとしてログインするときは認証なしで本機を使用できる設定です。認証されているユーザーとしてログインするときは、初めに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。

6

「部門管理」を設定します。

❍ 部門管理をしない場合は［管理しない］を押します。

❍ 部門管理を行う場合は［管理する］を押します。

7

「部門管理認証方式」を設定します。

❍［部門名＋パスワード］は、部門認証画面で部門名とパスワードを入力してから本機を使用できる設定です。

❍［パスワードのみ］は、部門認証画面でパスワードを入力すると本機を使用できる設定です。

ひとこと

・「ユーザー認証 / 部門認証の連動」は、「ユーザー認証」が［外部サーバー認証］または［本体装置認証］を選択して「部門管理」が［管理する］を選択しているときに、設定できます。
・パブリックユーザーの使用を［許可する］に設定した場合でも、「ユーザー認証 / 部門認証の連動」を［連動しない］に設定すると、パブリックユーザーの使用は［許可しない］が設定されます。

詳しく説明します

・ユーザー認証 / 部門認証の連動で［連動しない］を選択した場合、パブリックユーザーの使用を許可することはできません。
・ユーザー認証と部門管理の両方を設定した場合、部門管理認証方式は、「部門名＋パスワード」が設定されます。
・「パブリックユーザー」は、本機を一時的に使用するユーザーの設定です。使用を許可する場合は機能制限設定することをおすすめします。詳しくは、「ユーザー登録」（p. 11-69）をごらんください。
・［本体装置認証］［外部サーバー認証］を選択している場合に、部門管理を行うと、ユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力し、次に部門認証画面で部門名とパスワードを入力します。

8

「ユーザー認証 / 部門認証の連動」を設定します。

- ［連動する］
  ［本体装置認証］と部門管理を［管理する］に設定した場合、ユーザー登録時に所属部門を設定しておくことで、1 度目の認証からユーザー認証のみで本機を使用できる設定です。
  ［外部サーバー認証］と部門管理を［管理する］に設定した場合、1 度ユーザー認証と部門認証にて本機を使用すると、次回使用するときから認証された部門に連動されユーザー認証のみで、本機を使用できる設定です。
- ［連動しない］
  本機を使用するたびにユーザー認証と部門認証を行う設定です。

9

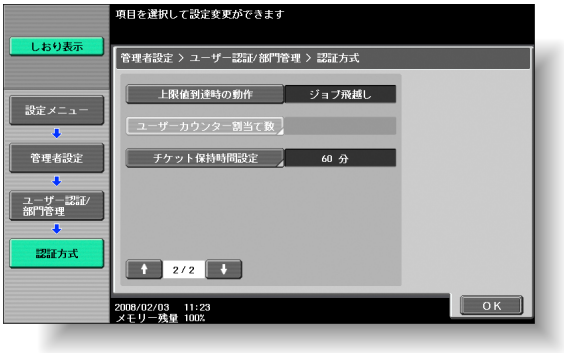
［↓］を押します。

2 ページ目が表示されます。

10

「上限値到達時の動作」を設定します。

- ユーザー認証または部門管理で設定した上限値に到達したときにジョブを飛越す場合は、［ジョブ飛越し］を押します。
- ユーザー認証または部門管理で設定した上限値に到達したときに全てのジョブを停止する場合は、［ジョブ停止］を押します。



11

「ユーザーカウンター割当て数」を設定します。

- 【C】を押しテンキーで数値を入力します。（1 個～ 999 個）
- ユーザー認証と部門管理を有効にしている場合は、カウンターを部門用とユーザー用の両方に割振ることができ、両方のカウント値も集計できます。

12

「チケット保持時間設定」を設定します。

- テンキーで時間を入力します。（1 分～ 60 分）

詳しく説明します

- ［本体装置認証］と部門管理を［管理する］に設定した場合、1 度ユーザー認証と部門認証にて本機を使用すると、認証した部門が所属部門に登録されます。次回からはユーザー認証のみで使用できます。
- ユーザー認証 / 部門認証の連動で［連動しない］を選択した場合、パブリックユーザーの使用を許可することはできません。

ひとこと

- 「ユーザーカウンター割当て数」は、「ユーザー認証」が［外部サーバー認証］または［本体装置認証］を選択して「部門管理」が［管理する］を選択しているときに、設定できます。
- ユーザーカウンター割当て数を 50 個にした場合、部門数は 950 個まで登録できます。

詳しく説明します

Kerveros 認証チケットの保持時間を設定します。認証サーバータイプが Active Directory 選択時に適用されます。

13 ［OK］を押します。

❍「ユーザー認証」や「部門管理」、「ユーザーカウンター割当て数」の設定を変更すると、「すべての使用管理データをクリアしますか？」というメッセージが表示されます。

14 ［はい］を押し、［OK］を押します。

認証方式が設定されます。
続けてユーザー認証の設定や部門管理の設定をします。

ひとこと

・［いいえ］を押した場合は、使用管理データはクリアされませんが、設定を変更できません。
・以下の設定を変更したときは、データクリアされません。「パブリックユーザー」、「上限値到達時の動作」、「ユーザー認証 / 部門認証の連動」、「チケット保持時間設定」
・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

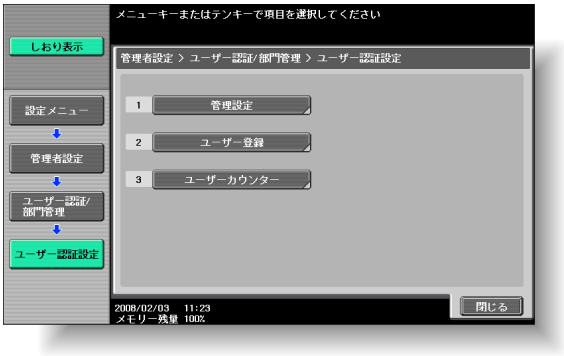
11.9　ユーザー認証設定

ユーザー認証に関する設定ができます。

11.9.1　管理設定－ユーザー名一覧表示

ユーザー認証設定をしているときに、ユーザー認証画面やユーザー名入力欄に［ユーザー名一覧］を表示することができます。［ユーザー名一覧］を押すと、本機に登録されているユーザー名が表示されるため、一覧から選択するだけでユーザー名を設定できます。（初期値：表示しない）

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［2 ユーザー認証設定］を押します。
   ユーザー認証設定画面が表示されます。
4. ［1 管理設定］を押します。



5. ［ユーザー名一覧］を押します。
   設定値選択キーが表示されます。
6. 目的の設定値選択キーを押します。
   ユーザー名の一覧キーの表示が設定されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

ひとこと

［2 ユーザー認証設定］は、認証方式でユーザー認証が［認証しない］に設定されていると選択できません。

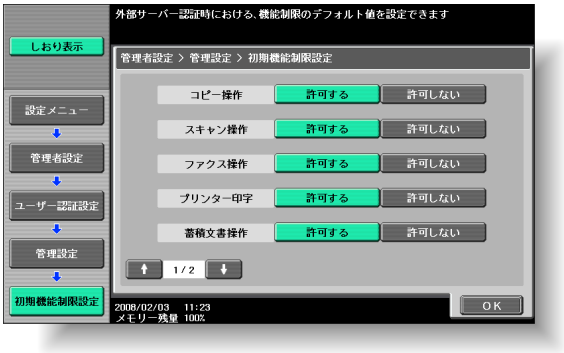
11.9.2　初期機能制限

外部サーバー認証を設定している場合、認証したユーザーが本機で使用できる機能を制限できます。（初期値：許可する）

制限できるのは、以下の機能です。

- コピー操作
- スキャン操作
- ファクス操作
- プリンターからの印字
- ハードディスクに蓄積されている文書の操作
- 送信文書の印字
- 外部メモリー保存

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［2 ユーザー認証設定］を押します。
   ユーザー認証設定画面が表示されます。
4. ［1 管理設定］を押します。
5. ［初期機能制限設定］を押します。
   初期機能制限設定画面が表示されます。
6. 目的のキーを押します。



7. ［OK］を押します。
   初期機能制限が設定されます。

ひとこと

- 登録済みのユーザーに使用制限をかけたい場合は、［ユーザー登録］で設定します。
- 送信文書印字設定では、ボックスに保存した文書をスキャン送信やファクス送信する場合に、印字を禁止することができます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

ひとこと

［2 ユーザー認証設定］は、認証方式でユーザー認証が［認証しない］に設定されていると選択できません。

11.9.3　パブリックユーザーの認証

ユーザー認証を設定し、パブリックユーザーの使用を許可している場合、パブリックユーザーの認証には 2 種類の方法があります。

［許可する］：認証画面に表示される［パブリックユーザー］を押すと、基本設定画面が表示され、本機の操作ができる状態になります。

［許可後ログイン］：パブリックユーザーとしてログインするときは、認証なしで本機を使用できる設定です。認証されているユーザーとしてログインするときは、初めに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。

（初期値：許可しない）

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［1 認証方式］を押します。
4. ［パブリックユーザー］を押します。
   設定値選択キーが表示されます。
5. 目的の設定値選択キーを押します。
   パブリックユーザーの認証方法が設定されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

ひとこと

［パブリックユーザー］は、ユーザー認証が［認証しない］に設定されていると選択できません。

11.9.4　ユーザー登録

本機を使用するユーザーごとに、パスワード、印刷枚数の上限値、使用できる機能を設定できます。

また、本機に認証装置を装着した場合は、ユーザーの静脈パターンまたは IC カードの情報も登録できます。

ここでは本体装置認証時のユーザー登録を例に説明します。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［2 ユーザー認証設定］を押します。
   ユーザー認証設定画面が表示されます。
4. ［2 ユーザー登録］を押します。

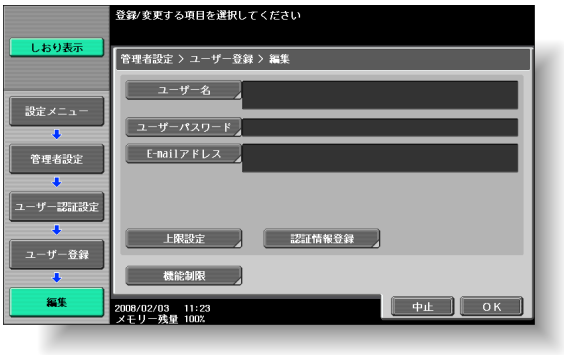
参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

5 目的のユーザーキーを押し、［編集］を押します。

各ユーザーの編集画面が表示されます。

6 ［ユーザー名］を押します。



ユーザー名画面が表示されます。

7 ユーザー名を入力し（全角 32 文字まで、半角 64 文字まで）、［OK］を押します。

ユーザー名が設定されます。

8 ［ユーザーパスワード］を押します。

パスワード画面が表示されます。

9 パスワードを入力し（64 文字まで）、［OK］を押します。
確認のため、パスワード画面が再び表示されますので、同じパスワードをもう 1 度入力し、［OK］を押します。

ユーザーパスワードが設定されます。

10 ［E-mail アドレス］を押します。

E-mail アドレス画面が表示されます。

11 E-mail アドレスを入力し（半角 320 文字まで）、［OK］を押します。

E-mail アドレスが設定されます。

詳しく説明します

- 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1000 件まで登録できます。
- 認証方式でパブリックユーザーが［許可する］に設定されている場合は、Public が 1 件追加されます。パブリックユーザーの機能制限ができます。
- 認証方式で部門管理を［管理する］に設定されている場合は、カウンター割当てで設定された件数まで登録できます。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

ひとこと

- ユーザー名は 1 度登録すると変更できません。
- すでに登録されているユーザー名は、登録できません。

ひとこと

［ユーザーパスワード］は、認証方式でユーザー認証が［外部サーバー認証］に設定されていると表示されません。

ひとこと

E-Mail アドレスが 69 文字以上になると、ユーザー登録画面に［詳細］が表示されます。［詳細］を押すと E-Mail アドレス詳細画面が表示され、E-Mail アドレスが表示されます。

12 部門管理を行う場合は、［所属部門］を押します。

所属部門画面が表示されます。

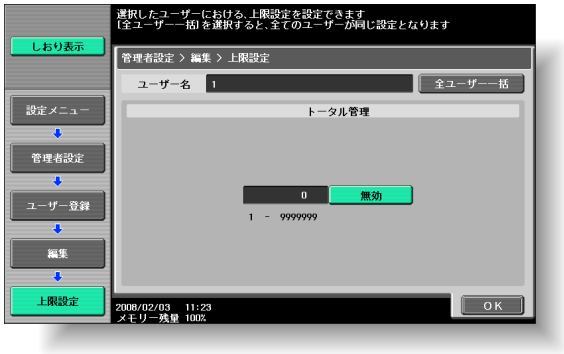
13 目的の所属部門キーを押し、［OK］を押します。

所属部門が設定されます。

14 ［上限設定］を押します。

上限設定画面が表示されます。

15 上限枚数を設定する場合は、テンキーで上限枚数を入力します。
上限枚数を設定しない場合は、［無効］を選択します。



16 ［OK］を押します。

上限枚数が設定されます。

17 生体認証または IC カード認証を行う場合は、［認証情報登録］を押します。

認証情報登録画面が表示されます。

18 ［編集］を押します。

- 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を利用する場合は、認証装置に指を置いて静脈パターンを登録します。
- 認証装置（IC カード認証タイプ）を利用する場合は、認証装置に IC カードを置きカードの情報を登録します。

19 ［機能制限］を押します。

機能制限画面が表示されます。

ひとこと

［所属部門］は、認証方式で部門管理が［管理する］に設定されている場合にのみ表示されます。

参照

所属部門を選択する前に部門登録が必要です。
部門の登録のしかたは、「部門登録」（p. 11-74）をごらんください。

ひとこと

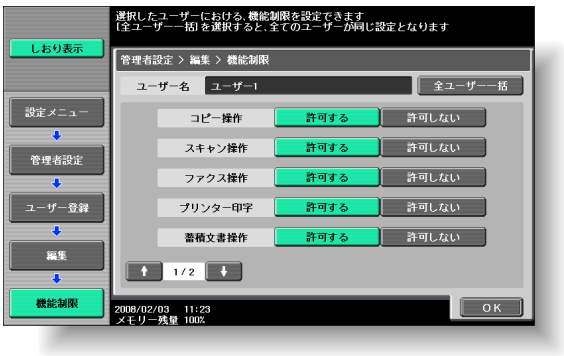
［全ユーザー一括］を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザー登録にも反映されます。［全ユーザー一括］を押して［OK］を 2 回押すと一括処理が行われます。

ひとこと

［認証情報登録］は、本機に認証装置が装着されている場合にのみ表示されます。

20 それぞれの項目の目的のキーを押します。

- ❍ 操作を許可する場合は、［許可する］を押します。
- ❍ 操作を許可しない場合は、［許可しない］を押します。



21 ［OK］を押します。

22 機能制限が設定されます。
［OK］を押します。

11.9.5　ユーザーカウンター

ユーザーごとに以下の項目を確認できます。

＜全プリント＞
コピー、プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総印刷枚数
- 上限値：ユーザー登録で設定した印刷枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総印刷枚数

＜コピー＞
コピーの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総コピー印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピー印刷枚数

＜プリンター＞
プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総プリンター印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンター印刷枚数

＜ファクス / スキャン＞

- トータル：ファクス、スキャンでの、総読取り枚数／総印刷枚数
- 大サイズ：ファクス、スキャンの大サイズ用紙での、総読取り枚数／総印刷枚数

＜原稿枚数＞

- スキャンした原稿枚数が表示されます。

＜用紙枚数＞

- 印刷時に使用した用紙枚数が表示されます。

＜ファクス送信枚数＞

- ファクス送信枚数：ファクスでの総送信枚数

ひとこと

- ［全ユーザー一括］を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザー登録にも反映されます。［全ユーザー一括］を押して［OK］を 2 回押すと一括処理が行われます。
- 送信文書印字設定では、ボックスに保存した文書をスキャン送信やファクス送信する場合に、印字を禁止することができます。
- 機能制限の設定によって、ログイン時の基本画面が切換わります。基本画面切換えの優先順位は、コピー→スキャナー→ファクス→ボックスです。
- どの機能も許可されていない場合は、ユーザー認証されません。

ひとこと

- ［中止］を押すと、現在の画面の設定が、取消されます。
- ユーザー登録画面で［削除］を押すと、選択中のユーザー情報が削除されます。

詳しく説明します

- 外部サーバー認証時のユーザーカウンターは、自動的にカウント処理されます。
- パブリックユーザーはカウンターの「public」にカウントされます。
- ボックス管理者はカウンターの「BoxAdmin」にカウントされます。

11.9.6　ユーザーカウンターの表示のしかた

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。
   ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
3. ［2 ユーザー認証設定］を押します。
   ユーザー認証設定画面が表示されます。
4. ［3 ユーザーカウンター］を押します。
5. 目的のユーザーキーを押し、［カウンター詳細］を押します。
   各ユーザーのカウンター詳細画面が表示されます。
6. 確認する項目のキーを押し、カウンターを確認します。

7. ［閉じる］を押します。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

詳しく説明します

- 各ユーザーカウンター画面で表示されている［カウンタークリア］を押すと、表示しているユーザーのカウンターをクリアします。［カウンタークリア］を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押し、［OK］を押すと、表示しているユーザーのカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。
- ユーザーカウンター画面で表示されている［一括カウンタークリア］を押すと、全てのユーザーのカウンターをクリアします。［一括カウンタークリア］を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押し、［OK］を押すと、全てのユーザーのカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。

11.10　部門管理設定

11.10.1　部門登録

本機を使用する部門ごとに、パスワード、印刷枚数の上限値を設定できます。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［3 部門管理設定］を押します。

部門管理設定画面が表示されます。

4 ［1 部門登録］を押します。

5 目的の部門キーを押し、［編集］を押します。

各部門の編集画面が表示されます。

＜部門名＋パスワードの場合＞

＜パスワードのみの場合＞

6 ［部門名］を押します。

部門名画面が表示されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

ひとこと

- 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。
- 部門管理の認証方式の設定により表示される画面が異なります。

詳しく説明します

部門名＋パスワードの場合、同じ部門名は使用できません。

7 部門名を入力し（英数字 8 文字まで）、［OK］を押します。

部門名が設定されます。

8 ［パスワード］を押します。

パスワード画面が表示されます。

9 パスワードを入力し（半角 8 文字まで）、［OK］を押します。
確認のため、パスワード画面が再び表示されますので、同じパスワードをもう 1 度入力し、［OK］を押します。

ユーザーパスワードが設定されます。

10 ［上限設定］を押します。

上限設定画面が表示されます。

11 上限枚数を設定する場合は、テンキーで上限枚数を入力します。
上限枚数を設定しない場合は、［無効］を選択します。

12 ［OK］を押します。

上限枚数が設定されます。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 14-2）をごらんください。

ひとこと

- ［名称］が表示されている場合は、部門名称を入力し、（全角 10 文字、半角 20 文字まで）［OK］を押します。
- 認証方式が［部門名＋パスワード］に設定されている場合、同じ部門名は登録できません。

ひとこと

認証方式が［パスワードのみ］に設定されている場合、同じパスワードを登録できません。

詳しく説明します

［全部門一括］を押すと、現在の画面の設定が、現在登録されている全ての部門に反映されます。［全部門一括］を押して［OK］を 2 回押すとデータ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。このとき、主電源スイッチは絶対に“OFF”しないでください。

13 ［OK］を押します。

ひとこと

［削除］を押すと、選択中の部門情報が削除されます。

11.10.2　部門カウンター

部門ごとに以下の項目を確認できます。

<全プリント>

コピー、プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総印刷枚数
- 上限値：部門登録で設定した印刷枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総印刷枚数

<コピー>

コピーの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総コピー印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピー印刷枚数

<プリンター>

プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総プリンター印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンター印刷枚数

<ファクス / スキャン>

- トータル：ファクス、スキャンでの、総読取り枚数／総印刷枚数
- 大サイズ：ファクス、スキャンの大サイズ用紙での、総読取り枚数／総印刷枚数

<原稿枚数>

- スキャンした原稿枚数が表示されます。

<用紙枚数>

- 印刷時に使用した用紙枚数が表示されます。

<ファクス送信枚数>

- ファクス送信枚数：ファクスでの総送信枚数

詳しく説明します

パブリックユーザーはカウンターの「public」にカウントされます。

11.10.3　部門カウンターの表示のしかた

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［3 部門管理設定］を押します。

部門管理設定画面が表示されます。

4 ［2 部門カウンター］を押します。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 11-36）をごらんください。

5 目的の部門キーを押し、［カウンター詳細］を押します。
各部門のカウンター詳細画面が表示されます。

6 確認する項目のキーを押し、カウンターを確認します。

7 ［閉じる］を押します。

詳しく説明します

- 各部門カウンター画面で表示されている［カウンタークリア］を押すと、表示している部門のカウンターをクリアします。［カウンタークリア］を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押し、［OK］を押すと、表示している部門のカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。
- 部門カウンター画面で表示されている［一括カウンタークリア］を押すと、全ての部門のカウンターをクリアします。［一括カウンタークリア］を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押し、［OK］を押すと、全ての部門のカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。

11.11　パスワード規約

パスワード規約を適用すると、パスワードに対して以下のような制約がかかり、セキュリティーを強化することができます。

パスワード規約を適用したときに、すでに設定してあるパスワードがパスワード規約に合わない場合、そのパスワードを入力しても受け付けなくなります。その場合は、管理者に依頼して、以下の条件をみたすパスワードに設定し直してもらってください。

詳しく説明します

パスワードに使用される文字には、以下の条件があります。

・英字の大文字と小文字は区別されます。
・使用できる記号は、「+」「"」以外の半角記号です。

11.11.1　パスワード規約による制約

<管理者パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

管理者設定を行う場合に使用します。

<ユーザーパスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字以上の半角英数字および記号	・同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

ユーザー認証を行う場合に使用します。

<部門パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

部門認証を行う場合に使用します。

<ボックスのパスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

ボックスのファクス通信パスワードは、半角数字、＊、# で 8 文字のパスワードを登録します。

<セキュリティー文書パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・同一文字のみのパスワードは登録できません。

ひとこと

パスワード規約に合わないパスワードを設定するとセキュリティー文書を印刷することができません。

11.12　セキュリティー強化設定

本機にセキュリティー強化設定を適用すると、さまざまなセキュリティー機能設定が連動して切換えられ、スキャンされたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザーの操作には制限がかかり、パブリックユーザーの使用を禁止したり、ボックス操作が制限されたりします。

セキュリティー強化設定を ON にするには、あらかじめ必要な機能設定や強制的に切換えられる機能設定があります。セキュリティー強化設定を ON にする前に、各セキュリティー機能の設定を確認しておく必要があります。

<必要な設定>

セキュリティー強化設定を ON にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証 / 部門管理／認証方式／ユーザー認証	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
システム連携／ OpenAPI 設定／ SSL 使用	キーが表示された状態にします。
セキュリティー設定／管理者パスワード	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
セキュリティー設定／ HDD 管理設定／ HDD ロックパスワード ※または、オプションのセキュリティーキットを装着	HDD ロックパスワードを設定します。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／認証操作禁止機能	5 分以上に設定します。
セキュリティー設定／フラッシュメモリーロックパスワード	フラッシュメモリーロックパスワードを設定します。

必ずお守ってください

セキュリティー強化設定に適合しない機能設定がある場合、セキュリティー強化設定を［ON］にすることができません。

詳しく説明します

- セキュリティー強化設定を適用するには、必要な条件があります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- セキュリティー強化設定を［ON］にすると、必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

詳しく説明します

- 認証方式で部門管理を設定する場合は、部門管理認証方式で［部門名 + パスワード］を選択します。
- SSL 使用は PageScope Web Connection で証明書が登録済の場合に表示されます

<変更される設定>

セキュリティー強化設定を ON にすると、セキュリティーを強化するため連動して以下のように設定変更されます。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
環境設定／ユーザー操作禁止設定／変更禁止設定／宛先登録変更	［禁止］に設定されます。
ユーザー認証 / 部門管理／認証方式／パブリックユーザー	［許可しない］に設定されます。
ユーザー認証 / 部門管理／ユーザー認証設定／管理設定／ユーザー名一覧表示	［表示しない］に設定されます。
ユーザー認証 / 部門管理／認証指定なし印刷	［禁止］に設定されます。
セキュリティー設定／ボックス管理者設定	［認めない］に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／パスワード規約	［有効］に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／認証操作禁止機能	［モード 2］、チェック回数 3 回に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／セキュリティー文書アクセス方式	［モード 2］に設定されます。
セキュリティー設定／ HDD 管理設定／一時データ上書き削除	［モード 1］に設定されます。

<ユーザーの操作制限>

セキュリティー強化設定を ON にすると、タッチパネルにアイコンが表示され、ユーザーに対して以下のように操作が制限されます。

- パブリックユーザーは本機を使用できません。
- ユーザー認証画面でユーザー一覧が表示されません。
- ユーザーが認証に指定回数連続失敗した場合、操作パネルの操作ができなくなります。パネル操作禁止になった場合は、［操作禁止解除］を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。
- ユーザーによる、宛先の変更ができません。
- PageScope Net Care、PageScope VISUALCOUNT-MASTER で、本機内のカウンターデータの取出しができません。
- SNMP v1/v2c で write を行うアプリケーションは、接続できません。
- SNMP v3 で、Write ユーザーは認証が必要になります。

ひとこと

・認証操作禁止機能の設定で、チェック回数は 1 回～ 3 回から変更することができます。
・変更された設定は、セキュリティー強化設定を OFF に戻した場合、変更されません。
・パスワード規約が ON に設定されると、規約を満たしていないパスワードは認証時に認証失敗になります。パスワード規約については、「パスワード規約」（p. 11-78）をごらんください。

参照

変更されるネットワーク設定については、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

ひとこと

一時データ上書き削除で［モード 2］に設定していた場合は、変更されません。

参照

・ユーザーに対するボックス操作の制限については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
・ユーザーに対する印刷方法の制限については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。
・認証失敗による操作禁止の解除方法について、詳しくは「セキュリティー設定」（p. 11-33）をごらんください。

第 12 章
認証装置
（指静脈 生体認証タイプ AU-101）

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）について説明します。

12.1　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方 12-2

12.1　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方

認証装置（指静脈生体認証タイプ）AU-101 は、指の静脈パターンを撮影することにより個人認証を行う「バイオメトリクス（生体認証）」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を指静脈による認証で行うことができます。

状態表示 LED と報知音により、認証装置の状態を表します。

状態表示 LED	認証装置の状態
点灯（緑）	待機中・認証完了
点滅（緑）	認証中・撮影中
点灯（赤）	認証失敗・撮影失敗
消灯	認証装置を認識していない状態

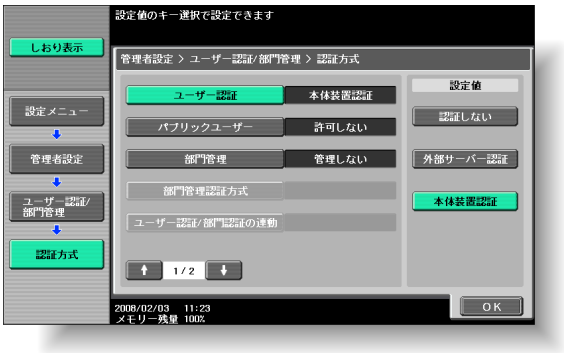
報知音	認証装置の状態
短く 1 度（ピッ）	撮影開始
短く 1 度（ピッ）	認証失敗リトライ中
短く 1 度（ピッ）	認証完了
短く 2 度（ピピッ）	認証失敗

認証装置を使用するためには、最初にユーザーの指静脈パターンを本機に登録します。登録されたユーザーは、指静脈パターンによる認証で、本機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインやタッチ＆プリントでの印刷方法を説明します。

12.1.1　本機の設定

1 本機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押し［1 認証方式］を押します。

2 ［ユーザー認証］を「本体装置認証」に設定し、［OK］を押します。



3 ［8 認証装置設定］を押し［1 認証方式］を押し［生体認証］を押します。

ひとこと

人差し指は読取り部分の窪みと突起部分を目標にして、人差し指の指先の腹で軽く触れるようにまっすぐにした状態で置いてください。中指と親指を認証装置の両側に固定し、認証に使用する人差し指の回転を防ぎます。
認証装置への指の置き方については、「すぐに使える操作ガイド 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）」をごらんください。

必ずお守ってください

- 撮影中は認証装置の読取り部分に指以外のものを置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。
- 撮影中に認証装置やコンピューターから USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

詳しく説明します

本機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

ひとこと

外部サーバー認証はサポートされません。
部門管理の設定を組合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、「連動する」を指定します。「連動しない」を指定した場合は、タッチ＆プリント機能が使用できません。

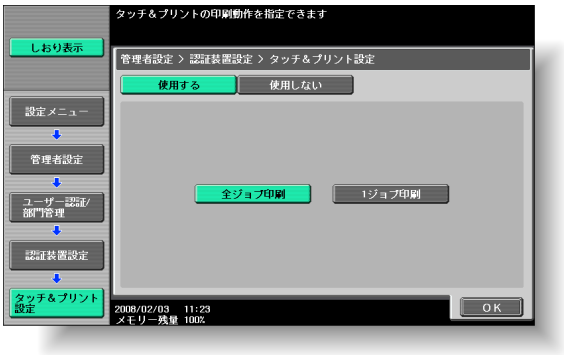
4 「報知音」と「動作設定」の設定を選択します。

- 「報知音」は、指静脈パターンの読取りに成功したときに「ピッ」という音をならすかどうかを指定します。
- 「動作設定」は、登録後のログインのしかたを指定します。
  1 対多認証：指を置くだけでログインできます。
  1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことでログインできます。1 対 1 認証でユーザー登録した場合は、タッチ＆プリント機能が使用できません。

5 ［OK］を 2 回押します。

6 ［2 タッチ＆プリント設定］を押します。

7 タッチ＆プリント機能での印刷方法を設定します。



- ［全ジョブ印刷］：タッチ＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- ［1 ジョブ印刷］：タッチ＆プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

ひとこと

ログインのしかたについては、「本機へのログイン」（p. 12-15）をごらんください。

ひとこと

タッチ＆プリント機能については、「タッチ＆プリント機能」（p. 12-16）をごらんください。

❍［使用しない］を選択した場合は、タッチ＆プリント機能が使用できません。

8 ［OK］を押します。

9 ［3 ログアウト設定］を押します。

10 認証装置でのログイン後、原稿読込終了時にログアウトするかどうかを設定します。

11 ［OK］を押します。

12 ［閉じる］を 2 回押します。

12.1.2　ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には 2 つの方法があります。

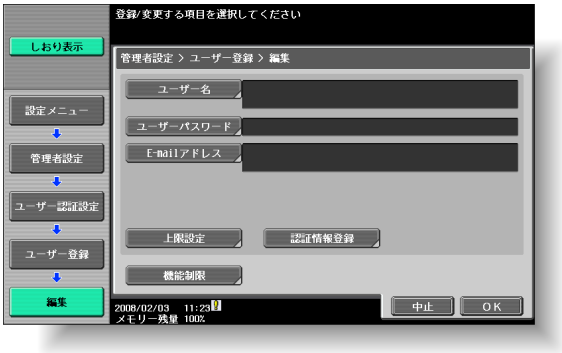
- 認証装置を本機に接続し、直接本機に登録する
- 認証装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する

■ 本機の操作パネルで登録する

1 本機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押し［2 ユーザー認証設定］を押し［2 ユーザー登録］を押します。

2 登録番号を選択し、［編集］を押します。

3 ［認証情報登録］を押します。



詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

ひとこと

[2 ユーザー認証設定] は、認証方式でユーザー認証が [認証しない] に設定されていると選択できません。

4 ［編集］を押します。

5 認証装置に指を置いて指静脈パターンの読取りを行います。

❍ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおし［OK］を押します。

6 ［閉じる］を 2 回押します。

7 ユーザー名、パスワードを入力します。

8 必要に応じて、機能制限などを設定します。

9 ［OK］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

■ Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、認証装置の BioDriver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator Bio Plugin をインストールするという手順を行います。

必ず守ってください

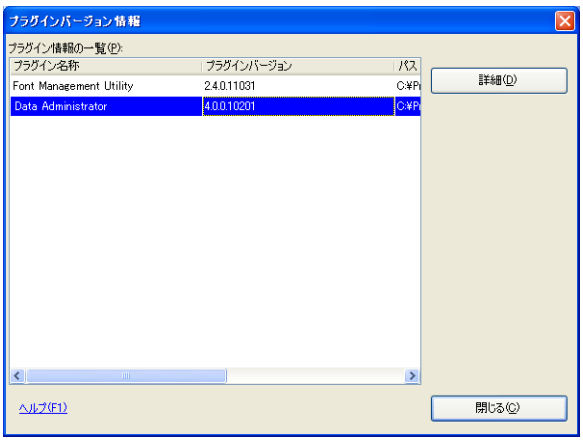
あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

■ インストールバージョンの確認

1. Data Administrator の「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択します。

2. ［プラグインバージョン情報］をクリックします。

3. 「プラグイン情報の一覧」で、Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。



■ セットアップ

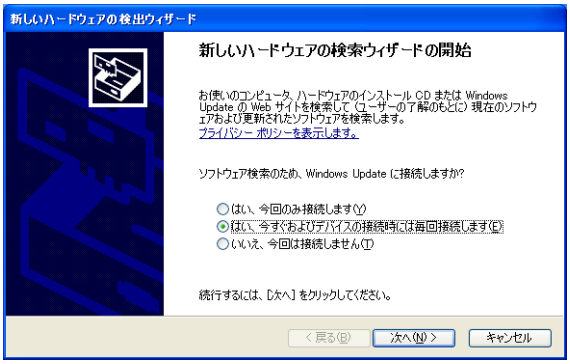
1. 本機の主電源を OFF にし、本機から認証装置を取外します。

2. BioDriver（USB-Driver）をインストールします。

   認証装置をコンピューターの USB ポートに接続します。

   新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

3. 「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。



ひとこと

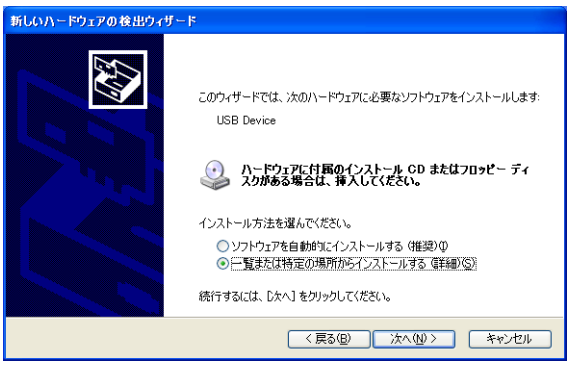
- バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。
- Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

ひとこと

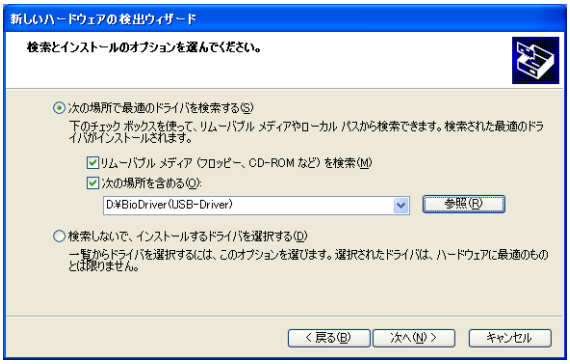
プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

4 認証装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

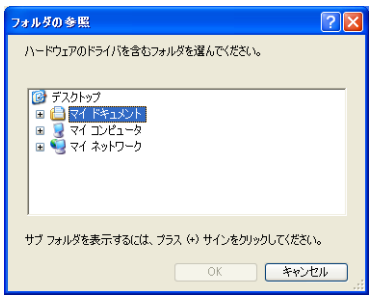
5 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。



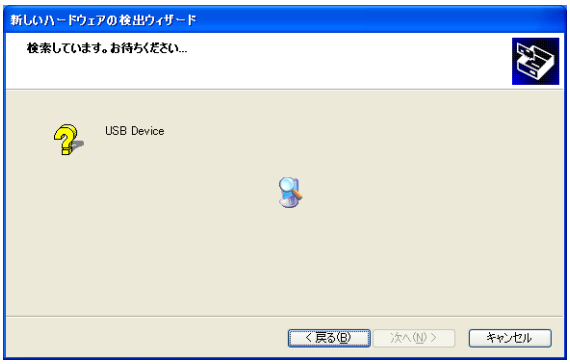
6 「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。



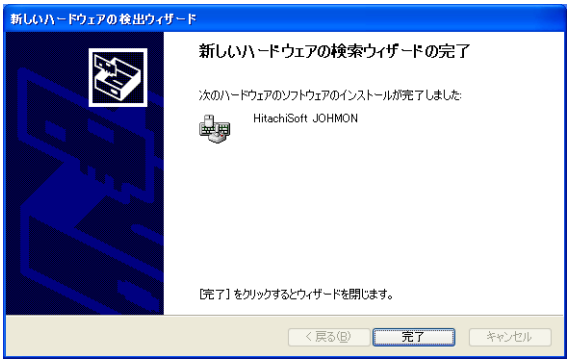
❍ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の BioDriver（USB-Driver）フォルダーを選択して［OK］をクリックします。



インストールが開始されます。



7 ［完了］をクリックします。



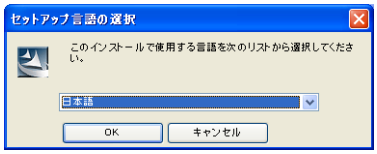
8 再度、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

BioDriver（USB-Driver）のインストールが完了します。

9 Data Administrator Bio Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の DA_Bio_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

10 言語を選択し、［OK］をクリックします。

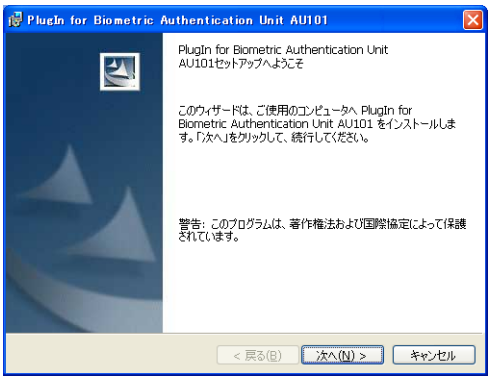


インストールプログラムが起動します。

11 画面の指示にしたがってインストールを行います。

12

［次へ］をクリックします。

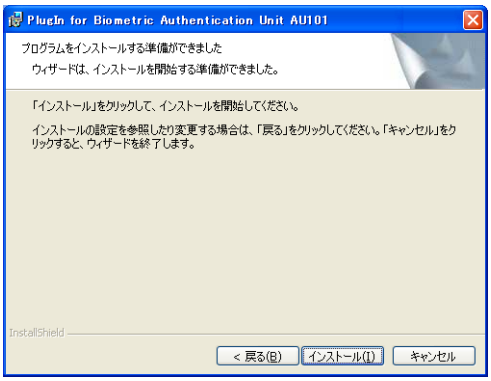


13

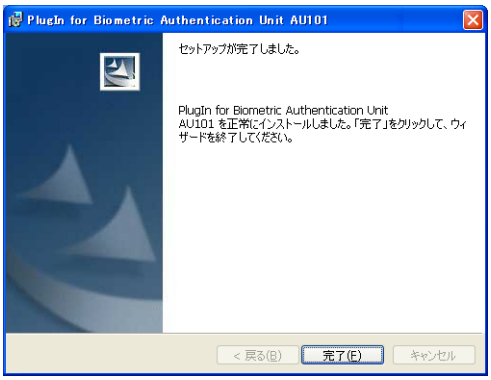
「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックします。

14

［インストール］をクリックします。

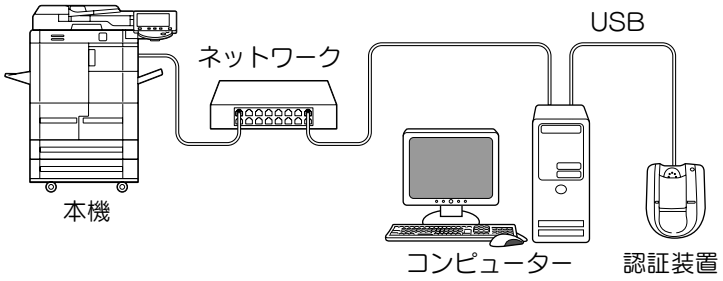


15 ［完了］をクリックします。



Data Administrator Bio Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

■ ユーザー登録



1 認証装置が本機に接続されている場合は、本機の主電源を OFF にして認証装置を取外します。

❍ 認証装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

2 本機の主電源を ON にします。

3 Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、認証装置を接続します。

詳しく説明します

Data Administrator でユーザー登録するには、認証装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

ひとこと

- 本機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

必ず守ってください

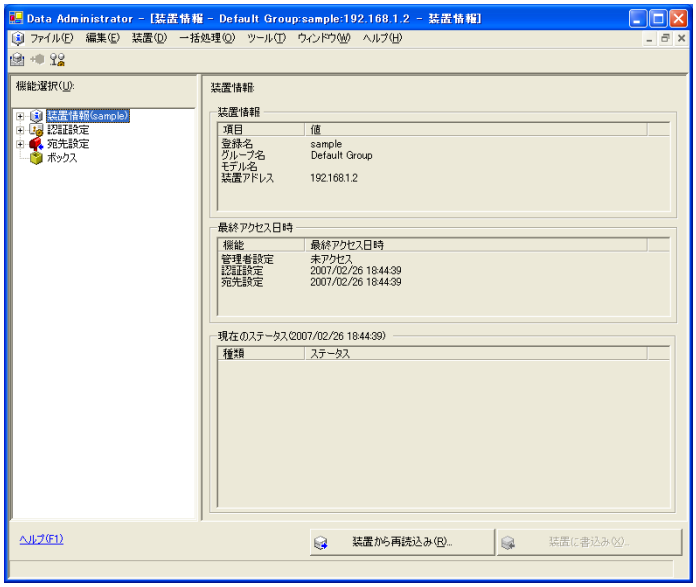
- 認証装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- 認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

4

Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

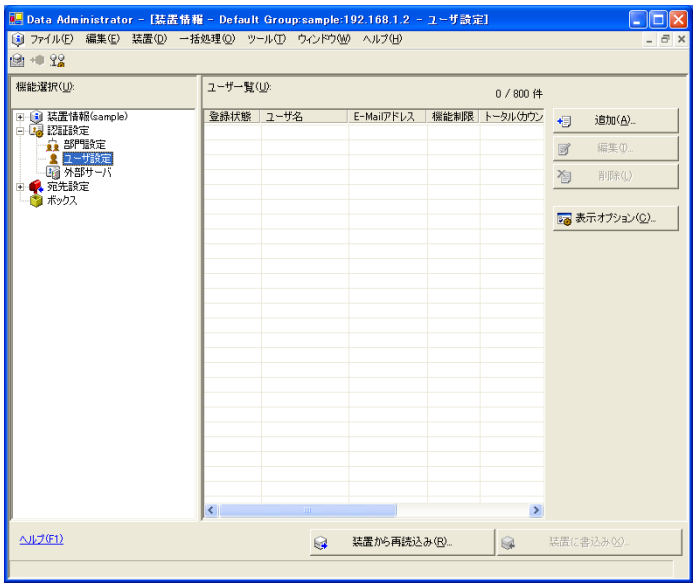
❍ 装置情報の読込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

装置情報画面が表示されます。

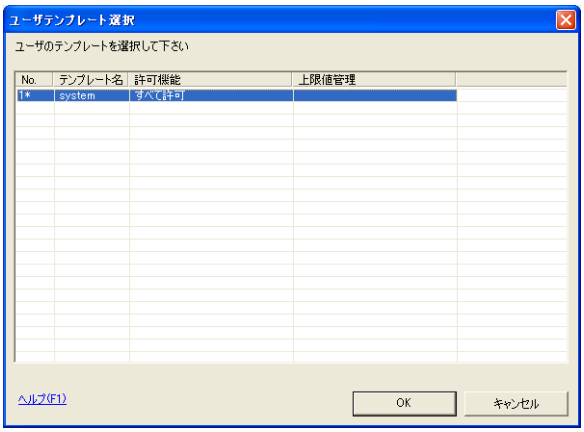


5

機能選択から「ユーザ設定」を選択し、［追加］をクリックします。



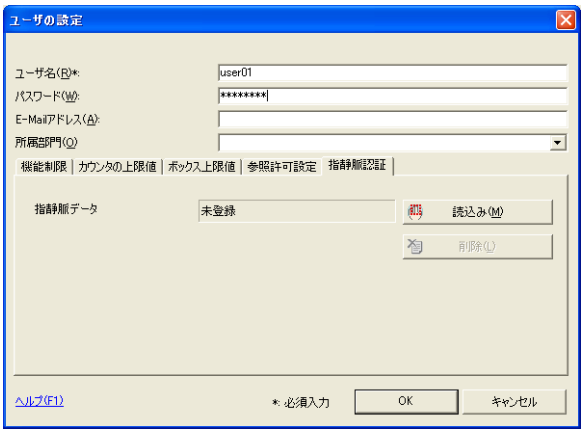
6 テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。



ユーザーの登録画面が表示されます。

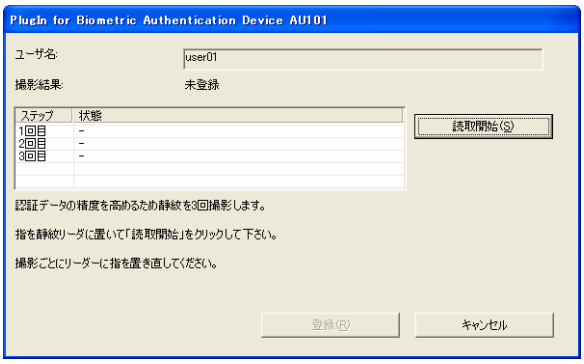
7 ユーザ名、パスワードを入力し、「指静脈認証」タブを選択して［読込み］をクリックします。

❍ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。



8 認証装置に指を置いて、［読取開始］をクリックします。

❍ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおします。

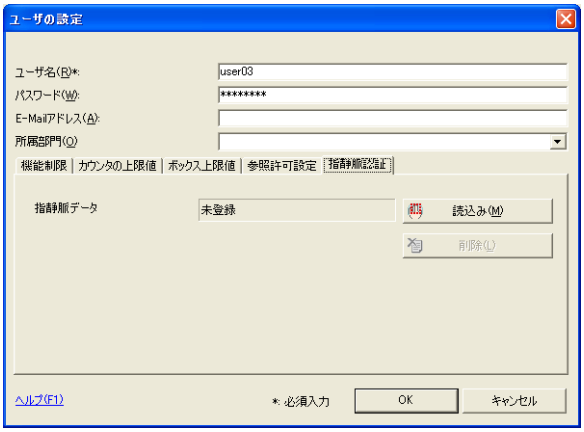


9 ［登録］をクリックします。

10

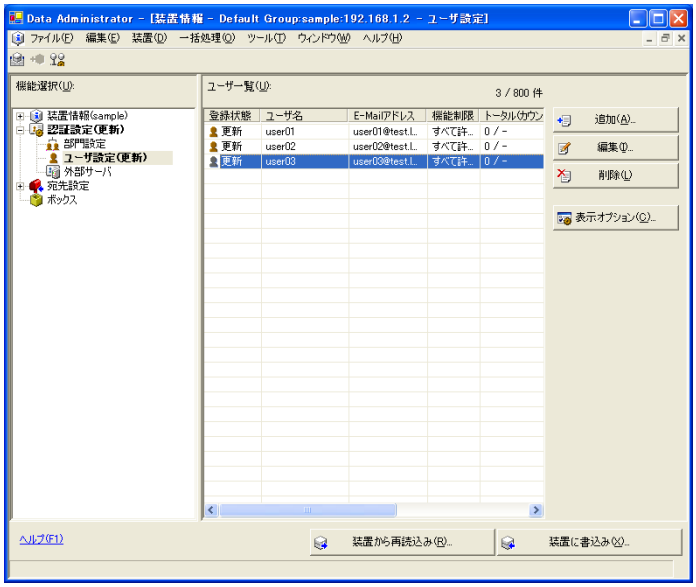
［OK］をクリックします。

❍ 手順 5 ～ 10 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。



11

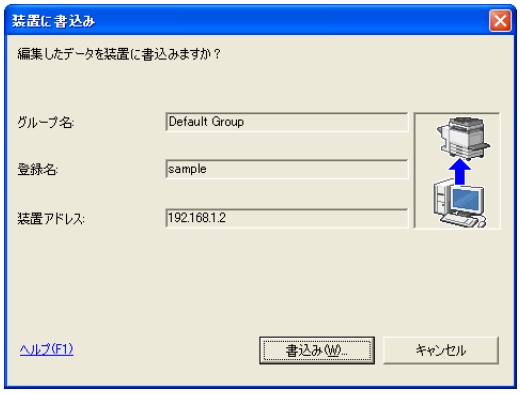
［装置に書込み］をクリックします。



❍ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

12

［書込み］をクリックします。



登録したユーザーデータが本機に設定されます。

詳しく説明します

Data Administrator には一括コピー機能があり、認証装置の使用が設定された複数の本機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

13 ［OK］をクリックします。

14 コンピューターの USB ポートから認証装置を取外します。

15 本機の主電源を OFF にして認証装置を接続し、本機の主電源を ON にします。

ひとこと

- 本機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

12.1.3　本機へのログイン

指静脈パターンによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

■ 1 対多認証が設定されている場合

➔ 認証装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

■ 1 対 1 認証が設定されている場合

1 「ユーザー名」を入力します。

2 認証装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

12.1.4　タッチ＆プリント機能

コンピューターから送信されたプリントジョブは、本機のタッチ＆プリントボックスに保存され、指静脈による認証で印刷されます。これをタッチ＆プリント機能と呼びます。

また、本機の操作パネルでタッチ＆プリントボックスに保存された文書を確認し、文書を指定して印刷することもできます。

タッチ＆プリント機能に対応しているプリンタードライバーとコンピューターの OS は以下の通りです。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL ドライバー	PCL6	Windows NT4.0（SP6a）、 Windows 2000 Professional（SP4 以降）、 Windows XP Home Edition/ Professional（SP2 以降）、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64

ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をしなおしてください。

詳しく説明します

本機の「動作設定」で「1 対多認証」を選択し、「タッチ＆プリント設定」を「使用する」に設定した場合に、タッチ＆プリント機能を使用できます。

上記設定について、詳しくは「本機の設定」（p. 12-2）をごらんください。

ひとこと

プリンタードライバーの設定やボックス機能については、本機に付属のユーザーズガイドをごらんください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PostScript ドライバー （PS ドライバー）	PostScript3 Emulation	Windows 2000 Professional（SP4 以降）、 Windows XP Home Edition/ Professional（SP2 以降）、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64 Windows Vista（全バージョン） Windows Vista x64
PostScript PPD ドライバー （PS-PPD）		Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4

■ タッチ＆プリント（Windows の場合）

装置情報タブの設定

1. Windows 2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2. インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3. 「装置情報」タブをクリックします。

4. 「装置オプション」で「ユーザー認証」を選択します。

5. 「設定値の変更」のドロップダウンリストで「本体装置認証」を選択します。

6. ［適用］をクリックし、［OK］をクリックします。

ひとこと

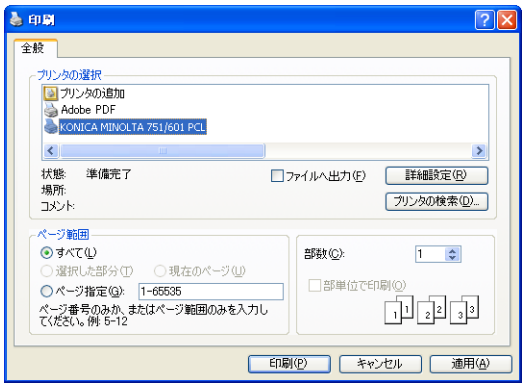
Windows XP/Server 2003 で［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。
Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

プリントジョブの印刷

1. アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。

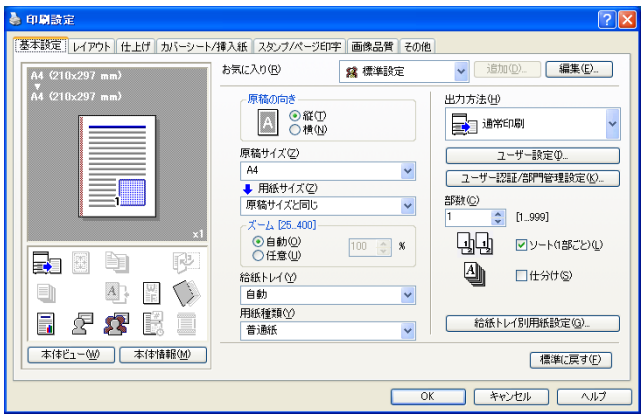
2. 「プリンタ名」（または「プリンタの選択」）でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。

   目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



3. ［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックします。

4. 「基本設定」タブをクリックします。



5. 「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。

6. ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

7 「登録ユーザー」を ON にし、ユーザー名とパスワードを入力します。

8 ［検証］をクリックし、ユーザー ID を確認します。

9 ［OK］をクリックします。

❍ ユーザー名やパスワードが正しくない場合は、入力しなおします。

10 ［OK］をクリックします。

11 必要に応じて設定し、［OK］をクリックします。

12 ［印刷］をクリックします。

13 プリントジョブが送信されます。

14 認証装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

ひとこと

［印刷開始］が選択されていることを確認してください。

詳しく説明します

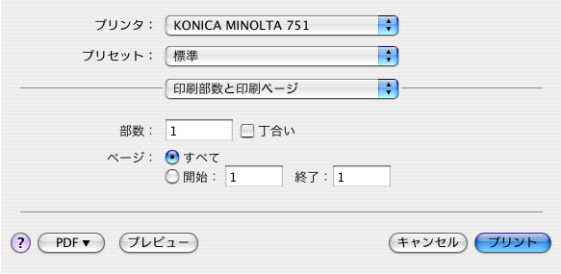
［画面操作］を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する」（p. 12-21）「をごらんください。

■ タッチ＆プリント（Macintosh の場合）

プリントジョブの印刷

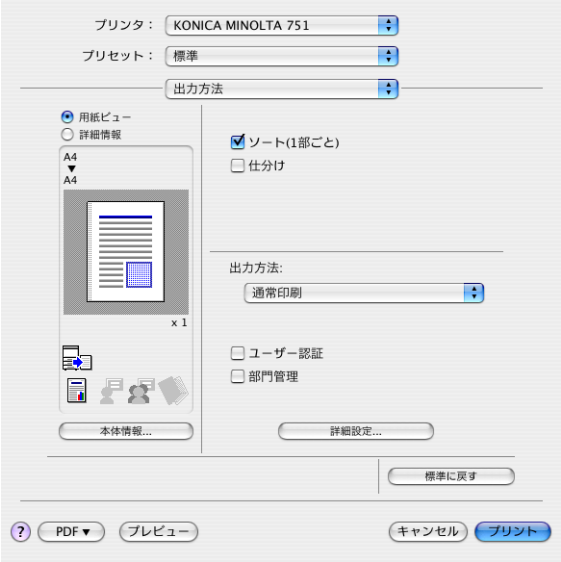
1. アプリケーションでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。

2. 「プリンタ」でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。



3. メニューのドロップダウンリストで「出力方法」を選択します。

4. 「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。



5. 「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。

「ユーザー認証」ダイアログが表示されます。

ひとこと

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

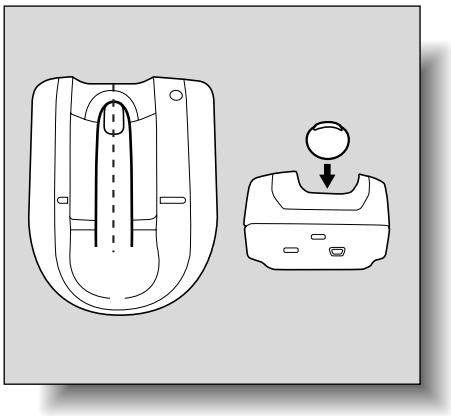
6 「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。

7 ［OK］をクリックします。

8 必要に応じて設定し、［プリント］をクリックします。

プリントジョブが送信されます。

9 認証装置に登録した指を置きます。



ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

■ 操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する

タッチ＆プリントボックスに保存された文書を指定して印刷する方法を説明します。

1 ［画面操作］を押します。

ひとこと

［印刷開始］が選択されていることを確認してください。

詳しく説明します

［画面操作］を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する」（p. 12-21）をごらんください。

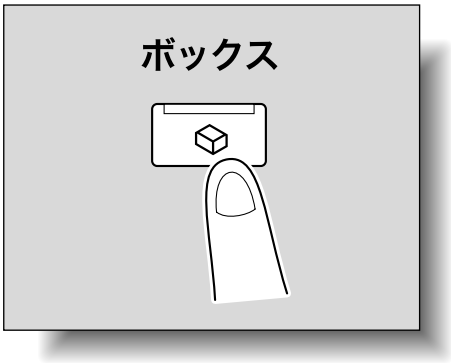
2

認証装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

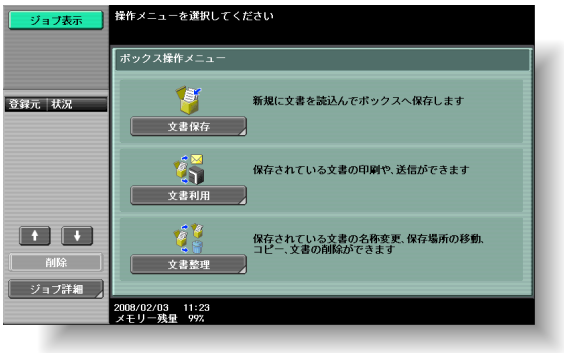
3

操作パネルの【ボックス】を押します。



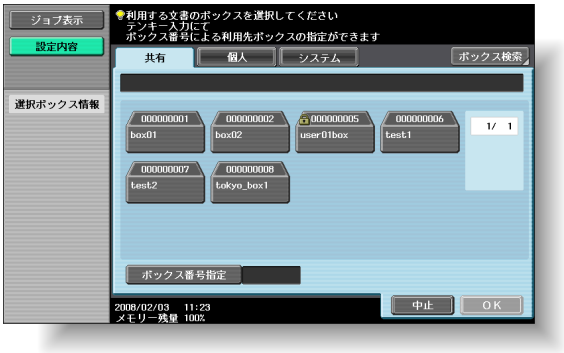
4

［文書利用］を押します。



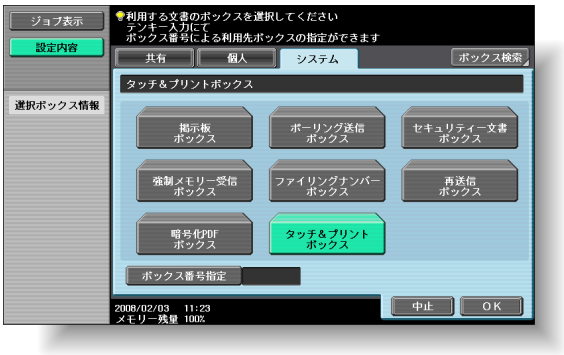
5

［システム］を押します。



6

［タッチ＆プリントボックス］を選択し、［OK］を押します。



ログインしたユーザーが送信した文書の一覧が表示されます。

7

印刷する文書を選択します。

- 複数の文書を選択することができます。
- すべての文書を選択する場合は［全選択］を押します。
- すべての文書の選択を解除する場合は［全解除］を押します。
- 登録時刻や文書名などを確認する場合は［リスト表示］を押します。

8

「利用方法の設定」から［印刷］を押します。

- 文書を削除する場合は［削除］を選択します。
- 文書の詳細を確認する場合は、［文書詳細］を押します。
- 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

指定した文書が印刷されます。

ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をしなおしてください。

第 13 章
認証装置
（IC カード認証タイプ AU-201）

認証装置（IC カード認証タイプ）について説明します。

13.1　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方 13-2

13.1　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を IC カードによる認証で行うことができます。

認証装置を使用するためには、最初にユーザーのカード ID を本機に登録します。登録されたユーザーは、カード ID による認証で、本機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインやタッチ＆プリントでの印刷方法を説明します。

ひとこと

認証装置への IC カードの置き方については、「すぐに使える操作ガイド 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）」をごらんください。

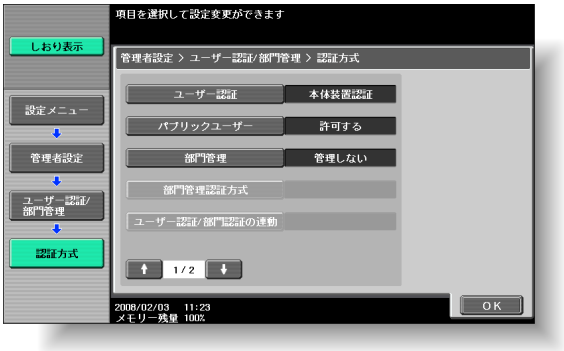
必ず守ってください

- 認証装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。
- IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください

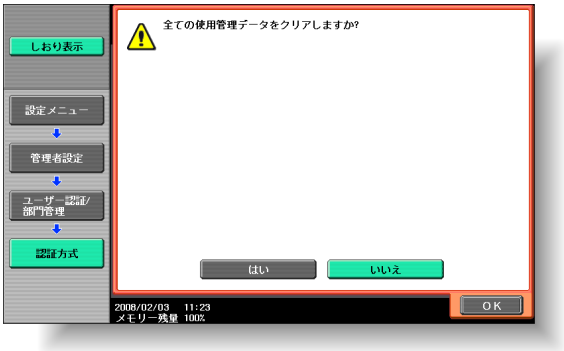
13.1.1　本機の設定

1. 本機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押し［1 認証方式］を押します。

2. ［ユーザー認証］を「本体装置認証」に設定し、［OK］を押します。



3. ［はい］を押し［OK］を押します。



4. ［8 認証装置設定］を押し［1 認証方式］を押し［IC カード認証］を押します。

詳しく説明します

本機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

ひとこと

外部サーバー認証はサポートされません。
［パブリックユーザー］や［部門管理］の設定については、本機に付属のユーザーズガイド（コピー機能編）をごらんください。
部門管理の設定を組合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、「連動する」を指定します。「連動しない」を指定した場合は、タッチ＆プリント機能が使用できません。

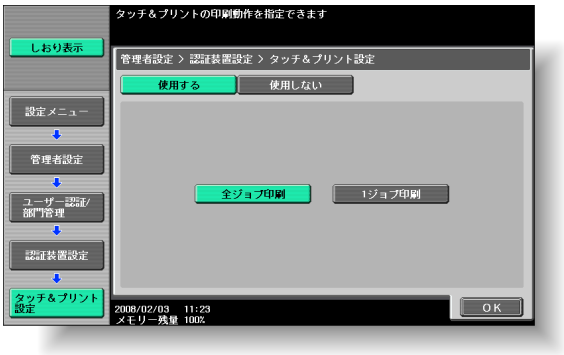
5 「IC カードタイプ」と「動作設定」の設定を選択します。

- 「IC カードタイプ」は使用する IC カードの種類を指定します。
- 「動作設定」は、登録後のログインのしかたを指定します。
  IC カード認証：IC カードを置くだけでログインできます。
  IC カード認証 + パスワード認証：IC カードを置き、パスワードを入力することでログインできます。IC カード認証 + パスワード認証でユーザー登録した場合、タッチ＆プリント機能が使用できません。

6 ［OK］を 2 回押します。

7 ［2 タッチ＆プリント設定］を押します。

8 タッチ＆プリント機能での印刷方法を設定します。



- ［全ジョブ印刷］：タッチ＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- ［1 ジョブ印刷］：タッチ＆プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。
- ［使用しない］を選択した場合は、タッチ＆プリント機能が使用できません。

ひとこと

ログインのしかたについては、「本機へのログイン」（p. 12-15）をごらんください。

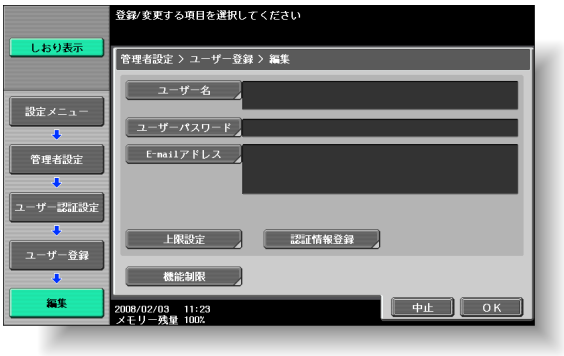
ひとこと

タッチ＆プリント機能については、「タッチ＆プリント機能」（p. 13-15）をごらんください。

9 ［OK］を押します。

10 ［3 ログアウト設定］を押します。

11 認証装置でのログイン後、原稿読込終了時にログアウトするかどうかを設定します。



12 ［OK］を押します。

13 ［閉じる］を 2 回押します。

13.1.2　ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には 2 つの方法があります。

- 認証装置を本機に接続し、直接本機に登録する
- 認証装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する

■ 本機の操作パネルで登録する

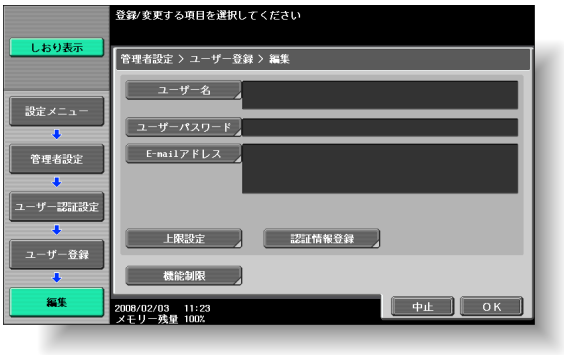
1 本機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。［4 ユーザー認証 / 部門管理］を押し［2 ユーザー認証設定］を押し［2 ユーザー登録］を押します。

2 登録番号を選択し、［編集］を押します。

詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

3 ［認証情報登録］を押します。



4 ［編集］を押します。

5 認証装置に IC カードを置き、［OK］を押します。

6 ［登録完了］とメッセージが表示されたら、［閉じる］を 2 回押します。

7 ユーザー名、パスワードを入力します。

8 必要に応じて、機能制限などを設定します。

9 ［OK］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

■ Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、認証装置の IC Card Driver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator IC Card Plugin をインストールするという手順を行います。

必ず守ってください

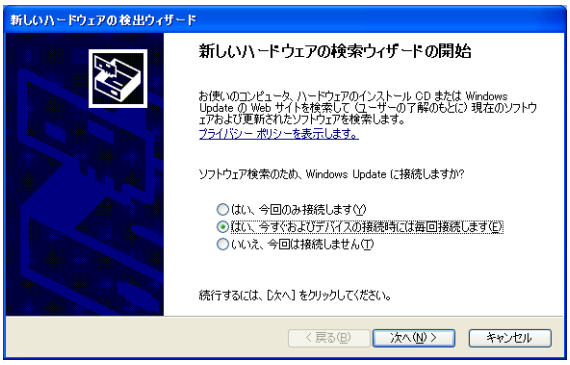
あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

セットアップ

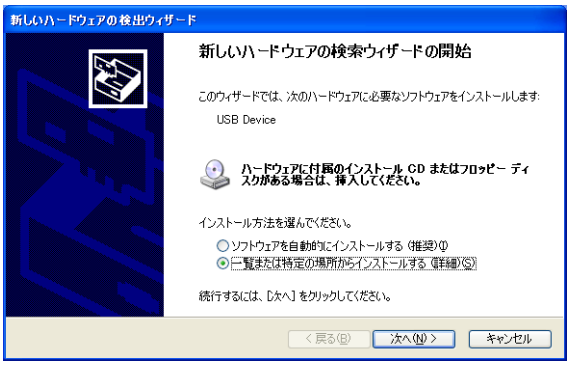
1. 本機の主電源を OFF にし、本機から認証装置を取外します。
2. IC Card Driver（USB-Driver）をインストールします。

   認証装置をコンピューターの USB ポートに接続します。

   新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。
3. 「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。

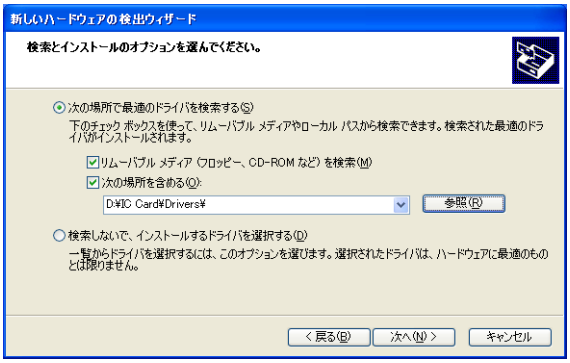


4. 認証装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
5. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。

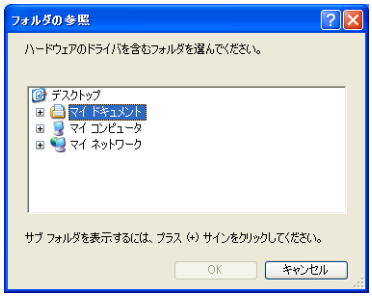


6

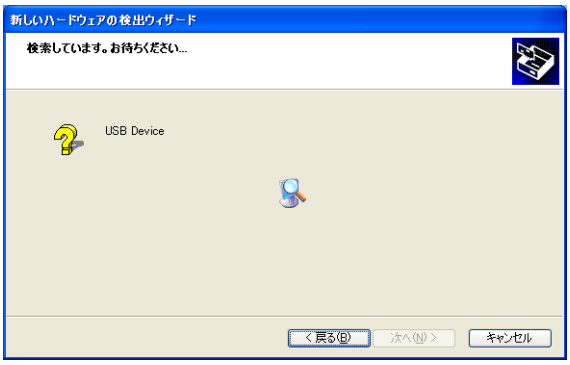
「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。



❍ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の IC Card Driver（USB-Driver）フォルダーを選択して［OK］をクリックします。



インストールが開始されます。



7

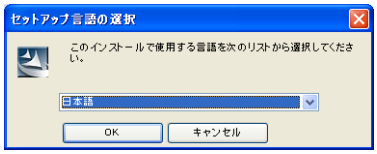
［完了］をクリックします。

IC Card Driver（USB-Driver）のインストールが完了します。

8 Data Administrator IC Card Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の IC_Card_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

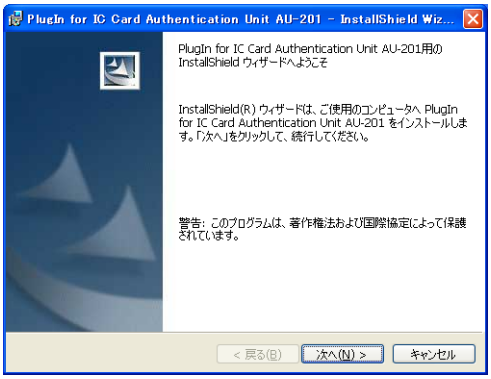
9 言語を選択し、［OK］をクリックします。



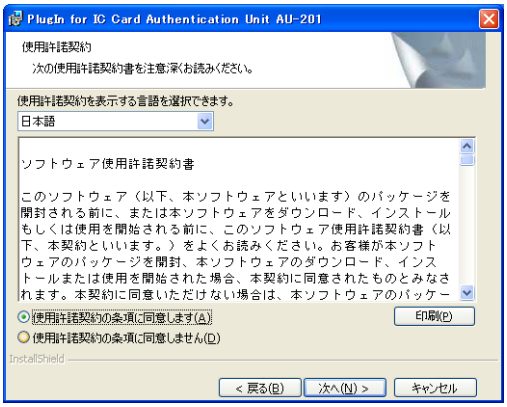
インストールプログラムが起動します。

10 画面の指示にしたがってインストールを行います。

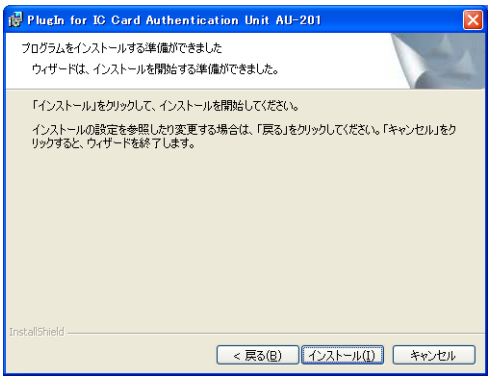
11 ［次へ］をクリックします。



12 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックします。



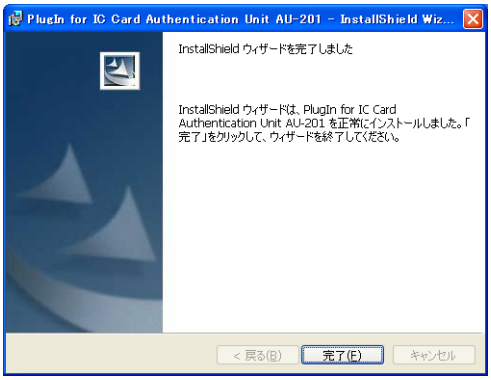
13 ［インストール］をクリックします。



14 セットアップタイプを選んでください。

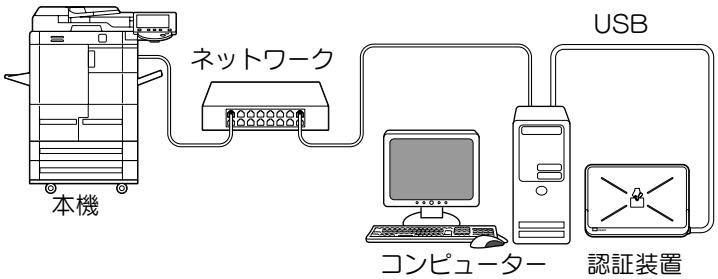
15 ［インストール］をクリックして、インストールを開始してください。

16 ［完了］をクリックします。



Data Administrator IC Card Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

ユーザー登録



詳しく説明します

Data Administrator でユーザー登録するには、認証装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

1

認証装置が本機に接続されている場合は、本機の主電源を OFF にして認証装置を取外します。

❍ 認証装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

2

本機の主電源を ON にします。

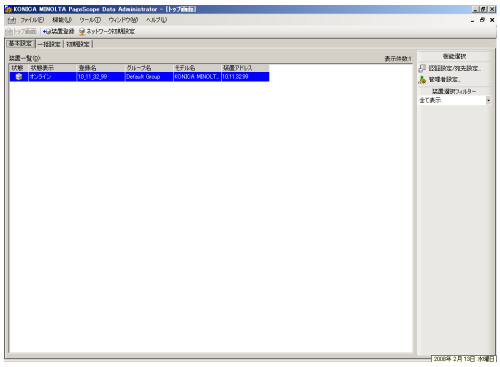
3

Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、認証装置を接続します。

❍ Data Administrator の読込みが完了している場合は、手順 7 に進みます。

4

装置を選び、ダブルクリックします。

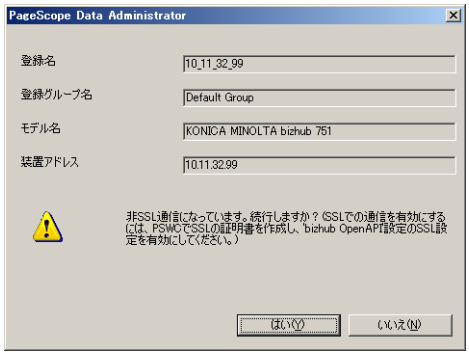


5

［読込み］を押します。

6

［はい］を選択します。



ひとこと

- 本機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

必ず守ってください

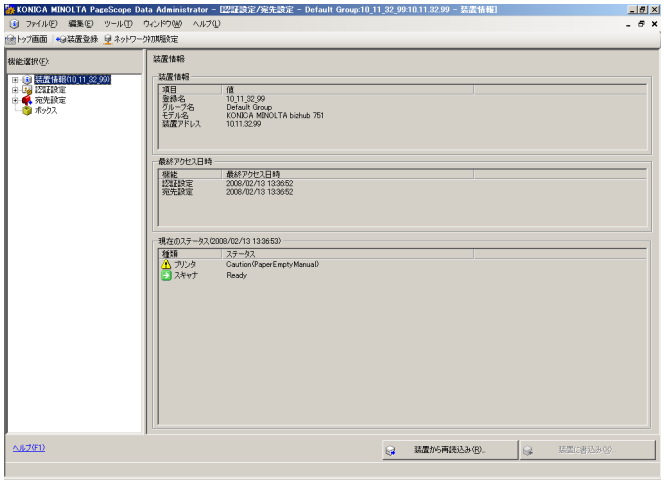
- 認証装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- 認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

7

Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

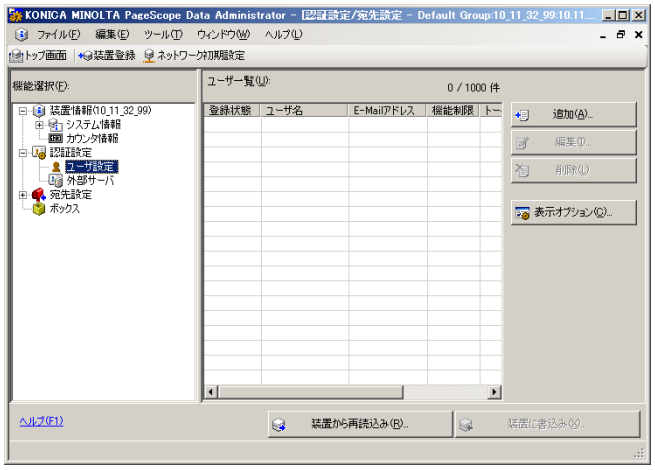
❍ 装置情報の読込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

装置情報画面が表示されます。



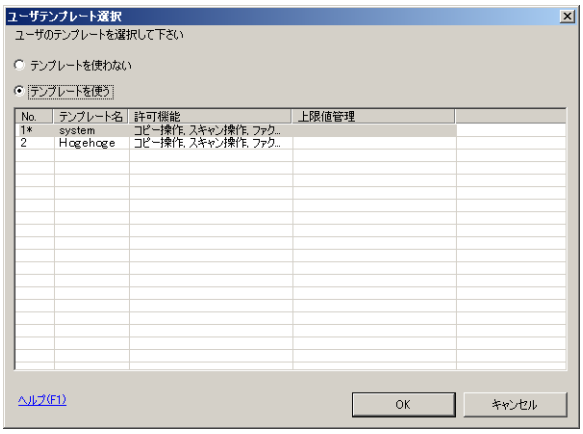
8

機能選択から「ユーザ設定」を選択し、［追加］をクリックします。



9

テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。



ユーザーの登録画面が表示されます。

10

ユーザ名、パスワードを入力し、「IC カード認証」タブを選択します。

❍ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。

11

認証装置に IC カードを置いて、［読取開始］をクリックします。

❍「カード ID の直接入力」を選択して、カード ID を登録することもできます。

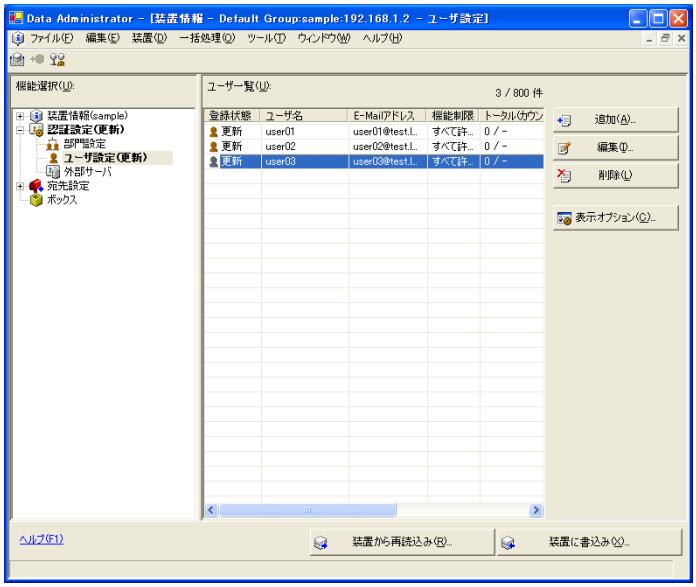
12

［OK］をクリックします。

❍ 手順 8 ～ 12 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

13

［装置に書込み］をクリックします。



❍ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

14

［書込み］をクリックします。

登録したユーザーデータが本機に設定されます。

15

［OK］をクリックします。

16

コンピューターの USB ポートから認証装置を取外します。

17

本機の主電源を OFF にして認証装置を接続し、本機の主電源を ON にします。

詳しく説明します

Data Administrator には一括コピー機能があり、認証装置の使用が設定された複数の本機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

ひとこと

・本機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
・USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

13.1.3　本機へのログイン

カード ID による認証で、本機にログインする方法を説明します。

■ IC カード認証が設定されている場合

➔ 認証装置に登録した IC カードを置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

■ IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合

1 認証装置に登録した IC カードを置き、パスワードを入力します。

2 ［ログイン］または【ID】を押します。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

13.1.4　タッチ＆プリント機能

コンピューターから送信されたプリントジョブは、本機のタッチ＆プリントボックスに保存され、カード ID による認証で印刷されます。これをタッチ＆プリント機能と呼びます。

また、本機の操作パネルでタッチ＆プリントボックスに保存された文書を確認し、文書を指定して印刷することもできます。

タッチ＆プリント機能に対応しているプリンタードライバーとコンピューターの OS は以下の通りです。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL ドライバー	PCL6	Windows NT4.0（SP6a）、 Windows 2000 Professional（SP4 以降）、 Windows XP Home Edition/ Professional（SP2 以降）、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64
PostScript ドライバー（PS ドライバー）	PostScript3 Emulation	Windows 2000 Professional（SP4 以降）、 Windows XP Home Edition/ Professional（SP2 以降）、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64 Windows Vista（全バージョン） Windows Vista x64
PostScript PPD ドライバー（PS-PPD）		Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4

ひとこと

- 通知音が鳴りますが読込み中の通知音となります。［ログイン］または【ID】を押し認証することで解除されますが、装置としては正常に動作しています。
- 認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をしなおしてください。

詳しく説明します

本機の「動作設定」で［IC カード認証］を選択し、「タッチ＆プリント設定」を［使用する］に設定した場合に、タッチ＆プリント機能を使用できます。

ひとこと

プリンタードライバーの設定やボックス機能については、本機に付属のユーザーズガイドをごらんください。

■ タッチ＆プリント（Windows の場合）

装置情報タブの設定

1. Windows 2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンター」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2. インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3. 「装置情報」タブをクリックします。

4. 「装置オプション」で「ユーザー認証」を選択します。

5. 「設定値の変更」のドロップダウンリストで「本体装置認証」を選択します。

6. ［適用］をクリックし、［OK］をクリックします。

プリントジョブの印刷

1. アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。

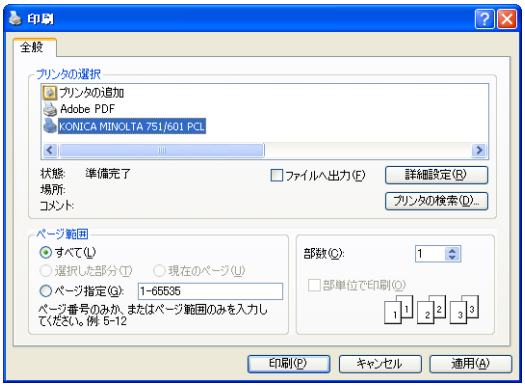
ひとこと

- ［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。
- Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

2

「プリンター名」（または「プリンタの選択」）でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。

目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。

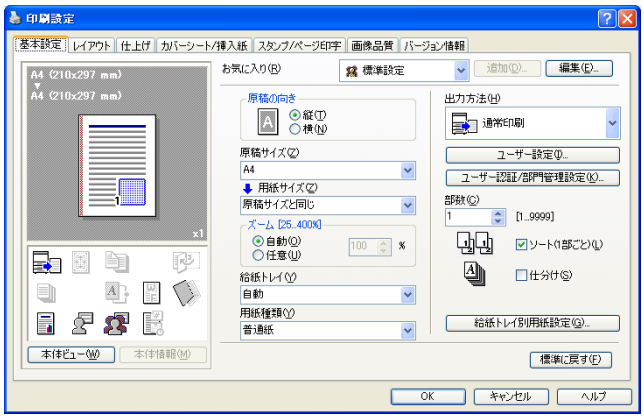


3

［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックします。

4

「基本設定」タブをクリックします。



5

「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。

6

［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

7 「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。

8 ［検証］をクリックし、ユーザー ID を確認します。

9 ［OK］をクリックします。

❍ ユーザー名やパスワードが正しくない場合は、入力しなおします。

10 ［OK］をクリックします。

11 必要に応じて設定し、［OK］をクリックします。

12 ［印刷］をクリックします。

プリントジョブが送信されます。

13 認証装置に登録した IC カードを置きます。

ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

ひとこと

［印刷開始］が選択されていることを確認してください。

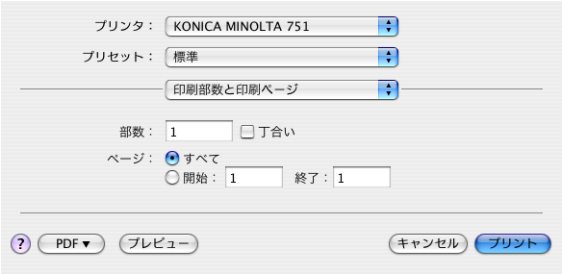
詳しく説明します

［画面操作］を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する」（p. 13-20）をごらんください。

■ タッチ＆プリント（Macintosh の場合）

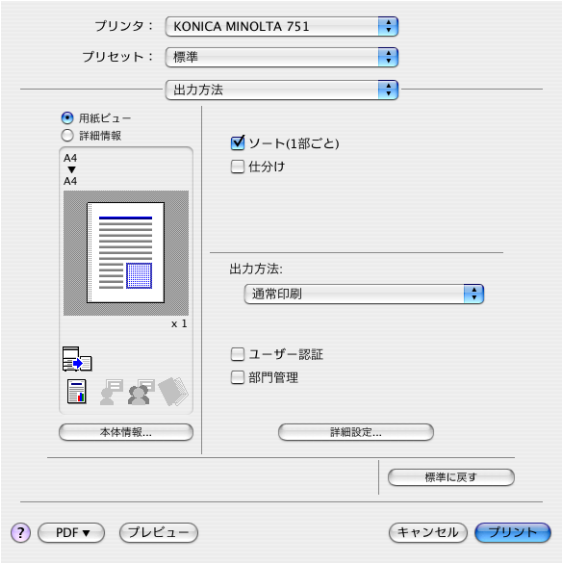
1 アプリケーションでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。

2 「プリンタ」でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。



3 メニューのドロップダウンリストで、「出力方法」を選択します。

4 「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。



5 「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。

「ユーザー認証」ダイアログが表示されます。

ひとこと

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

6 「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。

7 ［OK］をクリックします。

8 必要に応じて設定し、［プリント］をクリックします。

プリントジョブが送信されます。

9 認証装置に登録した IC カードを置きます。

ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

■ 操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する

タッチ＆プリントボックスに保存された文書を指定して印刷する方法を説明します。

1 ［画面操作］を押します。

ひとこと

［印刷開始］が選択されていることを確認してください。

詳しく説明します

［画面操作］を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する」（p. 13-20）をごらんください。

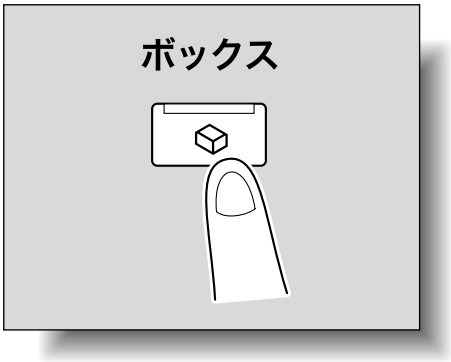
2

認証装置に登録した IC カードを置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。

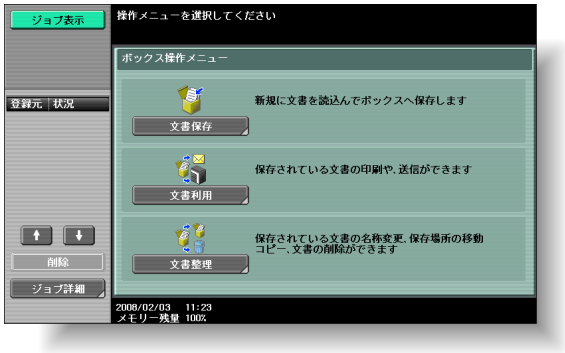
3

操作パネルの【ボックス】を押します。



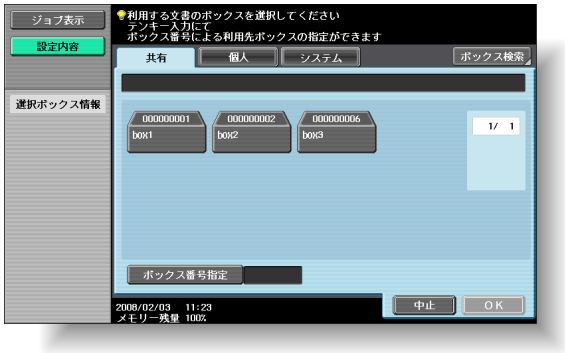
4

［文書利用］を押します。



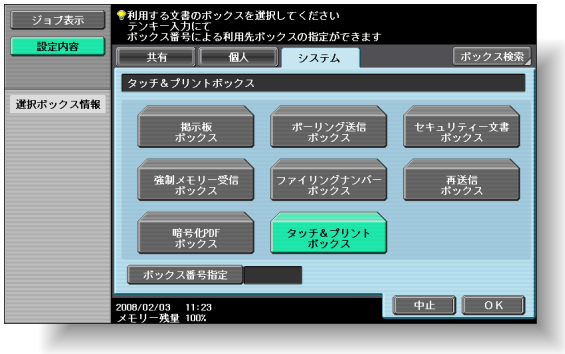
5

［システム］を押します。



6

［タッチ＆プリントボックス］を選択し、［OK］を押します。



ログインしたユーザーが送信した文書の一覧が表示されます。

7

印刷する文書を選択します。

- 複数の文書を選択することができます。
- すべての文書を選択する場合は［全選択］を押します。
- すべての文書の選択を解除する場合は［全解除］を押します。
- 登録時刻や文書名などを確認する場合は［リスト表示］を押します。

8

「利用方法の設定」から［印刷］を選択し、［OK］を押します。

- 文書を削除する場合は［削除］を選択します。
- 文書の詳細を確認する場合は、［文書詳細］を押します。
- 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

指定した文書が印刷されます。

ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をしなおしてください。

第 14 章
付録

文字入力のしかたの説明と用語集について書いてあります。

14.1　文字を入力するには 14-2
14.2　入力文字一覧 14-7
14.3　用語集 14-14

14.1　文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：

不定形紙名称変更画面：

14.1.1　キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1 キーボードの表示中に、［拡大 ON］を押します。

キーボードが拡大表示されます。

2 拡大表示中に［拡大 OFF］を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、コンピューターから参照すると文字化けをおこすことがあります。

ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

14.1.2　英数字を入力する

➔ 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

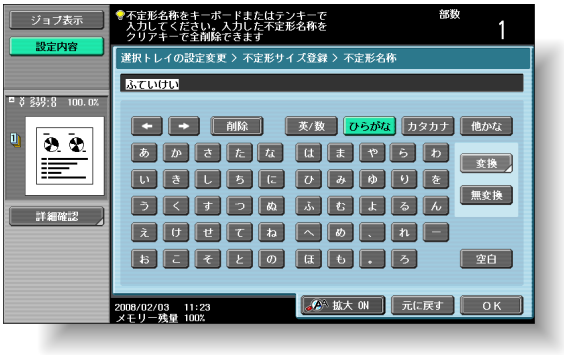
- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、［Shift］を押します。
- ❍ 全角の英数字を入力する場合は［全角］を押します。
- ❍ 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

14.1.3　ひらがなを入力する

1. ［ひらがな］を押します。
2. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3. ［無変換］を押します。

   文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

ひとこと

［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

14.1.4　カタカナを入力する

1. ［カタカナ］を押します。
2. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。
   - ❍ 半角のカタカナを入力する場合は［半角］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が表示されます。

14.1.5　漢字を入力する

1. ［ひらがな］を押します。
2. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

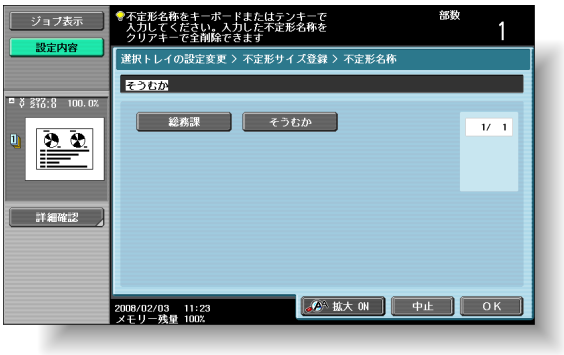
3

［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



5

［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

・熟語単位で変換できます。
・入力した文字が、変換の対象になります。
・変換を中止するときは、［中止］を押します。

詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。
・［↑］を押すと前候補が表示されます。
・［↓］を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

・［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

14.1.6　文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1. ［文字コード］を押します。

2. 表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。

文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

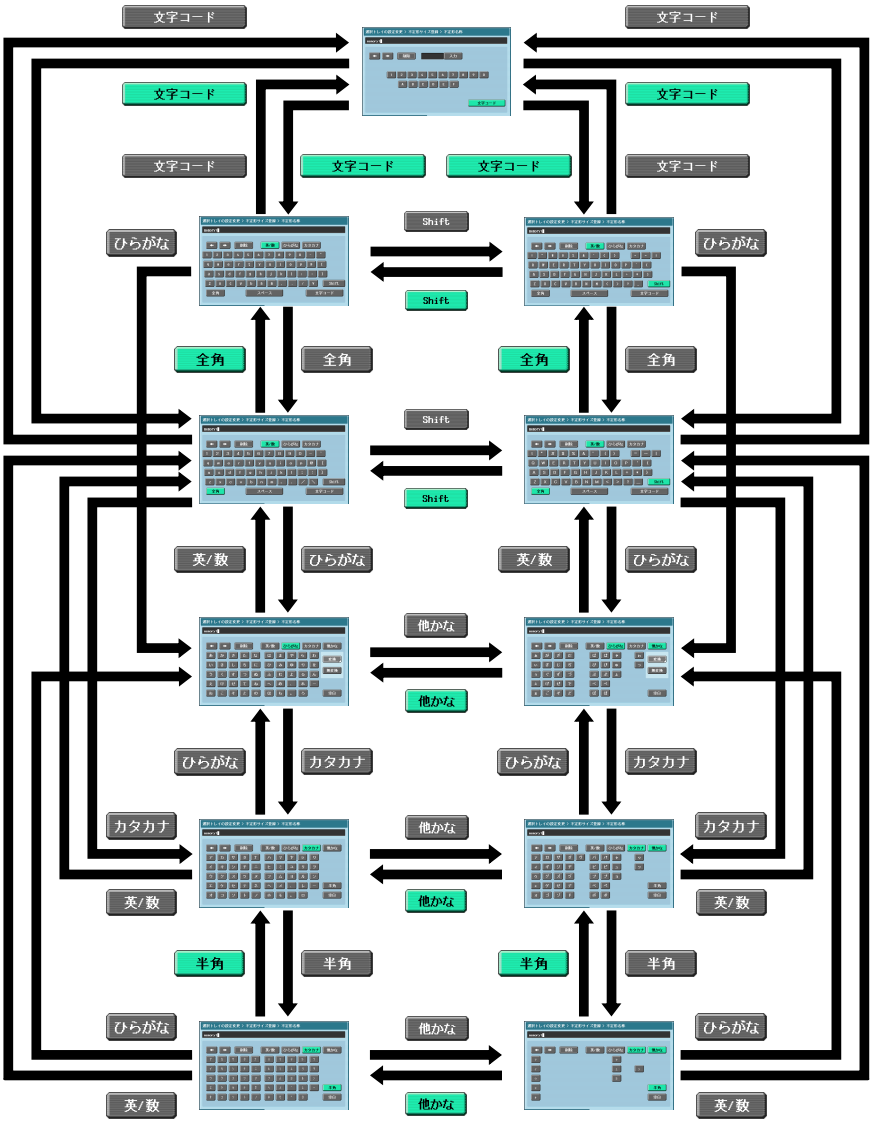
- 本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表（p. 14-8 ～）をごらんください。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

14.2　入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ ぁぃぅぇぉゃゅょゎっ　ー、。
カタカナ（全角）	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポヴ ァィゥェォャュョヮッ　ー、。
カタカナ（半角）	ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ ｱｲｳｴｵﾔﾕﾖﾂ -ﾟﾞ
英数字／記号（全角）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz (スペース)!”#$%&’()+,-./\:;<=>?@[]^_‘{|}～*0123456789
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz (スペース)!”#$%&’()+,-./¥:;<=>?@[]^_`{|}~*0123456789

Shift-JIS コード
（一部入力できないものもあります）

	0123456789ABCDEF
8140	＿ ､｡，． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾
8150	￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼
8160	～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛
8170	｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± ×
8180	÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥
8190	＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆
81A0	□ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ ＝
81B0	∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩
81C0	∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃
81D0	∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡
81E0	≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬
81F0	Å ‰ ＃ ♭ ♪ † ‡ ¶ ○
8240	０
8250	１２３４５６７８９
8260	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰ
8270	ＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
8280	ａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏ
8290	ｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ ぁ
82A0	あぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけ

	0123456789ABCDEF
82B0	げこごさざしじすずせぜそぞただち
82C0	ぢっつづてでとどなにぬねのはばぱ
82D0	ひびぴふぶぷへべぺほぼぽまみむめ
82E0	もゃやゅゆょよらりるれろゎわゐゑ
82F0	をん
8340	ァアィイゥウェエォオカガキギクグ
8350	ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
8360	チヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
8370	パヒビピフブプヘベペホボポマミ
8380	ムメモャヤュユョヨラリルレロヮワ
8390	ヰヱヲンヴヵヶ Α
83A0	ΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡ
83B0	ΣΤΥΦΧΨΩ α
83C0	βγδεζηθικλμνξοπρ
83D0	στυφχψω
83E0	
83F0	
8440	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНО
8450	ПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮ
8460	Я

	0123456789ABCDEF
8470	абвгдеёжзийклмн
8480	опрстуфхцчшщъыьэ
8490	юя ─
84A0	│ ┌┐ ┘ └ ├┬┤ ┴┼ ━ ┃ ┏┓ ┛ ┗
84B0	┣┳┫ ┻╋ ┠┯┨ ┷┿ ┝┰┥ ┸╂
84C0	
84D0	
84E0	
84F0	
8540	
8550	
8560	
8570	
8580	
8590	
85A0	
85B0	
85C0	
85D0	
85E0	
85F0	
8640	
8650	
8660	
8670	
8680	

	0123456789ABCDEF
8690	
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	
8750	
8760	
8780	
8790	
87A0	
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	亜

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦
88B0	芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨
88F0	芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隠韻吋右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓
8950	臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲
8960	荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴
8970	英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁
8990	艶苑薗遠鉛鴛塩於汚甥凹央奥往応押
89A0	旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶
89B0	臆桶牡乙俺卸恩温穏音下化仮何伽価
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会
89F0	解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改
8A40	魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣
8A60	柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫
8A80	橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹
8A90	叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥
8AA0	刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官
8AB0	寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢
8AC0	澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観
8AD0	諫貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩
8AE0	癌眼岩翫贋雁頑顔願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇
8B60	義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍
8B70	却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯
8BB0	恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響
8BC0	饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫
8C50	訓群軍郡卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経
8C70	継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨
8C80	劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検
8CA0	権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険
8CB0	顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午
8CE0	呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降
8D80	項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻
8D90	告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此
8DA0	頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐
8DC0	座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済
8DD0	災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪
8DE0	財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷
8E40	察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三
8E50	傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸
8E60	餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識
8EB0	鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質
8EC0	実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆
8F50	襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵
8FC0	沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾
8FF0	条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾
9040	拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神
9060	秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	壬尋甚尽腎訊迅陣靭笥諏須酢図厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随
9090	瑞髄崇嵩数柩趨雛据杉椙菅頗雀裾澄
90A0	摺寸世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節
90E0	説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線
9140	繊羨腺舛船薦詮賤践選遷銭銑閃鮮前
9150	善漸然全禅繕膳糎噌塑岨措曾曽楚狙
9160	疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双
9170	叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻
9180	操早曹巣槍槽漕燥争瘦相窓糟総綜聡
9190	草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓
91A0	蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊
91B0	族続卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐
91D0	岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托
91F0	択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只
9240	叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹
9250	単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆
9260	蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談値知地弛
9270	恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄
9280	逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷
9290	註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖
92A0	帳庁弔張彫徴懲挑朝朝潮牒町眺聴脹
92B0	腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃
92D0	漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪垂嬬紬爪吊釣鶴
92E0	亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点
9360	伝殿澱田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟
9390	盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同
93B0	堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳
93C0	涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫
93D0	寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍奈那
93E0	内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難
93F0	汝二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入
9440	如尿韮任妊忍認濡禰祢寧葱猫熱年念
9450	捻撚燃粘乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農
9460	覗蚤巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳
9470	廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函
94A0	箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪
94B0	伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩
94D0	頒飯挽晩番盤磐蕃蛮匪卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費
94F0	避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美
9540	鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧
9550	姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富冨布府怖扶敷
9580	斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵塀幣平弊柄
95C0	並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変
95D0	片篇編辺返遍便勉娩弁鞭保舗鋪圃捕
95E0	歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包
95F0	呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾
9690	鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭磨万慢満漫
96A0	蔓味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民
96B0	眠務夢無牟矛霧鵡椋婿娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻
96E0	籾貰問悶紋門匁也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約薬訳躍靖柳薮鑓愉愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友有幽悠憂揖有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与誉
9760	輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔
9770	用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲
9780	沃浴翌翼淀羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覧利吏履李梨理璃痢
97A0	裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留
97B0	硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料
97C0	梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫
97D0	厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟瑠塁涙累類令
97E0	伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
97F0	歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯
9840	蓮連錬呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼
9850	榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論
9860,	倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀
9870	湾碗腕
9880	
9890	弌
98A0	丐丕个丱丶丼丿乂乖乘亂亅豫亊舒弐
98B0	于亞亟亠亢亰亳亶从仍仄仆仂仗仞仭
98C0	仟价伉佚估佛佝佗佇佶侈侏侘佻佩佰
98D0	侑佯來侖儘俔俟俎俗俤俥偏俾俷倚倚
98E0	倨倔倪倥倅伜俶倡倩倬俾俯們倆偃假
98F0	會偕偐偈做偖偬偸傀傚傳偏傲
9940	僉僊傳僂僖僞僥僭僮價僵儉儁儂儖儀
9950	儕儔儚儡儺儷儼儻儻儿兀兒兌兔兢競兩
9960	兪兮冀冂囘册冉冏冑冓冕冖冤冦冢冩
9970	冪冫决冱冲冰况冽凅凉凛几處凩凭
9980	凰凵凾刄刋刔刎刮刳刹剏剄剋剌剞剔
9990	剪剩剳剿剽劍劔劒剱劈劑辨辧
99A0	劬劭劼劵勁勍勗勞勣勦飭勠勳勵勸勹
99B0	匆匈甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳匸區卆卅

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
99C0	丗卉乍凖卞卩卮夘卻卷厂厖厠厦厥厮
99D0	厰厶參簒雙叟曼燮叮叨叭叺吁吽呀听
99E0	吭吼吮吶吩吝呎咏呵咎吁呱呷呰咒呻
99F0	咀呪呫呼呟咢咸咥咬哄哈咨
9A40	咫哂咤咾咼哘哥哦唏唔哽哮哭哺哢唹啀
9A50	啀啣啌售啜啅啖啗唸唸唸啋啄喙喀咯喊喟
9A60	啻啾喘喞單啼喃喻喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗤
9A70	嗔嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐營嘴嘶嘲嘸
9A80	噫噤嘯噬噪嚆噂噛噛嚏嚔嚠嚔嚥嚮嚶嚴囂
9A90	嚼囁囀囘囮囪圦囹圄囿圊圉圍圏
9AA0	國圍圓團圖嗇圜圦圷圸坎圷坵坂坐坪坤
9AB0	垈坡坿垉垓垠垳垤垪垰埃埆埔埒埓堊
9AC0	埖埣堋堙堝塲堡塢塋塰毀塒堵塹墅墹墟
9AD0	墟墫墺壞墻墸墮壅壓壑壗壙壘壞壟壢壬
9AE0	壟壯壺壹壻壺壽夂夊夐夛梦夥夕夭本
9AF0	夲夾竒奕奐奎奚奘奢奠奥奬奩
9B40	奸妁妝佞侫妣妲姆姨姜妍姙姚娥娟娑
9B50	娜娉娚婀娗娵娶婢婪媚媼媾嫋嫂媽
9B60	嫣嫗嫦嫩嫖嫐嫪嫚嫜嬖嬲嫐嬪嬶嬾孃
9B70	孅孀孑孕孚孛孥孩孰孳孵學斈孺宀
9B80	它宦宸寃寇寉寔寐寤實寢寞寥寫寰寶

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9B90	寳尅將專對尓尠尢尨尸尹屁屆屎屓屐
9BA0	屏孱屬屮乢屹岌岑岔妛岫岻岼岷峅岷峩
9BB0	峅峇峙峩峽峺峭嶌峪崋崕崗嵜崟崛
9BC0	崑崔崢崚崙崘嵌嵒嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂
9BD0	嶢嶝嶬嶮嶽嶷嶼巉巍巓鑾巖巛巛巫已
9BE0	巵帋帚帙帑帛帶帷幄幃幀幎幔幟幢
9BF0	幣幇幵并幺麼广庠廁廂廈廐廏
9C40	廖廣廝廚廛廢廡廨廩廬廱廳廰廴廸廾
9C50	弁弉彝彜弋弑弖弩弭弾彈彌彎弯彑
9C60	彖彗彙彡彭彳彷徃徂彿徊很徑徇從徙
9C70	徘徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝悳忿怡恠
9C80	怙怐怩怎怒怛怕怫怦怏怐怯怪怜恁恪
9C90	恟恆恍恣恃恤恂恬恫恙悁悍惧悃悚悄
9CA0	悛悖悗悒悧悋惡悸惠惓悴忰悽惆悵惘
9CB0	慍愕愆惶惷愀惴惺愃愆愚愛慙慙慥慱慟慮慢
9CC0	慇愧慊愿愼愬愴愽慂慄慳慷慵慙慚慫
9CD0	慴慯慥慱慟慮慊慴慵慮慊慴慵慮慊慴慵慮慊
9CE0	憫憮懌懊應懷懈懃懆憺憬憧憮憺憬憧憮憺憬
9CF0	憺憺憩憬憺憺憺

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9D60	拜拌拊拂拇抛拉挌拮拱挧挂挈拯拵捐
9D70	挾捍搜捏掖掎掀掫捶掣掏掉掟掄捫
9D80	捩掾揩揀揆揣揉插揶揄搖搴搆搓搦搶
9D90	攝搗搨搏摧摯摶摎攪撕撓撥撩撈撼據
9DA0	擒擅擇撻擘擂擱擧擧擠擡擣擤擣擦擶擷
9DB0	擴擲擺攀擽攘攜攢攤攀攫攴攵攷收攸
9DC0	畋效敖敕敍敎敏敝敲敷斂斃變斛斟斫
9DD0	斷旃旆旁旄旌旒旛旙旛无旡旱杲昊昃旻
9DE0	杳昵昶昴昜晏晄晉晁晞晝晤晧晨晟晢
9DF0	晰暃暈暎暉暄暘暝曁暹曉暾暼
9E40	曄暸曖曚曠曦曩曰曳曷朏朖朞朦朧
9E50	霸朮朿朶杁朸朷杆杞杠杙杣杤枉杰枩
9E60	杼杪枌枋枦枡枅枷柯枳柬枳柩枸柤柞
9E70	柝柢柮枹柎柆柧檜栞框栩桀桍栲桎
9E80	梳栫桙档桷桿梟梏梭梔條梛梃檮梹桴
9E90	梵梠梺椏梍桾椁棟棠椈棘椢椦棡椌棍棔
9EA0	棧棕椶椒椄棗棣椥棹棠棯椨椪椪椮
9EB0	椀楹楷楜楸楫楔楾楂楂楶楂椽楙椰楡楞
9EC0	楝榁楪楹榮槐榿槁槓榾槎寨槊槝榻槃
9ED0	榧樮榑榠榜榕榴槞榧樂樛槿權槹槲槭
9EE0	樅榱樞槭樔槫樊樒櫁樣樓橄樌橲樶橸

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9EF0	橇橢橙橦橈樸樢檐檍檠檄檢檣
9F40	檗蘗檻櫃櫂檸檳檬櫞櫑櫟檪櫚櫪櫫櫻欅
9F50	蘖櫺欒欖鬱欟欸欷盜欹飲歇歃歉歐歙
9F60	歔歛歟歡歸歹歿歼殁殄殃殃殘殆殞殤殪
9F70	殫殯殲殲殳殷殼毆毋毓毫毫毳毯
9F80	麾氈氓气氛氤氣汞汕汪沂沍沚沁沛沛
9F90	汾汨汳沒沐泄泱泓沽泗泅泝沮沱沾沺
9FA0	泛泯泙泪洟衍洶洫洽洸洙洵洳洒洌浣
9FB0	涓浣浚浹浙涎涕濤浬淹渊淵涵淇淦涸
9FC0	淆淬淞淌淨淒淅淺淙淤淥淪淮渭湮渟
9FD0	渙渢滓渾渣湫渫湶湍渟湃渺湎渤滿渝
9FE0	游溂溪溘滉溷滓溽溯漐溲滔縢溏溥滂
9FF0	溟潁漑灌滬滸滾漿滲漱滯漲滌
E040	漾漓滷澆潺潸澁澀潯潛潭澀潼潘澎
E050	潘濂潦澳澣澡澤澹潰澪濟濕濬濔濘濱
E060	濮濛瀉瀋濺瀑瀁瀏濾瀛瀚潴瀝瀘瀟瀰
E070	瀾瀲灑灣炙炒炯烱炬炸炳炮烟烋烝
E080	烙焉烽焜焙煥煕熙煢煌煖煬熏燻熄
E090	熕熨熬燗熹熾燒燉燔燠燬燧燵燼燹
E0A0	燿爍爐爛爨爭爬爰爲爻爼爿牀牆牋牘
E0B0	牴牾犂犁犇犒犖犢犧犹犲狃狆狄狎狒狢

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E0C0	狯狩狳狹狷倏猗猊猜猖猝猴猯猩猥猾
E0D0	獎獏默獗獪獨獰獸獵獻獺珈玳珎玻珀
E0E0	珥珮珞璉琅瑯琥珮琲琺琅理瑯璉璉璦瑜
E0F0	瑩瑰瑣瑪瑶瑾璋璞璧瓊瓏瓔珱
E140	甌瓣甽瓩瓮瓰瓯瓶瓸瓷甄甃甕甌甎甍
E150	甕甓甞甦甬甼畄畝畊畎畋畑畚畩時畧
E160	畫畭畸當疆疇畼疊疊疊疔疚疝疥疣痂
E170	疳疵疽疸疼疱痍痊痒痙痣痞痾痿
E180	痼瘁痰痺痲痳瘋瘍瘉瘟瘧瘠瘡瘢瘤瘴
E190	瘻瘼癇癈瘺癘癡癢癨癩癪癧癬癲癶
E1A0	癸癹發皀皃皈皋皎皖皓皙皚皰皴皺皹皤
E1B0	皺盂盍盖盒盞盡盤盧盪盪盼眈眇眄眩
E1C0	眤眞眥眦眛眷眸睛睚睨睫睛睥睿睾睹
E1D0	瞎瞋瞑瞠瞞瞰瞶瞹瞿瞼瞻瞻矇矍矗矚
E1E0	矜矣矮矼砌砒礦砠礪硅碎硴碆磐硼碚碌
E1F0	碣碵碪碯磑磧磚磽磴礫礬礫礪礦磅磊磐
E240	磧磚磽磴礪礬礫礬礫祀祠祇祟祚祕
E250	祓祺祿禊禝禧齋禪禮讓禹禺秉秕秧秬
E260	秡秣稈稍稘稙稠稟禀稱稻稾稷穃穉穡
E270	穡穢穩龝穰穹穿窈窗窕窰窰窩窩窰窰
E280	窶竅竄竄竄竊竊竏竏竕竓竝竝竡竢竦

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	竦竭竰笂笏笊笆笊笘笙笞笥笠笄笄笹
E2A0	笄筍笋筌筅筵筥筴筧筰筱筬筮箝箘箟
E2B0	箍箜箚箋箒箏箏箙箙篁篌篋篌篆篇篇
E2C0	篆篆篋篥籠簀簇簓篳篷篠篠簀篇簀簪
E2D0	簟簷簫簽籌籃籔籏籀籐籘籟籤籖籤籬
E2E0	籵粃粐粤粭粢粫粡粨粳粲粱粮粹粽糀
E2F0	糅糂糘糒糜糢鬻糯糲糴糶糴糺紆
E340	紆紜紕紊絅紘紮紲紿紵絆絳絖絎絲紹絨
E350	紮紲紺經綉條綏絽綛綺綮綣綵緇綽綫綜
E360	總綢綯緜綸綟綰緘緝緤緞緻緲緡縅縅縊
E370	縣縡縒縱縟縉縋縢繆繦縻縵縹繃縷
E380	縲縺繧繝繖繞繙繚繹繪繩繼繻繕繕繽
E390	辮繿纈纉續纏纈纔纖纖纖纛纜缸缺罅
E3A0	罌罍罐罐网罕罔罘罟罠罨罩罧罸羂羆羃
E3B0	羃羈羇羌羔羞羝羚羣羯羲羹羹羶羸譱
E3C0	翅翠翊翕翔翡翦翳翩翹翻翻翼翼翼耒耘
E3D0	耙耜耡耨耿耻聊聆聒聘聖聖聢聯聳聲
E3E0	聰聶聹聽聿肄肆肅肛肓肚肭冑肋肱肟胥
E3F0	胙胝胄胚胖脉胯胱脛脩脣脯腋
E440	隋腆脾腓腑胼腱腮腥腦腴膃膈膊膀膀膂
E450	膠膕膤膣腟膓膩膰膵膾膳膾臀臂膺臉

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E460	臍臑臙臘臚臟臠臧臺臻與舁舂舅與
E470	舊舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘艝艚艤艢
E480	艨艅艢艫舮艱豔艸艾芍芒芫芟芻芬苡
E490	苣苟苒苴苳苺莓范苻苹苞茆苜茉苙茵
E4A0	茴茖茲茱荀茹荐荅茯茫茗茘莅莚莪莟
E4B0	莢莖莫莎莇莊荼莵荳荵莠莉莨菴萓菫
E4C0	菎菽萃菘萋菁菷萇菠菲萍萢萠莽萸蔆
E4D0	菻葭萪萼蕚蒄葷葫蒭葮葬葆蒂葩葆萬葯葹
E4E0	萠葢蓋蓋蒿蒐蓙蓚蓐蓁蓆蓖蒙蒟蒺蔣
E4F0	蔌蔓蔔蓼蔬蔟蔕蔔蓼蔣蕘蕁蘂
E540	蕁薬蕋蕕薀薤薈薑薊薨蕭薔薛藪薇薜
E550	蕷蕾薐藉薺藏薹藐藕藝藥藜藿蘊蘓蘋
E560	藾蘭蘆蘢蘚蘰蘿虍乕虔號虧虱蚓蚣蚩
E570	蚪蚋蚌蚶蚯蛄蛆蚰蛉蠣蚫蛔蛞蛩蛬
E580	蛟蛛蛯蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜾蛹蜘蜻蜥蜿
E590	蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝌蝎蝴蝗蝨蝮蝙蝓
E5A0	蝣蝪蠅螢螟螂螯蟋螽蟲螰螻螺蟯蝿蟶
E5B0	蟆螻蟯蟲蟠蠏蠍蟾螳蟷蟷蟒蠖蠕蠢
E5C0	蠡蠱蠶蠹蠧蠻衄衂衒衙衢衢衫袁衾袞
E5D0	衽袵衽衲袂袗袒袮袙袢袍袤袰袿袱裃
E5E0	裄裔裘裙裝裹褂裼裴裨裲褄褌褊褓襃

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E5F0	褞褥褪褫襁襄褻褶褸襌褝襠襞
E640	襦襤襭襪襷襴襷覃覈覊覓覘覡覩覦
E650	覬覯覲覺覽覧覩覧覩覧覩覧覩覧覩覧
E660	訌訛訝訥訶詁詛詒詆詈詼詭詬詢誅誂
E670	誄誨誡誑誥誦誚誣諄諍諂諚諜諳諤諢
E680	諷諱諶諠諢諞諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷
E690	諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷
E6A0	諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷諤諷
E6B0	豌豎豐豕豢豬豸豺貂貉貅貌貔豼貘
E6C0	貘貶賈貪貽貲貳貳貶賈賈賈賈賈賈賈
E6D0	賻賈賈賈賈贈贐贐贐贐贐贐贐贐贐贐
E6E0	赳趁趙跂趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫跟跣
E6F0	跼跡跟跬跡跟跬跡跟跬跡跟跬跡跟跬
E740	蹇蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌蹌
E750	躅躄躋躊躊躊躊躊躊躊躊躊躊躊躊躊
E760	軈軋軛軣軻軫軾輊輕輅輕輒輒輒輜輟
E770	輛輛輦輳輻輹轅轂輾轌轉轉轆轎轗轜
E780	轢轣轤辜辟辣辭辯辷迚迥迢迪迯邇迥
E790	逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋逧逶逵達迸遏
E7A0	遐遑遒逎遉遉遉遉遉遉遉遉遉遉遉遉
E7B0	邁邀邊邉邂邨邱邱邵郢郤扈郛鄂鄒鄙

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E7C0	鄲鄰酊酖酘酣酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯
E7D0	醪醵醴醺釀釁釉釋釐釖釟釜釖釖釖釶
E7E0	鈞釿鈔釖鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿鉋鉐
E7F0	銜銖銓銛鉚鋏銹銷鋩鋺鍜鋺鋼錆錮
E840	錙錢錚錣錺錆鍛鍠鍼鍮錂鍇鎰鎬鎭鎔
E850	鏡鏗鏘鑚鏘鏃鏝鏐鏈鏤鐚鐔鐓鐃鏆鏈
E860	鐐鐶鐫鐵鐵鐺鐶鑒鑄鑛鑠鑢鑞鑪鑯鑰鑵
E870	鑼鑷鑽鑚鑾鑁鑿閂閇閊閔閖閘閙閠
E880	閨閨閧閭閼閻閾閻閾闊鬩閻閻閹閼閼閻
E890	閼閻閨闕阡陀阮阯陂陌陏陋陷陜陞陝
E8A0	陟陦陲陬隍隕隗險隧隱隲隰隴隶隸
E8B0	隹雎雋雉雍雜霍雕雹霄霆霈霓霎霑
E8C0	霏霖霙霤霪霰霹霽霾靄靆靈靂靉靜靠
E8D0	靤靦靨勒靫靱靹鞅靼鞁靺鞆鞄鞍
E8E0	鞨鞦鞣鞳鞴韃韆韈韋韜韭齏韲竟韶韵
E8F0	頏頌頸頤頡頷頽顆顢顆顢顰
E940	顱顴顳颪颯颱颶飄飄飆飩飫餃餉餃餬
E950	餘餡餝餞餤餠餬餮餽餮餽餮餘餞餞餓
E960	饒饌饗馗馘馥馭馮馼駟馭駝駝駘駑駭駮
E970	駱駲駻駸騁騏騅駢騙騫騷驅驂驀騾
E980	騾騰驤驟驗驟驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E990	髏髑髓體髞髟髦髮髣髯髭髮髯髭髭
E9A0	鬆鬘鬚鬢鬢鬣鬥鬧鬨鬩鬪鬮鬯鬲魄魃
E9B0	魏魍魎魑魘魴鮓鮃鮑鮖鮗鮟鮠鮨鮴鯀鯊鮹
E9C0	鯆鯏鯑鯒鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰹鯉鰣鰄鰈鰎鰐鰒鰔
E9D0	鰊鰺鯽鰈鰻鰲鰥鰤鰡鰰鱇鰰鱈鰭鰾鰚鰆鰀鯰鯡鰧鰮鰯鱒鰤
E9E0	鰲鱗鰾鱚鱠鱧鱶鱸鳧鳬鳰鴉鴈鳫鴨鴆鴪鴦
E9F0	鶯鴛鴛鴒鴟鵄鵠鴕鴒鵁鴿鴾鵅鵀鶴鶲
EA40	鶉鶇鶫鵯鵺鶚鶤鶩鶲鷄鷁鶻鶸鶺鷆鷏鷂
EA50	鷙鷓鷸鷦鷭鷯鷽鸚鷛鸛鸞鸚鸞鸞鸞鸞
EA60	鸞鸞鹵鹹鹽鹿麈麋麒麕麚麝麥麩麸
EA70	麪麭靡黌黎黏黐黔黜點黝黠黥黨黯
EA80	黴黶黷黹黻黼黽鼇鼈皷鼕鼡鼬鼾齊齒
EA90	齔齣齟齠齡齦齧齬齪齷齲齶齷齶齶龜龠堯
EAA0	槇遙瑤凜熙
EAB0	
EAC0	
EAD0	
EAE0	
EAF0	
EB40	
EB50	

14.3 用語集

本体コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	ADF	自動原稿送り装置のことです。原稿を自動で読込ませることができます。（ADF = Automatic Document Feeder）
	ADU	自動的に用紙の画面にプリントする装置です。（ADU = Automatic Duplex Unit）
	AE レベル調整	原稿の下地を調節する機能です。設定値が大きくなるほど、原稿の下地が強調されます。（AE = Auto Exposure）
	APS	自動用紙機能のことです。（APS = Auto Paper Select）
	ATS	自動トレイ切換え機能のことです。（ATS=Auto Tray Switch）
	LCT	大量の用紙を収納し、コピー機本体に用紙を送り込む装置です。（LCT = Large Capacity Tray）
	OHP 合紙	OHP フィルムを 1 枚コピーするごとに、白紙を OHP フィルムの間に合紙として挿入する機能です。OHP フィルムどうしが密着するのを防ぐ機能です。
あ行	厚紙原稿	厚紙原稿や張り合わせた原稿を ADF で使用するときに設定する機能です。厚みのある原稿を ADF で読込んでも、紙づまりを起こしにくくなります。
か行	カバーシート	指定した給紙トレイの用紙を表紙としてつける機能です。
	確認コピー	大量部数のコピーをするとき、1 部数だけを仕上げていったんストップさせる機能です。大量のミスコピーを未然に防止できます。
	グループ（コピー / 仕上り）	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目が指定した部数分出力されます。
	グループ（参照許可）	各ユーザーの参照できる宛先を制限し、セキュリティを管理するための機能です。
	原稿画質	原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	原稿セット方向	ADF や原稿ガラス上にセットした原稿のセット方向を設定する機能です。
	原稿のとじしろ	セットした原稿の、片側の余白位置を指定する機能です。片面原稿を両面コピーする場合や、両面原稿を片面コピーする場合に、コピーの上下が逆にならないように設定できます。
	混載原稿	異なるサイズが混じった原稿を、自動原稿送り装置にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正な用紙にコピーされる機能です。
さ行	仕上り	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	仕分け	コピーを仕分けして出力する機能です。
	下地調整	下地に色がついている原稿の下地濃度を 9 段階に設定してコピーする機能です。
	自動倍率	ADF や原稿ガラス上に原稿をセットし、用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動用紙	ADF や原稿ガラス上にセットされた原稿サイズを検知し、等倍のときは同じサイズの用紙を、変倍のときは倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	集約	1 枚の用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1、8in1 の機能を選択できます。
	ステープル	コピー書類を止め金でとじる機能です。
	ズーム	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
	選択トレイの設定変更	給紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	ソート	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。
た行	小さめ	原稿の画像をわずかに縮小しコピーする機能です。

	用語	説明
な行	中とじ	用紙を半分に折り、中央にステープルでとじて出力する機能です。
	ネガポジ反転	原稿の濃淡および色（階調）を反転してコピーする機能です。
	濃度	印刷画像濃度を 9 段階で設定してコピーする機能です。
は行	倍率	コピー倍率を変更できます。
	パンチ	コピーにファイリング用のパンチ穴をあける機能です。
	ページ編集	コピーの目的に合わせて編集機能を設定できます。
	ボックス保存	ジョブをいったんハードディスクに保存しておき、あとから呼出して再利用できる機能です。
や行	用紙	印刷する用紙の種類とサイズを設定できます。
ら行	両面 / ページ集約	原稿の読込み面と用紙の印刷面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	連続読込み設定	原稿の枚数が ADF にセットできる最大枚数（100 枚）を超える場合に、原稿をいくつかに分けて読込む機能です。原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして一括してコピーできます。また、途中で原稿ガラス上にセットして読込ませたり、ADF に切換えることもできます。

第 15 章
索引

15.1　使用別索引 15-2
15.2　項目別索引 15-6

15.1　使用別索引

■　あ行

合わせる

原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方） 7-33

印字する

日付 / 時刻、ページ、管理番号を印字してコピーする（スタンプ / ページ印字） 7-41

選ぶ

宛先登録を選択する 11-6
紙折り機能を選ぶ 2-59
仕上り機能を選ぶ 2-49
ページ集約を選ぶ 2-42
ユーザー設定を選択する 11-13

■　か行

かえる

操作パネルの角度をかえる 1-30

確認する

1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー） 3-4
カウントを確認する（セールスカウンター） 9-6
コピー条件を確認する（設定内容） 3-2
ジョブの詳細確認をする 10-7
ジョブの設定内容を確認する 10-7
設定メニュー 11-2
蓄積ジョブを 1 部印刷して確認する 10-10
用語集 14-14

紙づまり

「紙づまり」ですと表示されたら 4-4

繰返す

指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート） 7-24

消す

ジョブを削除する 10-6
不要部分を消してコピーする（消去） 7-37

原稿

ADF にセットする原稿 6-27
インデックス紙をセットする（インデックス原稿） 2-20
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） 2-19
原稿と用紙の表示について 17
原稿の画質を選ぶ 2-45
原稿をセットする 2-6
原稿＞コピー機能を選ぶ 2-38
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿） 2-17
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする 2-12

交換する

ステープルカートリッジを交換する 8-7
トナーカートリッジを交換する 8-2

■ さ行

指定する
用紙サイズを指定する（サイズ指定） 6-10

自動
自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット） 1-34
自動的に設定を取消す（オートリセット） 1-34
用紙サイズを自動で検出させる（自動検出） 6-9

セキュリティー
参照許可設定 11-6
認証装置（IC カード認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する 1-46
認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する 1-44
認証方式 11-62
部門管理設定 11-74
部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証） 1-41
ユーザーごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証） 1-39
ユーザー認証設定 11-67

設定する
原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ） 7-15
操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定） 3-16
不定形紙をセットする（不定形） 6-11
ヘッダー / フッターを設定する 11-59
優先出力の設定をする 10-12
ワイド紙の設定をする 6-15

節電
自動的に節電状態にする（スリープ） 1-35
自動的に節電状態にする（低電力） 1-35
手動で節電状態にする 1-36

セットする
インデックス紙をセットする（インデックス原稿） 2-20
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） 2-19

挿入する
OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙） 7-2
追加原稿を指定したページに差込む（差込みページ） 7-10
別の用紙を挿入してコピーする（インターシート） 7-7

■ た行

調整する
タッチパネルの調整をする 3-16
フィニッシャー調整 11-39

つける
表紙をつける（カバーシート） 7-4

停止
読込み・印刷を一時停止する 2-72

点検
「装置の定期点検時期です」と表示されたら 9-7

電源
自動的に電源を OFF ／ ON する（ウィークリータイマー） 1-37

電源の入れかた 1-32
電源の切りかた 1-34

登録する

コピー条件を登録する（プログラム登録） 3-7
登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し） 3-10
目的の倍率を登録する 2-36
目的の用紙サイズを登録する（不定形） 6-13

とじ

とじしろをつくってコピーする（とじしろ） 7-30

トラブル

簡単なトラブルの処理 4-48
「トラブル」と表示されたら（サービスコール） 4-2

■ な行

名前とはたらきを確認する

各部の名称とはたらき 1-2

入力する

濃度を選ぶ 2-47
文字を入力するには 14-2

■ は行

配置する

雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする（小冊子） 7-35
指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け） 7-12
見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写） 7-20

倍率

倍率を選ぶ 2-30

パンチ

パンチくずを処理する 8-20

反転する

原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転） 7-19

表示させる

給紙トレイ設定画面を表示させる 6-19
宛先登録画面を表示させる 11-12
管理者設定画面を表示させる 11-36
管理者設定を選択する 11-22
機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能） 3-12
実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する 10-9
ヘルプ基本画面を表示させる 3-14
ユーザー設定画面を表示させる 11-20
履歴リストを表示する 10-9

分割する

ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる（ページ連写） 7-28
原稿を分割して読込む（連続読込み設定） 2-8

保管する

用紙の保管 6-8

保存する

読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存） 7-62

■ ま行

メッセージ

おもなメッセージと処理のしかた 4-52

■ や行

用紙

LCT（LU-405/LU-406）へ用紙をセットする 1-50
原稿と用紙の表示について 17
手差しトレイへ用紙をセットする 1-52
トレイ 1/2 へ用紙をセットする 1-48
トレイ 3/4 へ用紙をセットする 1-49
トレイの用紙サイズを変更する 1-56
用紙使用上の注意 6-8
用紙の保管 6-8
用紙を選ぶ 2-28

読込み

ウォームアップ中に読込みする 1-33

予約する

印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） 2-71

■ わ行

割込む

割込んでコピーする（割込み） 3-6

15.2 項目別索引

Numerics

2 in 1 2-42
4 in 1 2-42
8 in 1 2-43

A

ADF 2-6, 6-27

I

IC カード認証 1-46

O

OHP 合紙 7-2

Z

Z 折り 2-59, 2-64
Z 折りユニット ZU-605 1-19
Z 折れ原稿 2-19

あ行

アイコン 1-29
宛先 / ボックス登録 11-28
宛先登録 11-6, 11-28
一時停止 2-72
インターシート 7-7
インデックス原稿 2-20
ウィークリータイマー 1-37, 11-38
ウォームアップ 1-33
オートリセット 1-34
オートリセット設定解除確認 3-21
音設定 3-25
オプション 1-2

か行

拡大表示切換え確認 3-22
確認コピー 3-4
各部の名称 1-2
画像の収め方 7-33
片面コピー 2-39
カバーシート 7-4
紙折り機能 2-59
紙づまり 4-4
紙づまり位置表示 4-5
画面カスタマイズ設定 11-15
環境設定 11-13, 11-22
管理者 / 本体登録 11-28
管理者設定 11-22
キーリピート開始 / 間隔時間 3-17
基本設定画面 1-27
基本（一括）画面 1-27
給紙 1-48, 1-49, 1-50, 1-52
グループ 2-49, 2-51
原稿 6-27
原稿画質 2-45, 14-14
原稿ガラス 2-7
原稿セット方向 2-21, 14-14
原稿セット方法 2-6
原稿のとじしろ 2-23, 14-14
原稿の向き 17
原稿＞コピー機能 2-38
固定倍率 2-33
コピー設定 11-17, 11-32
コピープログラム呼出し 3-10
コピー予約 2-71
混載原稿 2-17, 14-14

さ行

サービスコール 4-2
差込みページ 7-10
参照許可設定 11-6
仕上り機能 2-49
システムオートリセット 1-34
システムオートリセット設定解除確認 3-19
システム連携 11-33
下地調整 2-47, 2-48
実行中リスト 10-9
自動倍率 2-30
自動用紙 2-28
自動両面ユニット 14-14
シフトトレイ SF-602 1-23
主電源スイッチ 1-32
消去 7-37
小冊子 7-35
消耗品 8-2
章分け 7-12
ジョブの削除 10-6
ジョブ表示画面 10-2
仕分け 2-49
ズーム 2-31
スタンプ / ページ印字 7-41
ステープル 2-50, 2-54
ステープルカートリッジ 8-7
ステープル針 8-7
スリープモード 1-35
清掃 9-2
生体認証 1-44
セールスカウンター 9-6
セキュリティー設定 11-33
設定内容 3-2
設定メニュー 11-2
節電 1-35, 1-37
センターステープル位置調整 11-39
操作パネル 1-25, 1-30
ソート 2-49, 2-51

た行

第 1Z 折り位置調整 11-52
第 2Z 折り位置調整 11-52
大容量給紙ユニット LU-405 1-10
大容量給紙ユニット LU-406 1-11
タッチパネル ..... 1-27，3-16
小さめ 2-32
蓄積ジョブ ..... 10-10，10-11
定期点検 9-7
定形サイズ 6-20
定形特殊サイズ 6-21
定着部 1-8
低電力モード 1-35
手差しトレイ ..... 1-4，1-52
等倍 2-31
独立ズーム 2-34
とじしろ 7-30
トナーカートリッジ 8-2
トラブルコード 4-2
トラブルの処理 4-48
トレイ 1 1-4
トレイ 2 1-4
トレイ 3 1-4
トレイ 4 1-4

な行

中折り ..... 2-59，2-60
中折り位置調整 11-41
中とじ ..... 2-59，2-61
認証装置 ..... 1-44，1-46
認証方式 11-62
ネガポジ反転 7-19
ネットワーク設定 11-31
濃度 2-47

は行

排紙先の指定 2-52
排紙トレイ OT-505 1-23
倍率登録 2-36
はがき ..... 1-57，6-24
パスワード規約 11-78
パワーセーブ ..... 1-35，1-36
パンチ ..... 2-50，2-57
パンチキット PK-502/PK-503 ...1-12，1-14，1-16
パンチくず 8-20
パンチ縦位置調整 11-43
パンチユニット縦位置調整 11-45
パンチユニット横位置調整 11-49
パンチ横位置調整 11-47
パンチレジストループ量調整 11-51
左エリアジョブリスト 10-5
平とじ 2 点ステープル間隔調整 11-57
ファクス / スキャン宛先登録 11-6
ファクス / スキャン設定 11-19
ファクス設定 11-33
フィニッシャー FS-524 1-12
フィニッシャー FS-525 1-14
フィニッシャー FS-610 1-16
フィニッシャー調整 11-39
フェイスアップ ..... 2-49，2-53
副電源スイッチ 1-32
ブック連写 7-20
不定形サイズ 6-22
不定形紙 6-11
部門管理 1-41
部門管理設定 11-74
部門認証 1-41
プリンター設定 ..... 11-19，11-33
プログラムジョブ 7-15
プログラム登録 3-7
ページ集約 2-42
ヘッダー / フッター 11-59
ヘルプ機能 3-12
ポストインサータ PI-504 ..... 1-21，2-66
ポストインサーターフィーダーサイズ調整 11-58
ボックス登録 11-6
ボックス保存 7-62
本体内部 1-8

ま行

三つ折り ..... 2-59，2-62
三つ折り位置調整 11-55
メッセージ ..... 4-52，9-7
メッセージ表示時間 3-24
メンテナンス 9-2

や行

ユーザー設定 11-13
ユーザー認証 1-39
ユーザー認証 / 部門管理 11-29
ユーザー認証設定 11-67
優先出力 10-12
ユニバーサル 3-16
用紙セット ..... 1-48，1-49，1-50，1-52
用紙の保管 6-8

ら行

リピート 7-24
両面コピー 2-40
履歴リスト 10-9
連続読込み 2-8

わ行

ワイド紙 6-15
割込み 3-6

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright
2008 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A0PN9550-CO-00

2008. 8